令和５年第３回（９月）上牧町議会定例会会議録

議　事　日　程（第１号）

令和５年９月１日（金）午前９時開会

第　１		会議録署名議員の指名について
第　２		会期の決定について
第　３	議第　１号	上牧町道路線の認定について
第　４	議第　２号	上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第　５	議第　３号	上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第　６	議第　４号	令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について
第　７	議第　５号	令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について
第　８	議第　６号	令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について
第　９	議第　７号	令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について
第１０	議第　８号	令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について
第１１	議第　９号	令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について
第１２	議第１０号	上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について
第１３	議第１１号	上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任について
第１４	議第１２号	教育委員会委員の任命について
第１５	認第　１号	令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について
第１６	認第　２号	令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
第１７	認第　３号	令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
第１８	認第　４号	令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
第１９	認第　５号	令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
第２０	認第　６号	令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

第２１　認第　７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について

第２２　　選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

第２３　　決算特別委員会の設置及び委員の選任について

本日の会議に付した事件

第１から第２３まで議事日程に同じ

◇

出席議員（１２名）

１番	石　丸　典　子	２番	氏　原　賢　一
３番	竹　中　亮　造	４番	安　中　　和
５番	東　　初　子	６番	上　村　哲　也
７番	竹之内　　剛	８番	牧　浦　秀　俊
９番	服　部　公　英	１０番	康　村　昌　史
１１番	木　内　利　雄	１２番	遠　山　健太郎

欠席議員（なし）

◇

地方自治法第１２１条により説明のため出席した者の職氏名

町　　長	今　中　富　夫	副　町　長	阪　本　正　人
教　育　長	松　浦　教　雄	総　務　部　長	中　川　恵　友
都市環境部理事	吉　川　昭　仁	住民生活部長	山　下　純　司
健康福祉部長	青　山　雅　則	教　育　部　長	松　井　良　明
総　務　課　長	丸　橋　秀　行	秘書人事課長	髙　木　真　之
企画財政課長	中　本　義　雄	建設環境課長	武　安　康　至

◇

職務のため議場に出席した事務局員

議会事務局長	森　本　朋　人	書　　記	山　口　里　美
書　　記	横　田　大　樹		

開会　午前　９時００分

◎開会の宣告

○議長（遠山健太郎）　おはようございます。ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、令和５年第３回上牧町議会定例会を開会いたします。

本日、定例会が開催されましたところ、議員各位におかれましてはご出席賜り、厚くお礼を申し上げます。どうか議員各位のご協力をお願い申し上げます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎開議の宣告

○議長（遠山健太郎）　これから本日の会議を開きます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議会運営委員会の報告

○議長（遠山健太郎）　まず初めに、過日開催されました議会運営委員会の報告を求めます。

木内議会運営委員長。

（議会運営委員長　木内利雄　登壇）

○議会運営委員長（木内利雄）　皆さん、おはようございます。議会運営委員長の木内利雄でございます。

議会運営委員会のご報告をさせていただきます。

本日､令和５年９月１日招集の第３回上牧町議会定例会の議会運営について､８月30日に、全委員６人出席の下、議会運営委員会を開会いたしました。初めに、町理事者側から提出されている議案は、議案12件と令和４年度の決算認定議案７件です。慎重審議を期すために、本会議審議及び総務建設委員会、そして文教厚生委員会に付託する議案の振り分けを審議いたしました。

本日の本会議で審議を行うものは以下のとおりです。議第１号　上牧町道路線の認定について、議第11号　上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任について、そして議第12号　教育委員会委員の任命について、以上の３議案であります。

次に、総務建設委員会への付託議案は以下のとおりです。議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、そして議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、以上の３議案であります。

次に、文教厚生委員会への付託議案は以下のとおりです。議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、そして議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、以上の６議案であります。

次に、決算特別委員会への付託議案は以下のとおりです。認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について、認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、そして認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について、以上の７議案であります。

本会議審議、そして委員会付託議案につきましては、全委員異議なく決しました。

次に、会期についての審議結果は次のとおりでございます。本日、９月１日本会議、９月４日、総務建設委員会、９月５日、文教厚生委員会、９月８日、11日及び12日が決算特別委員会、９月14日及び15日が一般質問とし、14日が５人、15日が４人とします。そして９月20日、本会議最終日とします。なお、開会時刻は、本日９月１日は午前９時でしたが、以後の日程は全て午前10時とし、全委員異議なく決しました。よって、会期は本日９月１日から９月20日までの20日間といたします。

次に、一般質問について審議をいたしました。一般質問の持ち時間は従来どおり、理事者側の答弁を含め、１人１時間以内と決しました。

また、今議会には９人の議員から一般質問の通告がありましたので、日程の振り分けと質問の順番を申し上げます。９月14日は、８番、牧浦議員、３番、竹中議員、９番、服部議員、

２番、氏原議員、５番、東議員、以上の５人です。次に、９月15日は、10番、康村議員、１番、石丸議員、４番、安中議員、11番、私、木内でございます。以上の４人であります。

以上、議会運営委員会のご報告を申し上げました。ありがとうございました。

◇

◎議事日程の報告

○議長（遠山健太郎）　報告が終わりましたので、これより委員長の報告どおり議事を進めてまいりたいと思います。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◇

◎会議録署名議員の指名について

○議長（遠山健太郎）　日程第１、会議録署名議員の指名について。

会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、５番、東議員、６番、上村議員を指名いたします。

◇

◎会期の決定について

○議長（遠山健太郎）　日程第２、会期の決定について、これを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から９月20日までの20日間にしたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から９月20日までの20日間と決定いたしました。

◇

◎議第１号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第３、議第１号　上牧町道路線の認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　議第１号　上牧町道路線の認定についてご説明いたします。

道路法第10条第２項の規定に基づき、濁明星線の開通に伴い起点を変更したいので、同条第３項の規定により議会の議決を経なければならないことから、本案を提案させていただくものでございます。慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決することに決定いたしました。

ここで暫時休憩とします。再開は９時20分とします。

休憩　午前　９時０９分

再開　午前　９時２０分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

◇

◎町長の挨拶

○議長（遠山健太郎）　それでは、招集者の挨拶をお願いします。

今中町長。

（町長　今中富夫　登壇）

○町長（今中富夫）　皆さん、おはようございます。

本日、ここに令和５年第３回定例会を招集いたしましたところ、議員の各位には早朝よりお集まりを頂き、誠にありがとうございます。そして、濁明星線の供用開始等の手続によります件で９時から議会を開会いただき、ただいま議決を頂きました。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いをいたします。

それでは、８月15日に台風７号が近畿地方を縦断し、各地で川の氾濫や土砂災害などが発生をいたしました。住民生活に深刻な打撃を受けられた被災者、自治体におかれましては、衷心よりお見舞いを申し上げます。上牧町におきましては、幸い人的被害はございませんでしたが、各地区では枝の散乱や倒木の被害がございました。これから台風シーズンの本番を迎えるに当たり、より一層の防災対策・減災対策に万全を講じ、しっかりと危機管理に取り組んでいきたいと考えております。

それでは、本日提出しております議案につきまして、簡単に説明をさせていただきます。

議第１号につきましては、先ほど議決を頂きました。

議第２号につきましては、放課後児童健全育成事業の実施についての改正に伴い、上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものでございます。

議第３号につきましては、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものでございます。

議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ４億157万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ116億7,657万8,000円とするものでございます。また、第２表、債務負担行為補正では、塵芥車両更新事業、（仮称）新上牧中学校塵芥車両更新事業と（仮称）新上牧中学校舎

新築実施設計業務委託料を追加しております。第３表、地方債補正では、（仮称）新上牧中学校舎新築実施設計業務委託料及び地質調査業務委託料を追加し、また、第三セクター等改革推進債の繰上償還に伴う借換え額及び臨時財政対策債の確定に伴う限度額の変更を行っております。また、補正予算では、各科目において職員人件費の調整を計上しております。

それでは、補正予算に関する説明書の事項別明細書で主なものにつきまして説明させていただきます。

歳入説明書４、５ページ、款地方特例交付金につきましては、交付額が決定したことにより120万4,000円を減額計上しております。款地方交付税につきましては、普通交付税が決定したことにより4,063万7,000円を計上しております。款県支出金、項県補助金、目衛生費県補助金につきましては、アピアランスケア支援事業の補助率及び上限額が決定したことにより10万円を計上し、併せて歳出説明書16、17ページ、款衛生費、項保健衛生費、目健康増進事業費で財源振替を行っております。款繰入金、項基金繰入金につきましては、第三セクター等改革推進債の繰上償還分として1,255万2,000円を計上しております。

説明書６、７ページ、款繰越金につきましては、令和４年度からの繰越金が確定いたしましたので２億6,395万4,000円を計上しております。款諸収入、項雑入、説明欄、職員等駐車場代につきましては169万2,000円を計上し、併せて歳出説明書８、９ページ、款総務費、項総務管理費、目一般管理費、説明欄、職員駐車場土地賃借料として132万円を計上しております。款町債につきましては、第三セクター等改革推進債借換債を3,000万円減額、学校適正化事業債を１億350万円増額、臨時財政対策債を886万4,000円減額計上しております。

歳出説明書８、９ページ、款総務費、項総務管理費、目財産管理費につきましては、役場庁舎にフリーＷｉ－Ｆｉ設置に係る工事請負費として150万円を計上しております。目企画費につきましては、服部台明星線開通に伴うコミュニティバス運行体制変更による委託料として339万9,000円を計上しております。

説明書22、23ページ、款教育費、項教育総務費、目事務局費につきましては、（仮称）新上牧中学校舎新築実施設計業務及び地質調査業務委託料として１億1,504万9,000円を計上しております。項小学校費、目小学校管理費につきましては、上牧第二小学校南館外壁改修工事請負費として120万4,000円を計上しております。

説明書26、27ページ、款諸支出金、項基金費、目財政調整基金費につきましては１億8,816万5,000円を基金に積み立て、基金残高は10億787万6,000円となっております。

説明書28、29ページ、目公共施設整備基金費につきましては7,037万2,000円を基金に積み

立て、基金残高は４億6,412万7,000円となっております。

議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ217万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ27億2,866万7,000円とするものでございます。

それでは、補正予算に関する説明書の事項別明細書で主なものにつきまして説明させていただきます。

歳入説明書４、５ページ、款繰入金、項財政調整基金繰入金、目財政調整基金繰入金につきましては、今回の補正予算の財源調整分として148万5,000円を取り崩すものでございます。取崩し後の基金残高は３億259万8,000円となっております。款繰越金につきましては、令和４年度からの繰越金が確定いたしましたので、前年度繰越金69万4,000円を増額しております。

歳出説明書６、７ページ、款総務費、項総務管理費、目一般管理費の職員人件費につきましては、人事異動に伴う職員人件費の調整額として37万3,000円を減額しております。委託料では、令和６年１月から始まる産前産後期間の国民健康保険税の免除に係るシステム改修委託料255万2,000円を計上しております。

議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第１回)につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ252万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ４億8,958万円とするものでございます。

それでは、補正予算に関する説明書の事項別明細書で主なものにつきまして説明させていただきます。

歳入説明書４、５ページ、款繰越金につきましては、令和４年度からの繰越金が確定いたしましたので、前年度繰越金252万5,000円を計上し、併せて歳出説明書６、７ページ、款諸支出金、項繰出金、目一般会計繰出金として252万5,000円を計上しております。これにつきましては、一般会計繰入金を精算するため一般会計へ繰り出しするものでございます。

議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）につきましては、第１条第１項保健事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ１億832万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億1,743万9,000円とするものでございます。第２項介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ26万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,011万1,000円とするものでございます。

それでは、保険事業勘定の内容について、補正予算に関する説明書の事項別明細書で主なものにつきまして説明させていただきます。

歳入説明書４、５ページ、款国庫支出金、項国庫補助金、目地域支援事業交付金につきましては、歳出における高額介護サービス費相当事業の増額と地域包括支援センター職員給料の減額及び成年後見制度利用支援事業の事業費の増額に対するそれぞれの国庫負担分として63万1,000円を減額計上しております。あわせて、款県支出金、項県補助金で、県負担分として31万5,000円を減額計上しております。款繰入金、項他会計繰入金、目一般会計繰入金につきましては、歳出における職員人件費減額分及び補正額に係る町負担分として302万5,000円を減額計上しております。

歳出説明書６、７ページ、款地域支援事業費、目介護予防生活支援サービス事業費につきましては、支給対象者の増加に伴い５万円を計上し、併せて歳入４、５ページ、款支払基金交付金、目地域支援事業支援交付金で１万3,000円を計上しております。項包括的支援事業任意事業費、目任意事業費につきましては、成年後見制度利用者の増加に伴い４万円を計上しております。

８、９ページ、款基金積立金、目介護給付費準備基金積立金につきましては、前年度繰越金から過年度精算金などを差し引いた5,204万3,000円を積み立てております。積立て後の基金残高は１億8,448万34円となっております。

次に、介護サービス事業勘定でございますが、歳入歳出説明書13、14ページ、款繰越金につきましては、令和４年度からの繰越金が確定いたしましたので26万7,000円を計上し、併せて歳出説明書15、16ページ、款基金積立金、目指定介護予防支援事業所準備基金積立金で同額を積み立てております。積立て後の基金残高は189万6,000円となっております。

議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ29万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ136万9,000円とするものでございます。

それでは、補正予算に関する説明書の事項別明細で主なものにつきまして説明させていただきます。

歳入説明書４、５ページ、款繰越金、項繰越金につきましては、令和４年度からの繰越金が確定いたしましたので29万7,000円を計上し、併せて歳出説明書６、７ページ、款諸支出金、項基金費、目住宅新築資金等貸付事業基金費で同額を積み立てております。積立て後の基金残高は2,227万3,000円となっております。

議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）につきましては、既定予算第３条に定めた収益的収入及び支出の収入を414万6,000円減額し、下水道事業収益を６億

781万1,000円に、支出を143万1,000円減額し、下水道事業費用を５億1,281万2,000円とするものでございます。

次に、既定予算第４条に定めた資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額２億1,576万8,000円を２億1,415万円に、当年度利益余剰金処分額8,782万8,000円を8,621万円に改め、資本的収入及び支出の収入を131万7,000円増額し、資本的収入を２億317万2,000円に、支出を30万1,000円減額し、資本的支出を４億1,732万2,000円とするものでございます。

また、既定予算第４条の２に定めた特例的収入及び支出の当年度に属する債権及び債務として整理する未収金及び未払い金の金額それぞれ4,632万4,000円及びゼロ円をそれぞれ4,894万3,000円及び14万1,000円に改め、既定予算第９条に定めた議会の議決を得なければ流用することのできない経費の補正として、職員給与費を153万3,000円減額し953万4,000円とするものでございます。また、既定予算第10条に定めた他会計からの補助金を１億4,514万7,000円から１億4,257万9,000円とするものでございます。

議第10号につきましては、上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結についてでございます。

議第11号につきましては、上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任についてでございます。

議第12号につきましては、教育委員会委員の任命についてでございます。

認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入総額が99億9,156万4,284円で前年度比1.0％、金額にして１億281万7,060円の増加、歳出総額は96億5,249万5,951円で前年度比3.8％、金額にして３億5,034万7,287円の増加、歳入歳出差引額は３億3,906万8,333円の黒字となり、翌年度へ繰越しすべき財源5,511万4,000円を差し引いた実質収支額は２億8,395万4,333円の黒字決算となっております。また、実質収支から前年度の実質収支を差し引きました単年度収支額につきましては6,884万4,227円減少しておりますが、単年度収支に財政調整基金への積立て３億554万4,090円、繰上償還9,240万円を加え、財政調整基金取崩し２億1,958万6,000円を減じました実質単年度収支は１億951万3,863円の黒字となっております。

歳入決算の主なものといたしましては、自主財源の町税が21億2,261万599円で前年度比2.2％、金額にして4,660万2,469円の増加、繰入額が３億1,502万6,289円で前年度比64.9％、金額にして１億2,402万5,183円の増加、繰越金が５億8,659万8,560円で前年度比160％、金額にして３億6,097万54円増加したことなどにより、自主財源総額は前年度比19.8％、金額にし

て５億6,104万7,050円増加しており、歳入総額に占める割合としては34.1％を占めております。

依存財源では、地方交付税が29億2,886万円で前年度比0.5％、金額にして1,442万8,000円の減少、町債が10億362万3,000円で前年度比8.1％、金額にして7,551万6,000円増加したものの、令和３年度に実施した子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時特例給付金給付事業の影響により、国庫支出金が14億7,044万9,583円で前年度比26.4％、金額にして５億2,674万4,650円減少したことなどにより、依存財源総額は前年度比6.5％、金額にして４億5,822万9,990円の減少となり、歳入に占める割合としては65.9％を占めております。

歳出決算の主なものといたしましては、総務費では、文化センター空調機の更新及び公共施設整備基金への積立ての増額等により12億6,787万9,316円で前年度比13.4％、金額にして１億5,001万5,881円の増加となっております。民生費では、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業などの影響により30億6,856万1,836円で前年度比4.2％、金額にして１億3,345万977円の減少となっております。衛生費では、不燃ごみ等中継施設建設事業や焼却場解体事業などの影響により14億4,980万4,968円で前年度比11.0％、金額にして１億4,416万4,347円の増加となっております。土木費では、滝川水辺周辺地区整備事業などの影響により７億9,853万4,093円で前年度比1.6％、金額にして1,285万2,612円の減少となっております。教育費では、小中学校体育館空調機器設置工事実施設計事業などの影響により８億4,919万8,410円で前年度比6.1％、金額にして4,845万3,606円増加となっております。

次に、普通会計歳出性質別分類での状況といたしまして、義務的経費では、人件費で主に退職者数の減少により退職手当の負担金が減少したことにより減少、扶助費では、主に令和３年度に子育て世帯及び住民税非課税世帯等に対する臨時特例給付金給付事業等を実施したことにより減少、公債費では、主に償還元金が大きい小集落地区改良事業に係る地方債が令和３年度で償還終了したことによる減少などから前年度比7.7％、金額にして３億8,069万4,000円の減少となっております。投資的経費では、主に不燃ごみ等中継施設建設事業や服部台明星線道路改良事業が増加したことにより前年度比19.7％、金額にして１億6,937万円の増加となっております。その他の経費では、物件費で、主に焼却場解体事業費による増加、補助費等では、水道基本料金免除事業の実施による増加などから前年度比14.1％、金額にして４億9,260万7,000円の増加となっております。

次に、令和４年度の普通会計決算の状況などから見ました財政状況について申し上げます。財政状況を示す指標のうち経常収支比率につきましては94.9％で、前年度比3.2ポイントの悪

化となりました。主な要因といたしましては、経常的収入である普通交付税と臨時財政対策債が減少したこと、また、経常的支出においては、燃料費高騰による光熱費の増加、後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金の増加等が挙げられます。

実質公債費比率につきましては13.0％で、前年度比0.7ポイント改善をしております。主な要因といたしましては、令和３年度に償還額の大きい小集落地区改良事業及び第三小学校建設事業に係る償還が終了したことにより公債費が減少したこと等が挙げられます。

将来負担比率につきましては84.6％で、前年度比1.3ポイント改善しております。主な要因といたしましては、繰上償還の実施及び地方債の償還額を上回らない範囲で借入れを実施していることが挙げられます。

以上が令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入総額は26億752万1,744円で前年度比2.5％、金額にして6,608万2,453円の減少、歳出総額は26億682万6,627円で前年度比1.9％、金額にして5,046万2,728円の減少、歳入歳出差引額69万5,117円の黒字決算となっております。令和４年度におきましても財政調整基金を活用いたしまして、人間ドック等に要した費用を４万円を限度として全額助成させていただきました。

歳入決算の主なものといたしましては、国民健康保険税は４億2,372万5,329円で、被保険者数が減少したことにより前年度比5.4％、金額にして2,426万1,325円減少しております。県支出金は19億2,635万6,657円で、被保険者数減に伴う保険給付費の減により普通交付金が減少したことで前年度比マイナス2.1％、金額にして4,060万2,720円減少しております。繰入金は２億3,756万3,795円で前年度比11.9％、金額にして2,535万8,103円増加しております。繰越金は1,631万4,842円で前年度比57.9％、金額にして2,247万4,434円減少をしております。

次に、歳出決算の主なものでございますが、保険給付費は17億9,746万8,432円で、被保険者数減に伴う医療費の減により前年度比3.2％、金額にして5,942万5,671円減少をしております。国民健康保険事業費納付金は７億1,177万1,078円で前年度比4.8％、金額にして3,251万7,084円増加しております。保健事業費は3,615万1,678円で前年度比4.4％、153万5,490円増加しております。諸支出金は2,462万5,770円で前年度比42.5％、金額にして1,817万3,230円減少しております。

以上が令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入総額は４億4,688万9,331円で前年度比9.1％、金額にして3,721万152円の増加、歳出総額

は４億4,436万3,958円で前年度比9.2％、金額にして3,736万5,976円の増加、歳入歳出差引額252万5,373円の黒字決算となっております。

歳入決算の主なものといたしましては、後期高齢者医療保険料は３億3,957万9,572円で、被保険者数の増加に伴い前年度比8.8％、金額にして2,757万8,108円増加をいたしております。

歳出決算の主なものといたしましては、後期高齢者医療広域連合納付金は４億2,635万1,644円で、保険料収入の増加に伴い前年度比8.7％、金額にして3,428万10円増加しております。保健事業費は1,053万3,177円で前年度比11.3％、106万8,518円増加しております。

以上が令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入総額が426万848円で前年度比29.5％、金額にして96万9,861円の増加、歳出総額は396万3,063円で前年度比159.4％、金額にして243万5,316円の増加、歳入歳出差引額29万7,785円の黒字決算となっております。

歳入決算の主なものといたしましては、諸収入の貸付金元利収入が109万7,181円で、対前年度比63.2％、金額にして188万6,709円減少しております。内容といたしましては、貸付金元利収入で繰上償還があったことと、住宅新築資金等貸付事業基金繰入れによるものでございます。

次に、歳出決算の主なものでございますが、公債費が198万4,704円、諸支出金で基金費へ197万円を積み立てております。

以上が令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定、保険事業勘定につきましては、歳入総額が21億7,566万951円で前年度比2.8％、金額にして6,053万1,395円の増加、歳出総額は20億6,669万1,718円で前年度比0.8％、金額にして1,724万7,219円の増加、歳入歳出差引額は１億896万9,233円の黒字決算となっております。

歳入決算の主なものといたしましては、保険料が４億3,159万8,000円で前年度比0.9％、金額にして394万7,900円の増加、保険給付費等の伸びにより、国庫支出金では４億5,963万4,883円で前年度比6.8％、金額にして2,930万4,628円の増加、支払い基金交付金では５億1,589万4,000円で前年度比0.7％、金額にして375万8,928円の減少、県支出金では３億3,657万7,398円で前年度比5.2％、金額にして1,501万1,544円の増加、繰入金では３億9,895万15円で前年度比6.8％、金額にして2,542万8,776円の増加となっております。

歳出決算の主なものといたしましては、保険給付費では、介護サービス等諸費が伸びたことにより18億6,350万3,362円で前年度比1.9％、金額にして3,433万2,703円の増加、地域支援事業費では、介護予防生活支援サービス事業費等の利用が多くなったことにより8,258万4,450円で前年度比2.9％、金額にして235万6,326円の増加、基金積立金では3,266万7,000円で前年度比60.5％、金額にして5,001万1,000円の減少となっております。

次に、介護サービス事業勘定につきましては、歳入総額が914万7,044円で前年度比19.5％、金額にして149万5,718円の増加、歳出総額では887万9,571円で前年度比21.8％、金額にして159万1,623円の増加、歳入歳出差引額は26万7,473円の黒字となっております。

歳入決算の主なものといたしましては、サービス収入で878万3,662円、前年度比19.7％、金額にして144万7,751円の増加となっております。

歳出決算の主なものといたしましては、サービス事業費で827万9,571円、前年度比18.5％、金額にして129万1,623円の増加となっております。

以上が令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入総額が５億4,562万4,245円、前年度比16.6％、金額にして１億872万5,512円の減少、歳出総額は５億4,562万4,245円、前年度比14.2％、金額にして8,995万81円の減少、歳入歳出差引額はゼロ円となっております。これは、令和５年度から地方公営企業法の適用により、水道事業と同様に公営企業会計方式を導入するための打切り決算によるものでございます。

歳入歳出決算の主なものといたしましては、下水道使用料で２億3,196万1,310円で前年度比17.8％、金額にして5,031万4,240円の減少、繰入金では１億5,651万3,854円で前年度比6.8％、金額にして998万2,850円の増加、町債では１億1,910万円で前年度比33.5％、金額にして5,990万円減少をしております。

歳出決算の主なものといたしましては、下水道事業費では２億1,495万6,180円で前年度比12.7％、金額にして3,138万2,424円の減少、公債費では３億3,066万8,065円で前年度比12.3％、金額にして4,633万2,657円減少しております。実施いたしました公共下水道事業といたしましては、公共下水道未普及対策事業として、汚水管渠築造工事を北上牧地区で、下水道ストックマネジメント計画に基づく汚水管渠改築工事を片岡台地区でそれぞれ行っております。また、今後における管渠の老朽化対策として、下水道ストックマネジメント計画に基づき調査、診断業務を葛城台松里園地区で実施いたしました。

また、令和４年度の公共下水道普及率は97.6％、水洗化率は94.8％となっております。

以上が令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定につきましては、令和４年度末の給水人口は１万8,326人で、前年度比285人の減少となり、年間総配水量につきましては194万393立方メートルで、前年度比３万4,277立方メートルの減少となっております。有収水量につきましては184万6,717立方メートルで、前年度比３万7,048立方メートル減少し、有収率につきましては95.2％となっております。

次に、収益的収支につきましては、まず、収入では、給水収益は前年度比11.9％、金額にして4,815万8,791円の減少になりましたが、これについては、コロナ禍での住民生活に配慮し、９月から12月までの４か月間の基本料金を免除したことが主な要因となっております。この基本料金の免除に対しましては地方創生臨時交付金3,927万7,575円を活用し、事業収益では428万8,585円増の４億3,756万6,690円となっております。

また、事業費用につきましては、前年度に対し281万3,077円増の４億80万3,237円となり、差引き3,676万3,453円の純利益となっております。

一方、資本的収支につきましては、収入額1,309万6,000円に対し、支出額１億8,427万8,727円となり、１億7,118万2,727円の資金不足となっております。この不足分につきましては、水道事業会計に留保された資金で補塡をいたしております。

また、建設事業におきましては、服部台明星線配水管布設工事を実施いたしました。

以上が令和４年度上牧町水道事業会計決算の概要でございます。

令和４年度も前年度同様、全ての会計で黒字決算となっております。監査委員の意見を付して報告させていただきます。

以上のとおり案件を上程いたしております。いずれも重要な案件でございますので、慎重にご審議いただき、認定、議決、同意賜りますようお願いを申し上げ、招集のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◇

◎議第２号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　招集者の挨拶が終わりましたので、引き続き議案の審議に参りたいと思います。

日程第４、議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定め

る条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてご説明いたします。

この条例の一部改正につきましては、国の子ども・子育て支援交付金の対象となる放課後児童健全育成事業の内容について定める通知（放課後児童健全育成事業の実施について）の改正が行われたことに伴い、条例の一部を改正するものでございます。

それでは、改正内容についてご説明いたします。

現行の条例において、放課後児童健全育成事業、学童保育を行う者は、支援の単位ごとに研修を修了した放課後児童支援員を２名以上配置、ただし、その１名を除き補助員をもってこれに代えることができると規定しているところとなっておりますが、このたびの改正により、研修計画を定めた上で、採用から２年以内に研修を修了することを予定している者は放課後児童支援員とみなして運用できるように改められています。本町で実施する放課後児童健全育成事業は現時点で公立､私立含め現行の条例の規定どおりとなっておりますが､今後、支援員の成り手不足、高年齢化などにより将来において支援員の安定確保に支障を来すおそれもあることから、改正を行うものでございます。

条例附則第２項中の「この条例の施行の日から令和２年３月31日までの間」、これを「当分の間」に改め､「令和２年３月31日までに」を「その者の研修計画を定めた上で、放課後児童支援員としての業務に従事することとなった日から２年以内に当該研修を」に改めます。

この条例は公布の日から施行するものといたします。

以上が今回の改正内容となっております。ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが､この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――

◎議第３号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第５、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育

事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてご説明いたします。

この条例の一部改正につきましては、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和５年法律第58号）、いわゆる第13次地方分権一括法が令和５年６月16日に公布され、その中で、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものでございます。

それでは、改正内容についてご説明いたします。

これまで、指定都市及び中核市の長は、認定こども園の認定または認可をしようとするときは、都道府県知事への事前協議が必要とされ、また、認定または認可後に改めて申請書の写し等を送付する必要がありましたが、手続の効率化と事務負担の軽減を図るという観点から所要の改正が行われております。

改正内容については、指定都市及び中核市、都道府県の事務に係る内容となっており、本町の事務に直接関係を及ぼすものではございませんが、法律第３条第11項が繰り上げられる改正となったことにより、この法律の第３条を引用規定している当該箇所について項ずれが生じることになるため、条例における第15条第１項第２号中の「同条第11項」を「同条第10項」に改めるものでございます。

この条例は公布の日から施行するものといたします。

以上が今回の改正内容となります。ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎議第４号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第６、議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について説明いたします。

補正予算（第４回）の内容につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。

よろしくご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第５号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第７、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）についてご説明いたします。

令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）の補正内容につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。

ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第６号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第８、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）についてご説明いたします。

令和５年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）の補正内容につきましては、先ほど町長よりご説明させていただいたとおりでございます。

ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――

◎議第７号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第９、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）についてご説明いたします。

介護保険特別会計補正予算（第１回）の内容につきましては、先ほど町長より説明をさせていただいたとおりでございますので、ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――

◎議第８号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第10、議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）についてご説明いたします。

今回の補正予算（第１回）の内容につきましては、先ほど町長よりご説明させていただいたとおりでございます。慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第９号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第11、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）についてご説明いたします。

今回の補正予算（第１回）の内容につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。

慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第１０号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第12、議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の

締結について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

教育部長。

○教育部長（松井良明）　議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結についてご説明いたします。

令和５年度一般会計当初予算にて計上をさせていただきました上牧第一町民テニスコート改修工事につきましては、令和５年８月９日執行の入札の結果、契約の相手方が決定し、同10日付で工事請負仮契約を締結しましたので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年３月条例第５号）第２条の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

それでは、今回の契約の概要についてご説明させていただきます。

入札の方法につきましては、指名競争入札でございます。

工事の期間は、議会の議決を得た日から令和６年２月29日までとしております。契約金額につきましては5,493万4,000円で、うち消費税及び地方消費税に相当する額は499万4,000円でございます。

契約の相手方は、大阪府大阪市住吉区住吉３丁目17番５号、株式会社西岡代表取締役、西岡修吾でございます。

当該請負契約の内容説明は以上でございます。

続きまして、当該工事の概要について説明をさせていただきます。

工事の場所につきましては、上牧町大字上牧1782番地、上牧第一町民体育館に隣接をするテニスコートでございます。今回改修を行います上牧第一町民テニスコートにつきましては、昭和56年に新設して以来、これまではコート面の劣化の状況に応じて随時、当該コート面の部分的な改修により機能保全に努めてまいりましたが、このたび、ご利用いただく方々の安全確保と快適かつ良好なスポーツ環境の整備を目的として、コート面全面にわたり現状と同様のハードコート仕様による改修に加え、当該テニスコートの外周フェンス及び側溝のやり替えを併せて行うものでございます。

なお、本工事の工事期間中におきましては、現にご利用いただいております皆様方へのご不便やご迷惑といった影響を最小限にとどめるという観点から、当該工事請負業者との十分な協議、調整による適切なスケジュール管理の下、円滑な工事進捗を図ることとしているところでございます。

本議案に係る提案理由の説明は以上でございます。よろしくご審議賜り、議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

ここで暫時休憩とし、再開は10時40分とします。

休憩　午前１０時２７分

再開　午前１０時４０分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第１１号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第13、議第11号　上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

副町長。

○副町長（阪本正人）　議第11号　上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任についてご説明いたします。

現固定資産評価審査委員会委員の川本克己氏が今回、任期満了となりますので、引き続き同氏を選任いたしたくご提案するものでございます。

なお、川本氏の経歴につきましては、お手元の配付の略歴のとおりでございます。ご同意賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。本案を原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり同意することに決定いたしました。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第１２号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第14、議第12号　教育委員会委員の任命について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

副町長。

○副町長（阪本正人）　議第12号　教育委員会委員の任命についてご説明いたします。

現教育委員会委員の暁　公美氏が今回、任期満了となりますので、引き続き同氏を任命いたしたくご提案するものでございます。

なお、暁氏の経歴につきましては、配付の略歴のとおりでございます。ご同意賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。本案を原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり同意することに決定いたしました。

◇

◎認第１号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第15、認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第２号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第16、認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第３号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第17、認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第４号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第18、認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第５号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第19、認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第６号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第20、認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（中川恵友）　認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。よろしくご審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎認第７号の上程、説明

○議長（遠山健太郎）　日程第21、認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について、これを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定についてご説明いたします。

今回の決算内容につきましては、先ほど町長より説明させていただいたとおりでございます。慎重審議の上、認定賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　説明が終わりましたが、この件につきましては議案熟読のため保留し、次に進みます。

◇

◎選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

○議長（遠山健太郎）　日程第22、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について、これを議題といたします。

職員に依頼書の朗読をさせます。

○議会事務局長（森本朋人）　上総第107号。

令和５年８月22日　上牧町議会議長　遠山健太郎殿。

上牧町長　今中富夫。

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行うべき事由の発生について。

令和５年10月２日付で、上牧町選挙管理委員会委員及び補充員の任期が満了しますので、速やかに選挙を行われたく、取り計らっていただきますようお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　上牧町選挙管理委員会委員及び補充員は、令和５年10月２日に任期が満了となります。よって、地方自治法第182条第１項及び第２項に定められておりますとおり、議会が委員及び補充員の選挙をすることになっております。なお、定員はそれぞれ４名で、

任期は４年であります。

お諮りいたします。

委員及び補充員の選挙の方法については、地方自治法第118条第２項の規定により、指名推選にしたいと思います。指名の方法については、議長が指名することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、議長が指名することに決定いたしました。

まず、選挙管理委員会委員については、小谷洋子君、小林三紘君、西田久美子君、濱野進君、以上の方を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま議長が指名しました方を、選挙管理委員会委員の当選人と定めることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました４名の方が、選挙管理委員会委員に当選されました。

次に、補充員について行います。

選挙管理委員会補充員には、第１順位、高木雄一君、第２順位、村井映子君、第３順位、永井　實君、第４順位、稲葉広志君、以上の方を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま議長が指名しました方を選挙管理委員会補充員の当選人と定めることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました４名の方が選挙管理委員会補充員に当選されました。

―――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――

◎決算特別委員会の設置及び委員の選任について

○議長（遠山健太郎）　日程第23、決算特別委員会の設置及び委員の選任について、これを議

題といたします。

お諮りいたします。

令和４年度決算案件については、委員会条例第５条第１項の規定により、６名で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託して審査したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、決算案件については、６名で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託し審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

委員の選任について、どのような方法ですればよろしいでしょうか。

（「議長一任」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　議長一任という声がありますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　異議ないようですので、私のほうで選任させていただきます。

暫時休憩いたします。

休憩　午前１０時５２分

再開　午前１０時５２分

○議長（遠山健太郎）　再開いたします。

先ほど設置されました決算特別委員会の委員の選任については、委員会条例第５条第２項及び第７条第１項の規定により、１番、石丸議員、２番、氏原議員、３番、竹中議員、７番、竹之内議員、８番、牧浦議員、９番、服部議員、以上６名の方を指名したいと思います。

ご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名いたしました６名の方を決算特別委員に選任することに決定いたしました。

決算特別委員会におかれましては、委員長、副委員長を互選の上、報告願います。

それでは暫時休憩いたします。

休憩　午前１０時５３分

再開　午前１０時５５分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開いたします。

◇

◎決算特別委員会正副委員長の互選結果について

○議長（遠山健太郎）　決算特別委員会の委員長、副委員長を互選いただきましたので、ご報告申し上げます。

決算特別委員会の委員長に服部議員、副委員長に石丸議員であります。よろしくお願いします。

◇

◎議第２号から議第１０号、認第１号から認第７号の委員会付託

○議長（遠山健太郎）　お諮りいたします。

ただいま議題となっております議第２号から議第10号、認第１号から認第７号については、お手元に配付いたしました議案付託表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託し、また、一般質問については理事者側の答弁を含め、１人１時間以内とすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

よって、議案付託表のとおり所管の委員会に付託し、また、一般質問については１人１時間以内とすることに決定いたしました。

◇

◎散会の宣告

○議長（遠山健太郎）　以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

どうも皆様、ご苦労さまでした。

散会　午前１０時５７分

総務建設委員会会議録

１．日　　時　　令和５年９月４日（月）　午前１０時

１．場　　所　　３階委員会室

１．協議事項　　議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について

議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について

議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について

１．出席委員	委　員　長	上村　哲也	副委員長	東　　初子
	委　　員	服部　公英	康村　昌史	木内　利雄
		遠山健太郎		
１．理事者	町　　長	今中　富夫	副　町　長	阪本　正人
	教　育　長	松浦　教雄	総務部長	中川　恵友
	都市環境部理事	吉川　昭仁	住民生活部長	山下　純司
	健康福祉部長	青山　雅則	教育部長	松井　良明
	総務課長	丸橋　秀行	秘書人事課長	髙木　真之
	企画財政課長	中本　義雄	まちづくり推進課長	金﨑　恭彦
	建設環境課長	武安　康至	上下水道課長	南浦　伸介
	住民保険課長	和田　　暁	税務課長	木下　優子
	生き活き対策課長	林　　栄子	教育総務課長	辻村　　純
	社会教育課長	吉川信一郎	文化振興課長	野﨑　威志
１．事務局	局　　長	森本　朋人	書　　記	山口　里美
	書　　記	横田　大樹		

開会　午前１０時００分

○上村委員長　皆さん、おはようございます。総務建設委員長の上村です。

厳しい暑さも、かなり和らいでまいりました。しかし、日中はまだまだ厳しい日も続いております。あと少し皆さんの我慢です。しっかりと乗り切ってまいりましょう。

それでは早速ですが、定足数に達しておりますので、これより総務建設委員会を開会いたします。

初めに、理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　皆さん、おはようございます。

総務建設委員会に付託をされました議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、活発なご議論を頂き、全議案可決すべきものと決定いただきますようお願いを申し上げまして、ご挨拶にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○上村委員長　本委員会に付託されました議案はお手元に配付の次第のとおりです。順次、審議してまいります。

議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

東副委員長。

○東副委員長　皆様、おはようございます。東初子でございます。よろしくお願いいたします。

議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、上牧町一般会計補正予算に関する説明書を基に質問させていただきます。

歳入の４ページ、５ページのところですが、保健衛生費補助金10万円の奈良県がんとの共生に向けたアピアランスケア支援事業補助金の部分でございます。タブレットのほうに説明いただいているんですけれども、これは４月１日以降購入分から対象ということで、県の補助率２分の１で書かれております。現在、私の身の回りでも、このアピアランスケアに関しまして申し込んだということで、また決定されたというようなお声も頂いて、お喜びされている方もおられます。少しでもやっぱり助かるということでおっしゃっていました。現在の

申請の状況を、また申請に来られた方のお声などをお聞かせいただけたらというふうに思っております。お願いいたします。

次のページ、次は歳出の９ページですね。一般管理費の使用料及び賃借料132万円のところです。タブレットによりますと、一月一スペース4,000円の55台分ということで132万円というふうになっているんですけれども、また、職員の方もこれを１か月1,000円ということで書かれております。差額といいますか、集められた金額と賃借料の差額が出るんですけれども、それに関しまして、37万2,000円につきましては公共施設の維持管理費のために積み立てるということになっておりますけれども、この公共施設というのはどこなのかということと、維持管理というのはどのような維持管理なのかというようなところもお聞かせください。お願いいたします。

次に、21ページの住宅管理費ですけれども、町営住宅の使用料の還付金といいますか、何か重複で納入になったというようなことが理由で、このように過納分の使用料の還付を行うということになっておりますけれども、なぜ重複納入に至ったのかということと、町営住宅使用料が２件、また改良住宅使用料が１件、町営住宅駐車場使用料が１件というふうになっております。これは何世帯の分なのかというふうにお聞きしたいと思います。また、重複したということで、どのような方法でお支払いになられて重複に至ったのかというところもお聞かせください。お願いいたします。

この３つでございます。よろしくお願いいたします。

○上村委員長　それでは、順次、答弁をお願いします。

生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、現在どのような状況かということでお答えさせていただきます。現在５人の申請がございまして、４人の振込をもう終了させていただいています。今、申請の書類を１件受けまして、決裁で回っているところでございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。もう５人申請されているということで、補整具はウイッグと両方でしょうか。

○上村委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　ウイッグが３件と補整具が２件でございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。お悩みになられている方が少しでも助けていただけるというこ

とで、そういうお声も聞かせていただいております。広報かんまき「彩愛」のほうに、８月号でしたか、すてきなデザインの目を引く広報も入っておりまして、すてきだなと思って、お悩みの方が暗くならなくて希望が持てるというようなデザインでよかったかなというふうに思っております。ありがとうございます。もう既に５人ということで、また予算もちょっとあれかなというふうに思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、補正予算書の９ページにございます職員駐車場等賃借料でございます。充当先はどこかと、あと維持管理の内容という質問でございます。まず、充当先ではございますが、補正予算書の29ページにございます公共施設整備基金費のほうで充当をさせていただいているところでございます。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　どこの施設かというところでございますが、この部分につきましては、駐車場維持管理という形も含めた形で充当をさせていただこうというふうに考えております。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　ということは、これは使われる駐車場に対しての積立てというふうに考えてもよろしいんでしょうか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　主にその考えでございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　維持管理ということで、いろんな内容があると思うんですが、例えばどのような。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　まず、主に舗装関係です。もし状態が悪くなれば、舗装等の部分で使わせていただくというふうに考えております。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。草刈りとかということも含めてのことでしょうか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　その辺も総合的に考えてさせていただこうというふうに考えております。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　今、総務課長から答弁させていただきましたのはどこの施設かと維持管理、

どういった内容かという部分でございますが、今回は駐車場の分ということで、個人、職員から徴収させていただきまして、一部は土地を借りるということで賃借料を支払わせていただくということで、残りの分につきましては、各施設、職員がとめている駐車場も含めまして、全体的に公共施設の維持管理の中で使っていきたいというふうには考えているところでございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　全体的と申しますと、この駐車場に関してという意味ではなくなってくるということですか。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　そのとおりでございます。あくまでも駐車場をもし直す必要があるならば、駐車場を整備するときの事務に充てたりとか、各施設はかなり老朽化等もしておりますので、そういったときに財源というような形で、公共施設から基金のほうから取崩しをさせていただきたいと考えているところです。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　個人で集められたものが、そういう方向にというふうな捉え方になっているように思うんですが、私の捉え方はおかしいですかね。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　おっしゃっていただいているとおり、個人から徴収をさせていただき、一部、先ほども言いましたように借りる土地への賃借料という形で払わせていただいた差額につきましては、あくまでも駐車場等も利用させていただいていると。役場の公共用地の中に駐車場を使わせていただいているということもありまして、駐車場を始めまして、それだけ以外にも少し先ほども言いましたように施設等の老朽化等もございますので、そういったところへの財源というふうに考えているところでございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。全体的な、こちらも駐車場があるのでといういろんな方向に使われるというふうな理解でよろしいですかね。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　公共施設、職員が勤務している施設全てを対象の職員から徴収をさせていただいているということなので、あくまでも積み立てた基金につきましては、全ての施設の中で改修するときに使わせていただきたいというふうには考えております。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　説明書の21ページでございます。町営住宅の償還金及び割引料についてご説明いたします。今回還付に至りましたのは、使用料のほうが重複しておったのが判明いたしましたので、令和４年度で戻出できないということから、補正予算を計上させていただいてその部分をお返しするということで、今回補正に上げさせていただきました。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　ここに件数が書かれているんですが、これは何世帯分ということでしょうか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　町営住宅につきましては２世帯の方です。改良住宅につきましては１世帯で、町営住宅につきましては１世帯です。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　これは、１人の方に対する還付というふうなことになるんでしょうか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　３名の方です。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　支払い方法なんです。重複の納入に至ってしまっているので、何か支払い方法が別々だったとか、例えば窓口に２回来られたのであれば、いや、あなたは払われていますよというようなことの対応があるかと思うんですが、何か違う形だったというふうに捉えていいんでしょうか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったように、本人さんが窓口で今月納めていないと思ってお支払いしていただいていたら、その部分が重複、窓口とその月の部分、一番最初に12か月分チケットをお渡ししているんですけども、普通納付の場合でしたら窓口で納めていただくんですけども、その部分が納めたんかと、あと窓口へ来られたときにもう一度再発行できますので、その際に何月分っておっしゃったときに、その部分が重複して出してしまっているケースがございましたので、そういった形でお支払いされて、事務処理を行ったときに重複して納めておられたというのを発覚したんで、出納閉鎖後に使用料が重複しているというのが判明しましたので、令和４年から戻出できないということで、今回、その分をお返しするに当たって補正予算を計上してということになりました。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。これは、今のお話を伺いますと、窓口で２回ということですね。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　そういうことです。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　もう別のところで払われたというんだったらしょうがないなという考えもあるんですけれども、窓口に来られて、いや、あなたはもうお支払いになられていますよというふうなことが分からない状況にあるという判断でしょうか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　窓口で対応に当たって、その辺が不注意というか、確認できていなかったというのが現実であるかなと。その後、作業したときにそういうのが判明してということでございます。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　そうなんですね。そしたら、ほかにもこのような重複納入の可能性とかというのもあるんじゃないかという不安も出てくるんですけれども、再発防止のための手だてをしっかりと行っていただきたいと思うんですが。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　こういう事態を受けまして、係のほうでは毎月重複していないかということで、システムのほうでそういうような形のデータを出して確認するように、こういったことはないようにということで指示のほうはして、周りでチェックの管理体制を強化したいなと考えております。

○上村委員長　東副委員長。

○東副委員長　分かりました。以後もう再発がないような形でお願いしたいと思います。

以上でございます。ありがとうございます。

○上村委員長　ほかにございませんか。

服部委員。

○服部委員　おはようございます。服部です。よろしくお願いいたします。

まず、入のほうから款繰入金、項諸収入、区分の７ページ、雑入の部分で、損害賠償保険金1,491万円について資料を出していただいているんですけれども、この保険が出てきてありがたいんですけども、実際に町から補償してきた金額というのは総額で幾らぐらい払っていて、1,400万円の部分が返ってきていると思うんですけども、町から修理代金として支払った

総合計の金額をもう一度教えてもらいたいと思います。

その下、職員等駐車場代、先ほどの委員も聞いておられたんですが、職員の駐車場を新しく借りるということに至った、町民の方々が使われている駐車場が全然狭くなってきたという理由というか、それを町民の利便性を考えて駐車場を借りるというふうになったんですけども、その判断に至ったところの理由をもう一度、実際に町民の方はこれからずっと毎年負担していくんであるし､また職員の方も駐車料金を支払っていくということになりますので、実際のところ役場の前の駐車場が広く使いたいというふうに考えたほうが妥当だという根拠を教えていただきたいと思います。

それから､その下の町債の部分の第三セクター等改革推進債3,000万円減額、減額というか借換えで返された中身について、これはちょっといい話なのでもう一度説明しておいていただきたいということで説明のほうをお願いいたします。

それでは、出のほうで、次の９ページ、使用料及び賃借料のところの13財産管理費の使用料及び賃借料、公衆無線ＬＡＮ管理システムについての使用方法、資料は出ているんですけれども、もう一度町民の方がこれから利用できるというのを知らせていくためにも内容について説明してください。

それから、今のところの下のコミュニティバス運行費という形で、新しく巡回バスの運転が始まっているんですけども、新しく運行している運転業務委託料が発生しているんですけども、それによってどのぐらいの方が利用して利便性が高まっているのか。今始まったばかりなんですけども、運行してみてのイメージというか感触を聞かせていただきたいと思います。

それでは、次、11ページ、地方創生臨時交付金の部分のクーポン券発行事業、この事業も大切な事業で、これから始まるので、少し説明していただきたいと思います。

続きまして、ずっと飛びまして23ページ、学校適正化事業費、委託料、（仮称）新上牧中学校校舎新築実施設計業務委託料についての内容を説明してください。

それから、次に27ページ、学校支援向上事業費、備品購入費９万1,000円、少ない金額なんですけども、この内容について説明をお願いいたします。

以上ですので、よろしくお願いいたします。

○上村委員長　それでは、順次、答弁をお願いします。

服部委員。

○服部委員　令和３年７月１日午後８時頃というふうに説明があったんですけども、僕も覚え

ているんですけど、すごい大雨が降りまして、一気に雨が集中して、服部台１丁目のところに流れ込んで、次の日に大変なことになっているというので起きたのを覚えているんですけども、このときに支払われた補償とか工事費とか、幾ら修理費にかかったのか、その辺、聞かせていただけますか。

○上村委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、今回損害賠償保険1,491万ですが、令和３年度に事故が発生しましたので、そこからの流れを説明させていただきます。令和３年度において仮設水路の設置、そこの横のお宅の植栽、カーポートの撤去の仮整備を実施いたしました。それに伴い発生した金額でございますが、合計金額が2,736万2,500円でございます。令和３年度で詳細設計させていただきまして、その後、令和４年度に本格的な復旧に向けた工事を発注いたしております。それに伴い発生した金額なんですけども、7,737万4,954円となっております。そのうち、今回の1,491万円につきましては、沈下修正並びに立竹木の補償としましてこの金額が出ているというところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　およそ１億円近く補償して、1,400万円の保険金が出てきたという形になっているんですけども、1,400万円だけでも保険金が出てきてありがたいなというふうに思っているんですけども、あのときも思ったんですけども、事故が起きそうな箇所、あれは服部台の明星線の工事の途中で、今まで建っていた建物がなくなって、雨の流れる形が変わってきたというのは予想できたことなので、なるべくそういう災害が起きないように、今後ああいう事故が起きないような政策を取っていってもらいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。この件については、それで結構です。ありがとうございます。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、続いて雑入の職員等駐車場代でございます。これは経緯という質問。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　本当に実際駐車場が足りないのか。今後ずっと発生していきますので、こういった形で町からの持ち出し、職員さんからの持ち出しという形で積み上がっていきますので、この判断はこれで間違いなかったかなというふうな素朴な、間違いなく町民様のためになる事業だという形で判断していいのかというところを説明していただきたい。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　まず、駐車につきましては、以前職員のほうも利用させていただいたところでございます。職員のほうも会計年度任用職員のほうの雇用も増えてきておりましたので、住民の方の役場のほうに来られた方についての駐車場は確保できていなかったという現状がございます。その中で、住民の方から利用する際スペースがないという部分の意見を、困っているので何とかしてほしいという意見がございましたので、そのことを受けまして、本庁舎の中での駐車場を確保するという考えで、現在、役場の前になるんですけれども、かなりスペースを設けさせていただきましたので、その部分が職員の方々がとめるスペースが少なくなってきたことによりまして、今回所有地をお借りしてやっていこうというふうに考えたところでございます。ですので、今後また職員のほうの雇用が増えてきたときには、その辺も含めて今後の駐車場については考えていくというふうに思っているところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　よく分かりました。結構です。

次、お願いします。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、補正予算書６、７ページにございます第三セクター等改革推進債借換債についてご説明させていただきます。これにつきましては、平成25年度に旧土地開発公社の解散に伴う債務保証として借り入れました第三セクター等改革推進債につきまして、将来における公債費負担や経常経費比率の改善を目的といたしまして、3,000万円の繰上償還を実施したいと考えております。

この財源といたしまして、令和４年度において売却いたしました旧土地開発公社からの引継土地８筆の売却で積み立てた第三セクター等改革推進債償還基金の取崩し、それと普通財産の土地の売却収入等で積み立てております減債基金の取崩し、残り1,744万8,000円につきましては一般財源より支出をさせていただくと。1,744万8,000円の中には、今回補正計上させていただいております先ほど説明のあった損害賠償保険金1,491万円、こちらも活用させていただくというようなことになっております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　ずっと積み立ててきた減債基金とか、ほとんど取崩しということは、その辺りの分は全部ゼロになって、次からまた１から積み立てていっているということですね。減債基金とか、返していく基金を２つ取り崩したというふうに言ってはったんですけど、幾らか残っているんですか。

○上村委員長　暫時休憩します。

休憩　午前１０時３３分

再開　午前１０時３３分

○上村委員長　再開いたします。

企画財政課長。

○中本企画財政課長　まず、町債の第三セクター等改革推進債の減額3,000万円につきまして、再度説明させていただきます。これについては、繰上償還を実施させていただきますので、この3,000万円が必要がなくなったと申しますか、それに伴い3,000万円の減額をさせていただいておるというところでございます。

先ほどの財源の基金の取崩しのお話なんですけれども、今回繰上償還させていただくに当たって、基金の取崩しをさせていただいておりますので、今後についてはまた売却等があった場合に、減債基金あるいは三セクの基金のほうに積立てのほうをさせていただいて、また基金のほうがたまりましたら、繰上償還の財源に活用させていただきたいというようなことでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　取り崩したという意味が、取り崩したということで全部ゼロというふうに理解するのか､3,000万円にするために幾らかずつ取り崩したのかというところを知りたかったのと、第三セクターの3,000万円を返していく､繰上げで償還してこの間大分と助かるという話を聞いたので、もし繰上償還できる部分が残っているのであれば、もう少し返してもいいのかなと思って聞いているんですけど、その辺についてのお答えというのは聞きたくて、よろしくお願いします。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　この基金については、売却した部分、積み立てた分を返済しておりますので、今回売却した分を積み立てた分を財源に充てて、償還のほうに充てておりますので、先ほど申し上げましたように基金としては売却分はもうなくなっておるということでございます。また、今後売却等がございましたら基金に積立てをさせていただいて、また繰上償還の財源のほうに活用させていただくというようなことでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。売却して積み上がった部分だけは返したけども、減債基金とかはまだあるというふうに理解していいんですね。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　そのとおりでございます。

○服部委員　分かりました。次、お願いします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、補正予算書９ページにございます財産管理費の公衆無線ＬＡＮ管理システム使用料の内容でございます。公衆無線ＬＡＮを使うに当たりまして、その機器が必要でございます。その機器の使用料という部分でございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　説明をタブレットに出してもらっているのを見ながら聞いているんですが、今の答弁を聞いていますと、システムの機器の使用料という形で書いてあるんですけども、今後、毎月毎月支払っていくのはまた別で発生するんでしょうか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　この使用料につきましては、アクセスポイントという公衆無線ＬＡＮにどうしても必要な機器がございます。それの利用分という形で毎月かかってくる部分を、今回３か月分になるんですけれども、補正予算という形で計上させていただいているところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　少しは内容になるんですけども、１階ロビーで公衆無線ＬＡＮという形で書いてあるんですけども、１階ロビーのみになるんですか、庁舎全体に飛ぶようなことはないんでしょうか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　今、１階ロビーのみの公衆無線ＬＡＮ整備というふうに考えているところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　１階のみを考えているのはそれはそれで結構なんですけども、２階も３階も取り入れても、１回ＬＡＮ管理システムというのを取り入れて環境整備工事をすれば、２階、３階も安価な価格で使えるようになるのではないかなという簡単な個人的な考えなんですけども、その辺の説明をお願いします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　２階、３階まで公衆無線ＬＡＮを使用するとなりましたら、システム使用料

のアクセスポイントという部分がございます。この部分を設置していけば、２階、３階も公衆無線ＬＡＮが使用できるというふうになっているところでございますが、今のところ１階ロビーのみを公衆無線ＬＡＮの整備をするという部分になりますので、今回、１階ロビーのみをさせていただくという考えでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　今回の公衆無線ＬＡＮは、町民さん対象でサービスの向上という形で導入されていると思うんですが。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　まず、住民の方の利便性向上という形をもちまして、今回１階ロビーに公衆無線ＬＡＮを整備させていただくという部分でございます。２階、３階の部分につきましては、役場本庁舎につきましては避難所指定にはなっておりませんので、今のところはその部分も含めて整備はしていないという部分でございます。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　ちょっと補足のほうで説明させてもらいます。今、２階、３階という部分の分は使用しないのかという質問でございますが、２階、３階を住民の方に貸すスペースということは考えておりませんで、あくまでも２階、３階については住民の方々に窓口等の業務の中ではさせていただきますけど、今言うているロビーの部分のスペースと２階、３階の部分の目的は全然違っておりますので、あくまでも１階のロビーの中で、議会資料にもございます１回15分程度であるんですけど、そこへ来ていただくとＷｉ－Ｆｉが使えるよというようなことを考えておりますので、２階、３階をそういう場所とは町としては考えておりませんので、１階のみを場所ということでさせていただいております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。聞いておきます。

次、お願いします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、その下段にございますコミュニティバス運行費の巡回バス運行業務委託料で、新しく運行する中での感触というご質問でございます。この部分につきましては、以前まで昼間の運行時間を運行しておりませんでした。文化教室等を利用するのにかなり不便だという意見もお聞きしておりました。併せて、ほかの公共施設につきましても足がないという部分もいろいろご意見を頂いたところがございます。今回９月２日からになるん

ですけれども、昼間の運行の部分を開始させていただきますし、新しく道路が開通した部分につきましてもバス停の増設もさせてもらいました。あと公共施設、第一体育館、第二体育館になるんですけれども、その方たちの足という形でバス停も増設させていただいておりますので、利用のする方には利便性向上という部分も含めまして、かなり喜んでいただけるのかなというふうに感じているところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　第二体育館の前のバス停、私も確認させていただきました。第二体育館のバス停の利用者というのは、今のところどのぐらいの方かというのは分かりますか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　今回初めてでございましたので、まだその辺の集計等はできておりませんので、今後その部分につきましても集計等は出てくるのかなというふうに思っているところでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。ありがとうございます。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、補正予算書10ページ、11ページ、クーポン券発行事業費についてでございます。質問なんですけれども、こちらは財源振替を行っておるんですが、それについてのご説明をさせていただいたらよろしいですか。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　財源振替を聞いているんですけども、クーポン事業の開始とか、町民さんに送って発送は終わっていると思うんですけども、その辺の使い方の説明とかを町民の皆さんに分かりやすく１回聞いておこうかなと思って聞いたんで、よろしくお願いします。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　このクーポンにつきましては、委員お尋ねの発送なんですけれども、８月から発送させていただきまして、現在もう発送のほうは完了しておるというような状況でございます。使用に関しましては、９月７日から届いたクーポン券を使用していただけるということになっております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　うちの家庭にも届いておりまして、まだ先のやつが今送ってきて、なかなか使われへんなというふうに思っとったんですけども、町民全体の方に発送して、宛てというか家

庭がなくて返ってきたとか、クーポンが町民全体の方にきっちり受渡しができていたのかというところも聞かせてください。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　クーポン券は簡易書留というような形で発送させていただいておりますので、受け取りの方の印鑑が必要になってまいります。そこで、配達させていただいた際に不在等で役場のほうに戻ってくる分がございます。それについては不在通知のほうが入っておりますので、住民の方が窓口のほうに取りに来ていただいたり、また郵便局のほうが再発送等の手続をされたりというような状況で、今、戻ってきている分について整理のほうをさせていただいておるというような状況でございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。知り合いの方が、自分のところには来ていないという形で、役場まで取りに行かないといけないという話を聞いたものであるのと、あとどのぐらいの方が対象で残っているのかというのを知りたかったなと思います。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　今、ざっとなんですけれども、役場のほうに返ってきておるものといたしましては、約400通ほどが役場のほうに戻ってきているというような状況でございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　結構な金額になると思うんですけども、もし最後まで渡せなかった場合はそのクーポン券の金額というのはどのような対応、国に返すとか、町のほうでまた何かの形で使うとかどういう形で処理するのか教えてください。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　クーポン券に関しましては、受け取りに来られなかった分についてはもうそのままといいますか、使用することができませんので、その分は残ってくるということになります。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　使用せえへんかった分は支払わないということの理解でよろしいですか。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。クーポン券に関しては結構です。ありがとうございます。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、補正予算説明書23ページ、学校適正化事業費の（仮称）新上牧中学校舎新築実施設計業務委託料について説明申し上げます。今現在中学校の新築工事の基本設計のほうがおおむね完了してきていまして、そこで行いましたデザイン設計であったり、電気機械設計であったり、そういったものの詳細部分、実施設計部分に関するものやあと建築確認申請だったりという実施設計に関する費用となっております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　設計委託料が出てきて45億というような金額がはっきり出てきたというふうに理解する、そうじゃないんですか。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　今後実施設計を行っていって、また工事費というのは確定してくると考えております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。委託料についての交付金というか、国からの出てくる起債の割合とか、この辺の説明はできますか。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　今、有利な起債のほうの活用を考えておりまして、そちらは90％の充当に交付税の50％の算入を考えております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。これは結構です。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　補正予算書27ページでございます。上段にございます青少年健全育成事業費の学校支援向上事業費の備品購入費についてのご説明をさせていただきます。まず、この９万1,000円に関しましては、まきっ子塾の上牧第三小学校の２年生で使用する机２つの購入費でございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　細かい質問で申し訳ないんですけども、机２つというのは人数が増えた分というか、勉強に使う材料によって特殊な机であるとか、どういった形の。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　まず、まきっ子塾に関しましては、第三小学校については特別教室で勉

強のほうさせていただいているわけでございますが、少し細かくはなるんですけども、１学期については１年生がまだまきっ子塾は参加をされていないんですけども、２年生だけまきっ子塾を開始させていただいたんですけども、２年生の数が少し多くて、１年生で使っておられる予定の多目的室の机を一時的にお借りさせてもらって、１学期は２年生のまきっ子塾を運営させていただいていたんですけども、２学期につきましては１年生が始まりまして、人数でいうと18人追加になりましたので、図書室で使っていた机を１年生の２学期から開始をしますので、元へ戻させてもらった分の机でございます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。ありがとうございます。うちの孫も２年生で、上牧小学校のほうのまきっ子塾でお世話になっておるんですけども、大変ありがたい事業だといつも思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。私の質問は以上ですので、ありがとうございました。

○上村委員長　ここで暫時休憩とし、再開は11時です。

休憩　午前１０時５０分

再開　午前１１時００分

○上村委員長　それでは再開いたします。

ほかにございませんか。

康村委員。

○康村委員　10番、康村です。１点だけ質問させていただきます。

20、21ページの款６土木費の目６公共下水道費の節23投資及び出資金、131万7,000円が出資金という勘定科目で出ているんですけれども、公営企業会計、令和５年度から実施されていますが、この辺の説明をお願いします。

以上です。

○上村委員長　それでは、答弁お願いします。

上下水道課長。

○南浦上下水道課長　ご質問の出資金でございますが、下水道事業費の事業予算の４条予算、資本的収入の部分の出資金でございます。この出資金につきましては、一般会計からの繰入金の一部でございます。出資金につきましては、まず３条予算の収益的収入について他会計補助金でございまして、それも関連して繰入金を頂くものでございまして、この出資金につきましては算式がございまして、繰入金全体の額のうち下水道事業費から雨水処理負担金と

国庫補助金、それと企業債を差し引いた額、それと償還金元金から下水道使用料を差し引いた額、この額を足したものが出資金となりまして、今、出しております131万7,000円の増額となっているものでございます。

○上村委員長　康村委員。

○康村委員　ちょっとよく分からんのですけれど、この出資金というのは毎年度出てくるわけですか、今の計算式からすると。その辺、お願いします。

○上村委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　繰入金全体からの算式になりますので、この部分につきましては毎年発生してくるものでございます。

○上村委員長　康村委員。

○康村委員　分かりました。これで私の質問を終わります。

○上村委員長　康村委員の質問は終わりました。

ほかにございませんか。

木内委員。

○木内委員　木内でございます。何点かにわたって質問をさせていただきますので、回答のほうをよろしくお願いいたします。

まず最初に、説明書の６ページ、７ページ、入のところでございますが、そこに雑入がございます。雑入の中の４項目あるんですが、このうち３項目についてお伺いをいたします。

まずは、デジタル基盤改革支援補助金85万8,000円、これは出で17ページに保健衛生総務費委託料ということで出てきておりますし、なおかつタブレットの資料では、出の４で示していただいているんですが、資料によると、現行のシステムに係る費用との差異の洗い出しを行います。要は洗い出しだけのためで、システムの改善とかバージョンアップとかということではないんか､そこら辺のところをまず85万8,000円の性格について答弁を頂きたいと思います。

次に、ペガサスホールにある吸収式冷温水機における不適切行為に係るおわび金、私は長いこと議員をやらせていただいておるんですが、こういうふうな項目の入はなかなか見当たらへんかったなと思っとるんですが、これが2022年６月に新聞等で報道がありました。商売柄というか自分がやっとった仕事柄、大変興味深く報道記事を読んどったという記憶があるんですが、ちなみにこのことは川崎重工の100％子会社の川重冷熱工業が、社内的で2021年８月に発覚したと。これも顧客からの連絡で発覚したということなんですね。

今申し上げたように2022年６月に会社として公表したと。ばかにしとんのは38年間もこのことをやってきとったということが、川重みたいな大きな会社が何しとんのかなと思っておるんですが、そこでお伺いをするんですが、どういうふうにわびを入れてきて、謝罪をしに来て、なぜ10万円という金額に至ったのか。100万でも200万でも別に構わんかったんかなと思うんですが、何で10万やったんかなと。どういうような経緯で謝罪をしてきで、なおかつ10万に至った経緯について、まずお伺いをいたしたいと思います。去年６月に公表があったときに、うちのあれはどうなるんかなと思って不思議で至らなかったんですけども、やっとここで出てきたんでお伺いをするわけです。

それから、雑入ところの３点目、職員等駐車場代についてなんですが、これは恒久的にこの事業を続けるのかどうか。そこら辺のことですね。いやいや違うんやと、２年目をめどなんやと、もしくは今年度だけなんだというところについて、そこのところをまずお伺いをしたいなというふうに思います。

それから、飛びまして20、21ページです。そこにございます住宅管理費のうちの住宅管理費、まちづくり推進課、さきの委員からも少し触れられておられました。これの窓口はどこの課になるのか。入出金というか入金の管理をされている窓口はどこなのか。

それから、もう１点は入金、未入金の管理はどのようにされておるのか。まず、お伺いをするところでございます。

私の質問は以上でございますので、随時、答弁をお願いいたします。

○上村委員長　それでは、順次、答弁をお願いします。

生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、補正予算書の歳入の７ページ、デジタル基盤改革支援補助金についてでございます。資料にございますように、これは地方公共団体情報システムの標準化に関する法律というのが発せられまして、健康管理システムに係るもの、いろんなシステムを全国的にお使いなんですけれども、それをどのシステムでも差異がないように標準化するという形で、どういった項目が余計な項目で、どういった項目が足りていないのかというのを、今年度いっぱいかかって洗い出す作業でございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　要は単にそういった国の標準化に合わせるために洗い出しをするだけの費用が85万8,000円というふうに今回組んでいるということで、システムの改良とか、システムのバージョンアップとかみたいものは、次の段階だという理解でよろしいですか。

○上村委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　それでは、先ほどの補正予算７ページ、款20諸収入、項３雑入、目３雑入、節１も雑入、吸収式冷温水機における不適切に係るおわび金についての謝罪はどのようなのかという部分についてなんですけども、一応文書でおわびの文が届きまして、そちらの中に基準はないんですけども、業者のほうから機種の規格によって10万円という通知によって提示がありました。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　先ほども触れましたけども、2021年８月にある顧客、お客様ですね、からうちの冷凍機は冷房能力が足らんように思うんですがということから発覚したんですよね、新聞報道によると。本町のペガサスホールに関しましては、そこら辺の冷暖房能力に関してはいかがだったんでしょうか、お伺いします。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　使用に関しては影響ない形で使えていたという形で認識しているところでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　日本管財が管理しているように思うんですが、これはそういうことでよろしゅうございますか。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　日本管財は、そこら辺の冷房能力、暖房能力に関してはチェックは入っていないんでしょうか。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　年１回の点検の中で管理していただいているのと、使用についても日本管財のほうで､機械の使用のときにはいつもついてしていただいているところでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　報告書にはこうあるんですよね。2021年８月、川重の中日本支社の従業員が、顧客、お客様から、稼働中の吸収式冷凍機、つまりペガサスに置いてあるやつと一緒です。吸

収式冷凍機の冷房能力が不足している可能性がある旨の指摘を受けた。係る指摘を受け、当該従業員は吸収式冷凍機の冷房能力その他のデータの計測を行うとともに、川重の中日本支社のほかの従業員を通じて、品質保証部に対し、当該吸収冷凍機の試運転性能記録票を確認した旨、依頼したと。そして、中略ですけど、本件不適切行為が発覚したということになっとるんです。

だから、日本管財さんはどこまでの管理をなさっているのか。また、今、答弁できないと思うんで、できんねやったらしてくれたって構へんのやけども、今、答弁できないようであれば、今申し上げたように、日本管財が、冷房能力がカタログに載っている、もしくは性能表に載っている100％出ているのかどうか。もしくは、今読み上げたように、冷房能力が不足している可能性があるみたいなことが、ほかのお客様からは出てきているわけやから、日本管財はそこまでやっているのか否か。また、本町がそこまで発注しているのか否かやな。そこら辺についても今、答弁でけへんやろ。後日また、この議会中にお聞かせいただいたら結構かと思います。

それから、次に、10万円というのはどっから出てきたんだと。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　業者からの文書の提示の中で、上牧町に設置している該当機種は10万円ということで、文書で提示が来ました。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　いや、向こうが30万円と言うたら30万円なんですか。向こうが100万円というたら100万円なんですかということをお聞きしているんで、何で10万円なんだと。要は損害賠償をするにしたって何するにしたって基準があるわけでしょう、さっきの服部台のあれにしたって。だから、何で10万やったと。ほんで、10万で納得したから10万で解決したと思うんですが、メーカーの言うとおり10万やった。ほんだら３万円でも納得したんかと。100万円でもオーケーだったんかと。10万円は何でやねんとお聞きしとるん。

○上村委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　製造業者から、今回の不適切に係る法的責任が最長でも20年であり、免責と認識されており、これまで大変多くのお客様に長期間ご使用していただいておりますので、おわびの意として、今回についてはうちの該当機種については10万円という提示がありましたので、10万円を計上したところでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　これは、町長はじめ全部で10万円を納得したということでよろしゅうございますか。この経緯に関して、この10万円でええんかなといったようなことは、顧問弁護士等に相談はなさってないんでしょうか。

○上村委員長　教育部長。

○松井教育部長　この件について、顧問弁護士等への相談はしてはおりません。先ほど課長申し上げましたとおり、当町の設置からおおむね30年が経過をしておりますので、当町の見解といたしましては、いわゆる時効が完成しているということを前提に、町長とも相談をさせていただきながら、相手の気持ちは思いはかることは難しい部分はございますが、一定の誠意を見せていただいているということもございまして、10万円のおわび金を受け取るという方向で決定をさせていただいたという経緯がございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それはお聞きしておきますが、やはりこれはせっかく顧問弁護士がおるわけやから、10万円を持ってくるというのは、向こうはやっぱり悪いと思うとるわけや。それが10万円でいいのか、100万円でいいのかというのは、町長もそうですが、一遍顧問弁護士に10万円が妥当なんか。要は10万円が妥当かどうかいうのをきちっと我々にも、また住民にも分かるようにしてもらわんと、向こうが10万円と言うたから10万円というのは、私はちょっと違うのではないかなというふうに思っとるんで、これはここまでにしておきます。ありがとうございます。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、その下段にございます職員等駐車場代でございます。質問でございますが、今のところ利用につきましては、本庁舎、その他の施設に勤務する職員などで駐車場を利用する方からの徴収につきましては、継続的にしていくというふうに考えているところでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　だったら、おおむね恒常的に使用するという考え方でよろしゅうございますか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　そのとおりでございます。

○木内委員　結構です。じゃ、次。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　歳出の説明書21ページ、款６土木費、項４住宅費、目住宅管理費、

節の22の償還金、利子及び割引料、委員からのご質問で、入金等の窓口はどこが担当しているのかというご質問だったと思います。町営住宅の使用料の入金等の受取窓口に関しまして、まちづくり推進課の住宅係が執り行っております。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それじゃ、課長のところで入金の取り扱いしているということでよろしゅうございますか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それで、先ほど申し上げた後段の部分なんですが、入金、未入金の管理はどのようにされているのか具体的にお示しいただきたいと思います。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　町営住宅等の使用料につきましては、口座振替と窓口納付がございまして、窓口につきましては、納付書の部分を消し込みという形でデータを機械で入力して処理のほうをやっております。口座振替につきましては、金融機関から口座振替の振替明細というのが送ってきまして、それをまた同じように機械に一人一人の口座の消し込みを行いまして、そのデータを全部吸い上げて、その月の入金があったかどうかというのを月末ないし月初めに作業のほうをして、その方の入金があった、未納であるという形の作業のほうを実施しております。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　確認しておきますが、町営住宅使用料も改良住宅のやつも、駐車場のやつも全部、課長のところが担当だということでよろしいですか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　委員おっしゃったとおりでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それで、今の管理も課長のところでやられていた。下の徴収課みたいなところじゃなしに、入金あった、未入金の管理も課長のところでやっているという捉え方でよろしいですか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったとおりでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それじゃ､重複するのはおかしいじゃないですか｡パソコンのモニターを見たら、それは出てくるわけでしょう。違うんですか。

○上村委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　先ほど東委員からもご質問あった重複の部分でございますが、先ほどちょっと説明不足ということで、再度ご説明させていただいてよろしいでしょうか。先ほどの重複の部分でございますが、金融機関で口座振替をされまして、その部分が金融機関から引き落とした実績報告というのが時間差、時間が約10日ほどかかりまして、その間にひょっとしたら使用者の方が落ちていないというふうに思われて、払いに来られる部分が年度末等にそういった形で払われたというケースがほとんどの場合でございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　私は事務の詳細まで分かりませんが､決してこういうことがあってはならんので、チェック体制だけはきちっとされるように申し上げておきたいと思います｡住民も手間やし、あなたたちも仕事が増えるわけでしょう。だから、間違えがなかったら、こういう手間は要らんわけやから。そういうところは十分注意して、こういうことがないように申し上げておきたいと。

以上です。

○上村委員長　木内委員の質疑は終わりました。

ほかにございませんか。

遠山委員。

○遠山委員　議第４号　令和５年上牧町一般会計補正予算（第４回）について、皆さん、委員の方に質問いただきまして、最後になると思います。時間はちゃんと12時に終わるように頑張りたいと思うので、ご協力をお願いします。

皆様のご質問を聞いて、答弁を聞かさせてもらって、追加あるいは新たに聞きたいところが何点かありましたので、ご協力をお願いしたいと思います。

まず、５ページです。歳入の部分の奈良県がんとの共生に向けたアピアランスケア支援事業補助金ということで、東副委員長のほうから説明がありました。この事業については、ご承知のとおり第３回の補正予算で、今まで上村委員長と東副委員長が一般質問を通じてあった新規の事業ということで､先ほど東委員が通告した中で､１個だけ答弁を聞き漏らしたか、追加で３件、２件の話があったと思うんですけども、３件、２件の申請者の方で何か喜びの

声があったかどうかということがあったと思うので、その声がもしあったら教えていただきたいなというふうに思います。それが１個。

それと、実際の補助金は県の補助金だと思うんですけど、この補助金の説明を少ししていただきたいと思います。負担割合であるとか、たしか総事業費は県では240万円だと思うんですが、240万円をアピアランスケアの支援事業をやっている市町村で多分取り合っていくような形になっていくと思うんですが、その辺りの説明をお願いします。

そして最後に、この補助金、３回の補正予算で私も質問をさせてもらって、一般財源でありながら財源振替があり次第すぐに補正をしますということで今回補正をしていただいたものなんで、恐らく当町は一般財源でもこの事業は継続して実施をしていくことだと思うんですが、今回補助金がついて、今、県が知事が代わられまして、どんな事業になるかっていろいろ不透明な部分がある中で、来年以降補助金がなくなってもこの事業は当町として継続で実施する意思があるかどうか、その辺りの確認をお願いしたいと思います。

２つ目です。７ページ目です。職員等駐車場代、こちらにつきましては３名の委員の方が詳細に質問していただきましたので、追加の確認というところで、先ほど特に木内委員のところでありましたけれども、駐車場は恒常的、恒久的に使っていくということの中で、ご承知のとおり駐車場というのは借地借家法の適用を受けませんので、法律上はずっと使うという解釈が正直できないんですね。例えば貸主さん、今回好意で、安価で貸していただいたと思うんですけど、来月出ていってくれって言われたら出ていかなきゃいけない。これが駐車場の法律的なルールの中で、できるだけ恒常的、恒久的にというのは、職員の皆様にある程度負担を頂く形になるので、契約条項等でどのように恒常的にうたえるのかということを考えられているのか、その辺りを伺っていきたいなというふうに思います。

職員の方に駐車場代の負担を頂くということは、いろいろな意見があると思います。ある程度受益者負担という意味では理解するところですし、職員の方々が納得していただいているのであれば、それは甘受したいなと思うんですが、東委員の話もありましたとおり、余ったお金でほかの公共施設の整備に利用することについても、職員の方がご納得していただいているんであれば、それに敬意を表したいなというふうに思いますので、先ほどの質問だけお願いします。

出の部分です。９ページです。下から２つ目のところで公共無線ＬＡＮ環境整備工事ということで、これは服部委員から質問いただきましたけれども、こちらはそもそも場所が１階ロビーのみでという話だったんですが、この事業については、議員のほうからも議会のほう

からも公共施設のＬＡＮは設置してほしいという依頼がありながら、今回上がってきたところだと思うんですが、なぜ今回補正予算で上がってきたのか。こういう大きな事業ですと、本来当初予算であるべきだと思うんですが、今回補正予算で計上した理由というのは恐らくあると思いますので、その説明を頂きたいなというふうに思います。それで、あと財源のことについても伺っていきたいなというふうに思います。

続きまして、17ページです。17ページの真ん中辺、健康増進事業費、これは細かいところで申し訳ありませんけども､会計年度任用職員の人件費で栄養士さんの報酬が２万2,000円上がっています。当初予算では看護師報酬と歯科衛生士報酬が上がっていたので、栄養士さんが新たに追加になったというふうに私は理解をしたんですが、事業内容が変化あったかどうか、その辺りについてだけ教えてください。

そして、23ページです。学校適正化事業ということで、新上牧中学校の実施設計並びに地質調査設計の委託料が上がっていますけれども、こちらについては財源の説明、そして実施設計、タブレットにありますけれども、皆さんに喜んでいただけるように細心の注意を払っていきたい。大変ありがたいお話だと思うんですが、どのような注意を払っていただけるのか。

それで、３番目、今回の件というのは公適債、公共施設等適正管理推進事業債を使用するということなので、当町の公共施設の管理計画にも大きく関係してくることかと思いますので、管理計画また個別計画の見直しをどう考えているのか、その辺りについて教えていただきたいと思います。

最後、27ページです。項目に一切出ていないんですが、全員協議会で議論がありました上牧町スポーツフェスティバル、10月14日に雨天決行で第三小学校で開催されますが、今回追加の予算が計上されていないということは、恐らく当初予算の範囲のどこかの項目の中で実施をするかなと思うんですけども、どこの項目で実施される予定なのか。その辺りを伺いたいのと、全員協議会で議論がありました住民の周知、特に自治会への周知、これをどのように考えているのか教えていただきたいと思います。

早口で申し訳ありませんが、以上お願いします。

○上村委員長　それでは、順次、答弁お願いします。

生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、補正予算書５ページの奈良県がんとの共生に向けたアピアランスケア支援事業補助金のご質問について回答したいと思います。先ほどウイッグと補整

下着の割合のことで人数を違えて言ってしまいまして、総数は５人なんですが、ウイッグのほうが４名で、おっぱいに関する分では、胸のほうに関しては１件でございます。すいませんでした。訂正させていただきます。

窓口での皆様の声なんですが、広報を見ていただいて、結構広報が目立ったようで、お問合せを頂いて、ウイッグの値段とかを見ていますと、医療用ウイッグはとても高いです。30万とか20何万とかという請求書が出てきております。そんな中で、２万円ではございますが、とても気持ち的に助かると、何かちょっとほっとした気持ちになれるというお声は頂いております。

それと、次の質問ですが、奈良県の予算でございます。奈良県からの説明では、担当者とお話ししておりますと、自治体が補助した分の奈良県の要綱に該当する分の２分の１の負担をすると担当者からは説明を受けております。ただ、今、委員がおっしゃいましたように、この補助金が入った途端に始める市町村が増えてきているかなというのは私も心配しておりますが、今のところはそこまでしか聞いておりませんので、何とも言えない状況でございます。

それと、その後の話になりますが、これは町の体制のことでございますので、何とも私からは言いにくいんですが、担当課としては、これだけ喜んでいただいている、６月の議会に通って今までの間で５件も申請があったというのは、近隣の市町でもまれでございます。担当課としては、続けてまいりたいなと思っております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　全て答弁を頂きましたけど、特に最後の担当課としても続けていきたいと思っていますという力強い答弁が私は大変ありがたいなというふうに思っています。今お話がありましたけれども、10件の５件、５件の補正予算が上がって４件、１件ということで、もう50％の執行率になっているということで、もし追加が発生した場合には、いま一度確認ですけども、打切り予定なのか、補正予算の計上をする予定なのか、その辺り、もし考えがあるようでしたら教えていただけますか。

○上村委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　これも担当課の意見になりますが、ぜひ補正を上げてさせていただきたいと考えております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　議会としてっていいますか、一委員としてはそれは強く要望したいと思います。

もちろん財政課との協議があると思いますので、協議を見直して補正予算が計上されるようでしたら、そこで粛々と審議をしたいと思います。この件はありがとうございました。

次、お願いします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、雑入の職員等駐車場代でございます。この分につきまして、今後、土地の賃借料の契約を締結することになると思います。その中で、契約書の中の条文のほうにも明渡しというんですか、更新の部分が記載されると思います。今後進めていく中で、契約上にはあるんですけども、こちらも代替地を探していかないといけないというところもありますので、契約の相手方には事前に更新の旨がないようであれば連絡をしていただけるように話をしていかないといけないなというふうに考えているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　相手さんあってのことですし、今回は本当に恐らく貸主の方の好意ということを受けてのことだと思うので、法律上も絶対解約しないでくださいってなかなか言いにくい問題になっているんです。だと思うんですけども、予算単年度の原則というのがありますので、契約を５年、10年にするわけにもいかないし、この３月までの契約だと思いますので、その辺りを真摯に交渉していただきたいなというふうに思います。

先ほどの課長の答弁中で、今後の駐車場というのは考えていかなければいけないという答弁があったと思うんです。今回好意で貸していただけましたけども、職員の駐車場というのはこれから恒常的、恒久的に使っていくことの中で、ある程度駐車場の場所の確保というのはこれからも至上命題になるのかなと。個人的には、本来隣の新上牧中学校が整備されましたので、そこの中に駐車場がスペースできたら一番いいなと思ったんですが、ご承知のように計画を見たらどうしても難しいと。職員駐車場33台が精いっぱいだということの中で、今後少子化になりましたら、ちょっと危険な発言かもしれないですが、上牧小学校の上運とかその辺りもこれから考えていかなければいけないことだと思うんですけども、将来的な駐車場は今後も考えていくということでよろしいですか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　駐車場の選考につきましては、そういう考えで進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　1,000円という額かもしれないですが、職員の方々に負担を頂くので、恒久的に使

用できるように、貴課のほうでも考えていただきたいと思います。

では、次、お願いします。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、補正予算書９ページにございます財産管理費の中の公衆無線ＬＡＮ環境整備工事で、なぜこの時期だと、補正に上げたかという理由でございます。この時期に上げました理由といたしましては、昨年度、総務課のほうで地方創生臨時交付金を活用させていただきましてＬＧＷＡＮ回線の無線化の整備を行いました。その無線の状況確認後にフリーＷｉ－Ｆｉの整備を考えていたところでございます。この考えを進めていく中で、教育委員会のほうがただいま学校体育館にフリーＷｉ－Ｆｉの環境整備を進められております。総務課といたしましては、整備費用を少しでも抑えるという考えの下、教育委員会が整備していただいておりますシステムの一部を利用させていただいて整備をするという考えになりましたので、今回の補正という部分でございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　そこを逆にしっかり答弁していただいてよく分かると思います。向かいの中学校で、今Ｗｉ－Ｆｉの工事をしているので、そのシステムを一部利用すれば費用が安く収まると。なので、今回これを機にということで、１階のロビー部分の公共無線のＷｉ－Ｆｉの整備をしたという答弁だと思うので、であれば、すごい理解はできるかなというふうに思います。なので、次年度よりも、当初予算で今回、本庁舎１階のロビーでしたということだと思います。ありがとうございます。

少しでも費用を安くという意味の中で、よく見るんですけど、公共施設のＷｉ－Ｆｉ整備というのは、国・県等から補助金が出てくる場合があると思うんですね。今回は一般財源でということなんですけども、補助金の活用のほうについてはどういうふうに考えていらっしゃいますか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　この整備に当たりまして、補助金等の部分を探させていただきました。財源の中で、総務省のほうで無線システム普及支援事業費等補助金というものがございます。その補助金のメニューの中に公衆無線ＬＡＮ、Ｗｉ－Ｆｉの環境整備支援事業というのがございまして、その部分を調べさせていただきますと、令和４年度でこの支援事業が終わったという部分がありましたので、今回単独事業というふうになったという部分でございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　そこの部分には少し残念かなと。令和４年度で終わってしまっていると。だから、令和４年度までに整備していたら補助金が使えたということでは少し残念かなというふうに思うんですが、そこはもう過ぎてしまったことなのでしようがないかなというふうに思っています。財源については理解しました。

最後に、整備場所が今回本庁１階ロビーということなんですけども、先ほどありました２階、３階については、住民の方があまり使用しないからというお話がありましたけども、ちょっと話がそれますが、上牧町議会は最近タブレットに関する視察がすごい多いんです。タブレットを導入してすごいですねって言われるんですが、ほとんどの委員の中で聞かれるのは、Ｗｉ－Ｆｉはって言われるんですけど、いやＷｉ－Ｆｉはないんですって言うと、皆さん、えって言われるんですわ。ということで、皆さん、タブレットを使われていると思うので、２階、３階もＷｉ－Ｆｉの整備っていずれ必要だとは思うんですが、今後の公共施設のＷｉ－Ｆｉということで、本庁の２階、３階あるいは2000年会館等の整備計画はどのように考えていますか。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　本庁の部分につきましては、まずは今の整備を進めていく中で、ＬＧＷＡＮ回線の無線化もさせていただいておりますので、それで少し進めていきたいなというふうに思っております。全体的に本庁舎の中でフリーＷｉ－Ｆｉという部分がありましたら、今後状況を確認しながら、財源等もございますので、その辺を注視しながら検討は、研究も含めながら進めていきたいなというふうに思っているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ぜひお願いします。特に令和４年度で一旦終わってしまった補助金が、何か復活するような情報等がありましたら、積極的に活用するようにしていただきたいというふうに思います。

以上で結構です。

次、お願いします。

○上村委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、補正予算書、歳出の17ページの中ほどの会計年度任用職員人件費の栄養士報酬でございます。これは、骨密度検診を11月の半ばに予定しております。そのときに、骨密度検診自体は短時間で終わるものですが、そこですぐに皆様に栄養面からの保健指導、栄養指導をさせていただきたくて、この予算を取らせていただきました。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　本当に細かい質問で申し訳なかったです。骨密度検診の中で栄養に関する指導もしていこうということで御課のほうで考えられて、栄養士さんを新たに追加しようと、その報酬を２万2,000円追加しようという補正予算という解釈でよろしいですか。

○上村委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　おっしゃるとおりでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　理解しました。ありがとうございます。

では、次、お願いします。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、補正予算説明書の23ページ、学校適正化事業費の（仮称）新上牧中学校舎新築実施設計業務委託料の財源について説明申し上げます。こちらに関しましては、３つ目の公共施設の管理の在り方と関わってくるんですけれども、起債といたしまして公共施設等適正管理推進事業債のほうの活用を予定しております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　これはたしか全員協議会でしたっけ、説明いただいたとおりだと思うんですが、予算書の９ページを見ていただけますか。第３表の地方債補正というところで、学校適正化事業債ということで、これは事業債の名称ではなくて起債の目的ということでこういう記載をされていると思うんですが、ここにある学校適正化事業債というものが公共施設等適正管理推進事業債ということであるという認識でよろしいですね。

○上村委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　今、委員おっしゃいましたとおり、その認識で結構でございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　これは昔からこういう表記だったので問題ないと思うんですが、ぱっと見を見ると、できればここを起債の目的というよりも起債の名称のほうが将来的には分かりやすいのかなというふうに思ったので、これは意見として申し上げたいと思います。

ということで､財源については公共施設等適正管理推進事業債を使用するというところで、先ほど通告をした２番目と３番目を入れ替えたいと思います。公共施設等適正管理推進事業債を使うということなんで、公共施設の適正化ということが、学校の適正化よりもっと大きな事業が今回含まれていると思うんです。これにつきまして、将来的な公共施設の管理計画

であるとか、個別施設の管理計画とか、その辺りの見直しについてはどのように考えているかだけ答弁をお願いできますか。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　今回この起債を活用するに当たりまして、公共施設の延べ床面積の減少というのが要件になっておりますので、今回中学校の新築を進めるに当たりまして公共施設の在り方というのを併せて考えていった中で、上牧第二中学校の体育館が社会スポーツの場として活用をしていくというような計画になっておりますので、第二町民体育館のほうの機能をそちらに移転をして､公共施設のほうを管理していきたいというふうに考えております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　全員協議会で頂いたとおりだと思います。今回の件につきましては、令和８年度でしたっけ、新しい校舎というスケジュールを考えると、この年度内にどうしても実施設計を実施しなければいけないというところで理解をしたんですけども、そのスケジュールを度外視すれば、本来であればまず一番しなきゃいけないと思うのは、公共施設等管理計画と個別計画の見直しだと思います。そこの中で実際記載されていますけど、体育館については体育施設であり憩いの場でもあるし、避難所でもあるので、これからも維持管理を努めていくというふうに宣言してしまっているんです、上牧町は。

それを、今回、第二町民体育館を除却するということになってしまっている。まず、そこの改正を見直してから今回の事業推進債を使っていくというのが本来の流れだと思うんですが、今回は中学校の適正化の事業の年度の始まりは決まっていますので、学校のオープンが決まっているのは理解するんで、ここについては、公共施設等管理計画と個別計画は速やかに改定をしていただきたいというふうに思っています。しかも改定に当たっては、パブリックコメントに付すかどうかという、本来は付す案件だと思うんですが、パブリックコメントを付さなくてもいい除外対象理由に、喫緊な場合だったらやらなくていいって書いてあるんですが、喫緊な場合でも、公共施設等管理計画については、住民の方に町民体育館は大事なものだと思いますので、ぜひパブリックコメントには付していただきたいというふうに思っていますが、どうお考えでしょうか。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　今ご質問いただきましたパブリックコメントであったり、計画の見直しという部分でございますが､見直しにつきましては､遠山委員におっしゃっていただいたとおり、適宜見直しが必要になるというふうに考えておるところでございます。その他の施設におき

ましても、例えば令和５年度におきまして一部第５住宅の集会所ですか、除却というようなこともさせていただいておりますので、随時、適宜見直ししていく必要があるのかなというふうに思っているところでございます。

ただ、パブリックコメントにつきましては、今回につきましては、町長のほうでタウンミーティングで説明をさせていただくということをお話しさせていただいておりますので、その中で十分説明のほうは実施していきたいと思っているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　この辺りについてはいろいろ議論があることだと思います。町長がしっかりタウンミーティングでされるということを宣言されましたので、これは住民に対して直接話すという意味で大変有意義なことだとは思っていますが、一方で、タウンミーティングに参加できない方という中でこれに対して意見を申し上げたい方もいらっしゃると思うので、これをパブリックコメントに付さない理由というのが見当たらないと思うんです。その辺りについては、いま一度しっかり実は考えていただきたい。パブリックコメントに付さないなら付さないなりに、タウンミーティングももちろん大事です。それは本当にありがたい話です。それ以外の場でも何か住民の方から意見を聞けるような場は必要かと思いますが、どうお考えですか。

○上村委員長　総務部長。

○中川総務部長　今現在、総合管理計画であったり個別計画等についても随時、適宜各所管課において施設の在り方というのは検討していただいておりますので、一定限度、結果が随時出てまいりましたら、今おっしゃっていただいておるように、第二体育館につきましては現状を維持すると以前の計画ではなっておりました。今回については除却というようなことで大きく方針に変えておるところでございますので､大きく変わるような場合につきましては、そういった部分も含めて今後検討していきたいと思っているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　今回大きく変わることだと思うので、委員会の中で耳の痛いことを言いよったなということを頭の片隅に覚えていていただいて、これはこういうふうにしたほうがいいんじゃないかということの検討材料の１個にしてもらいたいなというふうに思います。ここはこれでとどめておきたいと思います。ありがとうございます。

では、３つ目、実施設計するに当たって、特に保護者であるとか生徒たちに喜んでいただけるような細心の注意、この辺りについてはどうお考えか教えてください。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　実施設計を進めるに当たりまして、今も行ってはいるんですけれども、学校の意見を聞きながらどんな校舎にしていくのか、また何が一番子どもたちにとっていいのかというのを意見を聞きながら進めていくことが大事かなと思っておりますので、安全対策に気をつけて、実施設計のみならず、この事業全体が統合してよかったなと思っていただけるような事業にしなければならないと考えております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ぜひお願いします。私のライフワークであります上牧町まちづくり基本条例の第６条に、未成年者のまちづくりに参画する権利というのがございます。今回の学校適正化、まさにこの権利を発揮するところだと実は思っています。子どもたちが自分たちの学校をどうしていきたいのか、実施設計を見たときに、子どもなんで図面を見るのは難しいと思いますけど、どんな学校にしたいのか、ぜひ意見をまちづくり基本条例の第６条に見合った形で、見合ったというか準拠しているんだよという形で、子どもたちの意見を取り入れていただきたい。取り入れるじゃない、聞いていただきたいと思うんですが、いかがですか。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　実施設計もそうなんですけれども、制服であったり、校名だとか校章であったり、いろんな子どもの意見を聞き入れながら進めてまいりたいと考えております。

○上村委員長　教育部長。

○松井教育部長　補足をさせていただきます。当然中学校は子どもたちのためにある中学校でございます。主人公であり、先ほど委員おっしゃっていただいたとおり、第６条に規定をする部分についての具現化であると、担当部長としては認識をしております。その部分について、子どもたちが自分の意見を聞いていただいたということは、自分の意見が通ったというようなとこら辺、要は町政に参画をするという意識の高まりにもつながっていくのかなという認識をしておりますので、そのような考え方の下、最大限子どもたちの意見を取り入れていくということを第一義に考えていきたいというふうに考えているところでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ありがとうございます。実は、今ここで生徒、児童と言わないで子どもって言ったのは実は理由がありまして、じゃどの子どもの意見を聞くかというと、これから学校を使っていく今の５年生、６年生の意見を聞くかなと思うんですが、私はそうではなくて、今の中学校１年生、２年生、３年生も聞いていただきたいんです。ご承知だと今の１年生、２年

生、３年生は、残念ながらと言ったら語弊があるか、今の新しい校舎は使えないですよね。使えないですけど、母校になるんです。なので、君たちの卒業する上牧中学校がどういうふうな形が理想なのかということで、今の中学生にも聞いていただきたい。それを避けるんではなくて､君たちは使えないかもしれないけど､君たちの後輩たちが使う学校ということで、子どもの範囲を広げるじゃないですけど、今のこの学校はこうなるんだよということを今の中学生にもぜひ投げかけていただきたいと思いますが、いかがですか。

○上村委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　そのように進めてまいります。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ぜひ、ありがとうございます。未成年者の皆さんが喜ぶまちづくりを進めていただきたいと思います。

　では、最後お願いします。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　まず、遠山委員のご質問でございますが、予算につきまして今までも町民体育祭の開催費を計上していたんですけども、今回は補正も対応していないので、どういうふうに費用を費やされるかというご質問だったと思います。先日、全員協議会のほうで議員の皆様のほうにご周知させていただきましたのは、本年度開催予定のスポーツフェスティバルについては、来年度町主催による町民体育祭に代わるイベントとして計画をしております。スポーツフェスティバルの試金石となることを認識しておりまして、本年度のスポーツフェスティバルはスポーツ協会の主催ということもありまして、共催でスポーツ推進員の協力により実施されているものですので、町は実施に向けた周知等に係る支援を行っていきたいと考えております。

　予算につきましては、スポーツ協会のほうに団体補助金を支出させていただいているのですが、当初の計画もスポーツ協会としてはスポーツフェスティバルをしますということで、その補助金の中で運用しますということでおっしゃっておりますので、今回は町のほうの主催ではありませんので、予算のほうは取らなかったという計上でございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　よく分かりました。当初予算の負担金補助及び交付金の中のスポーツ協会補助金66万2,000円、ここが予算計上されていると思うんですけど、その補助金の中でスポーツ協会の方たちがスポーツフェスティバルを実施していただくという認識で改めてよろしいですか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ありがとうございます。最後に、自治会の皆様等に向けての周知の方法等について教えていただけますか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　まず、全員協議会のほうで遠山委員のほうも早急に自治会のほうへの周知をということなんですけども、申し訳ありません。まだ承知はしておりません。ですが、今現在進行形で周知の方法を考えておりますし、自治連合会のほうへの周知も迅速に行っていきたいと思っております。各自治会のほうへは至急回覧であるとかといった対応を考えております。町のほうの周知の方法としては、ホームページ、ＳＮＳ等で迅速に対応していきたいと考えております。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　お願いします。改めて、全員協議会でも話がありましたけども、自治会の役員は本当に一生懸命ボランティアでやっていただいている中で、縄跳びの大縄の役を集めなあかんとか、リレーを集めな、今年はないらしいよ、いろんな議論が今、渦巻いている。多分ないと思うで、でもスポーツフェスティバルはやるらしい、そこにあるんちゃうかみたいな話になっていたらいけないので､なるべく早く周知をしていただきたいというふうに思います。よろしいでしょうか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　迅速に対応させていただきたいと思います。

○上村委員長　これで遠山委員の質疑を終わりました。

ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○上村委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○上村委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○上村委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

ここで暫時休憩とし、再開は午後１時からです。

休憩　午前１１時５９分

再開　午後　１時００分

○上村委員長　それでは再開いたします。

議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○上村委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○上村委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○上村委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決するべきものと決定いたしました。

議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

木内委員。

○木内委員　木内でございます。

上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、これは議第10号なんですけ

ど、これについて少しお聞きをいたしたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

落札金額が税込みで5,493万4,000円、ちなみにこれは令和５年度の当初予算で出てきておりまして、テニスコート改修事業費として7,377万9,000円ということで出てきております。そこで、落札率は何％でしょうか、まずお伺いをいたします。

そして、入札公表書というのがございまして、今タブレットで見とるんですが、入札公表書の中を見ますと、指名業者５者が明記されているところでございます。それぞれの入札金額、税込みで結構ですんで、それぞれ５者の入札金額をお伺いいたします。

まず、そこまで取りあえずお聞きしたいと思います。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　落札額というご質問でございます。落札率は74.45％でございます。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、上牧第一町民テニスコート改修工事についての入札の金額でございます。５者のほうで入札をさせていただきましたので、順次、説明のほうさせていただきます。まず１つ目、株式会社オアスコ様、入札金額が5,884万円、続いて奥アンツーカ株式会社近畿支店社様5,200万円、株式会社ニシオカ様が4,994万円、日本フィールドシステム株式会社大阪営業所、こちらにつきましては辞退となっているところでございます。続いて、旭体育施設株式会社様が6,080万円となっております。ただいまの税抜きでさせていただきました。税込みでもう一度説明させていただきます。申し訳ございません。それでしたら、税込みという形で説明をさせていただきます。まず、株式会社オアスコ様が6,472万4,000円でございます。続いて、奥アンツーカ株式会社近畿支店様が5,720万円でございます。続いて、株式会社ニシオカ様が5,493万4,000円でございます。旭体育施設株式会社様が6,688万円でございます。

以上でございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　まず、落札率が74.45％なんですね。つまり先ほど申し上げた予算額7,377万9,000円からいくと、これは税込みの話をしていますよ。差額が1,884万5,000円なんですね。ずっと全部つぶさに私も覚えているわけじゃないんですが、ここんところ、これだけ低い落札率というのはまれに見ているなという感じをしているんです。大抵が90数％で落札をされているにもかかわらず74.45％、まず、これについてなぜこうなったのかなというのをお聞きしたいと思います。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　まず、7,377万9,000円の予算で、設計金額として予定額としては7,377万7,000円でございますが、この設計金額に関しましては、令和４年度第一町民テニスコートの実施設計業務委託により、標準価格であったり、きちんとした要項、県の歩掛かり等もしっかりとした額で提出していただいた設計金額だと当課では熟知をしておりますので、落札74.5％というのは、落札された業者の方の企業努力があったのかなというふうには考えております。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　企業努力ということも当然あり得るんでしょうけども、あまりにも予算金額と落札金額が1,800万も下がるというのは、当初の積算自体に若干問題があるんじゃないかなというふうに私は思っているんです。だから、そこら辺のところはいかがなんでしょうかね。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　先ほど言いましたように、担当課としましては設計金額はきちっとした正しい数値を出していただいているものだと考えております。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　そこで、今一番高いところで税込みで6,688万円、これはこういうことでよろしいかな。旭何とかというところやかったかな。

○上村委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　旭体育施設株式会社様でございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　そこからしたって、やっぱり800万ほど差異が出てきていますね。だから、こうやってみると、当初の7,377万9,000円というのがちょっと高かったんかなというふうに感じざるを得ないなというふうに思っているんで、そこら辺のところをもうちょっとシビアにやっていただきたいなというふうには思っておりますが、よろしいでしょうか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　その辺もしっかりと把握のほうをさせていただきたいと思います。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　そこで、落札が5,493万4,000円で、当初予算では地方債で5,530万円、一般財源として1,847万9,000円、これはどういうふうに変化しますか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　5,493万4,000円の契約金額で地方債は4,120万円、これは充当率75％でございます。一般財源が残りですので1,373万4,000円でございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　ありがとうございます。この工事内容は当初予算に書いてあった範囲でよろしいでしょうか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　そのとおりでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　改修工事期間が令和６年２月29日まで、この間は今使っている人たちはどのようなことになるんでしょうかね。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　総務建設委員会の議案が通っていただいて議決されました後、本契約と切り替わるのが９月20日から予定なんですけども、令和６年２月29日までということで、工事期間中は使えないということでございます。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　それは、もう常時使われている方には周知されているという理解でよろしいですか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　様々な団体の方々へは改修工事をしますよという周知はさせていただいているんですけども、多く町民の方へはこれから議決後にしっかりと周知をさせていただきたいと考えております。

○上村委員長　木内委員。

○木内委員　この件に関しては以上でございます。ありがとうございます。

○上村委員長　ほかにございませんか。

服部委員。

○服部委員　服部です。よろしくお願いします。

今の同じ質問になるんですけど、常時使われている方々の意見というのは、幾らか聞いて取り入れているんでしょうか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　周知をさせていただいたときには、ご存じだと思うんですけど、かなり

老朽化しておりますので、改修されることについては大変喜んでいる声を聞いております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　コートの色であったり、硬さであったり、後ろの周りというかプレーするときに邪魔にならないように、大きさは変わらないということですか。観客席とか横のサイドというのは、U字溝の工事というのは入っているだけで、面積は変わらないと、コートの広さについては変わらない。その辺の要望も聞いていないんですか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　コートの大きさは変更ございません。ただ、観客席については、そのまま利用できますので、そのままでさせていただきたいと考えております。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　最後になるんですけど、本契約になるときに、資材が上がっているという理由で法律的に何%か上げて契約するというのはあるんでしょうか。焼却場でも工期が遅れてきていて、資材が上がったら何%上がるというのがあるんで、本契約のときの金額もこの金額でやるということですか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　この5,493万4,000円で契約させていただきます。

○上村委員長　服部委員。

○服部委員　分かりました。いいものをつくってください。よろしくお願いします。

○上村委員長　ほかにございませんか。

遠山委員。

○遠山委員　遠山です。私も議第10号に質問させいただきます。

先ほど木内委員が当初予算との差異というのを言われたと思うんです。僕も最初びっくりして、別な工事かなと思ったぐらいだったんです。ただ、入札の公表のやつを見ますと7,377万7,000円だったので、同じ工事なんだなということで工事内容も同じなんだなというふうに思ったんですが、やはりそこはなぜそこまでの差異があったんだろうと僕も疑問に思いましたという中で伺いたいんですけども、工期の話です。当初予算の工期では７月から３月という９か月間の工期で工事をするという工期をしていましたが、今回のやつですと議会の議決を経た日ということで恐らく10月から２月ということで工期が６か月、要は３か月も短くなるんですね。これについても実施設計自体でどうだったのかっていう話もあるんですが、本来予算で７月から工事を始めようと思っていたということであるにもかかわらず、この時期

に入札に至った理由というのを教えていただけますか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　当初の予算を計上した工期については、情勢がいろいろ変わるおそれがあるので、少し長めに取らせていただいたのが現状でございます。この時期になったということにつきましては、今までの利用者がかなり先まで、先というか利用したいというお声もあったので、そこを少しずらさせてもらって、９月議会に議案として出させていただいたのが経緯でございます。

○上村委員長　遠山委員。

○遠山委員　ということで、６か月間の工期で対応ができて、資材の搬入云々という話は別ですよ。２月29日をもって工事が終わって、３月からはきれいなコートで使っていただけるという認識でよろしいですか。

○上村委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　そうでございます。

○上村委員長　遠山委員の質疑は終わりました。

ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○上村委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○上村委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○上村委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

ここで先ほどの木内委員の質問の答えが、文化振興課長、どうぞ。

○野﨑文化振興課長　先ほどの木内委員のほうから、業者のほうにどこまで委託しているのかという部分なんですけども、総合管理計画の中で依頼している部分は冷房能力の検査というのは入っていない状況で、空調の冷暖房の切替えの点検の中で、運転業務と同時に不具合や

異常の確認をしていただいているというのが現状でございます。

○上村委員長　以上で本委員会に付託されました議案は全て終了いたしました。

理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　全議案可決すべきものとご決定いただきまして、ありがとうございます。また、本会議でも議決を頂きますようお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶にいたします。ありがとうございました。

○上村委員長　これをもちまして総務建設委員会を閉会いたします。皆様、ご苦労さまでした。

閉会　午後　１時１８分

上牧町議会委員会条例第２７条第１項の規定により署名する。

総務建設委員長　　上　村　哲　也

文教厚生委員会会議録

１．日　　時　　令和５年９月５日（火）　午前１０時

１．場　　所　　３階委員会室

１．協議事項　　議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について

議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について

議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について

議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について

１．出席委員	委員長	牧浦　秀俊	副委員長	竹之内　剛
	委員	石丸　典子	竹中　亮造	安中　和
	議長	遠山健太郎		
１．欠席委員	委員	氏原　賢一		
１．理事者	町長	今中　富夫	副町長	阪本　正人
	教育長	松浦　教雄	総務部長	中川　恵友
	都市環境部理事	吉川　昭仁	住民生活部長	山下　純司
	健康福祉部長	青山　雅則	教育部長	松井　良明
	総務課長	丸橋　秀行	秘書人事課長	髙木　真之
	企画財政課長	中本　義雄	上下水道課長	南浦　伸介
	住民保険課長	和田　暁	生き活き対策課長	林　栄子
	こども未来課長	寺口万佐代		
１．事務局	局長	森本　朋人	書記	山口　里美
	書記	横田　大樹		

開会　午前１０時００分

○牧浦委員長　皆さん、おはようございます。委員長の牧浦でございます。

今日は、氏原委員が発熱のため欠席されます。本当に皆さん、体調には十分注意していただきたいと思います。

それでは、定足数に達しておりますので、これより文教厚生委員会を開会いたします。

初めに、理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　皆さん、おはようございます。文教厚生委員会に付託をされました議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、活発なご議論を頂き、全議案可決すべきものと決定いただきますようお願いを申し上げまして、ご挨拶にさせていただきます。よろしくお願いします。

○牧浦委員長　本委員会に付託されました議案はお手元の配付の次第のとおりです。順次、審議してまいります。

議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

竹之内副委員長。

○竹之内副委員長　おはようございます。竹之内剛でございます。よろしくお願いいたします。

議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、質問させていただきます。

タブレット等で示していただいておりますが、本条例の改正に当たっては、支援員の研修のことについてと理解しておりますが、少しその内容についてお聞かせいただけますか。

○牧浦委員長　順次、答弁をお願いいたします。

こども未来課長。

○寺口こども未来課長　この条例の支援員の内容ということでございます。資料のほうは、条例のナンバー１のほうでお示しさせていただいております。この条例に関しましては、支援員の単位ごとに、研修を修了した放課後児童支援員を２名以上、１名は研修を修了していない補助員でも可ということで配置しなければならないとされておって、今現在、上牧町におきましても必ず１人の研修を受けた支援員、持っている支援員と、補助員でも可なんですけれども、ほとんど今の方が支援員の研修を受けておられますので、それをもって保育に当たらせていただいておるところでございます。

○牧浦委員長　竹之内副委員長。

○竹之内副委員長　前回のときに、補助員でも構わないというふうに出されて理解しました。今回改正されるに当たりまして、支援員の不足であるのか、それともこれから不足になってくるのかそのような内容での改正になるわけですか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　現時点におきましては、公立、私立におきましても条例の基準をしっかり満たして運営をさせていただいておりますが、やはり支援員の成り手不足であったりとか、それから高齢化がやっぱり進んできております。将来的に支援員の安定確保をしっかり保つために、この機会に条例の改正を行わせていただいた次第でございます。

○牧浦委員長　竹之内副委員長。

○竹之内副委員長　理解できました。今、答弁の中で高齢化という言葉が出てきたと思うんですけれども、支援員という形でその時間に支援をしていただける方をターゲットにされると思うんですが、年齢というのはどのような形になっていますか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　上牧町の上小、二小、三小の学童保育におきましては、平均年齢でいきますと全てで60.1となっております。

○牧浦委員長　竹之内副委員長。

○竹之内副委員長　今60.1という年齢をお聞きしまして、年齢から見ると高いのかと思いますけど、まだまだ今の現在社会においては、年齢よりも安心してという形でしっかりと支援していただける方がおられればそれでよいと思いますし、これから不足になってくるのであることが予想されて、このように条例を改正されて支援員を増やせられると理解しました。

最後に、今、支援員の中で学童保育という形で答弁の中にありましたが、支援員の役割ですよね。学童保育だけなのか、それともほかに町内において役割をされているのか、その辺

だけお聞かせ願えますか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　今、学童保育以外に支援員さんが何か役割をされているかということですか。

○竹之内副委員長　はい。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　学童保育の支援員として雇用をしております。支援員をしていただいている方の中には、ほかの民生委員をされていたりとか、そういう方はいらっしゃいますが、一応雇用といたしましては、学童保育の支援員としてこども未来課のほうで雇用させていただいておりますので、掛け持ちでと言ったら申し訳ないんですが、ほかにいろんな役割をされている方も、ほかにもたくさんいらっしゃいます。

○牧浦委員長　竹之内副委員長。

○竹之内副委員長　詳しくありがとうございました。

私の質問は以上で終わります。

○牧浦委員長　それでは、ほかにございませんか。

安中委員。

○安中委員　安中です。よろしくお願いいたします。

もう孫の時代で、学童という、これが放課後児童健全育成事業というのが学童保育のことかというのを今、確認しようかと思ったんですけど、分かりました。ありがとうございます。

本当に分からないので教えていただきたいんですけど、今の人数というか、上牧町の学童の人数を教えていただけますか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　令和４年と令和５年８月現在とございますが、どちらのほうで。

○安中委員　現在で。

○寺口こども未来課長　令和５年８月１日現在ございます。上牧小学校が37名、第二小学校が41名、第三小学校が79名、公立の合計でいたしますと157名となっております。

○安中委員　ありがとうございます。結構な方が、やっぱり働いている方が多くなったのでお預けになるんだと思います。何時から何時までなんですか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　平日は授業の終了後から７時までと、土曜日、長期といたしましては、

現在は７時半から夜の７時までとなっております。

○牧浦委員長　安中委員。

○安中委員　ありがとうございます。その場合、７時、夜の場合、冬の場合は暗くなってきた場合は、お迎えに来られないお母様とかがいらっしゃいますでしょう。そういうときはどうなさっていますか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　学童保育におきましては、基本お迎えが必ず来ていただくというのが必須となっておりますので、時間内には来ていただくようにはしておりますが、都合によっては、交通渋滞であるとか、そういった場合はお電話を頂いて、必ず保護者の方に引渡しという形を取らせていただいております。

○牧浦委員長　安中委員。

○安中委員　管理はしっかりとされているということですね。では、安心ですね。はい、分かりました。

学童保育もしっかりと考えられて、こども未来課のところで、条例を変えてまで子どもたちのためにというところの部分は理解できました。

次に、こども未来課の中で看護師さんが少ないということを先日ちょっとお聞きしたんですけれども。

○牧浦委員長　安中委員、関係あることですか、条例のことに関してお願いしたいんですが。

○安中委員　ごめんなさい。その条例をつくられたことは、ほかの条例をつくろうという気持ちがおありになるか、じゃ、そういうことでお聞きします。ほかの部分でもきっと条例をつくるという、この条例が通るというか、通ることをお願いしているわけですから、ほかのことも考えてられるということは聞いてもよろしいですか。別なことなのかしら、町長がお手をお振りになったけど、駄目なのかしら。

○牧浦委員長　安中委員、今、条例のことなんで。

○安中委員　このことだけを聞けばいいわけで、その以外は駄目なんですね。分かりました。

以上です。ありがとうございます。

○牧浦委員長　そしたら、ほかにございませんか。

石丸委員。

○石丸委員　石丸典子です。

放課後児童健全育成事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正ということで、今回

は、これまで放課後児童支援員には認定資格研修の修了という資格が要るものを緩和するものです。私は、町においては、基本的に研修を修了した人を採用すべきだと思います。今回緩和されるんですけれども、まず、現状からお聞きをいたします。

上牧町においては、認定資格を修了された支援員の方と、それと資格がなくてもいける補助員という２つの体制になっていると思いますけれども、それぞれの学校においてどのような体制になっていますか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　令和５年度現在でよろしいでしょうか。全てで、現在、正職、任用職員を含めまして23名の指導員がいます。その中に、補助員というのが２名です。研修をまだ受けられていない方が２名いらっしゃるということです。上牧小学校におきましては６名の支援員さんと補助員さんが１名で、上牧第二小学校におきましては６名の支援員さん、上牧第三小学校におきましては７名と１名が補助員という形で運営させていただいております。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　現在においては全て基準を満たしているということで、資格をお持ちの方がほとんどですね。これが緩和されるということは、もともと配置基準を必修にされたのが３年前だと思いますが、２名の支援員が基準で、そのうち１名は補助員でも可能であるというのが、今回のこの条例の一部改正では、研修を受けていなくても、採用から２年以内に研修を修了することを予定している者を支援員とみなすということであれば、将来的に支援員の資格をない方ばかりになることもあるのではないかということで、緩和される危惧もあります。

現状では、上牧ではこのような体制ですけれども、一応これは国のほうでの改正に伴うことで、高齢化によって支援員の安定確保に支障を来すおそれがあることからということで、本当に規制緩和でいいのかということで大変疑問を感じます。町で万が一のためにということでの条例を一部改正するということでは、一応条例は定めても問題はないかも分かりませんけれども、私は町においては基本的に研修を修了した人を採用するという基本が大事だと思いますけれども、それはいかがですか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　計画を立てた上で、２年間の間に研修を受けるというのがありきの話になります。これまでも、補助員の方がいらっしゃったら研修は受けていただくようにしておりますので、これからもそこは続けていける限り続けていきたいとは考えておりますので、将来的に本当に一気に高齢化という形もあるんですけれども、何かの都合でお辞めになられ

た場合に運営ができなくなったということがないようにということなので、支援員の研修というのも、今しっかり基準というのは満たしてはいるんですが、これまでも必ず受けるようにというか、進めてはまいっておりますので、今後もそれは進めていきたいと思っております。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　分かりました。しっかり研修を終えた方を採用していくと、計画的にということで分かりました。お聞きをしておきます。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　研修を終えた方を採用というのではないんですけれども、保育士の資格であるとか、それから教員の資格であるとか、そういう方が支援員として雇用されて、そこで新たにこの研修を受けていただけなければ支援員の資格というのは取れないですので、雇用するときには、まだ支援員の資格を持っておられない方がほとんどだと思います。よそで学童保育を支援されていたとか、そういった方は支援員をお持ちなんですけれども、今までもそういった形で雇用して、事業の中で研修を受けて支援員の資格を取っていただいているということでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　分かりました。支援員であるというのと、幼稚園であるとか教員の資格はあるというのはまた別の問題ということで認識をしております。一般的に、幼稚園の教諭をされていた方であるとか、保育所で勤務されていた方というのが、ここに関わってこられる方が多いと思います。経験は十分お持ちだと思いますけれども、その上で支援員としての研修も受けていただいているということで理解いたしました。

以上です。結構です。

○牧浦委員長　それでは、ほかにございませんか。

竹中委員。

○竹中委員　竹中です。よろしくお願いします。

大体私が聞きたかったことは石丸委員に聞いていただいたんですけれども、さらにちょっとまた疑問に思う点をよろしくお願いします。

まず、研修なんですけれども、研修の期間あるいは研修に必要な費用、こういうのは助成等をしているんでしょうか。お願いします。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　県からの研修のご案内というのが来ますので、そちらのほうで申し込みさせていただいて、一応４日間の日程で、朝９時から４時、５時頃までということで４日間研修を行って、参加していただいております。

費用につきましては、テキスト代として、こちらのほうで費用を出させていただいております。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　研修内容はどんなことをされているんでしょうか。

○牧浦委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　研修科目といたしまして、放課後児童健全育成事業の放課後児童クラブの理解ということで90分の時間を３回、それから子どもを理解するための基礎知識、それから放課後児童クラブにおける子どもの育成支援､放課後児童クラブにおける保護者､学校、地域との連携、協力、放課後児童クラブにおける安全安心への対応、放課後児童支援員として求められる役割機能ということでそれぞれ科目が設定されておりまして、それを４日間全て受けていただいて、支援員の資格が取れるということでございます。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　よく分かりました。ありがとうございます。

質問は以上です。

○牧浦委員長　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決するものと決定いたしました。

続きまして、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関す

る基準を定める条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）に

ついて、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸委員。

○石丸委員　石丸典子です。

介護保険特別会計の補正の第１回ですけれども、ここでは１点お伺いいたします。

補正予算説明書では６、７ページですけれども、ここの地域支援事業費の中の任意事業費における成年後見制度利用支援事業費ということで、資料も出していただいておりますけれども、利用者が増えているということで、自分でいろいろ判断できない方が増えてきているというのは全国的なことですけれども、この資料でも出されていますけれども、上牧町での状況、町で分かる範囲でお願いしたいと思います。

○牧浦委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　予算書６ページ、７ページにおけます成年後見利用支援事業の部分の説明をさせていただきます。現在当町における状況なんですが、地域包括支援センターが設立されまして、平成18年になるんですが、そこから今年度の８月末までの首長申立ての利用

は、首長申立てで成年後見人を選任していただく利用の人数は13名でございます。ご自分の家族さん等で成年後見人の申立てをされて申請をされるという部分についての数は入っておりませんが、そういった方々のご相談にももちろん応じさせていただいております。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　13名ということは、これまでの比較ではどうですか。最初、どのように増えてきているという、本会議のときには利用者が増えていますということだったんですけれども、これに関しては、予算では報償費、弁護士の費用とかがありますけれども、今回補正の部分は需用費と役務費だけなんですけれども、増え方はどのような状況ですか。

○牧浦委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　毎年申請される、されないでちょっと差がございます。ここ３年ほどは利用の相談はありましたが、申請に結びつくとか、あと家族さんでやられているとかという部分で首長申立てをすることがなかったんですけれども、今年は首長申立てが続いておりまして、現在成年後見人を選任していただきまして、今１件申請をつい最近上げたところでございます。今後もお１人は予想されるところでございますので、今後、今年度ほかにもいらっしゃいましたら予算が足りなくなるということで、こちらの役務費、需用費ということで上げさせてもらっています。この申請は、切手代と収入印紙代が結構多くかかりますので、その分が足りなくなってきましたので、補正を上げさせていただいているところです。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　分かりました。ありがとうございます。

以上です。

○牧浦委員長　ほかにございませんか。

竹中委員。

○竹中委員　竹中です。よろしくお願いします。

説明の同じページ、歳出の６ページ、７ページですけれども、職員人件費です。秘書人事課167万9,000円マイナス、それから包括的支援事業のほうも336万4,000円減額となっていますけれども、これはどういう理由か。また、人員の異動があったのか、減らしたのか、人員は大丈夫か、その辺り、説明をお願いします。

○牧浦委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　まず、ご質問いただいております説明の７ページの167万9,000円の分でございますが。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　その下の包括的支援事業費の職員人件費のほうも減額は大きいですけれども、どちらもお願いします。

○牧浦委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　まず、167万9,000円の減額補正のほうでございますが、これは人事異動に伴う調整額ということでございまして、１名の管理職の異動に伴った分、一般職への異動の分でございます。それと、新規採用の分１名ということでございます。そして、あともろもろの人事異動に伴う調整額でございます。

そして、次の336万4,000円の分でございますけれども、これは当初４月新規採用予定であった職員が６月採用ということに、専門職になっておりまして、その２か月分の補正等々、１名のまた休職による、今復職しておりますが、それの調整額でございます。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　人事異動等に関わる減額ということですね。それに伴いまして、何か支障とかそういうことは特に起きていないということですね。

○牧浦委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　包括支援センターの職員といたしましては、現在、困難事例等たくさん日々対応しているところでございます。今は回っている状況でございますが、今後のことを鑑みますと、また体制的には整えていく必要があるのではないかと考えております。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　分かりました。また、頑張ってください。よろしくお願いします。

○牧浦委員長　それでは、ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸委員。

○石丸委員　石丸典子です。

令和５年度下水道事業会計の補正予算（第１回）についてお聞きをいたします。３点お伺いいたします。

まず、補正予算の９ページ、10ページのところに、下水道事業会計補正予算積算書というページでお聞きをしたいと思います。

まず、１つ目ですけれども、収益的収入及び支出のうちの収入で、下水道使用料で滞納繰越分が161万8,000円減額となっています。これは、令和５年度の当初予算に上げられている額がこの額です。予算時は過去５年分から見込んで計上したというふうな説明があったかと思います。減額の要因のご説明をお願いいたします。

２点目は、下水道会計は令和５年度から地方公営企業会計になりました。そこで変わってきておりますのが、他会計補助金という形で、これまでは一般会計からの繰入れというものがこういう文言で行われています。昨日行われました一般会計の補正予算でも、この項目で同じ額が拠出をするという形になっています。この他会計補助金というのは、本来は一般会計で担うべき事業または政策的に実施される事業などを対象に補助されるというものですけれども、今回の減額の要因をお願いいたします。

３点目ですけれども、13、14ページです。ここは資本的収入及び支出のところですが、この内容では、資本的収入において出資金で一般会計出資金ということで131万7,000円ということですけれども、これも同じ額が一般会計の補正予算でも、昨日、安村委員も質疑されておりましたけれども、資本的収支の不足額に対していろいろ活用して一定の額を一般会計から出資をすると、受けるということになっておりますが、これも分かりやすく要因などをお願いいたします。

以上の３つです。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　それでは、１点目の収益的収入におけます下水道使用料の減額について説明させていただきます。このことにつきましては、当初予算で上げておりました先ほど言われました滞納繰越分の161万8,000円のものでございます。公営企業会計では、滞納繰越分につきましては、予算書の７ページにございます貸借対照表の２、流動資産の中の（２）の未収入という項目がございます。この未収入の中に含めなくてはならないというところで、使用料収入を減額させていただきまして、未収金につきましては増額させていただいたというところでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　ということは、令和５年度の予算時にはそれに気がつかなかったということですか。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　はい、そのとおりでございます。

○牧浦委員長　暫時休憩いたします。

休憩　午前１０時３９分

再開　午前１０時３９分

○牧浦委員長　再開いたします。

上下水道課長。

○南浦上下水道課長　先ほど言われたそのとおりでございます。当初予算のときに未収金のところに入れておかなくてはならないのを、滞納繰越分という欄をそのまま特会の同じ形で載せてしまったというところでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　そしたら、会計上の記載の場所が間違っていたということですね。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　はい、そのとおりでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　公会計に移行するに当たって、何か委託料も使っていろいろ移行の予定がされていたと思うんです。その時点では指摘とかはなかったんですか。私たちも、私たちと言ったら駄目ですね。私は、貸借対照表であるとかいろんな見るのをちょっと慣れていないのでそこまでは見られていないんですけども、担当課のほうでも、公営企業会計になることが業務が変わって大変になるのでということで、かなりの委託料を入れて指導の下で行われていた

会計変更ではなかったですか。それにもかかわらず、こういうふうなことが起こっていたという、議会に全く責任はないとは言いませんけれども、やはり行政のほうは、その辺もうちょっと綿密にどこが変わるのかということは認識すべきではなかったんでしょうか。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　言われるとおりでございます。移行の際に、ちょっと言い訳にはなるんですけども、特会から公会計へ移行する際に、勘定科目をここに移動しなくてはならないという項目はすごく多いんですね。その中で会計士も入ってやっとったんですけども、この部分が間違っていたというところでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　財政全体の担当者なり町長なりの見解はいかがですか。

○牧浦委員長　総務部長。

○中川総務部長　今、石丸委員がおっしゃっていただいたとおりかと思っておるところで、確かに公会計移行に当たりまして、万全な体制でということで業者等に委託もさせていただきながら、速やかに移行できるようにということで事務を進めさせていただいておったところではございますが、担当課長のほうから少しご説明がありましたように、予算を組む中で少し見方に誤りがあったということで、財政とのヒアリングをさせていただく中でも、その分については今回ご指摘もさせていただいたんですが、誤りはあったということなので、正しく直すということで今回補正計上させていただきました。今後におきましても、十分また会計事務所の部分ですね。現状またそういうところとも委託等もさせていただいておりますので、その辺の連携の密を取りながら、再度、予算等をご審議いただく上におきまして誤りがあったということではあれなので、今後につきましてはそういったことのないようにさせていただきたいと思います。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　今後、このようなことのないようにというのはお聞きをしました。しかし、本来ならば、こういう誤りがありましたというのを議案説明会というのをやっていますので、こういう大事なことは聞かなくても、こういうことでしたということで先に報告いただいてもいいと思います。今回、誰も聞かなかったらすっと素通りになることではなかったですか。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　今後におきましては、こういった大事な部分を把握して、今言われているように議員懇談会で、説明会で事前に説明のほうをさせていただきたいと思います。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　よろしくお願いいたします。

　では、次の他会計補助金のほうをお願いいたします。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　他会計補助金につきましては、次の出資金の部分も関連してきますので一緒に説明させていただきます。昨日もちょっと説明させていただいたんですけども、まず、繰入金の全額の中から下水道事業費、その事業費の中からまた雨水処理負担金と国庫補助金、それと企業債を差し引いた額と、それと償還金元金から下水道使用料を差し引いた額を足した額で、まず出資金を求めるものでございまして、繰入金の全体から出資金を引いた額が他会計補助金という形になってくるものでございます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　この補正予算を見るに当たって、令和５年度の当初予算で資料をつけていただいたのを、昨日見させていただいたんですけれども、これまでの一般会計への補助金というのが、一般会計からの繰入れというものが、他会計への補助と補助金と３つぐらいに分かれていたんですけれども、補助金と出資金と雨水等に関する分と分かれていて、今回、そのうちの２つのことだということで理解したんですけれども、予算時に出ていたような資料を今後つけていただきたいと思います。不足分がそのまま一般会計から下りるというものではなくて、一定の計算式があるというところまでは理解できましたので、どれの分が当てはまるというのはなかなか難しいと思いますけれども、もう少し分かりやすい形で今後資料をお願いしたいと思います。

　今回の補正予算時の資本的収支で見ますと、収入と支出を単純に見ますと、資本的収支では約２億ほど収支不足という形になりますけれども、それを全て補塡するものではないということで、一定の剰余金などを活用して補塡してもなおかつ収入不足となる場合に、一定の計算式で一般会計から出資を受けるものだというばくっとした理解はしていますけれども、もう少し分かりやすい資料、説明ができるような資料を今後添付いただきたいと思います。いかがでしょうか。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　今後につきましては、分かりやすい計算式を擁した形の資料を提出させていただきます。

○牧浦委員長　石丸委員。

○石丸委員　以上で終わりますけれども、今回、予算時に本来なら変更すべき点が出てきたということは大きな問題だということを指摘させていただきます。

以上で終わります。

○牧浦委員長　それでは、上下水道課長、その辺、よろしくお願いいたします。

ほかにございませんでしょうか。

竹中委員。

○竹中委員　上下水道事業の会計の補正予算３ページ、質問させていただきます。

シンプルな質問なんですけれども、下水道使用料が161万8,000円減額補正されていますけれども、私の感覚かも分かりませんけれども、家が最近増えていますよね。2000年会館の奥だとか横だとか、あるいは桜ケ丘の消防署の裏だなの辺り、数十件増えているんじゃないかなという中で減額されているという、どうしてかなという、見込み違いがあったのかなという、その説明をよろしくお願いします。

○牧浦委員長　上下水道課長。

○南浦上下水道課長　この161万8,000円、先ほど石丸委員さんからもご質問の滞納分ですので、滞納分をこっちにこれを減額して、さっきも言ったように未収金のところに振り分けた部分の161万円の減、この金額がそういう理由でございます。

○牧浦委員長　竹中委員。

○竹中委員　分かりました。了解しました。

以上です。

○牧浦委員長　要するに下水道使用料は減っていないんだけども、こういう操作をしたためにマイナスで上げたということですね。

○南浦上下水道課長　そういうことです。

○牧浦委員長　そしたら、ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ほかになしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○牧浦委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で本委員会に付託されました議案は全て終了いたしました。

理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　全議案可決すべきものとご決定を頂きまして、ありがとうございます。また、ご指摘を頂きました重大な部分の協議ミスといいますのか、いつでも懇談会、全員協議会を開いていただいていろんなものを説明させていただいておりますが、重要な部分を軽く考えていたという部分もございまして、大変ご迷惑をおかけいたしました。今後、このようなことのないように、全職員、しっかりと周知させていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いをいたします。また、本会議でも、議決をすべきものというふうにお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

○牧浦委員長　これをもちまして文教厚生委員会を閉会いたします。皆様、ご苦労さまでした。

閉会　午前１０時５４分

上牧町議会委員会条例第２７条第１項の規定により署名する。

文教厚生委員長　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

決算特別委員会会議録

１．日　　時　　令和５年９月８日（金）　午前１０時

１．場　　所　　３階委員会室

１．協議事項　　認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について

認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について

１．出席委員	委員長	服部　公英	副委員長	石丸　典子
	委員	竹中　亮造	竹之内　剛	牧浦　秀俊
	議長	遠山健太郎		
１．欠席委員	委員	氏原　賢一		
１．傍聴議員	安中　和	東　初子	上村　哲也	康村　昌史
	木内　利雄			
１．理事者	町長	今中　富夫	副町長	阪本　正人
	教育長	松浦　教雄	総務部長	中川　恵友
	都市環境部理事	吉川　昭仁	住民生活部長	山下　純司
	健康福祉部長	青山　雅則	教育部長	松井　良明
	総務課長	丸橋　秀行	秘書人事課長	髙木　真之
	秘書人事課長補佐	中岡　篤	企画財政課長	中本　義雄
	まちづくり推進課長	金﨑　恭彦	まちづくり推進課長補佐	福本　年宏
	建設環境課長	武安　康至	上下水道課長	南浦　伸介
	住民保険課長	和田　暁	税務課長	木下　優子
	徴収課長	山本　敏光	福祉課長	俵本　大輔

	生き活き対策課長	林　　栄子	こども未来課長	寺口万佐代
	教育総務課長	辻村　　純	社会教育課長	吉川信一郎
	文化振興課長	野﨑　威志	会計管理者	松田　志穂
１．事務局	局　　長	森本　朋人	書　　記	山口　里美
	書　　記	横田　大樹		

開会　午前１０時００分

○服部委員長　おはようございます。それでは、令和５年度決算特別委員会を始めたいと思います。

まず、始める前に、氏原委員より、発熱のため、今日も欠席という連絡が来ております。皆さん、１人委員欠けておりますので、その分、しっかりと皆さんの力を合わせて、頑張って質疑を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、定足数に達しておりますので、これより決算特別委員会を開会いたします。

初めに、理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　皆さん、おはようございます。決算特別委員会に付託をされました認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について、認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について、以上、７つの決算認定を提出させていただいております。それぞれ活発なご意見、ご議論を賜り、前決算が認定すべきものと決定いただきますようお願いを申し上げまして、ご挨拶にさせていただきます。よろしくお願いします。

○服部委員長　本委員会に付託されました議案は、お手元に配付の次第のとおりです。順次審議してまいりますが、本日から３日間、決算審議を願うわけですけれども、理事者側より大量の資料が提出されております。審議をスムーズに行えるようにという趣旨で提出されておりますので、どうか委員各位におかれましては、こういったことを十分お酌み取りいただき審議していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それではお諮りいたします。今回、まず総括、それから入、出というように分けて審議していきたいと思いますが、皆さん、どうでしょうか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　認第１号　上牧町一般会計予算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

ここで総括からいきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

竹中委員。

○竹中委員　竹中です。どうぞよろしくお願いします。

総括ということで、私は、令和４年度の決算成果に関する報告書、不慣れではありますが、一通り目を通させていただきました。そこでの質問ですけれども、まず、２ページから３ページにまたがってですけれども、１つ目、歳入決算の状況のうち、令和４年度の歳入決算の構成比が、自主財源が34.1％、依存財源が65.6％、前年度に比べましたら5.7％の改善が見られるということですけれども、この数値はこれが十分なんでしょうか。約１対２の比率と考えられますけれども、平時の比率に戻ったと考えたらいいのでしょうか。財政の担当当局の評価をお聞きしたいと思います。まず、これが１つです。

それから、もう１つ、同じ報告書の12ページです。経常収支比率ですけれども、ここ数年来、資料によりますと５年間ぐらい、上牧町の経常収支比率が高止まりしているように見受けられます。下のグラフ、県内平均、あるいは類似団体、類似団体というのは同じくらいの規模の自治体と考えたらいいのでしょうか、類似団体平均に比べますと、数値があまりよくないように見えますが、義務的経費や固定的経費の支出が増えて、財政の硬直化が進んでいると考えたらいいのでしょうか。この点に関しましても、答弁よろしくお願いします。

私の質問は以上です。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　１つ目の決算成果、２ページ、３ページ等にございます款別歳入決算構成比の自主財源と依存財源についてというご質問でございます。

自主財源につきましては、金額にして５億6,769万1,000円、前年度より増えております。ただこの分、増やさせていただいた内容を少し見ていただきますと、２ページにございます自主財源の区分の中に、町税で4,600万、繰入金で１億2,500万、繰越金で３億6,200万という形で増減出ております。この分、町税につきましては、徴収強化等も取り組んでいただいているということで、前年度増によりまして、多く伸びております。ただ、繰入金につきましては、これが一概に増えると、自主財源の額としては、増えるんですけど、繰入金といいますのは、基金を取り崩していることになりますので、一概にこの金額が増えるといいのかというと、そういうことでもありませんで、できたら基金を取崩しせずに、当初予算でも財調、一定限度、１億から２億程度取崩しをさせていただいての予算計上となっているところでございますので、そういったものがなく自主財源が増えればいいんですが、繰入金が増えているということは、基金が減っているということにもなりますけど、また、逆に言うと、基金

を取り崩しても、しっかりする事業はしていくことにもなってはくるんですけど、ちょっとこの辺、なかなか考え方が難しい部分があるんですけど、次の繰越金につきましては、ちょうど令和３年度から令和４年度へ大きな事業、中継基地であったりとか、焼却場の解体であったりとか、コロナの加減で臨時給付金等を大きく繰越しをさせていただきましたので、その財源として、大きく繰越金が伸びておるところでございますので、この繰越金につきましては、そういった繰越し事業等の影響も少し受けているのかなというふうに考えておりますので、一概にこの１対２がどうというよりも、自主財源の確保には、町税、使用料等、町が直接集める財源ということでございますので、それについては、引き続き、徴収強化等をしっかりしてまいりたいと思っています。

２つ目の依存財源につきましては、多く見ていただきましたら、国権、県費、町債、あと、普通交付税剰余金等々があるんですが、普通交付税剰余金等におきましては、一定限度、国のほうで国税として集められた分を地方に案分、一定の算定式をもって交付されるものでございまして、国庫支出金、県支出金、町債につきましては、事業をするときに、しっかりと財源確保が基本であるということに基づいて事業をさせていただいておりますので、そういうことから、事業をするに当たって、そういう財源の確保をさせていただくと、国庫支出金、県費並びに町債についても、年度年度の事業によりましては増えてくるのかなということで、併せて、しっかりと事業をするときには財源の確保、もしくは、自主財源につきましては、積極的に徴収等の強化も図りながら、自主財源に努めていくというふうに考えておりますので、一概に数字が去年より増えているからどうということよりも、財政としては、中身がどうなのかということを十分把握をさせていただきながら、安定した財政運営に努めてまいりたいとは考えているところでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　了解しました。今後ともよろしくお願いします。以上です。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　次、12ページの経常収支比率の高止まりかというご質問でございます。これ少し、いろんな要件等、例えば、分母、分子ということで、経常的な一般財源、町税とか交付税であったりというのは、そういうものになるんですが、それに対して、経常的な事業のうち一般財源を使って事業している割合がどうなのかということで、経常収支比率というふうに表すことになっております。一応、経常収支の状況のところに、理由という形で、交付税と臨時財政対策債が減ったということで、分母、経常的な収入が減ったことによる影響と、

経常的経費につきまして、物価高騰や光熱費、高齢者の人口増に伴う医療費であったり、特別会計の繰出金、扶助費的なものが増加したことによって、前年度よりは3.2%、少し悪化したということでございます。令和３年度におきましては、コロナで、ペガサスフェスタであったり、プールであったり、一部事業を縮小もさせていただいたんですが、令和４年度から、感染対策を取りながら、事業を一部、復活、再開もさせていただいておりますので、そういったことも経常的な経費ということで、伸びている要因の１つにあるのかなと思っておるところでございます。

ただ、内訳につきましては、少し12ページにも書かせていただいておりますように、公債費が着実に償還をさせていただいていると思います。20.3%、少し、前年度よりは、0.1%上がっておるんですけども、これが今後下がっていくであろうと。今回、三セク債の借換えということで11月に予定もありますので、そういった部分も低利で借りれるような形で。公債費の償還についても、できる限り影響のある形での借換えの予定をさせていただいていると思っております。ただ、２つ目の扶助費につきましては、今後とも高齢者の人口が増えている等々のことで、やっぱり扶助費的なものが伸びてくるのかなと思っておりまして、この分については、今後、伸びる傾向にあるのかなというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　ご説明よく分かりました。そしたら、県内平均とか、あるいは類似団体平均に比べたら数値がもう１つよくないのはどうしてなのでしょうか。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　県内類似団体に比べると高いというのは、公債費の部分でございます。今、第三セクター等改革推進債を償還させていただいておるんですが、年間大体約１億8,000万公債費の償還が出ております。これによって、やっぱり大きな影響を、ウエートを占めているのかなということで、あと、残り25年で借入れの許可をもらっておりまして、今、10年目を終わりましたんで、残り15年間、引き続き償還をしていかなければならないんですが、年度の途中で何回か、後年度のことの指標的なこともございますので、不動産の売払いがあれば、できる限り、繰上償還をさせていただくということで、できる限り、三セク債の後年度への負担を少なくしたいということで、今回も繰上償還、先日の総務建設委員会でも、3,000万計上させていただいたところでございますので、この辺につきましても、指標的なものも十分、考えていきながら、財政運営に当たっていきたいと考えているところでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　よく分かりました。よろしくお願いします。

私の質問は以上です。

○服部委員長　それでは、総括についてほかに質疑ある方。

牧浦委員。

○牧浦委員　牧浦です。よろしくお願いいたします。

決算成果に関する報告書の７ページ、これは本当に答えにくい質問かも分からないですけども、地方交付税の個別算定経費のことについてお願いしたいんですが、これは総務省のほうから見える化が、現実的にしてくれているということなんですけども、多分、今回からうちの上牧町の総括表でも、人口減少等特別対策事業費、地域の元気創造事業費等々が記入されました。これについていまいちよく分からないのは、例えば、人口減少等特別対策事業費、マイナスの4,500万、これだけで言うと、なぜこの人口減少と対策費だけたくさん引かれるのかなと。交付税のことなんですけども、いろいろ総合的にというのは分かっているんですけども、わざわざこういうことにマイナスという数字が上がっているのか。そしてまた、まち・ひと・しごと創出事業費についても、成果の一層の反映も見込まれるということなんですけども、この辺自体、なかなか答えにくいかも分からないですけども、ちょっと理解がしにくい。交付税というのはなかなか難しいんですけども、こうやってぎらっとマイナス4,500万、例えば、元気創造事業費なんか4,200万足すと、これは、まち・ひと・しごとでもそうなんですけども、こういう成果はどういうふうに関連してくるのかなと。ざっとで結構ですので、お願いいたします。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　決算成果７ページの交付税の10億の算定経費についてのご質問かと思います。今、特に人口減少等の部分についてご質問いただいておるんですが、交付税の算定におきましては、一応、一定限度の、日本全国どこにおっても同じような行政サービスが受けられるということで、設けられている制度がございまして、一旦国に集められたものを交付税の算定式に当てはめて、基準財政収入額入と、需要額との歳出の不足額が交付税という形で交付されるものでございます。ですので、申し訳ないんですが、全て、上から言うと消防費から、総括関係経費等々といろいろございまして、この辺におきましては、国調人口を使ったりであったり、子どもの数であったり、学校であったりとかで、各費目ごとにいろいろ基礎数値を使われて、それに基づいて、例えば、人口が急激に減ったら、普通から減ったら、交付税

のもらえる額が少なくなるんですけども、急に下げると、財政的な問題もあるんで、急減補正係数とかということで段階的に下げたりとか、急に増えたから言うても、いきなりというわけでもなくて、個々にいろいろ補正係数等がありまして、国におきまして、交付税の交付税の予算の中で配分等が最終的に決まるということなので、なかなか各市町村で、そういった分は決定することができませんので、難しい部分はあるんですが、年度によって基礎数値というのは、去年は令和３年４月１日で、今度は令和４年４月１日ということで、その基準日も変わったりもしますので、一概に毎年同じ数字を使っているわけでもないので、そうなると、やはり年度によっては増減が少し出てきたりとかするのかなと思っているところでございます。特に今、国の総務省におきましても、交付税の見える化ということで、少し算定が分かりやすいようにということで、私が担当させていただいたときに比べると、今現在、かなり分かりやすい計算式で算入していただいているのかなと。特に、国が積極的に見える化とおっしゃっていただいていますので、国で今、力を入れております人口減少問題であったり、デジタル化ということが、交付税の中で見えるようにということで、少し個別算定経費の中から、分けると言うたらおかしいけど、別途計算式として挙げられているのかなと思っているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　部長、本当に答えにくいと思います。でも、我々からしてみれば、全国分の人口減少と言うたら、上牧町はこれだけ引かれるということは、全国の中でも上牧町は優秀やという認識なのかなと。それでいいのかなと。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　これにつきましては、少し先ほども説明させていただいたように、その基礎数値であったりとか、年度の基準日が、費目によっては違ったりもしますので、なおかつ、この人口等減少特別対策交付事業については、急な質問なので、細かい詳細は持ってないので、答弁ができなくて申し訳ないんですけど、その中でも一応、年齢であったりとか、少し前の人口と比べてどうなんやとかいう形の、今現在の人口ではなしに、少し前から比べると増えたのか減ったのか､女性の割合がどうなのか､年齢的にどうなのかというようなことを、人口対策なんで、申し訳ないですが、はっきりとはあれなんですけど、そういったことも総合的に加味されて算定をされると思いますので、日本全国、県内でも、一部人口伸びておられる市があるとは思いますけど、どちらかというと、人口減少はどこの市町村においても少し受けているのかなと。特に村の山間部等々におきましても、大きな影響があるのかなとい

うふうに思っておりますが、そういったことから、算定経費が大きく下がっている理由の中では、そういった計算式の中でのことになりますので、ここで具体的にというのは、ちょっと申し訳ないんですが。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　部長、答えにくいのにありがとうございました。本当に今、僕は勝手に思っているんですけれども、こうやってマイナスになっている部分は、上牧町の人口減少が緩やかではないのかなと思っております。またちょっと何か分かったら、時点でまた教えていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

○服部委員長　それでは、決算認定の入の部分から質疑を行いたいと思いますので、質疑のある方は挙手願います。

竹中委員。

○竹中委員　では、歳入に関する質問を２つさせていただきます。

報告書の２ページをご覧ください。歳入決算の状況の中の２ページの表ですけれども、その中の歳入決算の寄附金に関して質問させていただきます。ふるさと納税の返礼品を開始されて507万2,000円、４年度、316％の増加を見ました。約500万円と、寄附額自体はまだ大きくないと言えると思うんですけれども、返礼品を始めますと、確実に寄附額が増えているのが、この表から判断できると思います。ふるさと納税に関しましては、新聞などを見ていましたら、いろんな考え方があり、私も100％、今の状態がいいのかなという疑問を持つ面はあるんですけれども、こうやって返礼品を始めますと、確実に自主財源を増やせる可能性があるということも、去年の実績から分かってきています。町でも、魅力発信発掘事業をされているようですけれども、今後、さらに新しい返礼品の開発を促進して、積極的に寄附額をもっと増やしていく努力といいますか、それを進めていってはどうかというふうに思います。まず、質問の１つ目はそれです。

○服部委員長　決算書では、40、41ページの財産収入のところの寄附金ということで、質問されております。もう１点あるそうなので、もう１点はその決算書で、ページ数分かりますか。

○竹中委員　もう１つは、報告書の４ページです。町税の徴収率なんですけれども、町税の徴収率の低さがやはり気になります。監査委員の意見書にも出てきているんですけれども、そこには固定資産税の大型滞納が指摘されています。それで、具体的にはどこのどの法人の滞納が見られるのか。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　今、竹中委員から決算成果に基づく資料に基づいてご質問いただいておるんですけど、決算成果につきましては、資料的なものになりますので、多分、今おっしゃっていただいている分につきましては、予算書の16ページの款町税の項２の固定資産税の中の部分になるのかなと。それと、40ページの款17の寄附金の目の総務費寄附金になると思います。このページのほうで質問いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

○服部委員長　竹中委員、初めてのことなんで、今みたいな形になったんですけど、決算書のページ数で質疑してもらったほうが、詳しく答弁いただけますので、今回、２つの質問だけですので、まず、１つ目の16ページの今、質問されておる部分から答弁いただきたいと思いますので、その２点についての答弁でよろしいですか。

○竹中委員　そうしましたら、自分が予定していました資料は、この報告書に基づいて聞いていますので、ふるさと納税の寄附金に関しましては、41ページになるんですか。

○服部委員長　竹中委員、まず、16ページの徴収税の低かった話から答弁いただいて、それの後に、また竹中委員が調べてきたことで、また再答弁していただきたいと思います。

○竹中委員　それでは、先、答えてもらえますか。

○服部委員長　担当課、答弁お願いします。

徴収課長。

○山本徴収課長　徴収課でございます。固定資産税の大口の滞納につきましては、場所でございますが、服部台のレインボー西大和店でございます。徴収率につきましては、例年収納対策をかけておりますが、現在に至りまして、徴収率が上がってない状況にはなっております。今後の対策といたしましては、固定資産税の徴収率が上がるように、今後の動向も注視しながら取り組んでいきたいとは考えております。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　具体的には何という会社になるのですか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　こちらの会社は、ジョイハウス株式会社になります。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　そしたら、ジョイハウスが今も滞納が続いているということでしょうか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　滞納は続いております。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　そしたら、多くの納税者が、みんな一生懸命納税をしているわけですので、引き続き、徴収に努めていただきまして、頑張っていただきたいという。

　これ、素朴な疑問になるんですけれども、いつまでも納税しないというふうなことになりましたら、何か法的な手段等は考えておられるんでしょうか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　ジョイハウスなんですが、令和２年の12月に破産宣告されておりまして、現在、管財人がつきまして整理をしている最中でございます。管財人につきまして、今、服部台の物件なんですが、調整中の物件でございますので、今後はどういうふうな形で議会のほうにお示しできるかという段階に入っておりますので、今のところ、担当課としては、注視させていただくということしか言えない状況でございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　いろいろと苦労されること多いと思うんですけれども、ぜひ法的な手段も含めまして、徴収に努めていただきたいというふうに、これ、10年来ずっと続いているんですよね。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　そうでございます。

○竹中委員　大きな課題となっていると思います。決算の意見書を見ましても、ここにありますように、滞納者の現状を把握し、適切に処理する必要があるものと考えるというふうに課題を投げかけていますので、引き続き努力していただきたいと思います。

○服部委員長　住民生活部長。

○山下住民生活部長　今、竹中委員ご質問の件でございます。まず、徴収率、固定資産税、大型滞納がございまして、その部分で固定資産税の徴収率、かなり低くなっています。それに伴いまして、町税全体の徴収率も89.3％でしたか、県内でも非常に悪い状況でございます。

　続きまして、今、徴収課長のほうから説明ありました、大口滞納ございます業者なんですけれども、今、破産されまして、その整理に弁護士が動きまして、やっておられるところでございます。前年度につきましては、破産整理されまして、ある程度の配当はございました。900万ほどの配当はございましたけど、５年度につきましては、今のところ、まだ、動きもないというふうな状況でございますけども、徴収課におきましては、既に管財人弁護士と連絡を取っていただいておりますので、徴収するように努力しているところでございますので、また、何かしらの動き、ご報告できるようなことがありましたら、随時、議会に説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　よく分かりました。ぜひその方向で努力を続けてください。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書40、41ページにございます寄附によるまちづくり条例の寄附のところでございます。これのふるさと納税の返礼品についてのお尋ねだと思うんですけれども、ふるさと納税の返礼品につきましては、令和４年６月より、協力事業者を募集し、令和４年８月から取扱いを開始させていただいておるところでございます。令和４年度決算におきましては、667万7,000円のご寄附を頂いたということでございます。

そこで、委員の寄附金を増やす取組ということなんですけれども、現在、本町におきましては、その取組の一環といたしまして、特産品の開発及び改良に取り組む事業者に対しまして、開発され、または改良された特産品をふるさと納税の返礼品として登録することを条件に補助金を交付する事業、特産品開発補助金事業を行っておるところでございます。

また、令和５年度からになるんですけれども、より多くの方に上牧町を知ってもらうきっかけになればということで、令和４年度は１社のサイトにおいて、ふるさと納税の運営をお願いしておったところなんですけれども、令和５年度よりもう１社、サイトを追加させていただいて、今、２社で運営をさせていただいておるところでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　ぜひ頑張っていただきたいと思います。４年度に比べまして、まだ５年度途中ですけれども、増えていく見込みでしょうか。これについては、どうでしょうか。見込みで結構です。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　増えていく見込みとなっております。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　了解しました。また頑張ってください。私の質問は以上です。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

牧浦委員。

○牧浦委員　牧浦です。お願いいたします。

それでは、上牧町歳入歳出決算書の16ページ、17ページ、町税の今現在の差押え方法、差押え額について教えてください。

それと、固定資産税の大口滞納を除く徴収率を教えてください。

それと、同じページの町たばこ税、令和３年が10.1％伸び、令和４年も５％伸びているんですが、この内容を教えてください。

続きまして、18ページ、19ページ、森林環境税、環境譲与税、この基金について、当町の使途について聞かせてください。

そしてその次、利子割交付金、前年度も減少し、今年度も減少しています。今年度で言えば昨年度の半分になっていますが、これの内容を教えてください。

次、同じページの株式等譲渡所得割交付金、今年度、かなり減少していますが、この状況を教えてください。

それでは、24、25ページ、土木使用料の改良住宅について、前年度199戸で空き家が32戸でした。今年度はどうなっているのか。

それと滞納繰越調定額、システムが変わったのか分からないんですけども、今３分の１になっていますが、これの説明をしてください。

28、29ページ、民生費、国庫補助金の備考欄の住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業費補助金、昨年度より収入済額が5,000万ぐらい減っています。この理由を教えてほしいのと、最後に、現年と越年とあるんですが、これの説明をお願いいたします。現年と繰越しを教えてください。

44、45、ペットボトル有償入札拠出金、昨年度よりかなり減少していますが、どのような状況か教えてください。また、下のリサイクル収益金もお願いいたします。

それと46、47ページ、雑入で備考欄の電気利用効率化促進対策事業補助金、節電プログラムの促進事業の一環ですが、当町はどのような方向を行ったのか教えてください。

以上です。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　それでは、予算の款町税、目町民税、１個人分の差押え件数につきまして、予算書16ページ、17ページの差押え額の一覧表という形で、お手元の資料が、歳入ナンバー18－１、18－２にお示しさせていただいております。それに準じて説明させていただきます。決算書は16ページ、17ページでさせていただきます。それで説明させていただいてよろしいでしょうか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　それでは、預金のほうから順次説明させていただきます。

差押えの件数が、令和４年度、預金の差押えが82件で、金額が1,198万8,371円でございま

す。給与が、令和４年度の差押え件数が14件です。合計金額が119万1,600円でございます。年金が、差押えが３件でございます。金額が33万6,653円でございます。続きまして、生命保険なんですが、差押え件数が５件でございます。金額が173万9,100円でございます。不動産が６件で159万400円でございます。その他が差押え件数が９件でございます。これが210万9,078円でございます。

以上でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ご苦労さまです。またこれからも頑張ってください。ありがとうございます。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　それでは、固定資産税に移らせていただきます。固定資産税の大口滞納の徴収率の部分です。今、大口滞納部分につきましては約9.3％、ウエートを占めております。今、徴収率が89.3％なんで、それを加算すれば、98.6％に上昇するという形になります。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。先ほども答弁があったと思うんですけども、これの行き先というのはまだまだ全然。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　現在、管財人の弁護士とやり取りさせていただいておりますが、整理にちょっと時間がかかっているという連絡はいただいております。ただ、今後についても、どういう展開になるかというのは、まだ私どもには連絡は来ていませんので、さっきも申し上げましたように、注視させていただくしか方法はないのかなとは思います。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　今、課長おっしゃったように、注視するしかないと。それ以外のことは、今のところは何もないですね。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　今、管財人がついておりますので、こちらとしては、管財人の動向を注視するしかないのかなとは、当課としては考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。結構です。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　決算書16ページ、17ページ、町たばこ税について、令和３年度が調定の伸び

率が10.1％、令和４年度についても調定の伸び率５％ということで、それがどうなっているのかというご質問だったと思います。令和３年10月に、税制改正による税率の変更がありまして、令和３年度については、駆け込み需要で売上げ本数が増えたのと、その税率が上がったことによって、調定額も伸びたものと考えております。さらに、令和４年度については、売上げ本数自体が増えておりまして、これは全国的なことなんですけども、紙巻きたばこは減っているけども､加熱式のたばこが増えているということで､加熱式のたばこを加えると、全国的に売上げが増えているということになります。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。令和３年は、今おっしゃられたように、変更があってという理由があったからね。ところが、令和４年はもっと減るんかなと思っていたのにもかかわらず、５％も上がっていると。よく分かりました。ありがとうございます。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　18ページ、19ページの森林環境譲与税の使途についてのご質問だったと思います。森林環境譲与税の使途につきましては、令和元年、税制改正に伴いまして、森林環境譲与税の設立がされ、市町村が実施する森林整備等に必要な財源として充てられたものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　当町の使途について、今現在、使っているところはどこですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　森林環境教育の推進ということで、森林、林業、木材の普及活動に、町内の小学５年生の全クラスを臨海学校への研修費として使っております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　資料を見てませんでした。申し訳ない。これから、上牧町の考え方というのは、どのような考え方でいかれますか。例えば、片岡城址、里山づくり等々、それで結構です。それ、どうでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃっている部分につきましては、現時点ではどういうふうに進めていくかは未定でございますので、今後、いろいろ議論しながら、森林環境譲与税を使える項目があれば、そういった形で事業のほうは進めていきたいというふうには考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　この中に、使途と書いて施業放置林整備、そして里山づくりの推進、それが今、森林環境教育の推進、森林生態系の保全、人材育成、担い手の確保、木材利用の推進、これを見ていきますと、里山づくりぐらいが上牧町で一番使っていただけるんかなと思いますので、この辺、またよろしくお願いいたします。結構です。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　決算書18ページ、19ページ、利子割交付金についてです。去年も半分ほどになっていて、今年もまたその半分ほどになっているということでございますが、交付金の交付額は、それぞれの原資となる県の税収がどうだったかということが、主な理由になりますので、令和４年度の利子割交付金が減少したということは、令和４年中の県の利子割の税収額が減少したためと考えられます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そうですよね。ただ、本当に、前年度も今回も半分半分に減っていくから、何かほかのことがあったのかなということだったのですけれども、それだけということで、分かりました。ありがとうございます。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　同じページの株式譲渡所得割交付金が、令和４年度減少した内容についてなのですが、これも同じことでございまして、県の税収である株式譲渡所得割は減少したからということでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　これもほかの理由が何かあるのかなと思いましたが、違いました。

結構です。次、お願いいたします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　24、25ページ、土木使用料、住宅使用料の改良住宅の部分でございます。今現在の改良住宅の入居状況というご質問だったと思います。現在、改良住宅につきましては、総数199戸ございます。そのうち、空き家は34戸で、入居は165戸でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　今年度は空き家が２戸増えたということですね。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　それと、滞納繰越調定額が３分の１になっています。システムが変わったと思うんですけども、もう１回説明をお願いできますか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったシステムというのは、今現在、基幹システム、入れてやっておるのですけれども、システムが変わったから下がったというふうには認識しておりませんけれども。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ちょっと言い方が悪かったですね。この繰越調定額は３分の１になっている理由だけ教えてください。

○服部委員長　ここで10分休憩したいと思いますので、再開は11時５分。

休憩　午前１０時５７分

再開　午前１１時０５分

○服部委員長　それでは再開いたします。

牧浦委員。

○牧浦委員　先ほどはすみません。私の間違いでした。滞納繰越調定額なんですけれども、３％ほど増えているんですけれども、これは何件分のことでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　その部分につきましては、11件でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　昨年と今年ではどうでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　昨年は繰越分８件で､若干増えておるところが現状でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　福祉課長。

○俵本福祉課長　決算書29ページ、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金が昨年より減額していること、また、現年繰越しの説明でございます。こちらのほうにつきましては、入の資料49の１、49－２、50－１、50－２で示させていただいております。

まず、現年と繰越しから説明させていただきます。この事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、生活、暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に１世帯当たり10万円を給付した事業でございます。こちらの事業が、令和４年１月臨時議会で補正させていただきまして、事業実施が令和４年１月25日から、また、国の要綱の定めで、この事業は申請期間が令和４年６月30日ということになっていましたから、この分につきまして繰越して､今年度も事業をした分でございます｡これが繰越しでございます。

現年につきましては、さらに国は、この事業を拡充するため、先ほどは、令和３年度の非課税世帯に対して、給付金を10万円支給しなさいとなったんですけれども、事業の拡充で、令和３年度に受けられた方以外で、令和４年度の非課税世帯に対しても10万円を給付するように決めました。このことによって、また、これも令和４年の６月補正させていただいて、事業を実施させていただいた分が現年でございます。こちらの補助金につきましては、国が100％の補助をしていただいておりますので、令和３年度に、１世帯当たり10万円を払った世帯が2,262世帯で、２億2,620万の補助金を頂きました｡今年度につきましては､こちらの2,810世帯と4,990世帯に対して、10万円の補助金を上牧町がお支払いしていますので、国からもその分が補助金としていただいているので、100％の補助金を頂いたということでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　思い出しました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、決算書45ページ、ペットボトル有償入札拠出金の説明でございます。これにつきまして、前年度から減となっている内容でございますが、不燃ごみ中継施設の完成によりまして、日本容器包装リサイクル協会での取引が５月までとなりました。上牧町の取引量が減少したことと、業界に加入している全国の市町村の取引量が変動していることが要因でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そうでしたか。分かりました。ありがとうございます。結構です。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　次に、リサイクル収益金でございます。決算書45ページでございます。これにつきましては、アルミ、スチール、新聞、雑誌、段ボール、雑紙の売却による収益でございますが、これも前年度から減となっております。その減の理由としましては、単純に

処理量の減によるものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。これは各自治会でやっている分があるから減ったという分でもないんですよね。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　要因については、様々な要因が考えられると思うんですけども、それも１つの要因であるのかなと思っています。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。これで結構です。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書47ページにございます雑入の電気利用効率化促進対策事業補助金のことで、当町の行いというご質問でございます。当町の行いといたしましては、エアコンの温度の管理をさせていただきながらしたという部分でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。結構です。

私の質問は以上です。

○服部委員長　それでは、入の部分でほかに質疑のある方。

竹之内委員。

○竹之内委員　竹之内剛です。引き続き、歳入の質問よろしくお願いします。私の質問は２点あります。

まず、決算書24ページの款13使用料及び手数料、項使用料、目教育使用料におきましての施設社会教育使用料、備考欄におきまして、中央公民館136万5,010円、町立文化館600円、体育施設392万9,600円についての利用状況等の説明をお願いいたします。

２つ目です。44ページになります。款20諸収入、項３雑入におきまして、45ページの備考欄、上から11番目になります、巡回バス広告料18万8,400円につきましての状況の説明をお願いいたします。

以上２点になります。順次答弁よろしくお願いいたします。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　それでは、令和４年度決算書、25ページの右側の一番下部分でございます。町立文化館600円と体育施設に関しての利用状況という質問だったと思います。

まず、町立文化館に関しまして、600円でございますが、北上牧の文化館の会議室に、ヘップサンダル協会という方が会議を使うということでの、１時間300円の２時間使われる分の600円でございます。

あと、説明不足でございましたが、議会資料の34番をご覧いただきたいと思います。資料番号、歳入34番でございます。体育施設の使用料でございます。第一体育館69万7,540円、第二体育館143万4,910円、体育館につきましては213万2,450円でございます。テニスコートは１、２、３とございまして、合計160万8,300円でございます。町民プールにつきましては、18万8,850円でございます。利用状況については以上です。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　今、説明の中で、テニスコート、プール、そして第一体育館、第二体育館、金額をお聞きしました。第一体育館が169万、それと第２段階143万という、第一体育館、第二体育館に比べて、金額から見ると、利用状況は第二体育館のほうがはるかに多いという認識でよろしいですか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　第一体育館は、件数で言いますと287件で、第二体育館につきましては、621件になりますので、第二体育館のほうが利用が多いということになります。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ありがとうございます。中央公民館に関しましては、165万5,010円とありますが、これは団体、以前質問したことがありますけど、団体、個人においてそれぞれの文化教室がたくさんございますので、こちらの内訳はもういいことにして、また、細かい点について、もしお聞きしたいところがあればお伺いしますので、以上で結構です。ありがとうございます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　今、私のほうから説明しましたが、中央公民館につきましての認識のことでしたので、以上で結構です。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書45ページにございます雑入の循環バス広告料でございます。その中で、説明という質問でございます。この部分につきましては、本町の町の巡回バス、３台への広告料でございます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ありがとうございます。令和４年度、３台の巡回バスを運行されていまして、このバスの広告ですけれども、18万8,400円の入ということで、３台走っておりまして、もちろん町の中を僕らも走りますと、必ずバスを見ますので、注目するんですが、どんな広告があるのかと思うんですが、3台における広告を依頼される件数をお聞きしてよろしいですか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　資料でお示しをさせていただいています。87という番号でお示しをさせていただいております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　資料、見ていませんでした。ありがとうございます。

広告料につきましては18万8,000円ということで、広告の内容につきまして、以前から、各委員からも質問あったと思うんですが、広告料を増やす方法と、自助努力いたしますということをお聞きしてまして、金額にはならないと思うんですけれども、ここは１つだけ提案なんですけど、例えば、町内の行事があると思うんです。スポーツフェスタ、10月14日に決まりました、ペガサスフェスタいつからです、町の運動会は、小学生の運動会とか、そういう広告的なことで、収入にはならないですけども、そういうふうな方向で考えられるということはなかったでしょうか。これからでも結構ですが、案はないでしょうか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　巡回バスにつきまして、今、委員がおっしゃっている部分につきましては、今のところはそういう考えには至っていないんですけど、今後、そういう部分で町のイベントが活性化になることも、１つの要因にもなるというふうに考えますので、今後、その部分につきましては、担当課といろんなところで調整しながら、検討していこうかなと考えます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　多分、いろんな規約とかもあると思うので、その辺を加味した上で、これから、巡回されるバスは非常に広告塔になると思うので、その辺を検討していただいて、収入にもつながってくると思いますので、よろしくお願いいたします。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　今、空きスペースの有効活用ということで、ご質問いただいているのかなと思っておりまして、以前から少し、内容的には分からないんですけど、どこかの課によるとこういう広告、多分貼らせていただいたと思っておりますので、ありがとうございます。マリッジサポートについての広告をさせていただいていますので、今回、改めて、また９月２

日から、前面にゆりはちゃんとかぺたろう君とかいう形で、バスが見やすいように少し創意工夫もさせていただいているところでございますので、今後、今いただいたご意見につきましては、自主財源の確保ということでございますので、できる限り、有料広告を確保していきたいんですが、空いている部分については、まだ有効な活用も併せて、今、担当課長が答えさせていただいたとおり、考えていきたいと思います。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ありがとうございます。広告塔というか、バスがいろんな広告を貼って走っているということは、非常に目にもかかりますし、信号待ちは、停車のときに見ることもするので、ぜひそういうふうな有効活用、目立つバスで町民の皆様の足になると。収入も大事だと思いますけれども、宣伝も大事と思うので、今、答弁いただきましたように、ご検討よろしくお願いいたします。

私の質問は以上です。ありがとうございます。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

石丸委員。

○石丸副委員長　石丸典子です。令和４年度の一般会計の決算認定における歳入についての質疑を行わせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず初めに、令和４年度の決算は、令和２年から令和４年まで続きました３年間のコロナ対策事業終了の年の決算でもあります。令和２年から令和４年度で合計約８億円の事業が行われました。これに対して、コロナ感染症対応地方創生臨時交付金の歳入においては、３年間で約７億5,000万円ということで、国からの交付金を活用して、コロナ対応がいろいろ行われてまいりました。令和４年度は２億5,600万円の事業です。コロナ対応の地方創生臨時交付金は約２億2,000万円です。今回の決算では、今年度のコロナ感染症対策事業がどうであったかということで効果、また、もうこれで終わりという事業もありますけれども、今後、必要となる事業もあると思いますので、その辺の観点から質疑を行わせていただきます。この件に関しては、ほとんど歳出のほうでの質問となりますけれども、よろしくお願いいたします。

では、まず歳入ですけれども、予算書では16、17ページで町税です。町税の町民税の個人分においては、現年度分で増額となっておりますけれども、３月の補正の10回において、現年所得割で増えてきているという説明もありましたけれども、資料でもそのような形になっていたかと思われますけれども、特徴をお伺いいたします。

次に、法人分ですが、現年課税分においても、予算に対して1,000万ぐらいの増額となって

います。件数も少し増えているのか、その辺りを説明お願いいたします。

次は、18、19ページに及びます法人事業税交付金ですけれども、21ページにわたりますけれども、これにおいても627万円の増額となっておりますが、要因をご説明ください。

次は、22、23ページの教育費の負担金で、ここでは、学校給食費の収納の状況が出ておりますけれども、幼稚園、学校給食費の支払い状況です。以前から支払いが困難で、相談があるとのこともありますけれども、どういうふうな状況で、どのような取組をされているのか、説明をお願いいたします。収入未済額については、資料の入の24でも出されていたと思いますけれども、ご説明をお願いいたします。

次は、使用料、手数料になりますが、24、25ページです。文化センター使用料ということで、ペガサスホールの使用料が、予算に対して約100万円の増額となっています。これ、小ホールなどの使用も増えていたかと思いますけれども、この辺りで、小ホールについては、今、いろんな使われ方がされておりますけれども、使用の定員と、あと、どのような備品が使われるのかということで、お聞きをしたいと思います。

次に、土木使用料では、町営住宅の使用料です。これは、徴収については、いろいろご苦労されていると思いますけれども、まず最初に、住宅使用料、町営住宅駐車料の徴収の管理、これは、担当課で債権の種類が違いますので、税のような扱いではありませんので、管理と徴収の体制をお聞きしたいと思います。過日の委員会の中で、二重払いが出たということがありますけれども、こういうことのないような体制となっているのかどうかということが、まず１点目です。

２点目は、空き家への対応ですけれども、先ほどの議員の質疑においては、改良住宅については、34件が空いているということです。町営住宅については、どのような空き家状態になっているのかということです。

それと、３つ目は、今後の住宅の在り方等については、町営住宅の検討委員会、今後の在り方の委員会が開催されていたと思いますけれども、その開催状況と協議内容をお聞きいたします。

次は、同じページの下にあります教育使用料の体育施設の使用料です。先ほど、竹之内委員からも質疑があり、この中で、町内２つある町立体育館、第一体育館、第二体育館、それぞれ使用料が、決算額が上がっておりますけれども、断トツに第二体育館の使用料、また、使用件数が多いということですけれども、公共施設は、いかに住民に利用していただくかということが一番大事だと思います。この第二町民体育館は、町内では優良施設だと考えてお

りますけれども、担当課としては、どのようなご認識でしょうか。

次のページです。26、27ページでは、手数料の中の農林商工業手数料ということで、農業手数料、小さな額なんですけれども、予算で計上されておりましたけれども、今回、決算で上がっていないことについての説明をお願いいたします。

次は40ページ、41ページ、財産収入の物品売払い収入ですけれども、当初予算では、枠取りでありましたけれども、決算では106万円ということで計上されております。資料も出されておりますけれども、売却年月日をご説明ください。

続いて、44、45ページの雑入の備考欄で、電気代がそれぞれの部署に列挙されておりますけれども、一番下の電気代の中の衛生業務詰所ということで、予算に対して増額となっておりますけれども、この状況の説明をお願いいたします。

次は、46ページ、47ページでは、雑入のページの真ん中あたりにある、牧浦委員が質疑されました電気利用効率化促進対策事業補助金ということで、新たに補助金を受けたということなんですけれども、これは令和４年度のみの事業であるのか、補助金であるのかということをお聞きしたいと思います。町においては、エアコンの温度管理等は、今後も継続して行われると思いますけれども､補助金に対してはどうかということをお聞きしたいと思います。

それと、少し下のところで、農地転用決済金徴収委託金ということで、これが増額となっておりますけれども、これの説明をお願いいたします。

決算の説明のところでは以上なんですけれども、最後に、財産に関する調書で１つお聞きをしたいと思います。一番後ろのページから２枚めくったところに、財産に関する調書があります。公有財産ということで、公共用財産の中で、学校のところにおいて、決算年度中の増減高ということで、土地で2,748平方メートル増え、延べ面積で184平方メートル増えているというふうな財産になっておりますが、これについての説明をお願いいたします。

以上です。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　申し訳ありません。抜けているところを思い出しました。16、17ページで、町税のところで不納欠損額がありまして、資料ナンバー５で見せていただいたんですけれども、今回、計算方法で、不納欠損対象額掛ける確定案分率ということで出されていたんですけれども、案分の案がちょっと間違っておりましたけれども、これは計算方法が変わったということですか。ほかには出てこないんですが、町民税のところでこのような記載がありましたけれども、これのご説明をお願いいたします。

以上です。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　決算書17ページ、町民税個人分の増の特徴ということでご説明させていただきます。歳入の資料ナンバー３番でお出ししています。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　所得割の増の要因といたしましては、第10回補正時に想定したものと同程度となりまして、新型コロナウイルス感染症に対する影響が、当初予算時に想定していたものよりも少なくなりまして、増収となったものと考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　伸び率で、前年度に比べて1.5％伸びているということですね。ありがとうございます。法人分をお願いいたします。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　同じく決算書17ページ、町民税の法人分増の内容でございます。説明資料、歳入のナンバー６でお出ししております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　伸び率12.2ということですが、これは、件数においても伸びているということですか。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　件数というのは、均等割ですか。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　均等割の法人数は増えているということですか。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　その資料にもありますとおり、法人数は、令和３年度と比べますと２件減っているんですが、法人区分で減ったのが、１号法人が２件と、５号法人が３件減りまして、７号法人が３件増えていますので、上位の法人数が増えたということになります。全体の件数は減っているんですけども、上位の法人数が増えているということになります。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ということは、業績が上がってきているというふうな見方でいいですか。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　法人につきましては、令和３年度は新型コロナウイルスの影響が想定以上に

受けられたようで、減収が大きかったんですけども、令和４年度につきましては、製造業を中心に増益になっておりまして、令和３年度業績が悪かったサービス業も回復してきているということで、全体的に税収が上がったものと考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ありがとうございます。結構です。

不納欠損について、資料５番で説明をお願いします。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　不納欠損の金額の確定按分率につきまして、ご説明申し上げます。今回、不納欠損の確定按分率を掛けさせていただいた、予算書が17ページの102万8,244円にさせていただいたんですが、もともとの町県民税の171万39円に確定按分率0.6012989283を掛けさせていただいた金額を表示させていただいた形になっております。で、決算書と合わさせていただいたという形になっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　私はお聞きしているのは、これは町税における対応ですか。ほかのところではこういう形で出てきてなくて、不納欠損額、そのままの計算になっていたんですけれども。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　これは町県民税のみになっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　これ、ちょっと調べさせていただいたら、当該年度の３月31日現在で算定した率と書かれていますけれども、これは町県民税、県内、同じ率ですか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　上牧町のみになっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　計算式があったように思われまして、ほかのところについても、こういうふうな率で計上されるということですか。それぞれの自治体の按分率で出されるという理解でいいですか。ちょっと専門的なことなので、大体のことで結構ですけれども。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　上牧町の按分率がこの形になりまして、他の市町村は別の案分率になります。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。お聞きをしておきます。

○服部委員長　税務課長。

○木下税務課長　決算書18ページから21ページにかけまして、法人事業税交付金が増になった要因でございます。これも交付金でございますので、同交付金の原資となる県の法人事業税収入の増収が主な要因であると考えます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、予算書の23ページの小学校から幼稚園にかけましての給食負担金の状況について説明させていただきます。資料ナンバーは歳入の24番でございます。そちらにございますとおり、未収納額につきましては、現年度分で小中を合わせて約235万程度で、滞納繰越分につきましては、189万円程度となっておりまして、人数にいたしましては、両方とも80名程度でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ちょっとデリケートな問題ですので、払ってないから給食を提供しないということには、なかなかならないですので、どのような対応をされていますか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　対応といたしましては、まず、口座引き落としができなかった場合は、その翌月に、まず督促をいたしまして、それでもお支払いいただけない場合は、催告という形でお送りしております。ただ、分納とかの相談もございますので、お支払いしていただきやすいように相談に乗ったりとか、あとは、うっかり引き落としができない場合もございますので、その保護者の方には、こちらからご連絡をしてお支払いいただくという対応をしております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　本当に支払いが困難であるところについては、ほかのいろいろな支援策につなげるということはありますか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　準要保護の世帯に認定されている方や特別支援学級に入級されている保護者の方に対しては、給食費については、全額であったり半額であったり免除という形になっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　準要保護であるとか、特別支援学級の対象とならない方で、大変な方がやっぱり残ってくると思いますけれども、その辺はどのような状況ですか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　やはり一度に払うのは厳しいとおっしゃる方もいらっしゃるので、払える分だけ分割でというご相談の中で、そういうふうな払い方をしていただいている方もいらっしゃいます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　給食費の負担金は、町全体で、調定額で約8,000万になります。これをもし、給食費無料化というのであれば、この額が入ってこなくなるので、町の負担になるということですけれども、義務教育は無償という観点からも、学校給食、幼稚園であったり学校の給食費無料化に進めるべきだと思いますけれども、これに関しては、どのようなお考えですか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　確かに給食無償化ということは、保護者の方にとってはとても助かることだとは認識していますけれども、やはり町といたしましても、財源がなければ、それで進めてしまうと、今度は町民、皆さんに関わってくることでございますので、まず、財源確保のことも考えながら、慎重に進めていかなければならないと考えております。

○服部委員長　教育部長。

○松井教育部長　給食の無償化については、今、担当課長から説明をさせていただいたとおりでございます。この部分については、一般質問で取上げを頂いておりまして、その際も答弁はさせていただいております。基本的に、このことをすることによって、保護負担、子育ての経費負担軽減ということであれば、有効なものであるという認識はしております。ただ、相当規模の財政も必要となってまいりますので、国も給食費については無償化の動きもあるように認識をしているところでございまして、その部分、国の動向も見据えながら、当町においても機を逸することのないように取組を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　お聞きしておきます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　それでは、予算書25ページの款13使用料及び手数料、項使用料、目総務使用料、節文化センター使用料について説明させていただきます。資料のほうは、決算資料の歳入ナンバー26で提出させていただいております。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　それでは、まず、ペガサスホールの使用料の予算との増額の部分が質問だったと思うんですけども、この部分につきましては、当初予算で、令和３年度は603万3,000円の予算額を計上してあったんですけども、令和４年度で702万2,000円の当初予算額を計上しておりました。令和３年度決算では709万円の使用料があったんですけれども、コロナ禍だったので、前回の600万から100万の増という形で当初予算を組ませていただきまして、実際に801万7,620円という結果になったということでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　この中で特にお聞きをしたいのは、小ホールの利用状況なんですけれども、コロナのワクチン等で2000年会館の多目的室が使えないので、代わりに小ホールを使われているというケースが多いと思います。小ホールにおいては、使用定員が決められています。コロナ禍では60名台になっていたと思うんですけれども、机であるとか椅子を使った講演会などにも使われています。私も時々参加させていただくんですけれども、この定員と必要な備品、机とか椅子が足りないときがあるようにお聞きするところですが、この対応はどうなってますか。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　定員におきましては、現在、75名の定員という形でさせていただいております。机と椅子については、無料の貸出しという形でさせていただいているところではございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　机とか椅子の無料貸出しの数に限りがあるようにお聞きをしておりますけれども、これは増やしていただけるとかということはありますか。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　足りない部分については、事前に言っていただければ、別のところから持ってくる形で対応させていただいているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　この机とか椅子については、移動が大変なように感じているところですけれ

ども、常時ペガサスのところに備えているものであるのか、どこかから運ばれるのかはどうですか。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　一応、小ホールで使う部分については、そこに備えている状況でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　細かいことで申し訳ありませんが、使われる方が使える台数を準備していただけますようにお願いしておきたいのですが、それは可能ですか。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　事前に言っていただければ、中央公民館等の椅子や机の部分で対応させてもらう形で考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　よろしくお願いいたします。この机とか椅子に関しては、抗菌仕様で、コロナ対応で、買換えもされていましたよね。そういうところの活用とかは、ペガサスホールにおいてはなかったんですか。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　ペガサスホールに関しては、その部分では対応しておりませんでした。消毒等で対応しているという状況でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　いや、お聞きしているのは、手数料のところで、2000年会館であるとか、庁舎西館で新しく机、入れ替えて、処分するのに費用がかかるので、活用できるところについては、希望のあるところで使っていただくということがありまして、幾らか使っていただいているというのを、この資料の中で見させていただいたんですけれども、このペガサスホールの事務所と小ホールにおいては、そのような活用はなかったということですね。

○服部委員長　文化振興課長。

○野﨑文化振興課長　その部分に関しては、今回、足りない部分もありますので、40脚の椅子については、2000年会館から補充して対応しているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。お聞きをしておきます。また、借りられる方が利用しやすいような備品の準備もよろしくお願いいたしたいと思います。

この件は結構です。ありがとうございます。

○服部委員長　ここで休憩とし、午後１時再開といたします。

休憩　午前１１時５６分

再開　午後　１時００分

○服部委員長　それでは再開いたします。

まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　決算書25ページの土木使用料、住宅使用料、委員のご質問で、町営住宅の管理の戸数についてのご質問でございます。町営住宅につきましては、第１住宅から第６住宅までありまして、今現在、第１住宅では34戸、第２住宅が60戸、第３住宅が20戸、第４住宅30戸、第５住宅が54戸、第６住宅が24戸ございます。そのうち、空き家につきましては、第１住宅は０件でございます。第２住宅が26件、第３住宅が９件、第４住宅が14件、第５住宅が19件、第６住宅が９件でございます。入居の状況では、第１住宅が34件が入居されております。第２住宅34件、第３住宅11件、第４住宅16件、第５住宅35件、第６住宅15件の145件、今現在、入居されている状況でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　町営住宅についても数件の空き家が増えているということで、去年の資料だったか分かりませんけれども、今後の方針については、以前から、第１、第２は取り壊してということなんですけれども、現在ある空き家については、政策的空き家で、新たに募集をかけないということで、第１、第２のお住まいの方に移っていただけるようにというふうな方針というところまでお聞きしているんですけれども、全体のこれからの町営住宅をどうするかということについては、検討委員会か何か、令和４年度で１回開かれてたと思います。報酬が出ていましたので、その開催状況と協議の内容はどのようなものですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったように、昨年６月に委員会、設立しまして、委員会を開いております。その協議につきましては、今おっしゃったような第１、第２住宅を今後除却して、そこにお住まいの方を移転していただくという基本方針を述べさせていただきまして、今後につきましては、入居してもらう方の場所であったり、その辺、設定と、あと、改良住宅等、もし住宅とみなす場合、今、応能応益等、家賃の算定とかも準備、そういった形で考えておりまして、あと、当然、ずっと空き家になっておりましたので、リフォーム等の費用であったり、引っ越しとかの費用とかも検討して、今後、どうやって進めてい

くか、また、その委員会にかけていきたいと、上申して、お伺いしたいとは考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　今のお話ですと、改良住宅の空き家についても使用の方向でということなんですね。以前の説明ですと、改良住宅については、政策空き家の対象としないという説明があったんですけれども、改修のための費用がかかるということが理由と、あと、住宅の成り立ちが違うというのもあったんですけれども、今後、老朽化して古いのであれば、解体をすることはできないのですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　改良住宅につきましては非木造で、鉄筋コンクリート製の構造物ですので、その辺、手を加えれば入っていただけるということで、用途の変更をしながら、そういった形で入居して、今現在、住宅戸数も不足もしておりますので、改良住宅も、そういった形で利用できるようには考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　そうしましたら、町営住宅、改良住宅、両方とも政策的に活用する住宅にしていこうというふうな方針ということですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　そのように考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　お聞きしておきます。

それで、先日も委員会があったんですけれども、住宅使用料とかの管理等徴収で、住宅使用料については私債権になるので、税のような徴収ではないということで、担当課も違うと思うんですけれども、この台帳の管理等、徴収の体制というのは連携していますか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　住宅使用料につきましては、本課まちづくりで徴収しておりますので、独自でまちづくりで徴収して、そういう管理を行っております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　未納の分については、徴収課で一括して管理ということにはなっていないんですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったとおりでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　どの方がどういうことで未納になっているというのが、一体で分かるような形であれば、両方からチェックもできたり、一緒に支払っていただくための相談等もできるのではないかと思うんですけれども、町としてそれは独自では検討はされないんですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　町営住宅の使用料のシステム自体が徴収課と連結してないので、そういった情報がなかなか見えないということで、当課のシステムでしか見れないところでございますので、徴収課では、徴収の未納の方の支払っていただくような対応であったり、そういったのは相談させていただいておりますが、徴収課ではそういった住宅の未納の部分はちょっと見れないというか。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　現状はお聞きをしておきますけれども、ぜひ、連携した形で、双方でチェックができるようなのであればと思うところですので、また、検討も加えていただけますようにお願いしたいと思います。

ありがとうございます。町営住宅の土木使用料については結構です。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　決算書25ページの備考欄一番下の体育施設の欄でございます。先ほどの竹之内委員の質問に対して第一体育館と第二体育館の個数としまして、第二体育館が多いということにつきまして、第二体育館の現在の使用状況に関して、担当課としての考えはというご質問であったと思われます。

現在の使用状況を見る限りでは、担当課としましては、優良な施設であると認識しております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　よく分かりました。あとは、この件につきましては、一般質問でもさせていただけるんですけれども、今回の一般会計の令和５年度の補正予算において、中学校の改築と、どの施設を減らすかということで連動していますけれども、いかに多くの町民の方に利用していただくかという観点も、担当課からの、体育施設を管理するほうからは、大事な点だと思いますので、しっかりその辺は、役場の中で協議されて進められていますか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　第二体育館の件に関しては、中学校統合検討委員会というのがございま

して、今はしっかり検討している段階でございます。

○服部委員長　教育部長。

○松井教育部長　第二体育館の件については、部局横断的に協議しているところでございます。今、課長答弁させていただきましたとおり、第二体育館についてはかなりのご利用を頂いているというふうに認識をしておるところでございます。また、上牧第二中学校への機能移転の後も、現在お使いいただいている方が、そのまま継続して気持ちよく快適にご利用いただけることに加えまして、また、上牧第二中学校に行った際に、これから使っていただける予定の方もいらっしゃると思いますので、そのことを十分に踏まえながら、今後の在り方については検討させていただき、節目節目において、決定した事項については、住民の皆様方にご説明をさせていただきながら、ご理解を得た上で進んでいきたいというふうに考えているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ただいまの件はお聞きをしておきます。補正予算の内容に関わってきますので、決算においては、第二体育館の使用状況は、大変多くの方に利用していただいて、良好な施設であるというところでとどめておきたいと思いますので、ありがとうございました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　27ページの使用料及び手数料、農林商工業手数料、農業手数料の3,000円でございます。この部分につきましては、メジロの飼養をするための登録の更新の手数料で、令和４年度中に、メジロを飼養されている方のメジロが事故に遭われて、飼養ができなくなりましたので、更新ができないということで、令和４年度におきましては収入がなかったということで、ゼロになっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　細かい額で、聞くのはちょっと細かいと思われるかも分かりませんけれども、メジロの飼養と言われますと、字で見ると、養うと書いて飼養となるんですね。特定の野鳥であったり、野獣といいますか、動物を飼うのに許可が要ると。その許可が今まであったのが、今回ないということで、分かりました。これは、ほかにどのような動物がありますか。ちなみに、3,000円という決算額は数年あったと思うんですけれども、ご存じでなく飼っていらっしゃる方があると思うんですけれども、これは独自で申請をされるというふうな手続ですか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　このメジロ飼養につきましては、県の許可が要りますので、勝手に自分個人で飼うということが､メジロの場合はできませんので､そういった登録を受けて、その部分で必要となりますので、ほかの部分については、メジロ以外は、今のところ登録等は上がっておりません。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書41ページにございます物品売払い収入の中で、売却年月日のご質問でございます。売却につきましては、令和５年３月16日でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ということは、補正対応が困難だったということですか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　この部分につきましては、一般競争入札をさせていただいたという部分がございます。１月末から２月にかけて実施をさせていただいた経緯がございますので、今回の決算になったということでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。ありがとうございます。

次は雑入のところをお願いいたします。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、決算書45ページ、電気代、衛生業務詰所についてでございます。これにつきまして、前年度より増となっている要因でございますが、電気料金の高騰もあるんですけども､大きなところで､令和３年度につきましては、４月から６月の３か月間、楽まちが使用されていて、その後の７月から12月の６か月間は利用者がなく、電気代が発生しておりません。そのため、年明けまして、１月から３月については、マリッジサポーターが使用されているんですけども、令和４年につきましては、令和４年４月から令和５年３月の１年間、マリッジサポーターが使用されておりますので、その分、電気料金がかかっているという理由でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。理解できました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書47ページにございます電気利用効率化促進対策事業補助金で、令和４年度のみかというご質問でございます。この部分につきましては、関西電力株式会社の電気料金割引事業に本町が参加させていただいたという経緯がございます。その中で、参加期間が１月末から３月末というふうになっておりますので、今のところ、令和４年度のみというふうになっているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。冬場のみで使用電力が削減したことに対してという補助金だと理解できました。

では、次、お願いいたします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　47ページ、農地転用決裁徴収委託金についてでございます。大和平野土地改良区定款に定めています町内の農地の転用に伴う地区、除外すべき土地に係る決済金の事務費用として入ってきている部分でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　お聞きしておきます。ありがとうございます。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　それでは、財産に関する調書の公共用財産の学校の部分の土地と建物の面積が増えている理由でございます。土地につきましては、地籍調査をさせていただいたことによる増と、個人から寄附を頂いたことに基づき増えております。建物につきましては、Ｓｍｉｌｅ　Ｆａｒｍ　ＫＡＮＭＡＫＩをフリースクールということでさせていただきましたので、公共用財産のその他の施設の中から動かせていただいて、目的を学校に振り替えさせていただいたところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　Ｓｍｉｌｅ　Ｆａｒｍ　ＫＡＮＭＡＫＩの件は、建物は分かりましたけれども、学校の土地で寄附を受けたということで、学校の敷地内とか隣接しているところということですか。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　いただいた土地の中には、学校の敷地の中に個人の名義があったということで、それを整理させていただきまして、本人、名義の方から、学校用地ということで寄附を頂いたということでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　理解しました。

以上で、歳入の質疑に対する答弁を頂き、ありがとうございます。これで終わります。

○服部委員長　それでは、歳入の部分が終わりましたので、続いて歳出の部分で質疑のある方、挙手願います。

竹中委員。

○竹中委員　竹中です。質問させていただきます。

地方債の残高について質問させていただきます。決算書の202から201ページ、それからタブレットのナンバーは歳出の209、それから、大きな質問ですので、この報告書13ページ、この３つでお聞きしたいと思います。

地方債の残高の償還整理は順調に進んでいるというふうに、お見受けしております。それ自体非常に喜ばしいことかと思います。特に今、報告書の13ページを見て話しております。長期的に見まして、上牧町の財政の健全化が進んできた、これはグラフを見ますとそう評価できますし、よいことではないかなというふうに思っております。特に、第三セク債の残高、第三セク債は、言わば負の遺産というふうに聞いておりますけれども、この決算年度で繰上償還をしまして、42億ぐらいあったものが24億7,000万というふうに、10年間でほぼ半減しているということで、この10年来の財政再建の成果が実を結んできたというふうに思っています。現在、まだ、それでも24億7,000万の残債がありますが、これは、あと何年ぐらいで償還の完了の見通しでしょうか。答弁のほう、よろしくお願いします。これが１点です。

それから、もう１つ、質問は基金の状況です。特に財政調整運営基金の在り方について質問します。決算書のページ打っていませんけれども、最後のほうの財産に関する調書の４のうちの基金に基づいて質問をしています。それから、報告書の14ページ、これも併せて質問をしております。財政調整基金の残高が、この年度で9.3％増加しまして、10億円の大台に乗った、先日の委員会のときも話題になったと思いますが、これも財政健全化の道筋の１つの成果だと思うんですけれども、財政調整基金の在り方を、町ではどのように考えておられるのか。緊急事態や年度間の財源調整に相当の対応力が上がったとは思うんですけれども、本町の財政規模から考えて、この額が適当なのかどうか。また、この財政調整基金の在り方を

どのようにお考えなのか。10億円になりましたけれども、さらに目標額はあるのか。その辺り、もしよければ考えをお聞かせいただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書221ページ、繰上償還の元金のところでのご質問と思うんですけれども、この第三セクターの改革推進事業債の発行に際しましては、奈良県と事前に起債協議を行っておりまして、それで、償還期間を25年と設定して、発行を行っておるものでございます。令和４年度末時点におきまして、償還期間が９年経過しておりますので、償還の残り期間といたしましては、令和５年度当初から計算いたしますと、残り16年、令和20年11月末に完済する見込みとなっております。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　よく分かりました。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、続きまして、財政調整基金のご質問でございます。財政調整基金について、どの程度が適切な金額なのかという点、まず答弁させていただきます。

　財政調整基金の残高につきましては、一般的に標準財政規模の10％から20％が適正と言われておるところでございます。上牧町における令和４年度の標準財政規模につきましては、53億2,598万7,000円となっておりますので、数字の上から言いますと、５億から10億程度というのが適正な残高であるという認識を持っておるところでございます。そこで、財政当局といたしましては、標準財政規模の20％、10億前後の基金での水準を維持できるような財政運営を行っていきたいというふうに考えておるところでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　ということは、一応、目標値にやっと到達したという認識でいいのでしょうか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　目標と申しますよりも、上牧町の財政規模から見ますと、10億程度の基金が必要でないかというようなところでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　今、適当なパーセンテージにあるということは、いいことかなというふうに思いますので、引き続き健全な財政運営、どうぞよろしくお願いします。

　私の質問は以上です。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

牧浦委員。

○牧浦委員　牧浦です。続いてお願いいたします。

上牧町歳入歳出決算書、出の部分でお願いします。

57ページ、備考欄の真ん中ほどで、職員研修委託料66万1,260円、大体、前年度の倍なんですけども、どのような研修を何人ぐらいでやられたのか教えてください。

その下に高ストレス者面接指導委託料、何件あったのか、教えてください。

その下に定年延長例規整備支援業務委託料、前期なかったのですが、どんな内容か教えてください。

61ページ、財産管理費の備考欄の草刈り委託料、草刈りいっぱいあるんですが、ここで代表して聞かせてもらいます。142万から215万3,080円になりました。これについて、内容を教えてください。

次、63ページ、備考欄の下のほうで電気自動車整備事業費、財源内訳のその他172万3,000円は何なのか教えてください。そしてまた、管理備品はパワームーバー２基のことでしょうか、教えてください。

次、続きまして、65ページ、協働のまちづくり公募型補助金についてです。２団体とありましたが、２団体はどこか。１つは片岡城址盛り上げ隊だと分かるんですが、もう１か所はどこでしょうか。それと、これの流用についての説明もお願いいたします。

続きまして、67ページ、下のほうで、備考欄の移住支援金事業費、これは東京圏からなんですけども、何人、例えば、もう本当に全然、今まで縁のない人たちがやってきているのか、もしくは、上牧町に住んでおられて、また戻ってきておられるのか、その内容が分かれば教えてください。

83ページ、中ほど、初めのほうでタイムカプセルオープンセレモニー開催費、タイムカプセルオープンセレモニー委託料の中には何が含まれているのか教えてください。

その下、メタセコイヤライトアップ事業費、この中で委託料と工事請負費とあるんですが、ライトアップ委託料、電気配線工事と。これは工事は工事で別で、ライトアップは違うんでしょうね。これの説明もお願いいたします。

それからその下、さくら祭り開催費、この委託料、さくら祭り会場設営委託料、これ、ざっくりと出ているんですが、この中には何が含まれているか示してください。

続きまして、次の85ページ、循環ラジオ体操・みんなの体操会開催費、この中で使用料及び賃貸料のピアノリース料とあるんですが、上牧町のピアノとかを使わなかったのか、教え

てください。

次に、129ページ、不妊・不育治療助成事業費、190万円の予算で60万2,800円と、決算は60万、大体15件ぐらいだと思うんですけども、内容は教えてください。

それと、その下の子育て世代包括支援センター事業費、予算額217万円に対して85万、利用者が増えていく感覚やったんですけども、これはどうなのか、また、内容を教えてください。

145ページ、上のほうで備考欄、農業委員会による情報収集業務効率化支援事業費、これは何をしているのか教えてほしいです。

その下の農業振興費、どんな内容かを示してください。

続きまして、153ページ、下のほう、備考欄、橋梁長寿命化事業費、橋梁定期点検事業委託料、これ、中山谷池、秩父池、治水量で確認できたのですか。総合治水はあとどこをやるのか、教えてください。

次、155ページ、道路環境改善事業費、北上牧地区道路拡幅詳細設計業務委託料、工事はいつから始まるのか、また、設計後の問題は何もなかったのか、教えてください。

続きまして、157ページ、下のほうで住環境整備費、その中の小規模住宅地区用地測量業務委託料、土地の境界確定により整備ができたとありますが、できたかどうかなんですけど、隣の土地は、売れてはいるとは思うんですが、分筆に対して問題はなかったのか聞かせてください。

次の161ページ、備考欄の真ん中ほどで宅地耐震化推進事業費、ここの大規模盛土造成地はどこを指すのか、もう一度教えてほしいのと、これからどういうようにするのかも教えてください。

続きまして、165ページ、地域の防災力向上事業費、負担金補助及び交付金、１件の申請だけなんですけども、町では、どのくらいの人数がこれから必要だと考えているんでしょうか、示してください。

次、169ページ、備考欄、校外学習のキャンセル料と支援事業補助金、学校によりいろいろキャンセルが違うんですが、見ていると上牧小学校と上牧第二小学校が倍以上違うと。行き先によって違うのか、人数によって違うのか分からないんですけども、説明をお願いいたします。

171ページ、小学校体育館空調整備事業費、委託料、109万ほど補正ありますが、どのような理由だったか教えてください。

続きまして、173ページ、備考欄、小学校管理費の中の植木管理料と草刈り委託料、これ、

年２回やっておられると思うんですけども、今現在、上牧小学校、上牧第二中学校にしても、夏季の開放ができてないと思うんですけども、かなり運動場の草が生えております。これについて、また後で聞かせていただきますが、何か対応はできないのか聞かせてください。

それでは、ちょっと飛びまして193ページ、学校支援ボランティア、地域パートナーシップ事業費128万295円、いつも思っているんですけども、学校支援ボランティアなのに、これだけお金がかかるのかということなんですけども、内容を教えてください。また、この中で、消耗品費とあるんですけども、これは何のことですか。聞かせてください。

次、195ページ、二十歳のつどい事業費の中のジュニアリーダー研修費事業費、需用費から需用費への流用なんですけども、ジュニアリーダー研修事業は、さっきのとやってましたよね。流用の内容を教えてください。

以上です。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　総務部長。

○中川総務部長　私だけが聞き漏らしたのか分からないんですけど、多分、129ページで、不妊・不育治療助成事業以外にもう１個ご質問いただいたかと思うんですが、産後ケアでいいんですかね。

○牧浦委員　産後ケアです。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　それでは、決算書57ページ、中ほどの職員研修委託料について、まず、ご説明をさせていただきます。この研修でございますが、どのような研修で、何人受講されたかというご質問と承りました。研修の内容といたしましては、政策形成研修、まず、これが１つと、そして被災県に関する研修と、この２本でございます。受講の職員については、全職員が対象ということになっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ありがとうございました。分かりました。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　次に、その下の高ストレス者面接指導委託料でございますけれども、何件指導を受けたかとのご質問でございますが、指導を受けた職員数といたしましては11名でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。その中で長期休職される方はありましたか。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　この人数の中には、休職されている方で、これから復職される方の面談も含まれておりますので、先ほどお伺いのように、その面談によって、その後、休職される方もいらっしゃいます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　それでは、その下の定年延長例規整備支援業務委託料（繰越し）という形になっております。これの内容でございますけれども、地方公務員の定年延長に伴う支援制度の支援業務の例規集の委託ということでございまして、地方公務員の定年延長に係る地方公務員法の改正に伴いまして、制度の理解を目的といたしました研修の実施、また、改正の検討が必要となる例規の整備について、両者の支援を行うものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　それは、退職される方宛てにやるものなのか。初めから全職員に伝えておくものなのか。

○服部委員長　秘書人事課長補佐。

○中岡秘書人事課長補佐　こちらの業務につきましては、令和５年の３月議会に定年延長という形で、条例を提出させていただきまして、可決いただいた業務の内容となっております。職員につきましては、定年延長、今年度、令和５年度に60歳に到達する職員から延長という形になりますので、対象となる職員には、事前に周知はさせていただいております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。思い出しました。結構です。

次、お願いします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書61ページございます財産管理の中の草刈り委託料、出の部分でございます。この部分につきましては、主に草刈り単価の見直しをさせていただいたことによるものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　大体、単価、この間上がりましたので、おのおの増えていったと思うんです。今、

草刈りの総額ってどのくらいになっているか、誰に聞いたらいいんですか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　その部分につきましては、後で調べさせていただいて、報告という形でさせていただきたいと思います。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　結構です。一番先に出てきたものやから、ここで聞かせてもらいました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、次のページにございます電気自動車整備事業費の備品購入費の中での、まず１つ目の管理備品の内容でよかったでしょうか。この部分につきましては、外部給電器という備品を購入させていただいたものでございます。台数につきましては、２台を購入させていただいたところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　財源内訳の中で、その他の172万3,000円というのは何だったのでしょうか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　資料の中の財源内訳で、その他の172万3,000円の部分でございますが、この部分につきましては、国のクリーンエネルギー自動車導入促進補助金でございまして、この外部給電器の部分と、あと電気自動車の部分の補助でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書64、65ページにございます協働のまちづくり公募型補助金につきまして、ご質問でございます。これにつきましては、資料歳出のナンバー14で提出させていただいておりますので、ご参照ください。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　こちらの申請団体はどこかというご質問でございます。まず、１つ目、片岡城址盛り上げ隊、それともう１団体につきましては、かんまき自主防災ネットワーク、この２団体から申請がございました。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　かんまき自主防災ネットワークってどこに書いてありましたか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　資料の２ページ目にあるかと思うんですが。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。１と２があったんですね。申し訳ないです。結構です。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　続きまして、決算書66、67ページ、移住支援事業費についてでございます。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　先ほど牧浦委員の、１つ戻ってしまうんですけれども、この中で流用についてのお尋ねがあったと思うんですけれども、ご説明させていただきます。この流用につきましては、ふるさと納税の返礼品に流用させていただいておるものでございまして、寄附金の予算といたしまして、寄附額を当初250万円想定しておったんですけれども、寄附の数が多くなりまして、協働のまちづくり事業の費用から寄附金の返礼品のところに流用させていただいたものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　寄附が多かったから、こうやって流用したということで、よかったですね。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　たくさんの寄附を頂きましたんで、それだけ返礼品を送る品物代といいますか、そういう経費が多くなりましたので、そちらに流用させていただいたものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　本当にいいことやと思います。

次、お願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書66、67ページ、移住支援事業費についてでございます。この補助金の該当になった方がどんな方かというご質問でございますけれども、単身世帯の方でございまして、本町においてテレワークのお仕事をされるということで、東京圏から上牧町に、この補助金をお使いになられて移住されたという方でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　テレワークってアピタじゃなくて、あそこでやっているところですよね。また違うところのテレワーク、どこかの会社に入られてということでしょうか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　今おっしゃっているそことはまた別のところでのものになっていますので、ラスパのほうはまた別、そこではないです。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、純粋に東京からこっちへ移住されて、それで出たということでよかったですね。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　東京からこっち、何もなくして来られる、なかなかないと思うんですけども、なぜこの上牧町にやってきたかというような､何かその情報はありますか｡我々にしてみれば、今までこのこっちの奈良県に住んでいるとか、上牧町を知っているとか、そういう部分でこっちに来るというのはあるとは思うんですけども、上牧を目指して東京圏からというのが、なかなかないと思うんで､その情報があれば､これから引っ張ってくるのにも使えるかなと。もし情報がありましたら。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　この方に関しての詳しい情報というのは、私ども把握しておりませんので、どういうふうな経緯でというのは、分かりかねるところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　それはそうですね｡個人情報でもありますし､もし何か分かれば教えてください。ありがとうございます。

○服部委員長　それでは、ここで一旦休憩とし、２時10分に再開いたします。

休憩　午後　１時５７分

再開　午後　２時１０分

○服部委員長　それでは再開いたします。

牧浦委員。

○牧浦委員　先ほど１ページ飛ばしてしまいまして、追加でお願いいたします。

75ページ、下のほうで、片岡城復刻ＡＲ製作事業費157万3,000円、現地に行き、スマホを

かざして、それを昔の片岡城の復刻映像が見えるということなんですけども、それ以外の使い方、使っているところを教えてください。

そして、その下の上牧魅力発信発掘推進事業費、国の負担と町の負担と、それからその他の負担とあるんですが、それは何なのか聞かせてください。

以上、追加をお願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、ただいまの74、75ページの片岡城復刻ＡＲ製作事業費のそのほかの使い道というご質問でございます。これにつきましては、社会教育課で歴史講座の際に、片岡城に行かれた際に活用されたりというのは聞いておるところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。本当に、すごくうまくできていますので、もっと活用を考えていただきたいと思います。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　その下にございます上牧魅力発信発掘推進事業費の財源内訳の中のその他というのは何かというご質問でございます。このその他につきましては、いただいた寄附金を充てておるところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　先ほどもちょっと説明ありましたね。あれと同じような感じですね。たくさん寄附を頂いたんでこっちに回すと。分かりました。ありがとうございます。

それでは、次、お願いいたします。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　先ほどは失礼いたしました。

それでは、決算書83ページ、タイムカプセルオープンセレモニーの開催費でございますが、決算額は71万5,000円、この委託料の内容はということでございますけれども、これは、開封工事一式、そして会場設営費、運営費、全てここに委託料に含まれております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　全てなんですが、クレーンも来ていましたし、太鼓をたたいている人たちも来ていましたし、いろいろセレモニーの中にありました。それもみんな含んで、この価格ということですか。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　全て含めて委託という形にさせていただいておりますので、全て含まれております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　聞いておきます。ありがとうございます。

それでは、次、お願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書82、83ページ、メタセコイヤライトアップ事業費、こちらの委託料と工事請負費が別になっておるのはという内容でございます。この委託料に関しましては、メタセコイヤの木に電球を取り付ける費用となっておりまして、これが約１万5,000球、これを取り付ける費用でございます。それに伴いまして、ちょっと枝とかが伸びているおる箇所もございましたんで、それを払いまして、取りつけやすいというか、そういうふうに行うものが委託料として入っております。この工事請負費に関しましては、そこまでの配線を引っ張ってくる工事を行ったということで、委託料と工事請負費が分かれておるところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりにくいですけども、線と球の配置は同じ業者でやってるんだけども、会計上は違うという意味なのかな、ちょっと分かりにくいんでお願いします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　工事の業者と委託料の業者は、また別の業者でございます。だから、工事に関しては、あの木まで、配線といいますか、電源を持ってくるための工事で、そこから先、持ってこられた電源につなぎまして、この球をつけるものが委託料というような分け方となっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。理解いたしました。

次、お願いします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　そしたら、その下にございます、さくら祭り開催費の委託料の内容についてでございます。これについては、まず、ライトアップといいますか、提灯をつけましたんで、その提灯、それの電気の配線、それとイベントを行っておりますので、イベントの設

営、あと警備等々が含まれております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　さっきの話につながってくるんですけども、メタセコイヤライトアップは、電気配線工事委託料と電気工事が別であれば、ここも同じように別で書いてもらったほうがよかったのかなと思うんですけども。それともう１つ、キッチンカーが来るときに、補償金とかもあったと思うんですけども、そういうのはどうなったのかも、この部分には全然示されてなかったので、この部分も、例えばさっきのメタセコイヤが２つに分かれているんであれば、分けてもらえるほうがありがたかったと思うんですけども、この辺はどうでしょうか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　これに関しましては、１つの業者で全て行ってもらっております。その中の設営といいますか、そういった費用に含めた形での契約をさせてもらっておりますので、先ほどご質問のキッチンカーの補償の費用等についても、その運営の中での、もし、そういうものが出てきた場合については、そこから返済されるという形になっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。全て業者が請け負ってくれたと。そやから、会計も１つでいいということでよろしいですね。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　そのとおりでございます。

○牧浦委員　分かりました。

それでは、次、お願いします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　先ほどは失礼いたしました。ちょっとお調べさせていただきましたので、草刈り委託料の総額を回答させていただきます。令和４年度の草刈り委託料の総額ではございますが、6,299万4,820円でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ありがとうございました。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　決算書85ページでございます。備考欄真ん中の巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催費のピアノリース料が、上牧町のピアノを使ったかどうかというご質問でございます。これは、業者にリース契約をさせていただいたアップライトピアノでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　要するにアップライトのあれでないとあかんかったわけですね。上牧町のこれでは使えなかったということでよかったですか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　上牧町にあるグランドピアノであると、運んだりするのが大変なので、主催のＮＨＫから、調律はＮＨＫでするので、アップライトピアノを町でご準備くださいというご指示があったので、リース契約をさせていただきました。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。これ、ＮＨＫから、50周年のときの記念でやってもらったと思うんですけども、費用等等々はどのぐらいかかったんでしょうか。例えば来られる体操の先生とか、宿泊費とか、知る限りではそういうものがあったとは思うんですけども、そういう部分はなかったのでしょうか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　町としましては、ＮＨＫとかんぽ生命、あと全国ラジオ体操連盟等も主催になっておりまして、上牧町からしましたら共催になっているんですけども、ほとんどの費用が上牧町以外で持っていただけるということで、ご覧の決算書でかかった部分だけは、町のほうで負担させていただいた次第でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。このラジオ体操、結構、上牧町内で、いろいろやっておられるんです。あまり費用がかからないんであれば、またもう１回呼んでほしいなと。河合は５年間で２回、僕、２回とも行ったんですけども、もし費用がかからないのであれば、もう一遍呼んでほしいなと。前、多胡先生とか呼ぶのにお金かかったと。宿泊費等々かかった言うてましたんで、「上牧、何でお金かかってないの」というふうに聞かれて、「今度の決算でちょっと聞いてみるわ」という話だったんで、ありがとうございました。もし本当に、これから先、またラジオ体操できるようであれば、またＮＨＫを呼んでいただきたいです。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、決算書129ページの、不妊・不育治療助成事業の内容でございます。こちらは、一般不妊治療または不育治療を受けていらっしゃる方々に対して、一般不妊治療については上限７万円、不育治療については10万円を上限にして助成するものでご

ざいます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　予算では190万立ってました。それが60万円と、これ、内容としてはどうなんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　令和４年度から、不妊治療については、医療保険が認められるようになりました。医療保険で認められる分については払っていただいて、自己負担の分については、町で補助させていただくという形に、４年度からはさせていただきました。それでちょっと、件数は昨年とそんなに変わりはないんですが、金額はそれほど上がらなかったというところではないかと思っております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　保険適用になったのにもかかわらず､何でこれだけお金がかかっているのかなと、僕は逆に思ったんです。ということは、それ以外にお金かかった部分に関しては、町が支払うと。そういう例というのは何があるのでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　不妊治療の中身については、私もそれほど詳しくはないんですけれども、保険点数で認められない部分の細かな検査とか、物品代とか、消耗品代とかは全部自己負担になってくると思いますので、そちらもかなりかかったのかなと感じております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　不妊治療にはいろいろあるんで、多分その中で、これは使える使えないってあるんでしょうね。ちょっと僕も調べてみます。昔は顕微授精がどうやとか、いろいろあったと思うんですけども、顕微授精は何ぼ高いよとか、普通の受精は何ぼやでというのがあったと思うんですけども、その辺りかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　昨年度は、医療保険が導入されたということで、とてもはざまの年度であったと思っております。体外受精に関わるものとかは、特定不妊治療というものになっておりまして、そこを奈良県が令和３年度まで助成しておりまして、私どもの助成の仕方としては、取りあえず一般不妊治療の医療費は全部、７万円までは助成をさせていただいたという、それの今までの流れをくんで、４年度ははざまであったと。特定不妊治療の分については、ちょっと見させてはいただけてなかったという部分はあったと思います。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　大変よく分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　決算書129ページ、子育て世代包括支援センター事業費の委託料、産後ケア事業委託料の件でよろしかったですか。こちらの事業実績でよろしいでしょうか。

○服部委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　前年度に比べますと、実利用人数は14名、令和３年度は７名から14名ということで、増えてはいるんですが、延べ人数にいたしますと、22名から20名という実績となっております。当初予算との関係ということで、そういったこともお話しさせてもらっていいんでしょうか。

○服部委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　３年度におきましては、当初予算を上げておったんですけれども、急なご利用の要望がございまして、予備費を充用させていただいたり、補正予算を組ませていただいておりました。その年度によりまして、やはり利用のご希望がどれだけあるかが分からないんですけれども、そのご希望されたときに、受入れ体制をしっかり整えさせていただいてご準備させていただかないと、利用したいとおっしゃっても、予算がございませんというわけにはいかなかったので、少し多めに組ませていただいております。前年度に比べて、ご希望される方が少し少なかったことにより、残金としては残っている次第でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　よく分かりました。結構です。

次、お願いします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　145ページ、農業委員会による情報収集と業務効率化支援事業についての内容というご質問だったと思います。内容につきましては、農業委員会が農地の出し手、受け手の意向等効率的に把握するために、関係機関と情報共有するため、タブレットを購入いたしまして、農地パトロールを実施するに当たりまして、効率よく業務を行うための支援として、事業をやっているということでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そのタブレットというのは、個人的に誰かが持っているのか、それとも、役場内

に置いてあるのか、どうなんでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　タブレットにつきましては、本町農業委員会で３台持っておりまして、農業委員が必要であれば、貸出しという形でご利用いただけるようにしております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、タブレットを持ち出すような、こういうことでこうやって持ち出したという、その実績があれば教えてください。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　実際、購入してから稼働というのは、まだまだできておりませんで、今後、その使い方等については、いろんな先進地等、研修のほう、事例等をまた集めまして、そういうような形で農業委員とも、研究のほうは、使い方については、取り組んでいきたいというふうには考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　それはよく分かりましたが、何かがあって、タブレットを買ったわけでしょう。上牧町ではどういう考えでこのタブレットを購入されたのか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　このタブレットにつきましては、全国の農業会議で支給されたタブレットになります。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　これから適正に、また意気に使えるようにやってください。

次、お願いいたします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　同じく145ページの農業振興の内容についてのご質問だったと思います。こちらの事業につきましては、農業支部長、各上牧町の支部長、各農協、農家の方、６名おられまして、その方の耕作状況等を調査していただいて、それに対する謝礼をお支払いしているということでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、その地区の農業委員長になるのかどうか分からないですけども、その人が農業関係の調査とか、生産調整実施計画書を作成されている謝礼ということでいいんでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったように、生産実施計画の作成であったり、そういった活動に対しての謝礼を支払いしております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　生産調整実施計画、内容を教えてください。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　農業者のほうで、耕作等生産を実施されている調査票を作っていただいて、報告を上げてもらうものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ちょっと分かりにくいですね。生産調整やから、昔であれば、休耕田をつくることによってお金が出たんです。そういう部分と違う何かがあると思っていたんですけども、生産調整実施計画というのは、何を生産調整するのか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　お米づくりの価格を下げないように、転用、転作、そういったものの調整という形の調書をつくっていただいているということでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。まだそういうのが残っているのですね。もうなくなっているのかなと思っていましたので。結構です。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、決算書153ページ、ため池貯留浸透事業におけます対策治水量の件でございます。目標の計画の治水量としましては、２万1,600立米と記載しておりまして、現在、４つの池が対策済みで、対策治水量については9,423立米となっており、目標数値に対する進捗状況としまして、43.63％という形になっております。

　それと、あと、令和４年度に実施いたしました測量設計業務につきましては、中山谷池と秩父池の測量設計業務を実施して、令和５年度、本年度に工事の着手になっております。その後の対策治水量なんですけども、令和５年度の対策が完了いたしますと、１万8,066立米となっており、目標数値に対して83.63％の進捗率になる予定でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　83％、どこかを追加して100％までいくんですか。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　来年度におきましても、２つの池の詳細設計を予定しておりまして、その設計後の治水量が出てくるんですけども､それの結果で100％を目指して工事していくという形になります。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　それはどことどこの池でしょうか。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　今のところ予定しておりますのが、バサ池と井戸ヶ尻池なんですけれども、これにつきましては、まず、水利組合の承認を得てからの実施になりますので、今のところはあくまでも予定でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、決算書、155ページ、北上牧地区道路拡幅業務における工事の着手の時期についてでございますが、本工事につきましては、現状、ＮＴＴ等の地下埋設物の移設の関係がございますので、工場の着手としましては、今年の冬あたり、着手できる見込みでございます。そのため、当初予算から、令和５年度から６年度にかけての債務負担行為、工事を承認いただいております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。なかなか進まないんで、これ、どうなっていくのかなと、何か問題が出ているのかなと感じましたんで､分かりました｡冬あたりには着工するということで、結構です。

次、お願いします。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　それでは、決算書157ページ、小規模住宅地用地測量業務における内容でございます。本業務につきましては、事業用地底地整備のため実施している業務でございまして、業務の内容的には、特段問題なく履行いたしておりますので、業務は滞りなく完了いたしております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　あの部分で、先に売れている部分があったじゃないですか。買わはった人がおっ

て、その隣にあって、そのときにしてなかったのかなと、ただ単純にそう思ったものですから、それを関係なくして、今やったということでよろしいんでしょうか。

○服部委員長　建設環境課長。

○武安建設環境課長　当該業務の箇所につきましては、過去に、小規模住宅地区などの工事におきまして、道路部分の整備等も完了しておりまして、その部分で、底地整備を実施したというところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。よく分かりました。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　161ページ、宅地耐震化推進事業費の部分で、内容についての説明ということで、上牧町では大規模盛土の対象区域につきましては、19か所ございます。今後の次のステップとしましては、ボーリング等の現地調査等、行うところですが、当町の優先度評価では、すぐさま危険を及ぼすような箇所はないということで、経過観察を実施していくということでなっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　経過観察ということは、何かが起きたときにやると。それまでは手をつけないという意味なのか、それとも、今言うているような、みんな同じようなところなんで、プライオリティーがつけていけないという部分なのか。その辺はどうでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　その部分については、定期的に観察して、実施に至ることになれば、実施していくことになるかなと。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　19か所あるんでしょう。それで、今のところ、みんな同じぐらいやから、経過観察していますと。何か起こったときに何かをするのか、盛土の何かをするのか、それとも、この19か所を上牧町内で話合いをして、順番を決めていってやるのか。そういう計画はないのでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長補佐。

○福本まちづくり推進課長補佐　この優先度順位は、町内19か所の中でも決まっておりまして、例えですけど、フローチャートで後々、段丘モデルの面積とかで、その場所がもし滑ったりしたときの被害の状況があった場合とかで、優先順位は全部つけていまして、ただ、上牧町

の場合は、危険度の低いランクの用地ばっかり、似たりよったりというのは確かに、早急に対策すべき場所がないんで、経過観察ということで、何も起こってからするというよりかは、定期的にその場所の変状がないかを観察しながら、すぐさま何か対策する場所がないので、そういうふうな経過観察を今後も進めていくことになっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ということは、さっき言っていたように、何か起こるまではしないということですね。見に行って何も起こっていなかったらしないという認識でよろしいでしょうか。

○服部委員長　まちづくり推進課長補佐。

○福本まちづくり推進課長補佐　そのとおりでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　聞いておきます。ありがとうございます。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書の165ページにございます防災士資格取得支援助成金の中で、防災士の人数の町の考え方というご質問でございます。本町といたしましても、目標数値は設けてはおりませんが、各地域ごとに自主防災組織がございます。その中で防災士の方が活躍できるようにと考えておりますので、各地域ごとに防災組織の中に入っていただけるような形で応募していただきまして、防災士の力を発揮していただきたいというふうに考えているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　前年度、１件の申請しかなかったんですけども、なぜ１件なんでしょうか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　前年度につきましては、コロナ禍でありまして、取得される方につきましては、募集は県がやっているというところでございまして、県が抽せんして人数を決めます。コロナ禍であったので、人数制限がございましたので、そのこともあるのかなというふうに考えているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　コロナ禍でしたもんね。そしたら、今年度はどうなんでしょうか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　令和５年度につきましては、かなり募集の人数は拡大されておりますので、かなりの人が取得されるのではないかなというふうに考えているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、町としてはもう募集していますか。もう受け付けてますか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　この部分につきましては、県から開催要綱が届きます。その中で、各自治会長にお願いいたしまして、自治会で周知をしていただくと。自治会のほうで、県に取得を申請していただく部分もございます。本町でも、新規採用職員の方につきまして、防災士を取っていただこうというふうに考えておりますので、今、申請をしているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。これ、１万2,040円の１件の申請があったんですけども、１人１万2,040円ということなんでしょうか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　上牧町から何人が申請されたか把握はしていないんですけれども、１名の方が取得されたという部分でございます。今ありましたように、この助成金につきましては、資料にも記載させていただいておりますけれども、助成対象経費と申しまして、教本だとか、試験の受験料、申請料等がかかりますが、その部分につきまして、本町が助成しているという部分でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。丁寧にありがとうございます。結構です。

次、お願いします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、予算書169ページの校外学習のキャンセル料等支援事業補助金について説明いたします。資料ナンバーは歳出の184番でございます。

こちらに関しましては、上牧第二小学校以外は、修学旅行のコロナ保険に対する補助となっておりますが、上牧第二小学校は、春の遠足のときに、コロナで学級閉鎖で遠足の日が延びた学年がございまして、そのときにキャンセル料が発生いたしましたので、それが３万1,680円でしたので、ちょうどこのような金額となっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。結構です。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、171ページの小中学校体育館空調整備事業費について説明いた

します。こちらの108万9,000円の減額についてでございますが、入札残でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、173ページの植木管理委託料草刈り委託料について説明申し上げます。どちらも年２回行っておりまして、夏休み等に草がぼうぼうという状態になっているところもございますが、それは把握しておりまして、委員おっしゃいました上牧小学校は、ちょうど先週刈っていただいたところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　年々、やっぱり運動場の中の草が増えてきているんです。だんだん仲間も年いってしまって、「もう来年来えへんで」と、「おまえ１人でせい」と言われて、運動場をする、ちょうど今、自治会から草刈り機、購入したじゃないですか。あれ、3.5ミリなんです。あれ、運動場用はないんでしょうか。もしあるようでしたら、例えば、やっぱり業者さんおられますので、なかなか深いところまでいかないんですけども、運動場だけでも、やっぱりきれいにしておいてあげたいと。草刈り機だけやったら、なかなかうまくいかないんです。例えば、押し型のやつで、ほんまに１ミリでも２ミリでもいいですし、運動場の中を行けるようなものは何かないのかなと。それか、もしくは、業者さんの請負費用というんですか。１年間丸々で1.5倍払うとか、僕の勝手な考えなんですけども、そういうこともできないのかなと。もう本当に、運動場が、真ん中がそうなんです。この辺をちょっと考えていただきたいと思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。返答に難しいですね。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　刈る場所というのは、優先順位をつけながら、限られた契約面積なり金額の中でやっておりますので、また、その辺は業者とも学校とも相談しながら考えていきたいと思っております。

○牧浦委員　よろしくお願いします。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　決算書193ページの備考欄の下の部分でございます。学校地域パートナーシップ事業費、どういった事業なのかというご質問と、その中の需用費が一体何なのかというご質問だったと思います。

まず、先に申し伝えておかせていただきます。令和４年度の決算成果に関する報告書に主

要施策といたしまして、35ページ、真ん中でございます、学校地域パートナーシップ事業として掲載をさせていただきますので、またご覧いただきたいと思います。

説明でございます。上牧町学校地域パートナーシップ事業につきましては、町内小学校、中学校及び上牧幼稚園において、学校支援ボランティアの方々が、図書支援、学習支援、環境支援等を行う活動で、各学校の園の地域コーディネーターがボランティアの配置、調整を行い、学校との連携を図っている事業でございます。例えば、地域のボランティアの方々の保険代であったりとか､そういったことを町で支援させていただいている事業でございます。

それと需用費に関しましては、各学校の幼稚園等で、地域ボランティアの方が必要な様々な掃除道具であったりとか、図書の整理をする道具であったりとか、様々な経費の集合体でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。本を直す部分であったりとか、例えば草刈りで言うたらガソリン代であったりとか、そういう部分をみんなひっくるめてこうなっているわけですか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　そうでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。もうボランティアというから、全てかからないのかなと勝手に勘違いしました。申し訳ないです。

次、お願いいたします。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　次のページでございます。195ページでございます。備考欄の中段、二十歳のつどい事業費ということで、ジュニアリーダー研修事業費、需用費から需用費へ流用ということで、この６万円につきましては、ジュニアリーダーからの研修事業費でございますが、ジュニアリーダーの研修は、予定では、当初１泊２日で葉山に研修に行く予定だったんですけども、コロナの関係で、１泊ではなくて日帰りになりましたので、少しそちらの費用を流用させてもらいまして、流用先については、真ん中にあります印刷製本費、当初20万だったのが、26万円ということで計上をさせていただきました。この印刷製本費といいますのは、従来、二十歳のつどいに出席された方々に対しては、集合写真の写真のみをお配りしていたんですが、このたび50周年記念という事業もありますので、全員、それぞれ地区ごとに写っている集合写真をアルバムにして、皆さんにお配りしたという経緯でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。193ページのジュニアリーダー研修費謝礼というのがあって、少なくなっていたんで、ジュニアリーダー、今までずっとやっていましたが、ここへ流用しているから、ほぼなくなって、ほかのことをしたのかなと思ったんで、聞かせていただきました。そしたら、もう来年からジュニアリーダーも普通にやっていくということでしょうか。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　今年度も１泊２日で、研修も行かせてもらいましたし、コロナ前の活動を実施したいと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

私の出の質問は以上です。ありがとうございました。

○服部委員長　それでは、次、質疑。

石丸委員。

○石丸副委員長　石丸典子です。歳出の質疑をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、54ページ、55ページですが、一般管理の中の職員手当等の中の真ん中あたりの時間外勤務手当ということで、約2,000万円になっております。コロナ感染症対応や補正予算による事業で、事務負担が増加しているということで、監査委員の意見書でも述べられていますけれども、コロナの対応であったり、また、いろいろな事業で、窓口の対応も含めて、大変多忙な令和４年度であったと思われますが、主にどの分野で残業が多くなっているのかを、まずお聞きしたいと思います。

次は、56、57ページですけれども、ここでは、職員研修であるとか、高ストレス者の面接指導委託料ということで、それぞれ対応されているということは、さきの委員の質疑で明らかになったところです。私がここでお聞きしますのは、18の負担金補助及び交付金の中で、職員自主研修補助金というのが、令和４年度予算では15万上げられましたけれども、恐らく参加がなかったということでの計上がないのかと思いますけれども、これについて説明をお願いいたします。

同じページの総務課の報酬で、行政不服審査会委員報酬が挙げられております。何か行政に対する不服があったのではないかと思うんですけれども、説明をお願いいたします。

次は、65ページに入りますけれども、企画費の中で、ペガサスフェスタの中での保険年金

課による保健事業なんですけれど、真ん中より少し下のほうに、保険年金課による委託料で行われている血管年齢、脳年齢チェック委託料ということで上げられております。これは、私も昨年、参加させていただいたところですけれども、大変人気があります。ずっと並んで、血管年齢や脳年齢をチェックするところなんですけれども、この委託内容、何か機械があって、専門の方もいらしたと思いますけれども、この委託内容と併せて、このようなところで、ご自分の健康状態を知っていただくことでは大変いい機会だと思いますので、その辺りの見解をお願いしたいと思います。

それと、次のページですけれども、66、67ページ、平和祈念資料展開催費、昨年度、初めて町職員による朗読劇が行われました。これは、令和４年度の予算のときにも、職員でやりますということをお聞きしていましたけれども、実際に見させていただきましたら、大変すばらしい催物でした。ちなみに、今年度もまた行われていまして、今年度はさらに多くの方が見に来られていたと思います。これ、直接朗読劇に関わった皆さんの、特に前の準備もそうですけれども、出演者の皆さんには、職員の仕事の後にすごく練習をされたのではないかと思われます。練習にどのぐらいかかったのかということで、職員の負担も大きかったと思いますけれども、どのように思われているでしょうか。その辺をお願いしたいと思います。

次は、ちょっと細かく長くなりますけれども、74、75ページから始まります地方創生臨時交付金事業費です。これ、令和４年度で一応終了ということで、交付金事業の中で様々行われてきましたけれども、支出済額が約２億5,600万円ということで、ほとんどが国からの交付金を活用した事業ではありますけれども、どのような効果があったかということで、事業ごとに幾つかお聞きをしたいと思います。

まず、75ページの会計年度任用職員職員人件費ということで上げられていますのは、臨時教員等報酬とか旅費で挙げられていますけれども、当初予算より半額ぐらいに減った形の決算額です。予算が368万7,000円、決算額が約150万8,000円ということですけれども、この内容の減の要因、お願いしたいと思います。

それと、その２つ下の上牧魅力発信発掘事業費ですけれども、これは、寄附金からの財源の流用等、いろいろ行われているんですけれども、予算時の事業では、印刷製本という計画があった予算になっていましたが、変更となったところは、どのようなものだったのか、ご説明をお願いしたいと思います。

次、78、79ページですけれども、前ページからつながりますけれども、金額は79ページの一番上のところで、備品購入費ということで管理備品75万6,250円ですが、全体でお聞きしま

す。要は小・中学校ＩＣＴ事業費で委託料と備品購入があったんですけれども、小学校、中学校にそれぞれ、支援員を派遣したということで、上牧中学校では57回、第二中学校では58回ということで行われています。それとともに、備品購入においては、家庭学習でタブレットが活用できるよう、モバイルのＷｉ－Ｆｉルーターを25台購入したということで、決算に関する、成果に関する報告では完備ができて、十分、学習支援をする体制ができたというふうな表現にとどまっていたんですけれども、特にこのルーターの活用はどうであったか。貸出しか何かだったと思いますけれども、25台、備品を購入されましたけれども、どういう活用が行われたかをお願いしたいと思います。

それと、同じページの業務分散勤務推進事業費ということで、資料にも出されておりまして、庁舎と2000年間会館にオンライン会議のための整備と、自席以外でパソコンが使用できるように整備をしましたとなっていますけれども、具体的にどのような活用があったのか、ご説明をお願いしたいと思います。

それと、その２つ下の窓口における申請書作成支援システム導入事業費ということで、追加で出された資料の出の４番で出ておりましたけれども、庁舎の１階と2000年会館の２階の踊り場に設置されております。マイナンバーカードや免許証や在留カードに対応して、申請の作成を行うというふうな説明がありますけれども、利用者数等はカウントされます。どのような利用があるのか、これが分かればご説明お願いしたいと思います。

その下の保健福祉センター会議室と感染防止対策事業費ということで、備品購入として椅子とテーブルを購入された、また、要らなくなった物を処分するのに46万1,000何がしかかったということですけれども、数量が補正により減額されております。資料では、要らなくなった椅子やテーブルを、必要なところで活用してもらったと掲載されておりましたけれども、具体的にどのようなところで活用されたのか、お聞きしたいと思います。

これで、臨時交付金の対応の事業は以上です。

次に、50周年の記念事業の中の83ページ、タイムカプセルオープンセレモニー開催費ということで、タイムカプセルが開けられましたけれども、実際に取りに来られた方の割合、幾らか残っていると思いますけれども、今後、それはどのようにされますか。処分となるのか、その辺りも含めてお願いいたします。

少し飛びますが、159ページの一番上のところで、滝川水辺周辺地区整備事業費ということで、約4,100万円整備事業が行われまして、この事業は、滝川親水護岸工事、遊歩道と自転車道、そして公園２か所ということで、葛城台と下牧地区が全て、令和２年度に出された全体

計画の上では完了しています。これと併せて、今年の９月１日に開通した服部台明星線も、その全体の計画には示されているものです。そこで、令和４年度に行われた事業は、下牧地区の公園整備とグレーチングの設置工事です。これ、私も予算のときから、この場所は見せていただいて、工事中と完成したのと、２度ほど見せていただきましたけれども、ここには、町民の方を利用するには、進入路が大変分かりにくいんですけれども、今後、この公園をどのように活用できるようにするのかということで、ご説明をお願いいたします。この公園、池のところには、予算のときにも言いましたけれども、多分、樹齢の何年もたっているだろう八重桜の木もあったんですけど、バッサリ切られておりました。活用してほしかったなと思ったところですが、今後、この公園、どのように町民の方が活用できるか。片岡城址の周遊ルートの沿線ではありますけれども、今のところ、進入路は下牧のゲートボール場からのみです。この状況をお願いいたします。

次、教育費になりますけれども、164ページからですが、ここでは繰越明許費ということで、上牧中学校の改修のための基本設計業務委託料が、そのまま繰越明許となっています。これは、当初の説明では、改修のための設計委託料でありましたけれども、今年８月になって、基本設計の大方ができたということで、費用を比較して、建て替えの方針まで出されました。ということは、昨年、令和４年の６月の補正予算時の基本設計業務委託料は、建て替えも含めた額であったというふうな理解でよろしいですか。3,652万円、全て比較するには、建て替えであったり、一部増築、一部改修等、幾つかありましたけれども、これらを全て比較するための設計業務委託料であったのかどうか、お聞きしたいと思います。

次は、196、197ページの文化財保護費の項目になりますが、197ページの上から４つ目に、片岡城址展望整備事業負担金ということで93万5,000円、たしか新しく出てきていたと思いますが、ちょっと見落としかも分かりませんが、ご説明をお願いいたします。

次は、198、199ページ、体育施設費の中で、199ページの下から３つ目に、工事請負費として第一体育館アリーナ壁改修工事ということで、資料も出されておりますけれども、執行額が予算の69％になっておりますが、これについての説明をお願いいたします。

次は、最後の項目です。200ページ、201ページの基金費ですが、201ページの下のほうに出てきております公共施設整備基金費ということで、令和４年度に積み立てて、令和４年度決算時の残高は約４億円です。決算残高です。この公共施設整備基金費は、今後、主にどのようなところに使われようとされているのでしょうか。計画等あれば。公共施設の整備といいましても、焼却施設であったりとか、学校であるとか、道路等いろいろありますけれど、直

近ではどのようなところに必要とされているでしょうか、説明をお願いいたします。

以上の項目です。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　それでは10分間休憩いたします。25分に再開いたします。

休憩　午後　３時１３分

再開　午後　３時２５分

○服部委員長　それでは再開いたします。

順次、答弁をお願いいたします。

秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　それでは、決算書55ページでございます。時間外勤務手当につきまして、主にどの分野で時間外が発生したかというご質問でございますけども、令和３年度に比べましたら、約200万程度少なくなっておるんですけれども、全体といたしましては、コロナ禍と比べると少なくなっているんですけども、やはり、健康福祉部の生き活き対策課、そして、福祉課で時間外手当が多く発生しております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　これは、コロナ対応のことだけにとどまらずということでよろしいですか。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　コロナワクチン等々もございましたので、主にそういうコロナ対応でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　お聞きしておきます。約３年間にわたり、本当に皆さん、いろいろな分野で大変な思いをされたことと思います。本当にご苦労さまでした。

それで、特定の人に過度の時間外勤務が及ばないような管理はしっかりされていますか。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　時間外があまりに多い場合につきましては、担当課長に伝えまして、そこの管理も徹底していただくようにお願いしております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　しっかり対応されますようにお願いいたします。結構です。

では、次の項目、お願いいたします。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　次に職員の自主研修の補助金のご質問でございます。令和４年度につき

ましては、決算額がゼロでございますけれども、現在、社会福祉費の資格取得の申請が１件ございまして、それが終了いたしましてからの補助金の支払いになっておりますので、４年度につきましては０円という形になっておりますが、今、その資格の申請が１件ございます。

以上でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。

次の行政不服審査会委員の報酬が発生しておりますけれども、説明をお願いいたします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書57ページにございます行政不服審査会委員報酬の部分でございます。先ほど質問のありました請求があったのかどうかという部分でございますが、令和４年度につきましては、請求はなかったというところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　委員会は開かれたということなんですね。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　ちょうどこの時期ですけれども、任期がございまして、任期ごとに開催するという部分でございましたので、委嘱式を行うということで、開催させていただいたことによりまして、報酬が発生したという部分でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、お聞きいただきました決算書65ページ、企画費、委託料の血管年齢、脳年齢チェック委託料の内容についてご説明させていただきます。こちらにつきましては、ペガサスフェスタの際に、2000年会館のロビーで実施させていただきました。まだコロナ禍ということもありましたので、混雑状況を懸念しまして、当初は導入機器の台数を３台で予定しておりましたが、２台に変更して実施させてもらっております。

内容としまして、血管年齢を委託事業者でありますヘルスプランニングＧＨＭというところがあるんですけれども、そちらに操作をお願いして実施していただき、もう１つの脳年齢チェック、パソコンの画面に丸で数字が出てきまして、それを指で追うような、本当にゲームに見えるようなものなんですけれども、それを職員のほうで住民の方々にレクチャーしな

がら実施するという形を取らせていただきました。

それで、石丸委員お聞きの保健事業についてどのように課で考えますかということですので、こちら、混雑状況等もあり、非常に職員のほうでいろいろ気を配った点もあるんですが、引き続き同様の事業を継続していきたいと、今年度も予算計上させていただいております。

以上です。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ありがとうございました。大変人気があり、椅子、ずっと並んでされていましたので、関心が高いなと思いましたので、また、引き続き実施していただきたいと思いました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　それでは、決算書67ページ、平和祈念資料展の開催費でございますけれども、出演者の練習の時間、どれぐらいを費やしたかというご質問と承りましたが、大体通常業務終了後２時間程度、７日間でございましたんで、大体14時間でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　町外の方からも大変好評で、町職員だけであんなことができるんですねということで、大変評価を頂いていますし、職員さん同士も、やっぱり見ていただいて、褒めていただくということは張り合いになるということで、大変すばらしいと思いました。それと、平和の大切さを皆さんに知らせるという意味でも、大変いい取組だと思いますけれども、特に、課長の役割も大変大きかったのではないかと思われます。これ、今年も行われましたけれども、関わったほうで課題となるようなことは何かおありでしたか。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　ご承知のとおり、戦争の朗読劇でございますので、年月が大分たっておりまして、中に出てこられる方のご遺族も、もう既に何代後という形になっておられます。例えば、戦死された方から何代後という形になってきております。それだけ時代が変わってきている中で、令和５年度につきましては、実際、実名で舞台に上げていいのか、また、仮名というか、実名でないような感じで本を書かなければいけないのか、そういったことがございました。これからそういうことも含めて、細かいところの部分につきましても、課題だと思っております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　大変ご苦労さまでした。大変いい催物でした。また、引き続きしていただきたいとは思いますけれども、また、町の方針もありますから、また、よく検討していただきますように、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

それでは、次のところですけれども、コロナ感染症の事業ですけれども、会計年度任用職員を充てての補修等の状況からお願いいたします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、予算書75ページの会計年度任用職員人件費について説明いたします。資料ナンバー歳出29番でございます。こちらに関しましては、教員の負担軽減のために、各学校に配置されました学習指導員の人件費となっております。当初は、お一人につき週15時間ぐらい毎週来ていただくような想定で予算組みしていたんですけれども、来ていただいた方が大学４回生の方で、学業がありまして、当初の想定していたより、来ていただく時間が減ったということで、これだけの不用額となってしまいました。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　これは今年度の実施状況はどうですか。引き続きある事業ですから、予算書、くるのをできていないんですけれども、令和５年度の指導員の配置はどうなっていますか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　令和４年度のような配置の仕方ではないんですけれども、上牧小学校でプール授業が町民プールで行いましたので、その際の補助としての学習指導員の配置のみとなっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　これ、大学生であるとかの方の指導員の配置ということで、ただ単に配置をすれば問題解決するのではなく、元からいらっしゃる先生の、逆に負担になる場合も、打合せ等であるように感じられます。しかし、教員の多忙化からも、こういうふうな指導員の配置が必要ではないかなというのは、こちらサイドからは思うんですけれども、学校側からの意見とか要望等も聞かれて、今後、何らかの対応が要るのではないかと思います。

まず、教員の増員というか、増やすのが第一だと思いますけれども、一人一人にちょっと行き届いた教育をやっていくには、指導員の配置は必要なことの１つとも思われますけれども、この辺についてはどのようにお考えですか。上牧町では、放課後のまきっ子塾というのも行われているんですけども、学年が限られていて、お迎えが来られる方ということで限定がありますので、この辺で今後、何らかの対応が要る、継続していく必要があるような事業

と､私はその１つとして挙げているんですけれども､見解等ありましたらお願いいたします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　確かに学習指導員に関しましては、学校のほうもすごく助かっているというお声も聞いたんですけれども、今年度入って、コロナの扱いも変わって、だんだん元の学校生活に戻っていこうという中での配置、今年度なしということになりました。教員の数というのは、クラス数によって県から決められていますので、こちらといたしましては、それ以外の、例えば特別支援スタッフであったり、中学校で足らない教科の非常勤講師であったり、なるべく要望に沿えられるようなことは行っているつもりではありますので、今後もそういうのは続けていきたいと思っております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ありがとうございます。学校の先生方のご意見とかご要望もしっかり取り入れていただいて、対応をお願いしたいと思います。

　では、この事業の順番でお聞きしますので、次の上牧魅力発信発掘事業のほうでお願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書76、77ページ、当初予算で印刷製本費が計上されていたんだけれども、それが流用になっておる理由についてのご質問でございます。当初予算編成時において、印刷製本費10万6,000円計上しておりました。これにつきましては、ふるさと納税の返礼品として協力していただける事業所様に向けてのチラシを外注して、広報に折り込む予定をさせていただいておったんですけれども、募集の店舗につきまして、我々役場の職員で店舗を回らしていただいて、説明をさせていただきました。母数的にも、大体、500枚程度のチラシを印刷させていただきましたので、役場でそのチラシを印刷させていただいて、それを持って事業所に説明に上がったというところで、報償費のほうに流用として使わせていただいたということでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　大変ご苦労さまでした。町で対応され、持って回られたということで、分かりました。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　次は、ＧＩＧＡスクールのＩＣＴ支援業務委託料のところでお願いいたします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、予算書77ページの小中学校ＩＣＴ事業費について説明いたします。この事業はＩＣＴ配置することによりまして、教員の方に授業支援であったり、教材作成支援であったり、様々な支援を行うことで、学校の先生もとても助かったというふうなお声を頂いております。

　備品購入費といたしましては、モバイルルーターの購入なんですけれども、令和３年度に家庭でのネット環境の調査をしたときに､約20名の方が､環境がないという調査でしたので、25台購入させていただいて、そのうち、９名の方が申請があって、今お貸ししております。それ以外の方につきましては、学校に問合せとかもさせていただいたのですけれども、テザリングという携帯電話を用いての接続ができるということで、おおむね環境は整っているのかなと考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　では、貸出しの分は９名が利用されているけれども、そのほかの方については、スマートフォンで対応できるということで、ほぼ皆さんが、家庭学習でも活用できるような環境になったという理解でよろしいですか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。それは大変よかったと思います。

　次、お願いいたします。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　それでは、決算書79ページにございます業務分散勤務推進事業費の中のＬＧＷＡＮ回線無線化委託料の中で、具体的なことの質問でございます。具体的には、執務室の３密回避だとか、あとオンライン会議に役立てております。その中で、端末機を持ち運びできるという部分がございますので、各会議のときに調べものをできたりという部分でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　オンライン会議はどのぐらい活用されましたか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　その会議によって、オンライン会議がある部分につきましては、活用してい

ただくという部分になりますので、どれだけがなっているかというのは、総務課では把握はできていないところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　私が関わりました昨年度だと思うんですけど、総合計画の見直しで、庁舎の西館で会議があったときに、オンラインで委員長の先生とのやり取りがあったんですけれども、それもこのような活動という理解でよろしいですか。

○服部委員長　総務課長。

○丸橋総務課長　そのとき、この整備ができていれば、その会議でも活用できていると考えるんですけれども、ＬＧＷＡＮの工事につきましては、令和５年３月末で完了しているところでございますので、今、委員がおっしゃっている部分については活用できていなかったとは思っているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　でも、確かに何かオンラインでありましたので、また、それはそれで違うところで活用されていたと思います。分かりました。

　では、次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、決算書69ページ、地方創生臨時交付金事業費の委託料、窓口における申請書作成支援システム導入事業費についてご説明させていただきます。議会資料、タブレット番号、追加の４番、お開きいただけますでしょうか。こちらの資料に上げている部分になるんですけれども、先ほど石丸委員おっしゃっていただいたところでは、2000年会館が２階とおっしゃっていたんですけども、こちらにつきましては、役場本庁舎１階及び2000年会館の１階にマイナンバーカード、運転免許証、在留カードに対応しました申請書の作成支援の機器を導入させていただいております。それと、また、おくやみ窓口にこられワンストップサービスにも対応できるモデルを本庁窓口、住民課、住民保険課のすぐ左脇になるんですけれども、そこにも設置させていただきまして、お悔やみに関します21種類の申請書、複数書類であっても一括で作成できるような形で、住民様方にお使いいただけるようなものを導入させていただきました。

　そして、お聞きいただいてた利用実績につきましてですけれども、住民保険課側で確認できるところを見ますと、本庁側では、マイナンバーカードを使った作成支援費で146件、おくやみ窓口で180件、以上となっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。この追加の資料４番で、この写真を見させていただいたときに、2000年会館の２階で見たんですけど、場所が変わったんですか。

○服部委員長　福祉課長。

○俵本福祉課長　当初から、2000年会館の１階、福祉課とこども未来課の窓口の前の廊下に設置させていただいているところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。別の機械が設置されているということで、見間違いですね。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　これ、私、実際に使ってはいないんですけど、マイナンバーカード以外の免許証でも対応できるんですか。説明ではそのような記載なんですが、その辺はいかがですか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　マイナンバーカード以外にも、運転免許証及び外国人の方の在留カードにも対応しておりますので、在留カードにつきましては、転入手続に来られたときに、やはり、私たちも外国語で流暢には対応できないところはあるんですけども、機械で絵を見ながら、うちの職員がレクチャーしますと、すごく伝わるところもありますので、そういった場面でも活躍しております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。マイナンバーカードであるとか、免許証をお持ちの方にとっては便利であるということですね。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　福祉課長。

○俵本福祉課長　79ページ、保健福祉センター会議室等感染防止対策事業費、保健センターの椅子、机を抗ウイルス、抗菌仕様の物に取り替えた分について、要らなくなった備品を利活用する、どこに引き渡したかというご質問でございます。こちらにつきましては、まず、庁舎各課に投げかけまして、住民保健課、総務課、こども未来課、建設環境課、教育総務課、文化振興課、243点、机と椅子をお渡しいたしました。また、当時でございますけれども、議会で当時の議員、東議員から自治会にもお声かけしてほしいというご提案がございました。それに伴い、自治会にご紹介させていただいたところ、３つの自治会から椅子を頂きたいという申出がございましたので、43点お渡しいたしました。90万7,000円の廃棄料を見込んでい

たんですけれども、お渡ししたことで廃棄手数料が46万1,670円となり、44万5,000円ほど減額になったところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ありがとうございます。資源の有効利用ということで、廃棄せずに利用いただけたということで、大変よく分かりました。ありがとうございます。

次の項目をお願いいたします。

○服部委員長　秘書人事課長。

○髙木秘書人事課長　決算書83ページ、タイムカプセルオープンセレモニー開催費の中のメッセージとかの収納品でございますが、これの返却数、そして、今後の見通しはどうかというご質問でございます。町民のメッセージを例に取らせていただきますと、507件収納されておりました。また、返却数につきましては、今のところ150件程度でございます。率といたしまして29.5％でございます。

今後の見通しでございますけども、先日、またホームページ等で周知をさせていただいておりまして、これでもう少し周知をさせていただこうかなと思っております。周知させていただいて、昨日も今日も何件か、また引取に来ていただいておりますので、もうしばらくはこれで周知をさせていただこうと思っております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ありがとうございました。分かりました。

50周年記念の事業に１つ入ってしまったのですけれども、全体として地方創生臨時交付金事業費で様々な事業が行われてきたんですけど、特に、令和４年度に限ったらこの分ですけれども、それ以前についてもいろいろな事業が行われていまして、例えば、業者支援であるとか、あと、高齢者への支援とか、主に、最初の頃は、消毒の薬品であるとかマスクとか、いろんな対応があったところですけれども、今、第５類になって、ちょっと収まってきているとはいえ、消毒とか、それぞれのところでは、各個人においては、これまでどおりの対策や注意が必要なんですけど、町においては、抗菌の机であるとか、いろんな設備、この間では、学校の水道の蛇口の自動化など行われました。それらは、一旦すればもうそれで終わりなんですけれども、今回のコロナでは、特に弱い立場の方に大変負担がきたということで、例えば、学習支援であるとか、業者であったら小中の業者であったり、飲食業とかで、いろいろ対策が必要となったんですけど、町においては、その中でも引き続き、先ほども一部、言わせていただいたように、子どもたちの学習支援ということで、家庭の経済力によって、

これまでと違った形でも対応できないということで、家庭環境による教育の格差なども、大変、このことで明らかになってきています。また、給食費の問題であるとか、そして、もう１つ、コロナ対応で一時期行われた子どものインフルエンザの予防注射への助成も、インフルエンザとコロナのような感染症が同時に起こらないように防止をするということで、子どものインフルエンザの予防接種の助成ということで、いっときありました。そういうところについても、引き続き、町としてもぜひ検討を頂きたい項目のうちの１つかと思うんですけれども、その辺についても、今後、また、対応をお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。交付金が下りて、物を買ってすることは、すぐそのときだけでできます。しかし、人件費に関わって、経常経費に関わるところについては、やはりどうしても財政面から考えてしまうんですけれども、本当に弱い立場というか、困難なときに一番負担がかかるところにおいては、行政としてしっかり対応が要ると思いますので、その辺を、今後もしっかり考えていただきたいと思います。要望として申し上げておきますので。

では、次、お願いいたします。

○服部委員長　それでは、続けてお願いします。

まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　決算書159ページ、滝川水辺地区整備事業について、下牧公園の整備についてのご質問だったと思います。下牧地区の公園につきましては、笹ゆり回廊の近くに位置しておりまして、片岡城の近くにあることもあり、歴史を感じながら休憩、休息や待ち合わせ等に利用できる公園として整備をさせていただきました。

委員おっしゃっている進入路なんですけども、現在のところ、地形的にゲートボール場の前から上がるところしかございません。隣接の場所につきましては、個人の所有地等もございまして、なかなか道路を整備するのは難しく、現状の形で、今後も使用することになるかと思います。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　道路を造ってくださいと言っているのではありませんが、進入路がなかなか分かりにくいということで、利用状況はまだそんなにつかんでおられませんか。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　利用状況につきましては、把握しておりません。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　ゲートボール場は、お天気のいいときは、下牧の方がお弁当持ちでされて、

外で食べていらしたのをお見かけしたことがあるんです。だから、地元の方は使われているということかも分かりませんけれども、町全体にもう少しＰＲもしていただきますようお願いしたいと思います。何せ、池を埋めて4,000万使っていますから、すごいやぶの、あそこは何度も足を踏み入れていったことがありますので、確かにきれいな公園になりましたけれども、造って終わりではないですので、町民の方に広く、その公園を憩いの場として使っていただくような工夫をお願いしておきます。よろしくお願いいたします。

○服部委員長　まちづくり推進課長。

○金﨑まちづくり推進課長　今、委員おっしゃったとおり、今後、笹ゆり回廊も整備していきますので、当然、その一部分の下牧の公園になりますので、住民が分かりやすいＰＲ活動をしていきたいと考えております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　よろしくお願いいたします。

次、お願いいたします。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　それでは、予算書169ページ、学校適正化事業費に関しまして、学校基本設計の繰越しについてでございます。昨年度、基本設計の委託料3,652万を組んでいたんですけれども、当初は改修の予定で設計をしておりました。ただ、どのような整備方針をしていくかという話合いの中で、いろいろなレイアウトを変えたりとか、予算のことであったり、ずっと話合いをしていく中で、建て替えのほうが望ましいという結論になりましたので、それで、基本設計が令和４年度中に終了できなかったということで、そのまま繰越しをさせていただきました。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　それはよく理解しているところですが、金額の問題で、令和４年度の補正時の額で、そのまま建て替えそのものの設計ができているということは、この補正時に、改修の設計ではなく、全体の建て替えも含む委託料であったという理解でよろしいですね。以前にも、本会議場で言いましたけれども、補正予算時の予算資料を見ますと、具体的な改修の箇所を書いた資料説明なんです。ところが、実際はその費用を使って全体の建て替えもできますということになっていますので、それだったら含んでいる額だったんですねという確認と、補正予算時の資料の説明が少し不備であったということなのかとお聞きしていますが、いかがですか。

○服部委員長　教育総務課長。

○辻村教育総務課長　当初は改修で設計をしておりまして、新築に変わったことによりまして、不要となった設計の部分がございます。最初はエレベーター棟を外づけでつけようとか、給食室を改修しようであったり、改修として必要な設計がございましたが、その分は不要となりました。その代わり、新築として必要になった予算を積算いただいて、この予算の範囲内で新築の設計もしていただくという形になっております。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　金額的にはこれでいけたということであって、当初の目的と少し変わっているということは変わっていますね。その辺、ちょっと腑に落ちないところがあったんですけど、要は予算内であって、少し変更も、内容に、方針に変更したということまで理解させてもらっていいですか。そういうことですね。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　お聞きしておきます。結構です。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　決算書197ページの備考の上から４段目でございます。片岡城址眺望整備事業負担金についてのご説明をさせていただきます。こちらについては、町制50周年記念の事業で行わせていただきました。理由としましては、片岡城に関しましては、西側の王寺畠田のほうから、どこに片岡城があるのか分からないということもありまして、一部、地権者の方に伐採協力していただきまして、そこに、前のページの委託料の片岡城のぼり旗制作ということで、片岡城といったのぼりを掲げさせてもらった事業でございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。結構です。

○服部委員長　社会教育課長。

○吉川社会教育課長　決算書199ページでございます。備考欄の下の14の工事請負費、第一体育館アリーナ壁改修工事について、執行率が低いということはなぜだというご説明だったと思います。こちらにつきましては、当初、剥離部分が予定していたのが広く思われていたんですけども、実際、事業の落札をされるときには、まだ広く剥離部分をしなくてもいいということでご判断されたので、少し費用が抑えられたと聞き及んでおります。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　それでは、決算書200、201ページの一番下、公共施設整備基金費の今後の活用の予定についてのご質問でございます。公共施設整備基金の今後の主な活用といたしましては、学校適正化事業に伴い、中学校の統合が控えておる中で、多額の建設費用が想定されますので、そちらの事業費に活用させていただきたいというふうなところで考えておるところでございます。

○服部委員長　石丸委員。

○石丸副委員長　分かりました。お聞きしておきます。これで全部お聞きしたところです。

以上で私の質疑、終わらせていただきます。ありがとうございました。

○服部委員長　それでは、石丸委員の質疑を終わりましたので、質疑のある方、挙手願います。

竹之内委員、通告をお願いします。

○竹之内委員　竹之内剛です。よろしくお願いいたします。全部で６つございます。

まず、64ページ款総務費のところで、65備考欄のペガサスフェスタ開催費についてお聞きします。こちらにつきましては、報告書、そしてタブレットで、事業概要等は理解させていただいておりますが、少しお聞きしたいことがありますので、お願いいたします。内容につきましては、ペガサスフェスタの事業につきましての結果を少しお聞きしたいので、よろしくお願いいたします。

２つ目です。67ページになります。款総務費、項総務管理費、企画費の続きでございます。備考欄の出会い・結婚・子育て支援事業、委託料につきましての質問でございます。こちらの事業の委託についての質問をさせていただきます。内容をよろしくお願いいたします。

３つ目は、82ページです。款総務費、83ページ、先ほどの牧浦委員からもありましたけれども、さくら祭り開催費の委託料、さくら祭り会場委託分につきましての内容の質問をさせていただきます。

４つ目です。170ページです。款８教育費、項教育総務費の171ページの備考の上のほうにあります小中学校体育館空調整備事業費につきましての委託について、少し質問があります。

その下でございます。フリースクール事業費、こちらにつきましても、去年、開校いたしまして１年間たちますが、その事業について、委託料について含めても質問がございます。

もう１つです。172、173ページになります。先ほど牧浦委員からありましたが、款教育費、項小学校費の中で、173ページの12番、委託料の中の草刈り委託料につきましての内容等の質

問があります。

以上６つの質問になりますが、よろしくお願いいたします。

以上です。

○服部委員長　今、竹之内委員より質疑の通告がありました。

ここで散会といたしまして、次回は月曜日に続きを行いたいと思います。10時から行います。

本日はこれにて散会します。

散会　午後　４時１１分

決算特別委員会会議録

１．日　　時　　令和５年９月１１日（月）　午前１０時

１．場　　所　　３階委員会室

１．協議事項　　認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について

認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について

１．出席委員	委　員　長	服部　公英	副委員長	石丸　典子
	委　　員	氏原　賢一	竹中　亮造	竹之内　剛
		牧浦　秀俊		
	議　　長	遠山健太郎		
１．傍聴議員	安中　　和	東　　初子	上村　哲也	康村　昌史
	木内　利雄			
１．理事者	町　　長	今中　富夫	副　町　長	阪本　正人
	教　育　長	松浦　教雄	総務部長	中川　恵友
	都市環境部理事	吉川　昭仁	住民生活部長	山下　純司
	健康福祉部長	青山　雅則	教育部長	松井　良明
	総務課長	丸橋　秀行	秘書人事課長	髙木　真之
	企画財政課長	中本　義雄	まちづくり推進課長	金﨑　恭彦
	建設環境課長	武安　康至	上下水道課長補佐	牧浦　香織
	上下水道課係長	田中　秀明	上下水道課係長	宮﨑　政徳
	住民保険課長	和田　　暁	税務課長	木下　優子
	徴収課長	山本　敏光	福祉課長	俵本　大輔

	生き活き対策課長	林　　栄子	こども未来課長	寺口万佐代
	教育総務課長補佐	日髙良太郎	文化振興課長	野﨑　威志
	会計管理者	松田　志穂		
１．事務局	局　　長	森本　朋人	書　　記	山口　里美
	書　　記	横田　大樹		

開議　午前１０時００分

○服部委員長　皆さん、改めましておはようございます。決算委員長をしております服部公英です。金曜日に引き続きまして、令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について２日目ということで、竹之内委員より通告してありました質疑から引き続き開始したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑のある方。

竹之内委員。

○竹之内委員　おはようございます。竹之内剛です。よろしくお願いいたします。

引き続きまして、令和４年度の歳出のほうの通告をさせていただいておりますので、質問のほうをよろしくお願いいたします。

まず、１つ目に65ページのペガサスフェスタ開催費につきましての質問です。この件につきましては、2022年に開催されましたペガサスフェスタ、報告書等でコロナ禍において久しぶりに開催され､延べ5,000人の来場を頂いたと｡開催において変化もあったと思うんですが、ここに関しましては室内だけで行われたということで、今年度もこれは室内だけで行われるということでしょうか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　令和５年度のペガサスフェスタの室内の発表につきましては、野外ステージは廃止させていただきまして、室内のペガサスホール内での発表ということにさせていただく予定で考えております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　まず、理解しました。以前は、コロナ禍の前においては、各地域の模擬店等いろいろ出されていましたが、2022年度はキッチンカーを主に呼ばれて開催されました。それも、特にキッチンカーを主に呼んでいただいて、地域の方々は検討するということでよろしいですか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　はい、その予定で考えております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　分かりました。キッチンカーは非常にたくさん来ていただきまして、盛況であったと。私も参加させていただいたんですが、１つだけ質問等があるんですけれども、その中でキッチンカーにおきましてはいろんなものがあって、参加された方の意見なんですけれ

ども、食材等もあって値段が少し高価というか高いと。自分たちがイメージしていたよりも、例えば100円、200円でコンニャクを買っていた方から、それがなくなって600円、700円のクレープがあって、いろんなものが1,000円前後の値段がしたというところで、参加をする、お小遣いを持っていった子どもたちに関してはちょっと高過ぎたかなというイメージがあるんで、その辺は、アンケート等は取れていないけど、何か意見は届いてないですか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　価格について高い、安いというご意見は、私どものほうにはまだ頂いてはおりません。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ここで、キッチンカーというのはもちろんその方々の収入に直接影響するわけで、ちょっと調べさせてもらったら、ある地域においてはキッチンカーを呼ばれていますけれども、キッチンカーの方に価格を提示してもらった上で、子どもたちも参加しますので、キッチンカーの経営の方と直接話をさせてもらって、値段を下げてもらってこの値段になったんですよと。今回、今年度祭りをされるところのアドバイスさせていただいているところで、何でこの値段なんですかと聞いたらそういうのを聞きましたので、今年もし開催されるのであって可能であるのであれば、値段の交渉等についてはしてほしいなと思いがあるんですけども、その点はいかがですか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　出店していただくキッチンカーの商品の価格につきましては、そこのお店さんの判断によりまして価格を設定されておるものになりますので、その値段を下げていただくというのは難しいのかなとは思うんですけども、ただ、うちのほうで派遣を頂く際に、価格帯をこの価格からこの価格の設定でというような交渉は可能となるかと思いますので、その辺につきましても、またキッチンカーを呼ぶ際には選考の１つというような形で考えさせていただければというふうに思っております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ご検討の件、ありがとうございます。研究もしていただいて、地域のところを、今おっしゃっていただいた答弁の中にもありましたが、価格設定に関してはこれから交渉も可能かなと思いますので、また研究していただいてやっていただければなと思います。

　去年来られた方が、多分去年と同様にこのような形で開催されるというのはその思いで来られるので、例えばせっかく5,000人来ていただいたのに、もしくはその参加に影響があって

はあれなので、今年の売りとして何かもっと人を来ていただけるような売りになればなと思って、その点だけ少しご質問したかったんです。

以上で結構です。ありがとうございます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　続きまして、67ページになります。出会い・結婚・子育て応援事業費につきましてです。この件も、報告書等で理解させていただいておりますが、現在においてはマリッジサポーターの方がたくさんいていただき､最初は行政のほうから発信されましたけど､今、委託という形で予算を組まれているので、委託の役割、行政の方の役割という、その辺はどのようになっていますか。

それと、現在までの状況、こちらには書いていただいているんですけど、状況を少し、事業概要というか、よろしくお願いします。

○服部委員長　こども未来課長。

○寺口こども未来課長　委託のほうは、非営利活動法人かんまきマリッジサポート・赤い糸のほうに委託をさせていただいております。町の役割と申しますと、まず業務の内容を婚活イベント開催２回程度、個別相談会、それから登録者に応じた結婚に関する支援を上牧町と共に進めていくと。事業は委託をさせていただいているんですけれども、一緒になって結婚を望んでいる方にいい方向で進めるようにという形で取組をさせていただいております。

それと、実績でよろしいですかね。決算資料の歳出17番でお示しはさせていただいております。細かく申し上げますと、４年度までには７組のご成婚が整っております。５年度におきましても２組のご成婚者が整いまして、計９組となっておるところでございます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ありがとうございます。タブレットには８組のカップルと書いています。９組に増えたということで、ありがとうございます。

今、非常にマリッジサポートの赤い糸さんを中心に活動していただいて、行政の役割もいろいろやっていただいているということで、この活動につきましては非常にほほ笑ましい活動だと思います。それで今まで７組、これからも９組目のカップルが誕生されるということで、１つなんですけれども、結婚が決まり、そしてお２人の記念すべき婚姻届を提出するのは役場だと思うんです。その際に、役場に婚姻届を届けに来られた時のお祝いという形で、今回の広報かんまきに載せていただきまして、今、下に、玄関を入った左側に何かプレートというか、記念撮影の場所ができているのを確認させていただきまして、あそこは何年何月

何日というのが書いてあって、あれは結婚の方だけが利用するのか、それともどのような形で設営されたのかなと思いますので質問します。

○服部委員長　寺口こども未来課長。

○寺口こども未来課長　先ほど申されました８組のカップルというのが、イベントでのカップルが８組で、４年度は７組でした。５年度はあと２組出ておりまして、今で９組ということになります。

メモリアルフォトスペースについてなんですけれども、ゆりはちゃん、ぺたろう、それからバックには上牧町のシンボル的なものを描かれて、企画財政課のほうがとてもかわいいフォトスペースを役場のロビーに設置してくださいました。こちらのほうは、結婚だけではなくって、出産、転入の手続などで役場に訪れられた方にも、こういうボードがありますので、そちらを持ってもらって記念のフォトが撮れるという形になっております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　右のほうにプレートみたいなやつが置いてあったと思うんです。これは持つやつなのかなと思って、上牧に何か生まれましたとかなんとか、それのことですね。分かりました。

マリッジサポーターで今住みます上牧町３丁目の団地の若い子たちが結婚されて、入籍しましたという報告を町内でみんなでお祝いしたんですけれども、入籍届を出したときに、皆さん知られなくて、記念撮影してもらったかとか何かそんな話が出たので、いや何も撮らんかったってということで、質問をしようと思っていろいろ確認させてもらったら、そのときにはあのボードがまだなかったのということが分かりました。

今できたから、後から撮ってきたということで本人たちには説明したんですけど、ボードを設立していただいて、例えば婚姻届を出して、受付のところで書類を出したときに、あそこに何がありますので記念写真をどうぞと言っていただけるのか、それとも受付の方がわざわざ言うていったらいいか、その辺の導き方というのは何かあるんでしょうか。

○服部委員長　企画財政課長。

○中本企画財政課長　まずは、住民課の窓口のほうに届出に来られます。届出に来られた際に、そういう場所を設置しておるというようなご案内をさせていただいて、希望者の方といいますか、そういった方に写真を撮っていただけるような案内といいますか、そういうのを届けを出されたときにご案内をさせていただくというような形では考えております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　ここで１つお願いなんですけれども、婚姻届を出されたときに、書類を受け取られておめでとうございますと。その際に、あちらにボードがございますのでという形で言っていただけるようなイメージだと思うんですが､なかなかシャイなカップルもおられたり、そして若い方だけでは限らないということもあるので、非常にデリケートな部分やと思うんですが、受付の方も見ていただいて、この人は写真を撮りたいのかなというのもあると思うので、もう撮る方はすっと行って撮られると思うんです。一押しで、いや私ら結構ですという方もおられますが、記念になりますよって笑顔で導いていただいたら撮られる方もあるかなと思いますので、せっかくボードをつくっていただいたので、その辺の導きを考えていただけたらなと思うんですが、その辺だけお願いしておきたいと思います。よろしくお願いします。

以上でこの件は結構です。ありがとうございました。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　83ページのさくら祭り開催の件なんですけれども、こちらのほうも、雨の中、750人の来場を来ていただいたということで、一応盛況だということで、あのときは軽スポーツ等のあれもやっていただいて子どもたちが喜んだと。

ここに関しましては、先ほどのペガサスフェスタと少し質問が重複するんです。というのは、キッチンカーのことでお願いと質問等をしたかったので、ここに関しましては今のことで理解できましたので、ありがとうございました。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　続きまして、171ページになります。備考欄の小中学校体育館空調整備事業費のことについてですけれども、これは平成４年度に委託先されて、今年度始まりまして、工事が始まっていると思います。それにつきまして、当初は夏休み中にということがありましたけども、いろいろ含めたことで今現在も進行中ということでと思うんですが、第１次工事といいますか、多分ガス管の工事をするために体育館を取り囲んでガス管の工事をされて、夏休み終わりかけのときに、体育館の外壁というかバリケードを取られたときに、上牧第二小学校のいつも立しょうをされている方がこういうことをおっしゃって、体育館のやつは早う終わったなと、もうあれは今日外しはったでと。いや、違います、違います、あれは違うんですよ、ガス管が工事が終わってこれからですよって言ったのが、なかなか体育館の工事についてどのようなことになっているのか、遅れているのかそれとも順調にいっているのか、いつ完了するのかというのは、どの程度進んでいっているのかなという形をお聞きしたいん

ですけども、いいですか。

○服部委員長　教育総務課長補佐。

○日髙教育総務課長補佐　こちらの工事に関しましては、昨年度行いました実施設計の内容を基に、現在整備工事のほうを進めているところでございまして、契約期間のほうが令和６年１月末までとなっておりますので、現状それより少し早く年内には全ての学校におきまして工事のほうが完了する予定となっております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　分かりました。ありがとうございます。

もう１個ですけども､スポーツ少年団の方がふだん小学校の体育館とかを使っておられて、代替で町民体育館を使われたりしてうまく回されていると思うんですけど、１つだけ、バスケットの件で小学校のミニバスケットが第一体育館を使っておられるんですけども、バスケットのゴールの高さが違うので、その辺も聞かれていたので、今、設計のことでお伺いするべきなので、その辺はまた改めてお伺いしに行こうと思うので、設計のことで重複してしまいましたが戻らしていただいて、今の期間のことは理解できましたので、ありがとうございました。

以上です。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　続きまして、同じページの下です。フリースクール事業のことについて、令和４年度にちょうど９月に開校されて１年たちますけれども、今年度の状況等について少しお聞かせいただきたいんですけれども。

○服部委員長　教育総務課長補佐。

○日髙教育総務課長補佐　今年度の事業内容でよろしいんですか。

○竹之内委員　令和４年度に事業をされて１年たちましたけれども、内容はどうであったのかなということと、その辺をお聞きしたかった。すみません。質問不足でした。

○服部委員長　教育総務課長補佐。

○日髙教育総務課長補佐　まず、フリースクール事業の事業内容についてでございますが、不登校児童、生徒への支援ということで、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所の提供と学習面、またあと生活指導であったり、精神面のサポートということで、週に３回、午前11時から午後３時まで事業のほうを行っております。

一応実績としましては、令和４年度は７名のお子様にご利用いただきました。

以上です。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　多い少ないかは別として、30何人の不登校と不登校傾向の子がおられて、７名が参加されたということで、フリースクール事業というのは上牧町の独自の会社でやられていて、非常にすばらしいなと思っております。フリースクール事業に関しては、どんどんどんどん周りの社会が進化していって、いろんなものができていると思います。

今年度、令和５年度におきましては、オンラインと対面指導等を組み合わせた県教育委員会が設置された不登校支援ならネットというのが６月２日に開校されて、今、開校されているんですけども、子どもたちがオンラインでどういうふうにやるか。行って、体育、運動をするとかという事業もされているみたいなので、独自の上牧町で居場所づくりというところは非常にすばらしいことでありますけれども、こちらのほうの６月２日に開校された事業も少し関連性がないとも言えないので、上牧町としても関連性を持っていけるんであれば協力していけるとか、上牧町の小中学校の子どもたちにも、このようなものができたという周知をやっぱりしていっていただければなと思うので、ここではそれはあれですけれども、そんな進化もありますので、また来年度において、今年度はまたその辺をやっていただければと思うんですけど、その辺はいかがですか。

○服部委員長　教育総務課長補佐。

○日髙教育総務課長補佐　今、委員からお話がありましたならネットに関しましては、中学生を対象にした支援というふうに認識しておりますので、特に中学生に関しましては、受験をはじめ将来を考える上でとても重要な時期だというふうに思いますので､今後の展開の中で、学習支援の充実を図っていくために、支援の一環として保護者であったり子どもたちに情報共有をしていって、利用を希望される場合に関しては、支援のほうにつなげていきたいなというふうに考えております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　その辺、よろしくお願いいたします。

以上で終わらせていただきます。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　続きまして、173ページになります。これは、先週の第１日目のときに牧浦委員からも質問がありましたが、少し違う質問になりますので、173ページの委託料12の草刈り委託料のところですが、こちらで質疑、答弁していただいたんですけども、ここで１点だけな

んです。

草刈りにつきましては、前年度にも少し質問させてもらったんですけれども、夏休みの終わりに草が生い茂って、今年はひどい状態であったのは僕も確認していますけれども、学校が始まって、９月３日には上牧小学校が非常にきれいにしていただいて、今は上牧中学校がきれいになっております。順次やっていただいていると思うんですが、１つ、この件において、今までの流れだったと思うんですが、夏休み中にＰＴＡの方とボランティアの方が、８月に学校の子どもたちが９月に学校が始まる前に草を刈りましょうという行事があるんですけど、それを今年は８月21日辺りにされたと思うんです。そのときに、大変炎天下の中で非常に暑い日でした。もう真夏の暑い日で、36度を超える中でやっておられたと思うんですが、でも、どうしても暑いので30分、１時間なくて終わろうってなったんですけれども、確かにその草刈りできれいになったんです。でも、９月の初めにもう業者の方にやってもらうんですという周知がされていれば、気持ちはもちろん大事ですけれども、その方たちは草刈りをしなくても進んだのではないかなということを、もしそのときに炎天下の何かあったら大変だなと思ったんで、その辺はいかがですか。

○服部委員長　教育総務課長補佐。

○日髙教育総務課長補佐　まず、草刈りの日程調整に関しましては、学校にもよるんですけれども、学校と業者間で行われて、もしくは教育総務課と学校で調整のほうを図っているところでございます。ボランティアさんのお話なんですけれども、今回の件に関してはボランティアの方に申し訳なく思いますし、今後そのようなことがないように改善を図っていきたいなというふうに考えております。

○服部委員長　竹之内委員。

○竹之内委員　その件に関しましては、来年度においてよろしくお願いして、私の質問は終わらせていただきます。ありがとうございました。

以上で終わらせていただきます。

○服部委員長　それでは、ほかに質疑はございませんか。

遠山議長。

○遠山議長　遠山です。委員長、よければ発言の許可を頂きたいと思いますが、よろしいですか。

○服部委員長　発言の許可を許します。

○遠山議長　ありがとうございます。令和４年度上牧町一般会計の歳入歳出決算につきまして

は、委員の皆様の一通りの質疑が終わりまして、これから採決に至るところだと思うんですが、ここで委員長の許可を頂きましたので、令和４年度（2022年度）はご承知のとおり50周年事業様々ありましたので、今中町長に、令和４年度（2022年度）の率直な感想、評価を伺いたいというふうに思っています。

令和４年12月１日午後６時に、庁内の敷地にありますメタセコイアのライトアップがされまして、隣にあります県民グランドからは商工会主催による花火が打ち上がりました。そのときの瞬間、私も今でも忘れることができなくて脳裏にあるんですが、本当にすばらしいイベントだったと思います。12月１日から遡ること50年前の昭和47年12月１日に上牧町は町制施行されました。くしくも、その昭和47年は今中町長が上牧町に奉職された年でもあったと認識しています。その今中町長に令和４年度の総括を伺いたいというふうに思っています。

令和４年度、ご承知のとおり50周年イベントだけではなくて、先ほど竹之内委員からもありましたようにペガサスフェスタが再開されて、そこではゆりはちゃんというキャラクターが登場し、そして今まで消極的だったふるさと納税を積極的に推し進めたのも令和４年度、そして、先ほど質問がありますけども、いろんな内外から視察も多い官民協働のフリースクールを開校したのも令和４年度、また下水道事業が公会計されたのは令和４年度ということで、かなり大きな節目になった令和４年だと思いますので、ぜひとも今中町長に総括いただきたいと思います。お願いします。

○服部委員長　今中町長。

○今中町長　遠山議員のほうから、町制施行50周年と併せて、私の公務員生活50周年というご紹介を頂きました。ちょうど昭和47年、その当時役場に奉職をさせていただきましたが、そんな当時、上牧町、その前は上牧村でしたが、主要な道路であっても舗装がされていない、雨が降れば長靴を履いてしか歩けないような道路でございました。そんな当時、役場へ来られる新しい住民の方々から、もう不満ばかり役場のほうに寄せられていたというのを記憶いたしております。

それから50年、遠山議員からご紹介がありましたように、昨年50周年記念を開催させていただきました。住民の方々に、それぞれいろんな思いをお持ちいただいたのではないのかなというふうに思います。今まで上牧町は大変財政が厳しい中で運営をしてまいりましたが、いろいろ考えながら、また議員の方々からいろんなアイデアを頂きながら行政を行ってまいりました。

その中でも特にフリースクール、昨年開校をさせていただきましたが、開校して本当によ

かったなと自分自身でもそのように感じております。保護者の方と面談をさせていただいて、保護者の方が切々と訴えられたというのがもう本当に昨日のように思い起こされます。そういう中でフリースクールもさせていただきましたし、メタセコイアのライトアップ、それとあといろんな催しもさしていただいたんですが、住民の方々、それぞれいろんな感慨を持っていただいたんだろうというふうに思います。

財政状況は特に厳しい中でずっと運営をしてきておりますが、４年の決算成果に関する報告書の中でも、財政問題、特に経常収支比率、若干３％ほどポイントとしては高くなっておりますが、これにつきましては歳入歳出の計算式のバランスがございますので、どうしてもそれぞれのポイントで努力をして、例えば公債費比率なんかでも若干下がっておりますが、計算式の都合上で経常収支比率が上がってくるというようなこともございますので、我々としては、ここ最近の財政運営、それぞれ財政当局がしっかりと運営をしていただいておりますので、それなりの形で上牧町も来ているのではないのかなというふうに思います。

先ほどお話もありましたように、例えばふるさと納税なんかでも、当初私はやらないというような方針で来ておりました。やらないというのは、なぜやらないのかと。寄附をもらったら財政は潤うてええやんかというふうにいろんな声もあったんですが、上牧町に特産がほとんどないような状況、昔ヘップサンダルも上牧町の特産としてあったんですが、実際上牧町の方でされている方がもうほとんど皆無に近い。もしやっておられても、もう下請状況で、ほとんど独自のものがないというような状況でございますし、農業にしても、上牧町の農家は兼業農家がほとんどでございますので、特産としてはないと。

そんな中で、一時大変世間を騒がした大阪のある市なんかはクーポン券、そういうものまでふるさと納税として取り扱う。それと、自分ところの特産でないのにほかから仕入れて、それを上牧町の特産やというような形で、寄附をしていただくためにメニューばっかりをつくると。そういう状況をつくってまでお金を集めることがいいのかと。私は決してそういうやり方は、寄附をしていただく人たちに失礼だし、上牧町に特産がないのにほかから仕入れてまでそういうことをやるというのは、自分としては納得できないということで今までやっておりませんでしたが、ここ数年、商工会の方々、特に若い商工会の会員さんあたりが積極的にいろんなものを始められまして、今、特産品として挙げておりますのは、町内の事業者の方々のものを上牧町のふるさと納税の返礼品として取り扱っているという状況でございます。

50年、いろんなことが思い浮かぶわけですが、どんなお話をさせていただいたらいいのか

分からないんですが、泣きたいようなときもございましたし、悔しいときもございましたし、腹の立つこともいろんなことが50年間ございました。そういう思いで今まで仕事をしてまいりましたが、特に２期目の中盤辺りから３期目、今４期目でございますが、落ち着いたまちづくりができるようになったなと。住民の方々もそれぞれにご理解をしていただいているというふうに私は考えておりますし、そんな中でのまちづくりが少しずつ、一歩ずつ前へ進めてこられたのかなというふうに考えているのが、この50年の歩みでございます。

いろんな自治体から上牧町にお越しをいただくと、過去を考えたら、ほかの自治体から上牧町へ視察研修に来ていただくというのは、我々は入ってきてしばらくそんなことはほとんどございませんでしたし、ようやく今、上牧町がいろんなところに認知をされてきたなと。これも、当然議会の皆さん方、住民の皆さん方、それと職員の努力で、今ようやく50年を迎えられたのかなというふうに、大変私自身としてはうれしく感じているところでございます。

大きな50年だから、何々だからと、花火を打ち上げるというのも１つの節目でございますが、それよりもやっぱりしっかりと地に足をつけた取組、先を見据えた取組というものが必要になってくるのではないのかなというふうに感じているところでございます。

いずれにしても、昨年50周年の記念式典、それとフリースクールの件、前々から言われておりましたメタセコイアのライトアップ、そういうものも節目節目でしっかりできたのかなと。それと、上牧町の特にいいところは、今、官民、民間と一緒に協力をしながらやっていると。こういうなんがやっぱり上牧町の今の特徴ではないのかなと。住民の方々もしっかりとご協力いただいておりますし、そういうのが上牧町の中に定着をしてきているのかなというふうに感じている昨年でございました。これからもそういう考え方でしっかりとまちづくりをやっていく必要があるのかなと感じております。

以上でございます。

○服部委員長　遠山議員。

○遠山議長　ありがとうございました。今中町長から官民連携を推し進めた令和４年度であったと。その象徴となるものがフリースクールであり、私的に先ほどふるさと納税につきまして、商工会の方を紹介していただいたのは大変ありがたいと思っていまして、ふるさと納税は、ひいては商工会の若い方々の頑張りだったと。これぞまさに協働のまちづくりだったというふうに思っています。本当にいろいろありがとうございました。

基金につきましても、数字の話がありましたけども、三セク債を42億円借りた平成25年より前とほぼほぼ地方債の残高は一緒にもなりましたし、令和５年度も引き続き頑張っていた

だきたいと思います。ありがとうございました。

私から以上です。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　ないようですので、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

氏原委員。

○氏原委員　氏原賢一でございます。質疑のほうを２点ほどさせていただきます。

29ページで、国保ナンバー10番になります。18の負担金補助及び交付金のところの人間ドック等助成金でございます。資料のほうの10のところに書いていただいているんですけども、６番の事業の成果として令和元年から助成金を上限２万円から倍の４万円に増額変更したことで受診者数等も増えたという意味だと思うんですけども、令和元年度、いうたら平成31年だと思うんですけども、このときの人数についてお分かりであれば教えていただきたいことと、もう１つ、その下の国保ヘルスアップ事業費、資料が11になります。今現在国保には関係はないんですけども、虹の湯のほうなんですけども、それまで虹の湯のほうにポイントを付与していたんですけども、現在虹の湯が造り直ししているのかな、そういった状態なので、そのところが分かる部署の方、お答えいただければありがたいです。

以上２点でございます。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、住民保険課でございます。決算書29ページ、負担金補助及び交付金、人間ドック助成金等についてご質問いただきました。平成元年度の受診者数になるんですけれども、合計で414名となっております。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　414名、ありがとうございます。以上でございます。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　引き続きまして、健診のポイントの件でお聞きいただいたと思うんですけれども、ちょっと聞き取れない部分がありましたので、再度よろしいでしょうか。申し訳ございません。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　再度申し上げます。説明資料の11なんですけども、ここの３の事業実施内容としまして、虹の湯、令和２年度は48枚、令和３年度は38枚、令和４年度は斜線を引いていて、現在今跡形もない状態になっておりますので、住民保険課長さんとかきっと分からないかもしれないんですけども、虹の湯の今の進捗状況なりをお聞きしたいと思いまして質問させていただきました。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　今お聞きいただきましたこれまで健診後ポイントは、ＱＵＯカード、お食事券、そして虹の湯の入浴券ということを返礼品というような形でさせていただいていたんですけれども、虹の湯さんのほうは去年度からリニューアル工事は入られまして、確認したところ、令和６年の春にはリニューアルオープンできそうだというようなお話も頂いております。そして、令和４年度、５年度に関して契約には至らないかとは思うんですけれども、今後も事業協力のほうはよろしくお願いしますということで、お話は継続して進めていきたいなと考えております。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　ありがとうございました。引き続き令和６年度から虹の湯が再開しているということは町民のほうも喜んでおりますので、ぜひともその辺りで進めていただきたいと思います。ありがとうございます。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　補足させていただきます。私どもでお話しさせてもらったときは春オー

プンと聞いたんですけども、事業部のほうで詳しい内容を精査されまして、８月以降になりそうだということですので、訂正させていただきます。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　８月というのは、令和６年８月でよろしいんでしょうか。

○和田住民保険課長　そのとおりでございます。

○氏原委員　ありがとうございます。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

竹中委員。

○竹中委員　そしたら質問させていただきます。

決算書の24ページです。保険給付費に関するところ、資料のタブレットナンバーは７番でお願いします。よろしいでしょうか。

その中の保険給付費の中の出産一時金についてお伺いしたいんですけれども、当初予算が546万円組まれていたものが、実際に支出済額が166万4,000円と非常に乖離が大きいのがまず驚いております。資料のほうを見ましたら、令和２年度15件、３年度10件、令和４年度４件と激減ぶりなんですけれども、これは要するに想定よりも大幅に新生児が少なかったということでいいわけでしょうか。お答えいただきたいと思います。それだけ急激な少子化が進んでいるのかなというふうにこの数値では見れるんですけれども、非常にこれに関しては驚いております。町当局としてどのようにお考えなのか答えいただきたいと思います。

それから、令和４年度４件の申請があったということでこの資料からはうかがえますけれども、申請漏れとかというのはないんでしょうか。たった４人のお子さんが生まれたというふうに考えたらいいのでしょうか。まず、お答えいただきたいと思います。

そしたら、併せてもう１点質問させていただきます。

決算書の同じページの24ページ、葬祭費です。葬祭費のほうは逆に補正が組まれていて、93万円が補正９万円で102万円になっています。これも資料を見ますと、令和３年度が25件であったのが33件と増えていまして、それだけ高齢化が逆にこちらのほうは進行しているのかなというふうに読み取っているんですけれども、少子高齢化の急速に進み方をどのようにお考えなのかお願いしたいと思います。特に少子化のほうのあまりに著しい、あまりに乖離が大きいということの説明といいますか、どう認識されているかお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、ご質問いただきました出産一時金の決算金額についてなんですけれども、タブレット資料ナンバー７番になります。こちらで、令和２年、３年、４年度と出産育児金件数を上げさせていただきました。15件、10件、４件とだんだんと減ってはおるんですけれども、こちらはあくまで国民健康保険に加入されている方々で出産一時金を届け出られた方ですので、上牧町の全体の少子化が全てここに反映されているというわけではございません。ですので、今回、当初令和３年度の実績を見まして予算を組ませていただいたんですけれども、やはり運営していく中で、令和４年度は国保に加入されている方での出産の届出というのは非常に少ないような状況でしたので、このような結果になりました。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　ということは、会社勤めなどのような健康保険に入っている方は、ここに反映されていない。主に自営業者の方などの国保の数値であると理解したらいいんでしょうか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　その点に関しまして了解しました。

葬祭費のほうの説明もお願いします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　あと補足で、出産一時金に関しまして申請の漏れなどはということですけれども、こちらは出産に伴いまして母子手帳の届けとかもされますし、非常に大きな金額になりますので、そこらも連携を図りますし、まず漏れることはないかと思っております。

また、葬祭費につきましても国保加入者の方となりますので、基本的には74歳までの方が対象となります。ですが、やはり被保険者の中での人口割合ということを考えますと、上牧町は前期高齢者といいますか、70歳前後の方がたくさんいらっしゃいますので、実際に葬祭費の件数が年々増えているというのは事実でございます。

○服部委員長　竹中委員。

○竹中委員　よく分かりました。ありがとうございます。私の質問は以上です。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

牧浦委員。

○牧浦委員　牧浦です。お願いいたします。

上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算書から13ページ、国民健康保険税徴収率が

92.9％、この中で特に滞納繰越分が52.21％といいんですが、この内容を教えてください。

また、滞納整理の状況はどうなのか。分かっている範囲でお願いします。

また､国保加入率は毎年大体１％ずつ減っております｡これから先考える状況というのは、当町ではどのように考えておられるのか教えてください。

15ページ、備考欄の県支出金のほうで保険者努力支援制度交付金、これは支援制度で指標で決まると認識していますが、今年少し下がっております。その説明をお願いします。

その下の県２号繰入金、基準はないと認識しておりますが、しかしながら、町と相談してこれはやっていくということなんですけども、この部分の内容を聞かせてください。この部分は見える化交付税分となっておりますが、この辺の説明をお願いいたします。

次に25ページ、出産育児一時金、先ほどの委員もありましたが、もうあまりにも国保なんですけど４名と少な過ぎてびっくりしました。例えばほかの保険というか、町全体の出産というのは人数的に分かるかどうか教えてください。

次に27ページ、特定健康診査事業費、受診率が38.8％になっております。この流用の説明をしていただきたいのと、タブレットと決算書の比較の仕方がちょっと分からない。ちょっと説明していただけないでしょうか。お願いいたします。

次には31ページ、備考欄の財政調整基金費、前年度の約半分となっております。これから先なんですけども、人間ドックも含めてこれからの計画を教えてください。

以上、よろしくお願いいたします。

○服部委員長　牧浦委員の通告が終わったんですけども、ここで10分間休憩し、再開は11時10分といたします。

休憩　午前１０時５８分

再開　午前１１時１０分

○服部委員長　それでは再開いたします。

順次、答弁をお願いいたします。

徴収課長。

○山本徴収課長　それでは、予算書の12ページ、13ページの滞納につきましてご説明させてもらいます。令和４年度の滞納徴収額につきましては1,797万4,245円で、令和３年度滞納徴収額と比較いたしますと139万9,379円の減となり､徴収率については52.21％で5.62％の増となります。主な要因といたしましては、毎年継続的に滞納整理事務を推し進めさせていただきまして、滞納額の縮減に努めさせていただいたことで、例年に比べて滞納繰越額の縮小を図

ることができたと考えまして、徴収率も上昇したのではないかと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　まさにそうかと思います。ご苦労さまです。

それでは、滞納整理の状況というのは今どうでしょうか。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　滞納整理のほうなんですが、現年度の課税分でお支払いが遅れている方に関しましては、督促状を20日過ぎましたら送らせていただいております。過年度分を滞納されている方々に関しましては催告書等を送らせていただきまして、現地、住所地等のほうへ出向かせていただいたり、本人さんに会わせていただくように足を運ばせていただいて、徴収率を上げるようにさせていただいております。それでもどうしても無理な場合は給与照会とか実態調査をかけさせていただいて、財産のある方に関しましては差押え等で対応させていただいておるのが現状でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　昨日もありましたが、やっぱり差押えは大事なことですね。なかなか大変なことですけども、よろしくお願いいたします。

それでは、国保加入率が毎年１％ずつ下がっていっているんですけども、これから考えられること、これからの状況といいますか、お聞かせ願えますか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、ご質問いただきました国保の加入率が下がることによってのこれからということでございます。よろしければ決算資料、国保の４番の被保険者の推移並びに５番の保険税収納額の状況、こちらをご覧いただきたいと思います。よろしいでしょうか。そうしましたら、やはり国保の被保険者の加入率といいますか該当者というのは年々減少してきておる状態でございます。中でもやはり後期高齢者、75歳になられて保険が切り替わるという方が、令和４年度におきましては407名いらっしゃいました。その他で言いますと、社保の離脱及び加入に関しましては社会情勢が絡んではくるんですけれども、本年度では逆に地域の情勢もあるんでしょうけど、離脱されて国保に加入される方が100名ほど勝っておるような状況でございました。ただ、やはり全体で先ほどの後期高齢者への移行部分が非常に大きいということがございまして、５番の資料になるんですけれども、先ほど徴収課のほうで本当に計画を立てていただき、徴収作業を進めていっていただいて、徴収率自体は上がっているような状況ではございますが、実際の保険税の実入りといいますか、入のほうはやは

り減ってきております。これは、被保険者の数が減っていることが原因となっております。

そうしまして、また国保会計においては、令和６年度から県統一化というのは切っては切り離せない話題となっているとは思うんですけれども、今後こういった状況を抱える団体というのは奈良県内に非常に多くございます。県内の医療費を各市町村の人口で案分した形で保険料率を決めていくのが今回の県単位化の保険税の統一ということになりますので、やはり加入者の方々にはご負担をかけることにはなるんですけれども、そこは見合うだけのものをお支払いいただくということで、国保財政の健全運営に努めたいというように考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　丁寧な資料を頂きましたけども、なかなか資料だけでは分からない部分がありまして、今やっと分かりました。ありがとうございます。令和６年の統一になって、これから国保の負担が増えてくると思いますが、またこの辺のほうもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、次の質問、県支出金、保険者努力支援制度交付金についてご説明させていただきます。こちらの制度におきましては、保険者における医療費適正化に向けた取組等を評価する指標を設定し、達成状況に応じて交付金を頂けるというような制度になってございます。本年度内訳で申しますと、事業費分としまして480万円、取組評価分ということで716万5,000円、こちらの合計金額が決算額となっておるんですけれども、こちらの取組評価分といいますのが、先ほど委員ご指摘いただきましたように、町の取組に対してポイント制といいますか、出来不出来で各市町村への予算の案分というのが決まるんですけども、ただ、まずもって国から奈良県に交付される金額というのがございます。実際のところそちらが減っておりますので、最終細かな計算はちょっと分からないですけれども、うちが去年と同じだけの努力をしても、全体が減っているのでもらえる量が減ってくるとかといったこともございますので、今回は交付基準に従いまして申請した結果、このような結果となっております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　僕もちょっと調べたんですけども、やっぱそんなにペナルティーを受けるところはないのにもかかわらず下がっていると。これは何なのかなということで質問させていただきました。国からの補助金が下がっているということで、分かりました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、同じく特別交付金の中で県２号繰入金に係る部分ですけれども、こちらも国民健康保険法第72条の２第１項により、県が市町村に個別交付を行うものであると。配分割合は法令等には記載はなく、市町村との協議により決定することができるとなっておるんですけれども、こちらは県の方針に基づきまして、令和５年度までは見える化という事業で、本来それまでは各市町村にかかった医療費、県全体の医療費というのを実際の事務費と相殺した形で、最後に県からこんなけもらえるよと、この金額ですよというような通知があったんですけれども、令和５年度までの取組に関しまして一旦かかった医療費を町がお支払いして、その分を補助金で頂くと。トンネルのような形になる。これが見える化というような措置ということでございまして、今回は、資料で言いますと歳出の資料になるんですけれども、国保のナンバー８番、こちらの県の納付金額の中で、県２号繰入金、見える化交付金、こちらに３つの項目に分かれているんですけど、こちらの合算の金額に相当する分を入で頂いているといったような仕掛けでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。これは資料に書き加えるってなかなか難しいでしょうね。でも、相談という部分というのはもう何もなかったんでしょうか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　県医療保険課や国保連合会とは定期的に連携会議等を持っておりますので、奈良県内でこれだけ医療費がかかって、来年度の負担はこういうことだということは、当然県内通じて全ての市町村に下ろされております。それで、また統一化に向けて個別で県医療保険課が、うちのほう、首長のほうに挨拶ということで話にも来られましたし、そういった中での話合いは実際には行っております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。よく分かりました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、出産育児一時金で町全体の出産についてということでご質問いただきました。令和４年度におきまして町全体の出産に係る件数は98件、令和３年度は91件、令和２年度は80件ということですので、町全体では本当に微々たるものですけど、増え

ているという実績ではございます。ただし、死亡される方とか転入、転出もございますので、ちょっと人口が減ってきているというようなところには太刀打ちできないような数字なのかなと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。本当に国保だけで見たら、急に４件でなっているんで、やっぱりほかのところも減っているんかなともう本当にびっくりした次第で、少しは安心いたしました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、ご質問いただきました特定健康診査につきまして、まず流用についてなんですけれども、こちらのほうは受診を希望される方が非常に増えてまいりましたので、年度末近い時期ではございましたが、流用の上、措置をさせていただいたというような次第でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。この中でタブレットのほうの９番で補正予算額がマイナスになっています。そして、決算書の流用の額が９万9,000円と24万1,000円、６万2,000円、これはどういうような反映をさせて決算額に届かしているのか。この辺、分かりますでしょうか。ちょっと分かりにくくて、ただ単に流用だけの金額をどのように合計額、特定健診事業費の合計額に持っていっているのかなと。これがちょっと分かりにくかったもので、ここの説明だけお願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　暫時休憩願います。

○服部委員長　暫時休憩いたします。

休憩　午前１１時２２分

再開　午前１１時２２分

○服部委員長　再開いたします。

住民保険課長。

○和田住民保険課長　申し訳ございません。先ほど申しましたのは間違っておりまして、今回特定健診の受診者ではなく人間ドックの受診者が非常に増えておりまして、こちらに対する予算等がなくなってきておりますので、実際に特定健診の費用の部分を人間ドックに移して

おります。そういった形でございますので、逆転しておりまして、申し訳ございません。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

それでは、次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　そうしましたら、財政調整基金についてでございますけれども、決算書、歳入歳出もございますけれども、決算書の一番最後の財産に係る調書に本年度の最終の基金残高というのが出ております。その金額は４億1,870万8,370円、こちらの金額となっております。国保財政におきまして、基金金額をどの程度保持すればよいかといったような目安というのは示されてはいないんですけれども、多くの団体で保険給付費の10％から20％の基金を保有しているのが平均的な状況でございます。

令和４年度末の残高に関しましては、保険給付費が17億9,746万8,432円に対しますので、実際のところ23.29％の基金残高というのを保有しておりますので、県平均の目安といいますか、そういったところは達成しているのかなと。ただ、上牧町におきましては、令和２年から５年度までの間、人間ドックや特定健診の自己負担率、人間ドックにおきましては４万円までの限度額ということで、それを基金を財源としまして実施しておりますので、今後基金の残高等を注視しながら、保健事業というのも非常に大事な事業でございますので、これから先の立ち回りというのを検討していかなければいけないような状況かなと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　まさにそのとおりですね。それで、令和６年度、県統一化になります。このときに、人間ドックは上牧町のもう鳴り物入りで、本当に他町でうちところの人間ドックは補助してんねんでということが堂々と言えるような部分なんですけども、県統一化になって、基金もどのくらいが妥当なのか。そして、また今言うた人間ドックもするんであれば、どのぐらいを残していけばいいのかというのはなかなか難しいでしょうが、考え方としてはどうでしょうか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　国保財政の見極め部分で、保険給付医療費というのが重大な項目かと思います。やはり先ほど申しました保険給付費の10％から20％、できればそれ以上の基金は確保したいなとは考えてはおるんですけれども、そうするためには一般会計からの法定内での繰入れとかといったことにも頼らなければならないという状況になりますので、私どもの課

だけでは判断できない部分もございますので、財政当局とも相談に乗っていただいて、今後検討していきたいと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　よく分かりました。よろしくお願いいたします。

私の質問は以上です。ありがとうございました。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

石丸副委員長。

○石丸副委員長　石丸典子です。

令和４年度の国民健康保険の決算について質疑を行います。何点か、数点でございます。

まず、歳入の13ページのところでは、国民健康保険税の不納欠損額281万7,000円ということで、資料の３番で理由などを出されていますけれども、この中に一番下のところに執行停止理由なしという項目があるんですが、これについてのご説明をお願いいたします。

あと被保険者が年々減少して云々というところは、さきの牧浦委員が聞かれましたので、この辺は結構です。

次の項目ですけれども、歳出の保険給付費、22ページ、23ページからその後ですけれども、決算では最終的に不用額として6,489万6,000何がしが計上されましたけれども、これは医療費の見込みがなかなか難しいということもあるだろうと思います。補正の２回の12月では、医療費が増えてきている状況でということで5,400万の増額補正だったんですけども、結果として令和３年度に比べてちょっと減っているという令和４年度の医療給付費ですが、どのような傾向でしょうか、ご説明をお願いいたします。

次は、24ページ、25ページの傷病手当金のところですが、これはコロナ対応で急激に収入が減ったところに対して、国民健康保険のところにおいての給付なんですけれども、最終的に何件の方への手当金だったのか、お願いいたします。

次は、26、27ページで、保健事業費ということで、先ほど来、質問もありましたけれども、受診率はこれまでになく高い38.8％ということです。これについては資料の９のほうで資料が出されているんですけれども、受診率を上がった要因としては、次のページに出てきます国保ヘルスアップ事業費ということで、特定健診未受診者への勧奨ということで事業も行われたと思います。訪問であったり、また電話での健診を受けてくださいというのがあったんですけれども、その効果と、あともう１つはみなし健診というのがあるかと思いますけれども、ほかのお医者さん等で同じような検査をされた場合は、特定健診を受診したとみなすと

いうのがありますね。その件数が分かればご説明をお願いいたします。

もう１つの項目は、29ページのところで、今、述べました国保ヘルスアップ事業費ということで、委託料で約6,000万円計上されています。資料では12のところで説明が行われているんですけれども、健診の重大さなどをお伝えするということで委託料となっておりますけれども、この委託先についてご説明をお願いいたします。

以上です。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　執行停止の理由なしの項目からお願いいたします。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　それでは、説明のほうをさせていただきます。執行停止のなしという部分ですけれども、ちょっと表記の仕方がまずかったと思いますので、その辺は申し訳なく思っております。執行停止をせずに５年の時効を迎えたものという形で、上記の３項目に該当しないものになります。これの分に関しましては23件ってなっておりますが、期別の件数になりますので、期別の件数が23件でございます。主な要因といたしましては、外国人の方が転入されてきて、国民健康保険に加入をされて、そのまま国外退去、お支払いをせずに自国へ帰られたという部分で滞納が残ったという形の時効になっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　23件ということに23人ということではないということで、今おっしゃられましたね。納期ごとの件数であるということで、具体的に人数では出ないんですか。出なければ結構ですけど、すぐ分かるようでしたらお願いします。この中には死亡というのは入らないんですね。執行停止理由の中に財産なし、生活困窮、居所不明ということがあるんですけど、私はこれは死亡ということなのかなと思って見ていたんですけど、そうではない。

○服部委員長　徴収課長。

○山本徴収課長　死亡のほうは財産なしのほうに入りますんで、これはもう外国の方が自国へ帰られた滞納になります。

人数のほうは４人になります。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。ありがとうございます。この頃、外国人の方、たくさん上牧町内でも見受けて、いろんなところで働いていらっしゃるようですので、やはり国保に加入されるという方法になりますね。はい、分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、保険給付費の補正予算や最終の残額についての状況をお聞きいただいておると思います。こちらの保険給付費におきましては、毎年非常に頭を悩ませるところではございます。実際にかかる医療費につきまして、２か月程度の遅れでデータというのが当課のほうに来るわけなんですけれども、令和２年度は実際にはコロナの受診控えというのが大きく目立ち、減少が見てとれました。その後、３年度は若干医療費のほうも上がってきておりました。それで、令和４年度につきましても、当初は３年度並みの数字を頂いておりましたので、補正予算におきまして、こちらも非常に規模が、桁が大きい数字ですので、早い段階で補正予算を打って支払いの対応をしないといけないというような事情がございました。それで、補正予算後事業を進めていたんですけれども、やはり年度末におきまして医療費の減少が見られましたので、このような不用額が出た形となっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　よく分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、傷病手当につきましてご質問いただいております。コロナウイルスに感染し、会社を休み、労務に服することができない場合に支給させていただいております。令和４年度の支給件数は13件となっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　よく分かりました。ありがとうございます。

次、お願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、国民健康保険特定健康診査に係りましてご質問いただいております。タブレット資料ナンバー９番になります。受診率が年々増加しておるうれしい傾向ではございますけれども、上がった要因としまして、みなし健診はどういったものになるかといいますと、基本的に特定健康診査で行っております身体測定、血圧、血液検査、尿検査、心電図、眼底検査などこれらの項目を全て個人で受けられた健診であったり、会社で受けられた健診、こちらの全ての項目が私どもにデータとして提出いただける方に関しましては、特定健診受診済みということでカウントをさせていただいております。みなし検診の件数で

すけれども、令和４年度におきましては41件上がっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　これは、例年に比べてはどうですか。年間、大体そのぐらいですか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　令和３年度も40件という数字ですので、ほぼ同じような数字で上がっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。みなし健診ということで、慢性の疾患をお持ちの方であるとか定期的にお医者さんにかかっていらっしゃる方は、お医者さんのほうで血液検査などを定期的に年１回とかされますので、そういう方はこれに該当するんだと思うんですけれども、ただ、同一年度内でしたものということがあるみたいで、私もこれに当てはまらないか持っていったところ、年度が変わっていたということで、受診した本人としては１年以内に行っているということで、わざわざ特定健診を受けなくてもいいというふうなことになっていると思うんですけど、コロナ禍で、特にこういう時期にわざわざ何回もお医者さんで検査を受けたくないというのが一般的にもあるんではないかなというので、自分で健康管理できていればいいという方もありますので、みなし健診のＰＲをもうちょっとされたら、受診率が上がるのではないかなと思うんです。

本当に私が思うのは、全くされていない方に、初めての方にしていただくというのが一番、全然行ったことがないという方がいらっしゃって、病院にも病気などなくって全く行っていないという方のほうが大切かなというのは思ったんですけど、毎年行かれることは大事ですけれども、明らかにメタボに対象とならないというような方については、大丈夫な分もありますけれども、メタボに特定したような健診で始まっていますので、大事な事業だと思います。ありがとうございます。

ここに関連して、ヘルスアップ事業費のところで行われていますけれども、電話や訪問等がありますが、委託先についてお願いいたします。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　それでは、今ご質問いただいておりますヘルスアップ事業でございます。こちらは特定健康診査受診勧奨事業でありましたり、未受診者への対策、レッドカード事業、糖尿性腎症プログラム受診勧奨事業といった様々なものもございますけれども、特に今お聞きいただいております特定健診の受診勧奨につきましては、引き続き前年度データ等をお持

ちですので、当課としましては創和クリエイティブライフ株式会社さんというところに委託をお願いしておるような状況でございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　業者さんの方が訪問されたり電話をされるということなんですね。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　おっしゃられたとおり広報等にも特定健診受診事業をさせていただきますので、こういった方々がご自宅のほうに伺われたり、戸別訪問や電話での勧奨をしていただいておりますので、行かれるというようなお知らせをさせていただいた上で実施いただいております。

○石丸副委員長　よく分かりました。ありがとうございます。これで全部終わっておりますね。

保険料の中で給付事業を行っていくということで、今後保健事業が大切になってくると思いますので、しっかりこの分野でも力を入れていただきたいと思います。

以上で終わります。ありがとうございました。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸副委員長。

○石丸副委員長　石丸典子です。令和４年度後期高齢者医療特別会計の決算についての質疑を行います。

これは１つですけれども、16、17ページの保健事業費の中の後期高齢者に対する人間ドック等助成金ということなんですけれども、補正予算も組まれて143万5,000何がしの執行なんですけれども、人間ドックと脳ドックとそれぞれ助成されていると思うんですけども、何人の方が受けられたかという項目です。国保は４万円ですけど、これは２万円限度で２分の１ということで、よく比較されて後期高齢者はなぜ少ないのとかと言われたこともあったんですけど、それぞれ何人ずつ受けられましたか。

○服部委員長　住民保険課長。

○和田住民保険課長　今お聞きいただきました後期高齢者における人間ドックでございますけれども、人間ドックが55名、脳ドックが28名となっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　脳ドックは、予算のときに比べて10人ほど多くなっているという傾向ですね。分かりました。ありがとうございます。

以上です。

○服部委員長　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○服部委員長　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は背終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

牧浦委員。

○牧浦委員　それでは、上牧町介護保険事業特別会計歳入歳出決算書について質問いたします。

10、11ページ、保険料の中で補正予算額が前年度より大きく補正されました。この説明をお願いいたします。

続きまして、20、21ページ、介護サービス等諸費、これも大きく補正されています。１桁違うんですが、説明をお願いいたします。介護サービスが減ったのかどうかお願いいたします。

27ページ、備考欄で包括的支援事業費、これは研修費、地域包括運営委員会が何回して、内容はどうだったのか。地域課題やそれとまた協議体との関係はどうだったか。組織代表と町民代表とあるが、どんな人が含まれているか聞かせてください。

29ページ、備考欄の家族介護支援事業費、紙おむつ支援支給費は何件か教えていただきたいです。ここでは296万中ほぼ紙おむつでよかったのかなと思います。

それと、またその下の徘徊感知機器通信料、予算時52名だったが、決算ではどうだったか聞かせてください。

その下の配食見守り支援事業費、これも前年度より減りましたが、予算時は２業者で22名でしたが、決算時ではどうなったか教えてください。

その下の緊急通報見守り支援事業費、緊急見守り支援事業委託料を何世帯がされているのかお願いいたします。

その下の傾聴ボランティア事業費、ボランティアの養成なんですけども、どのような状況であるのか。そして、また傾聴ボランティアの事業の会議というんですか、開催をしているのかどうか教えてください。

その下の生活支援体制整備事業費、生活支援サポーターの数はどのぐらいになっているか聞かせてください。

続きまして、31ページ、認知症地域支援ケア向上事業費、認知症初期集中チームの構成を教えてください。

キャラバン・メイト、おれんじハートの会の活動内容を教えてください。

その下の地域ケア会議推進事業費、どんな内容なのか教えてほしいのと、これは協議体とは違うのか、また協議体の中の一部分なのか教えてください。

その下の介護給付費準備基金積立金、９期に向かってどのような考え方でおられるのか聞かせてください。

私の質問は以上です。お願いいたします。

○服部委員長　牧浦委員の質疑の通告は終わりましたので、ここで休憩とし、再開は午後１時といたします。

休憩　午前１１時５３分

再開　午後　１時００分

○服部委員長　それでは再開いたします。

生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、牧浦委員からご質問いただきました介護特会歳入の10ページ、11ページ分、20ページ、21ページ分を一緒に説明をさせていただきます。よろしいでしょうか。保険給付費ですが、思ったより低く水準をしましたので、保険給付費を減額させていただきました。その分、歳入のほうで調節を図って、保険料を下げさせていただきました。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。今までより審査が厳しくなったという部分というのはどうでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　確かに認定審査上で一時期厳しくなったというときというか、それが今継続しておりますが、あったんですけれども、必要なサービスを必要な方がお使いになっていらっしゃる私どもは思っておりますし、そういったチェックも細かくさせていただいておりますので、必要なものを使っていただいてのこの結果だと思っております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　要支援１・２、要介護１、この間の今までは要介護１やった人が、半年ぐらい症状が同じであれば要支援２にいくというような部分がここに反映されているところでもあるんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　今、牧浦委員がおっしゃられましたように、要介護１の方が同じ状態が持続して固定すると要支援２に振られるというのは確かにあります。ですが、今、皆さんの介護サービスのお使いのやり方を見ていますと、本当に介護度、介護度の限度額いっぱい使われるという方はそんなにたくさんいらっしゃいませんので、たとえ厳しくなられて要介護１の人が要支援になられても、それほど不便は出ていらっしゃらないかなと考えております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、27ページでございます。27ページの下のほうにあります包括的支援事業の研修についてでございます。この研修は、３町合同で順番に研修をさせていただいておりまして、今年のテーマは介護ケアマネジメントを深めようということで、そういった先生に来ていただいて、３町合同でケアマネジャーさんに集まっていただいて、自立に向けた研修について学ばせていただきました。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ちょっと僕は勘違いしていたのかも分からないです。これは、今まで協議体というカテゴリーが、２年前か、出たんですよね。その協議体との関係というのは、包括支援事業とどのような関係があるんでしょうか。また、もう全然関係なくして独立しているんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　協議体という考え方はもちろんございます。ただ、カテゴリーがちょっと違っておりまして、ここでいう研修会のほうはケアマネジャーさんたち専門に、ケアマネジャーとしてのプロの学びを深めていただくためにやらせていただいたものでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、地域課題等々というような話し合う場所でもないんですね。プロのケアマネジャーたちが集まって、プロのそういう話合いがやられている場所という意味でしょうね。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　そのとおりでございまして、要望だけを聞くケアプランにならないように、自立支援に向けたケアプランをつくるための勉強会という形でさせていただいております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

　ここで、組織代表と町民代表とあるんですけども、これはどういう方が含んでいるんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　誠に申し訳ありませんが、どこの部分のご質問でしょうか。

○牧浦委員　これは違いますね、申し訳ないです。結構です。ありがとうございます。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、今ほどの下のところにあります包括的支援事業、報償費の下にあります地域包括運営委員会委員報酬の部分の委員会のメンバーでございますが、メンバーは保健所の所長の方や、あと医師会の代表、歯科医師会の代表、あと議会の代表にも入っていただいておりますし、あと地区組織、人権擁護委員とか民生委員さん、あとシルバークラブ等々、あと関係団体と町民代表の方に４名に入っていただいておりまして、協議体をするとなれば、こういった代表の方ももちろん含まれてはくるかと思いますが。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。協議体というカテゴリーでは、なかなか上牧町はくくっていないというような形が、２年前できたときに、協議体を中心にいろんなこれからの介護等々って決めていくと､地域課題も出してくるというような厚労省からのあったと思うんですけども、上牧町はその辺というのはどうなんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　協議体というのは、数年前に大きな規模で１回目、２回目と３回ぐらいさせていただいたと思いますが、今言ったような地区の代表、活動の代表の方に集まっていただいて、幾つかのグループに分かれてもう忌憚のないご意見を出してくださいということで数回やらせていただいたんですが、まとまりをつけるのは私ども事務局が下手くそやったと思うんですが､なかなか難しいなって思っていたところにコロナ禍が始まりましたので、直接会って集まるのはやめておこうかという形でしばらくは閉じていたんですが、ただそのままではよろしくありませんので、４年度末ぐらいに考えましたのは、ちっちゃな協議体、モデル地区をつくってそのモデル地区で代表の方に集まってもらって、モデルのところで取りあえずミニ協議体をしてみようということで、今やり始めているところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、ミニ協議体というのを基準に上牧町全体にやっていくという状況になるんですね。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　今始めたところですので、そこがどういった結果を出すかによって、地域全体でいくのか、もう１つ大きな、もうちょっと大きな規模でいったらいいのかというのは、今から模索していくというところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。今、聞いておきます。また、次のときになったら新しい形で出てくると思いますので、そのときに聞かせていただきます。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、29ページの上のほうにあります家族介護支援事業の紙おむつの利用人数でございます。最終56名の方が支給を受けていらっしゃいます。入院されたり施設に入られたりしてすごく数が変動するもんですから、最終つかんでいるのは56名です。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。ありがとうございます。

それでは、次、徘徊のほうをお願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　徘徊感知器が伸び悩みまして、実質お使いになっていらっしゃる人は２人でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　予算時では52名というあれだったですね。僕は予算に入っていましたので、勘違いしているのかも分かりません。52名とあって、今２名ということでよろしいんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　最近の認知症の相談件数も増えておりますので、徘徊の方も多くなるのではないかと予算上はつけさせていただいたんですけど、実質ご利用の方は２人でした。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。

それでは、次、お願いいたします。配食ですね。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、配食見守り支援事業についてでございます。実質、現在24人の方がお使いでございます。延べ配食数2,582食を配食していただいております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　予算時は大体22名ということやったと思うんです。それで、そのときに業者は２業者というあれだったんですけど、それは変わりないでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　２業者でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　結構です。予算上２名増えたということで、それで、次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　緊急通報見守り支援事業でございます。何世帯がご利用かというご質問です。現在52世帯がご利用でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、その下の傾聴ボランティア事業費でございます。４年度はコロナ禍でもありまして、養成事業はやらずに、今までの登録されたボランティアさんの自己研さんを努められたというところで、５年度からの事業展開の計画をされておりました。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ということは、ボランティアの養成講座はやっていないと。そして、開催してい

るのは、これからの５年度以降のいろいろボランティアの事業の方向性を決めるという会議でよろしかったんですか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、よろしくお願いいたします。

次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　生活支援体制整備事業の中の生活支援サポーターでございます。生活支援サポーターの現在活動をするための登録人数は23名でございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　23名ですね。これは、申込みをされて、社協がずっとやっていかれているんですかね。人を配分していっているんでしょうかね。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　生活支援サポーターの養成講座は生き活き対策課の包括支援センターのほうでさせていただいておりますが、今おっしゃいましたようにその後のマッチング、誰がどこでどんなサービスをするというのは、社会福祉協議会の職員の選任した方がやってくれています。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。主に生活支援というのは、今一番何が多いんでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　買物代行やごみ捨てございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、31ページの中ほどの認知症の部分でございます。認知症初期集中支援チームの説明でございますが、支援チームに入れる職種が決まっておりまして、研修を受けられた精神科のドクター、研修を受けられている専門の相談員さん、それとうちの包括支援センターの職員で研修を受けた者３名が入っております。計６名で構成をしております。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　どのような活動をされていますか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　昨年度とその前の年度もなんですが、初期集中支援チームが活動するという事案はありませんでした。初期集中支援チームといいますのは、認知症の治療が中断されていたり、最初からもう治療されていなくて、最初の取りかかりをさせていただくので活動をしていくんですが、ここ最近は認知症の相談を近所の方から受けたり、民生委員さんから受けたりすると、包括の職員がまず状況を確認して相談に乗ってという形で、医療につながったり、自宅での生活の支えのほうにつながっておりますので、初期集中チームが活動するという場は、今はありませんでした。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　分かりました。なかなか説明しにくい、書きにくいもんですから、ありがとうございます。

それでは、キャラバン・メイト、おれんじハートの会の活動内容というのはどうでしょうか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　キャラバン・メイトといいますのは、認知症サポーターになられてから、また１日の研修を受けられて認知症サポーターを養成することができる方をキャラバン・メイトと申します。ですから、うちの登録しているキャラバン・メイトさんたちは、例えば単位当たりのシルバークラブさんに行かれたりとかというところで、サポーターの養成講座を行われています。

おれんじハートの会というのは、うちの包括が立ち上げてきた自主組織ですけれども、サポーターというのは認知症の人に寄り添って何かできることがないか、できることがある範囲で活動するというのがサポーターでございますので、サポーターの方が十数名集まっておれんじハートの会というのをつくってらっしゃいます。最近の活動では、去年とかはなかなか活動しにくかったんですが、啓発用のポスターとかといったような啓発物をつくったりとかというのをされています。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　そしたら、キャラバン・メイトは、おれんじハートの会のメンバーさんみたいな人たちをつくっていく教師みたいな場所､先生みたいな人たちですか｡そうでもないですか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　大きく言えばそうだと思いますが、活動自体はまた別々というか、そんなところでございます。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　大筋そういうことで、また本当によろしくお願いいたします。これに関しては結構です。

次、お願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　介護の積立金、基金ということでよろしいでしょうか。今年度、５年度が８期の最終になりますので、そこまでで積み立てた金額で、それだけが主じゃないですけれども、９期の保険料をまた考えていく１つにさせていただきたいと思っています。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　今もうちょうど８期が終わるときで、今またちょうど僕も委員会に入れさせてもらっているんですけども、大体どのぐらい積立金を考えているのかなと。だんだんだんだんやっぱり介護の費用というのが必要になってきますので、介護の費用ってなかなか足らなかったというときの処置が大変なんで、積み立てて多めにしとかなくちゃいけないというのは分かっているんですけども、第９期にかけてどのくらい、例えばもう大まかに1.2倍であるとか1.5倍とか、その辺は考えておられますか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それは、基金の積立額ということでしょうか。基金の積立額につきましては、いろいろなところで言われておりますが、実質収支に係る大体10％、１割というのが一般会計でも言われていましたけども、そこまではもう積み立てられないんじゃないかなという気はしているんですけども、ただ、最低で１億円は持って９期にいかないと、何かあったときにしんどいかなと思っています。

○服部委員長　牧浦委員。

○牧浦委員　ちょっと答えにくい質問で申し訳ない。

私の質問は以上です。結構です。ありがとうございました。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

氏原委員。

○氏原委員　氏原賢一でございます。

私のほうからは全部で３点、21ページ、そしてタブレットの介護ナンバー４番のところで、まずは訪問調査費、単価が3,300円かなとは思っているんですけども、こちらナンバー４のところに載っている分を月ごとに割ったら3,300になるところもあれば、小数点になるところもあるので、お幾らだったかなというのが１つ。

そして、基本的には職員さんが訪問調査に行くのが国のほうも示されているんですけども、委託ができるということで、委託先のほうは何か所ぐらいか。もしもよければ、委託先を教えていただければということ。

そして、あと１つが、申請から決定まで国のほうは30日って決めていますけども、上牧町のほうはその分はクリアされているのかお聞きしたいです。

以上３点でございます。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、訪問調査費についてでございます。訪問調査は、委託料１件3,300円で、施設の調査については2,000円で行かせていただいております。

委託先ですが、町内の居宅介護支援事業所はほとんどの事業所に行っていただいておりますので、おおよそ10か所程度でございます。ただ、保険者さんが県外にお住みとか、県外の施設にお入りという場合は、そちらのほうの関係者に委託をして、していただいております。

それと、申請から決定までですが、厚生労働省から言われているとおり30日を守るように、大体そのぐらいで結果は出ております。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　ありがとうございました。以上でございます。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

石丸副委員長。

○石丸副委員長　石丸典子です。令和４年度の介護保険の決算についてお伺いいたします。３項目ですけれども、お願いいたします。

まず、歳出の21ページ、今、質問されていた訪問調査費のところですけれども、令和３年度決算に比べて大きく伸びています。令和３年度決算は110万ですけれども、令和４年度決算は約180万ということで700万増えてきているんですでも、これについて状況をお願いいたします。

それと、次、保険給付費に入りますが、同じページのところで介護予防サービス等諸費ということで、資料で見させていただきますと、５年間このサービス費が伸び続けています。

これについてもどのような傾向かをご説明ください。

３つ目ですが、26、27ページのところで、一般介護予防事業評価事業費の中で委託料として一般介護予防事業評価事業委託料ということで、要支援１・２の方を対象に日常生活圏域ニーズ調査ということでされているんですけれども、これについて今後どのように活用されるのかということをご説明ください。

以上です。よろしくお願いします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、21ページの訪問調査費についてでございます。もちろん申請の方の数も年々増えてきております。それと、訪問調査が、有効期限が去年あたりから大きく変わってきておりますので､そういったこともあって去年はちょっと少なめに出ていて、今年はそれが取り払われて、取り払われたわけじゃないんですけど、改定の人の周期がありまして、それで今年はちょっと多く出ているということがあると思います。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　それに関係しましてというふうに私は考えたんです。訪問調査の期間が変わったということで多くなっているというのは分かりましたけれども、訪問調査費も増えていて、申請者数も令和３年に比べて増えていますね。339件増えていて、認定者数も307ということで増えてきているんですけれども、利用者については令和３年度に比べてマイナス40ということで、認定までは受けられるけれども、利用までにいっていないということで、取りあえず認定してみようかなという方があるような状況ではないかと思うんですけれども、それと認定者数は、この５年間で資料から見ますと、要介護３以上の人が増えてきているということで重度化しているし、一方では介護認定しようかなということで介護が要るような状態に近づいてきているというのが増えてきているというふうに、その両面かなと思うんですけども、それはそのような傾向というか、認識でよろしいですか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　今ほどの質問ですけれども、石丸委員おっしゃるように、極端に要支援１・２、要介護１までの数と、あと２、３、４がなくて５が増えてきているという傾向は、ここ三、四年続いている傾向かなと思っています。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。それで、介護予防の事業が重要になってくるのかなということで、先ほど牧浦委員がいろいろ聞かれたような事業を町ではいろいろ力を入れておられる

ということで、私はそのように決算書を読んだんですけれども、それで、次の介護予防サービス等諸費は伸び続けているということですけれども、これは、その中でも要支援１・２の方の利用が増えているということですね。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　そのとおりでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。それで、最後のところですけれども、日常生活圏域ニーズ調査ですけど、これは今後どのように活用されますか。何か評価されるという事業ですか。町で何かこれに対応する事業が行われるのかどうか､活用についてご説明をお願いいたします。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　それでは、27ページの上のほうの一般介護予防事業評価事業でございます。委員おっしゃるように、日常圏域ニーズ調査という形で、昨年年明けに配付をさせていただいて調査を行ったものでございます。これは、９期の介護保険の計画の策定のための資料として使わせていただくと同時に、その中で発見された問題については、また先ほどのミニ協議体とかで活用していけたらいいと考えております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。９期に向けてということですけれども、要支援１・２の人を対象というのではなく、一般の高齢者の調査などはこれまでありましたけど、それはまたそれで行われるんですか。

○服部委員長　生き活き対策課長。

○林生き活き対策課長　今回の一般介護予防の中には、元気な高齢者の方、認定を受けていらっしゃらない方もこの中に調査に入っておりますので、比較対照しながらデータを使いたいと思っております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。また、しっかりニーズ調査に向けて計画が立てられますようによろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。

以上です。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸副委員長。

○石丸副委員長　石丸典子です。令和４年度下水道事業特別会計の決算について質疑を行います。３項目です。

まず、10ページ、11ページの歳入、下水道使用料ですけれども、これは10か月分の下水道使用料について決算が行われたというふうな理解でよろしいですね。３月31日に締め切られたものであるということなんですけれども、ここで、下水道使用料の収入済額で現年度分においては83.34％ということで、ちょっと落ちているということと、逆に滞納繰越分の収納済額については44.48ということで、例年よりちょっと倍近くになっているんですけれども、このことと公会計へ移行するための打切決算との関係があるのか。この収納率について説明をお願いいたします。

それと、ここに関係して収入未済額が4,894万3,880円ということで、令和４年度で上げられています。この額が、令和５年度の下水道の企業会計の貸借対照表の流動資産の未収金に上げられたというふうな計上でよろしいでしょうか、確認です。

次のページです。16、17ページですけれども、公共下水道事業費の中の委託料、17ページの真ん中より少し下の委託料に、下水道ストックマネジメント計画策定業務委託料ということで、資料はナンバー４で上げられています。葛城台と松里園地区における計画策定ですけれども、下水管の調査や診断が行われていると思いますけれども、結果と対応についてお願

いいたします。これに基づいた今後の計画はどのようなものでしょうか。

１つ漏れていました。15ページのところで、下水道総務費のところの委託料で、地方公営企業法適用業務委託料ということで、1,165万5,600円の決算額です。この事業については、令和２年から令和４年まで毎年行われてきたことですけれども、移行に当たっては十分点検が行われたかどうかということと、業務の大変なところ等あれば説明を頂きたいと思います。

以上です。よろしくお願いします。

○服部委員長　担当者。

○牧浦上下水道課長補佐　１番目の質問なんですけど、使用料、現年のほうが収納率のほうが83.34％、滞納のほうが44.48％ということで、現年のほうは令和５年度のほうから公営企業会計のほうに移行しまして、３月31日に打ち切りしたということも関係しているんですけど、その加減でちょっと下がっているということがまず１つです。滞納のほうが去年と比べてかなり上がっている理由としまして、簡単に言わせてもらいますと滞納整理のほうを強化させていただいたというところでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　現年度分で収納済額が少なくなったのは、出納閉鎖が２か月早かったから、単純に言ったらそうですか。これは10か月分の使用料で３月末までの収納ですね。その２か月間の差ということでいいんですね。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　間違った答えを言ってしまったんですけど、徴収率ですので、10か月の分で率を出していますので、打切決算というのは関係ないので、間違った答弁をさせてもらいました。現年度分なんですけど、昨年度は99.003でよかったでしょうか。

○服部委員長　暫時休憩。

休憩　午後　１時４１分

再開　午後　１時４２分

○服部委員長　再開いたします。

○牧浦上下水道課長補佐　委員の質問なんですが、現年度は少し下がっていて、滞納分のほうがかなり上がっているという理由でよろしかったでしょうか。先ほどちょっと申し上げました滞納整理を強化させていただいたというところが１つの理由でして、どういう質問かもう一度教えてもらってもよろしいでしょうか。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　ここの現年度収入済額の収納率が83.34ということで、例年に比べて低いという印象を持ったので、要因はという質問なんですけど。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　たびたびころころと答弁が変わって申し訳ないんですけど、調定額、１年に対して10か月、令和４年４月から令和５年１月分の収納の率を出しておりますので、その分で徴収率が下がっているということで間違いないです。申し訳ないです。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　調定額が上がっているということですね。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　調定は１年で計算させてもらっているんですけど、12か月、収納のほうが10か月という理由になります。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　ということは、下水道使用料の計算は11か月分、使用料の収入は10か月分で計上ですよね。予算のとき、そんな説明があったんです。ところが、調定額のところでは１年分入っているということなんですね。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　そのとおりです。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　大変よく分かりました。２か月分の下水道使用料はどこへいっているんかなというのはすごい思ったんです。調定額のところは１年分の下水道使用料を見込んだ調定額ということで分かりました。公会計に移行するに当たってこのような率になったということで、滞納分のところにおいては、公会計に移るということもあり、滞納整理に努められたというふうなことでいいわけですね。

　では、次、令和５年度の企業会計のところに入る分は、この収入未済額の額が入っているという理解でよろしいですか。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　11ページ、収入のほうの収入未済額4,894万3,880円、こちらのほうは令和５年度の４月１日の貸借対照表のほうに未収額として計上させていただいております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　そのようになっておりましたので確認できました。

次、お願いいたします。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　飛ばしたところ、15ページの公会計に移行するに当たっての業務の委託料、今年度最後で決算になっておりますけれども、移行に当たってのいろいろ大変なところがあるようにお聞きをしておりましたので、どのような状況でしたか。ちなみに、令和５年度の予算書では、不備も委員会では指摘をさせていただいたんですけれども、令和２年から令和４年までの取組をどのように見ておられますか。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　委託料、地方公営企業法適用業務委託料の大変であったという点なんですが、一番大変であったのは予算の部分でありまして、特別会計から公営企業会計は複式簿記のほうになるんですけど、知識が少ないというところで、その時点では委託会社も日本イシクのほうでお世話になっていたんですけど、いろいろ予算のところで、以前滞納の分で間違いがあったとかといった部分で、予算の知識不足というところが大変混乱したというところでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　大変ご苦労であったと思います。水道事業会計ではもともとから企業会計になっているのでなかなか気づかれなかったのかもしれませんけど、最終的に掲載のミスが分かったのはいつ分かりましたか、どの時点で。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　当初、議決していただいてすぐというか、５月か６月ぐらいにミスが判明したというところでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　それでしたら、６月の補正ででもできたわけじゃないですかね。どちらにしても、気づいた時点で説明いただいて、修正の補正などをするべきだと思いますので、その点はよろしくお願いしたいと思います。

○服部委員長　担当課。

○牧浦上下水道課長補佐　これからは、ミスが分かり次第早急に議会のほうに報告させていただきたいと思います。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　よろしくお願いいたします。この件は結構です。

○服部委員長　担当者。

○田中上下水道課係長　そうしましたら、17ページ、公共下水道委託料、下水道ストックマネジメント計画策定業務委託料につきまして、さきにご質問いただきました事業の成果と報告のほうをさせていただきます。今回の事業の成果といたしましては、今回調査診断業務を完了したことで、調査診断達成率が65％から72％まで上昇いたしました。今後の方針につきましては、耐震化工事のほうを重点的に取り組んでいくように考えておりますので、一時調査のほうは中断させていただきまして、後、工事のほうを重点的に取りかかってまいるように努めております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　下水道ストックマネジメント計画策定業務委託料をした次の年に、例年なら管渠整備工事ということで行われているんですけど、これは令和５年度にはまだ入っていないということなんですね。

○服部委員長　担当者。

○田中上下水道課係長　本地区につきましては、まだ先になります。ただ、片岡台地区、友が丘地区を先行して着手していくように考えております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　何年とか令和６年とかというふうな具体的な計画はまだですか。

○服部委員長　担当者。

○田中上下水道課係長　具体計画といたしましては、まだお示しできませんので。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。計画は立てられたということで、令和５年度は片岡台１丁目地区が耐震化などの工事が行われるということで、令和５年度の会計の中に片岡台１丁目が含まれているということですね。

○服部委員長　担当課。

○田中下水道課係長　おっしゃるとおりでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。ありがとうございました。

以上で終わります。

○服部委員長　それでは、ほかにございませんか。

氏原委員。

○氏原委員　氏原賢一でございます。よろしくお願いいたします。

先ほどのところと同じで15ページ、そして資料が下水ナンバー３番のところで、さきに石丸委員のほうもおっしゃってくれました。文教厚生委員会ではもう終わりましたけども、今回、公会計制度ということでなったんですけども、特別会計につきましては来月10月からはインボイス制度が始まりますよね。それについて、自治体であったとしても、税務署のほうに一般会計は届けはするんですけども、それに発生はしないとは聞いているんですけども、特別会計ごとに税務署のほうに届けが必要というのはあるんですけど、それは既に済ませているかどうかだけお聞きしたい。

そして、今回勘定のところに入れるのが間違ったというので、今後皆さんが知識をつけていけばこういったことがなくなると思いますので、今後の対策として皆さんに受け継いでいっていただければよろしいかなということで、インボイス制度の分だけお答えいただければと思います。

以上です。

○服部委員長　担当者。

○田中上下水道課係長　インボイス制度につきましては、上水道事業、下水道事業ともに申請させていただきまして、登録番号は取得しております。

○服部委員長　氏原委員。

○氏原委員　ありがとうございます。

○服部委員長　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸副委員長。

○石丸副委員長　石丸典子です。令和４年度上牧町水道事業会計の決算について質疑を行います。２点です。

15、16ページです。水道事業会計収益費用の明細書の収益についてお聞きをいたします。15ページになります。給水収益として、水道料金が予算に対して約3,000万円の減額の決算額となりましたけれども、この間、コロナ対応の支援等も行われていたかと思いますけれども、この要因についてお願いいたします。

同じところで、営業外収益においては、他会計補助金ということで約4,000万円の一般会計からの計上なんですが、これについてご説明をお願いいたします。

以上です。

○服部委員長　担当者。

○宮崎駿上下水道課係長　それでは、水道事業収益、項営業収益、目給水収益の減額理由について説明させていただきます。大きな理由といたしましては、先ほど委員おっしゃられたとおり、コロナの免除事業に伴い、給水収益の減というふうになっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　具体的に確認したいんですけど、どのような免除が行われていますか。

○服部委員長　担当者。

○宮崎上下水道課係長　９月におきましては7,220件、減免額といたしましては9,790万円ほど、10月におきましては7,231件、金額として9,981万円、11月につきましては7,232件、金額として980万円ほど、12月につきましては7,244件、金額として983万円ほど免除事業を行っております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　それは、９月から12月の４か月分の基本料金の免除という形で補正も組んだかと思うんですけれども、そのような理解でよろしいですか。

○服部委員長　担当者。

○宮崎上下水道課係長　すいません、もう一度質問内容を言っていただいてよろしいですか。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　コロナ対応の支援策として、９月から12月の４か月分の基本料金を免除したというふうな会計になっていると、そのような理解でよろしいですか。

○服部委員長　担当者。

○宮崎上下水道課係長　そのとおりでございます。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　ありがとうございます。

では、次、他会計補助金についてお願いいたします。

○服部委員長　担当者。

○宮崎上下水道課係長　こちらも、先ほど説明させていただいた件とちょっと関わるところもあるんですが、給水収益の免除事業に対して一般会計からその分を補助いただいた額が3,927万7,575円となっております。

○服部委員長　石丸副委員長。

○石丸副委員長　分かりました。ありがとうございます。以上です。

○服部委員長　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○服部委員長　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○服部委員長　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○服部委員長　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

以上で本委員会に付託されました議案は全て終了いたしました。

理事者側より挨拶をお願いいたします。

今中町長。

○今中町長　全議案認定すべきものというふうにご決定を頂き、ありがとうございます。また、本会議でも認定いただきますようにお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶にさせていただ

きます。ありがとうございました。

○服部委員長　これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

皆様、ご苦労さまでした。

閉会　午後　２時０３分

上牧町議会委員会条例第２７条第１項の規定により署名する。

決算特別委員長　　服　部　公　英

令和５年第３回（９月）上牧町議会定例会会議録

議　事　日　程（第２号）

令和５年９月１４日（木）午前１０時開議

第　１　一般質問について

８番　牧　浦　秀　俊

３番　竹　中　亮　造

９番　服　部　公　英

２番　氏　原　賢　一

５番　東　　初　子

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

◇

出席議員（１２名）

１番	石　丸　典　子	２番	氏　原　賢　一
３番	竹　中　亮　造	４番	安　中　　和
５番	東　　初　子	６番	上　村　哲　也
７番	竹之内　　剛	８番	牧　浦　秀　俊
９番	服　部　公　英	１０番	康　村　昌　史
１１番	木　内　利　雄	１２番	遠　山　健太郎

欠席議員（なし）

◇

地方自治法第１２１条により説明のため出席した者の職氏名

町　　長	今　中　富　夫	副　町　長	阪　本　正　人
教　育　長	松　浦　教　雄	総務部長	中　川　恵　友
都市環境部理事	吉　川　昭　仁	住民生活部長	山　下　純　司
健康福祉部長	青　山　雅　則	教育部長	松　井　良　明
総務課長	丸　橋　秀　行	秘書人事課長	髙　木　真　之
企画財政課長	中　本　義　雄	まちづくり推進課長	金　﨑　恭　彦
建設環境課長	武　安　康　至	生き活き対策課長	林　　栄　子
社会教育課長	吉　川　信一郎		

◇

職務のため議場に出席した事務局員

議会事務局長	森　本　朋　人	書　　記	山　口　里　美
書　　記	横　田　大　樹		

開議　午前１０時００分

◎開議の宣告

○議長（遠山健太郎）　皆さん、おはようございます。これより令和５年第３回上牧町議会定例会を再開いたします。

ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議事日程の報告

○議長（遠山健太郎）　本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。それでは、日程に従い、順次議事を進めてまいります。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎一般質問

○議長（遠山健太郎）　日程第１、一般質問について。

一般質問の持ち時間は、理事者側の答弁を含め１人１時間以内です。質問者はその点、十分心得て質問し、理事者側は的確かつ簡潔に答弁をお願いいたします。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◇牧　浦　秀　俊

○議長（遠山健太郎）　それでは、８番、牧浦秀俊議員の発言を許します。

牧浦議員。

（８番　牧浦秀俊　登壇）

○８番（牧浦秀俊）　皆様、おはようございます。８番、牧浦秀俊です。２度目となるトップでの一般質問となります。

ゴールデンウイーク以降､新型コロナウイルスの扱いが２類相当から５類相当に変更され、

６月以降、少し落ち着いてはいましたが、ここ最近、また流行の気配が出てまいりました。９月議会においても少し影響を受けましたが、皆の力で乗り切っています。

さて、今回の９月議会は決算でもあります。令和４年度決算認定の中で町制50周年を迎えた節目に式典やセレモニーがありました。この50年間、上牧町にはいろんなことが起こりましたが、このような50周年を祝える式典やセレモニーを行うことができて、本当にうれしく思っております。

そして、もう１つ、今の上牧町には多くの自治体から視察に来ていただけるようなことになっているということです。そのことを証明するかのように、ペガサスホール内での上牧町職員による朗読劇「特攻隊悲話『最期の恋文』」ペガサスホール内での私の30年来の友人の河合町の自治会の会長が偶然来ていました。なぜ来ているのかと尋ねますと、河合町の役場で「前回の朗読劇がよかったので、行ってみたらどうですか」と言われたそうです。そして、すごくよかったと帰られました。こうした上牧町が認知されていることをとてもうれしく感じました。

それでは、一般質問通告書に従いまして、質問させていただきます。

１つ目、「陽楽の森」環境保全の内容について。

１つ目、どのような内容だったのか。

２つ目、５団体で協定を結んだとあるが、その関係性は。

３つ目、10年ほど前に「陽楽の森」で様々な活動や催しが行われていましたが、それとの関係は。

４つ目、これからの催し、活動について、上牧町ではどう考えているのか。

５つ目、片岡城址はこれからどのようにこの事業と関わっていくのか。

６つ目、片岡城址に行くための近い駐車場がないが、最寄りの場所に設置できないか。

２つ目、有害鳥獣の状況について。

１つ目、今年度の被害状況は。

２つ目、有害鳥獣被害防除事業補助金の申請状況はどうなっているのか。

３つ目、作物被害の補償はないのか。

４つ目、猟友会の活動は何名で、その活動の頻度はどうなっているのか。

５つ目、住宅地の一般道に出没していると聞いていますが、対応はどうしているのか。

６つ目、これから先、人を守る方法は考えておられるのか、聞かせてください。

３つ目です。通学路のブロック塀の状況についてお伺いいたします。

１つ目、上牧町の通学路のブロック塀の改修状況について、お聞かせください。

２つ目、町内で危険な箇所の把握はしておられるのか。

３つ目、個人の建物の補助の状況はどうなっているのか。

４つ目、通学路で傾いたブロック塀があるのだが、対応をどうすればよいか、聞かせてください。

再質問につきましては質問者席で行います。よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　それでは、１つ目の「陽楽の森」の環境保全の内容についてお伺いいたします。本当に新聞記事で聞いたぐらいで、どのような内容なのか、ちょっとお聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、陽楽の森につきましては、本町下牧地区及び王寺町畠田地区にまたがる約50ヘクタールの丘で、ＪＲ畠田駅からほど近い一方で、片岡城址も抱える町なかの森であります。その自然環境を健全な姿で次世代に引き継いでいくことを目指し、陽楽の森における生物多様性の保護及び周辺地域の一層の活性化等を図るということを目的といたしまして、一般財団法人セブンーイレブン記念財団、そして一般社団法人大和森林管理協会、そして上牧町、王寺町、近畿大学農学部の５者による奈良セブンの森事業に係る連携に関する協定を令和５年６月29日に締結いたしております。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そのような記事を見たんですけども、その５団体で協定を結んだとありますが、その関係性というのはどうなっているんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　これにつきましては先ほども回答させていただきましたように、陽楽の森の自然環境を健全な姿で次世代に引き継いでいくということで、すなわち、近年では竹林が拡大いたしまして､里山林として景観を損なうとともに広葉樹が育ちにくいと、こういった状況の中、計画的に竹林の整備を行って、新たに広葉樹の植林をするということで、人々にとって気持ちのよい里山ということを復活させる活動に対し、上牧町については協力をするというところでございます。

ちなみに、上牧町、王寺町、そして近畿大学農学部につきましては、これらの整備、保全活動を適切に実施できるよう指導、助言等を行うといった、こういった内容でございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　内容については今、分かりました。

これはもう既に８月19日土曜日に陽楽の森プロジェクトで「森のピザ屋」の子ども食堂が開催されております。そしてまた、９月10日日曜日には「陽楽の森　みんなでつくる」というイベントがありました。協定を結んだとあったので、例えばこの開催の連絡は上牧町になかったのでしょうか。本当にこれは事後報告で、後で聞いただけで、もし本当にこの協定を結んでいるのであれば上牧町に一報連絡が欲しかったなと。これから先のことも考えて、これはどういうようになっているのか、ちょっと聞かせてください。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員ご指摘の部分でございますが、夏祭り等の開催につきましては、場所が陽楽の森で、なないろサーカス団の方が主催となって、協賛ということでチーム「めだか」さんとかいうところで事業を展開されておるというところでございます。

ただ、先ほども申しましたように、今回の協定につきましてはセブンの森の事業という部分の協定でございまして、場所は陽楽の森ということでかぶるんですけども、今回、協定を結んだ後にこういった事業が行われておるというところで、上牧町に対して報告は実際のところはなかったんですけども、事後報告という形にはなっとるんですけど、そういう協定を結んでいるという関係性もございますので、今後そういう催し等があれば、事前にしっかりと報告を頂けるように、また、お願いをさせていただきたいなと思っておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　それはよろしくお願いいたします。

10年ほど前に陽楽の森で様々な活動や催しが行われていたんですよ。そして、上牧町の中にもある片岡城址盛り上げ隊の中でもやっぱり参加しにいっていたと。この10年ほど前にあった、そういう催しや活動の中で、今の５団体で結んだ協定とこれはどのようにリンクしていくのか、どのようになっていくのか、なかなか分かりにくくて、そしてまた分かりにくいと同時に、我々も上牧町の人たちが片岡城址盛り上げ隊として、その場所でコキアを植えたり、本当に活動をされております。だから、10年ほど前に一緒に活動していたのにもかかわらず、今、いろんな催しをやっていても連絡をくれていないと。だから、また全然違うものの考え方なのかなということなんですけど、その辺はいかがでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今のご質問でございますけども、我々が認識しているのは平成30年度、そして、令和元年度、令和２年度と、この３か年におきまして県の補助事業を活用した上牧町地域で育む里山づくり事業というところで、陽楽の森さんに対しまして保全整備活動等に対し、補助金を交付いたしたという実績がございます。それ以外の事業等につきましては、有志の方々で単独で行われておったと考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そうですね。本当に今までやっていたのにもかかわらず、今、もう新たにセブン財団が陽楽の森プロジェクトということをやっていかれた中に上牧町もお呼びいただいたと。しかしながら、片岡城址盛り上げ隊の中にはそういうことを連絡も何ももらっていないと。ただ、今、陽楽の森プロジェクトの「森のピザ屋」の子ども食堂であったり、「陽楽の森　みんなでつくる」というイベントとか、そういうところにもできれば呼んで欲しかったなと思っております。

そういう意味からして、これからの催し、活動について、上牧町ではどのように考えておられるのか聞かせてください。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　陽楽の森の補助事業につきましては、先ほども申しましたように県の補助事業が終了したことから、本町におきましても補助については現実行っていないというところでございます。今後、その辺の活動等に対しまして協力の要望等がございましたら、奈良セブンの森事業に係る連携に関する協定を締結しておりますので、その活動等について事業協力及び周知等を行っていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　また、よろしくお願いいたします。

本当に今、片岡城址を中心にかつての姿をＣＧで再現する、スマホを当てるとかつての片岡城址の映像が出てくるということもあったりとか、また、笹ゆり回廊の終点でもあって、御墳印帖ですか、そういう場所の指定でもあったり、また、サロン片岡というトイレであったり休憩場所であったりという場所なんですけども、それも片岡城をターゲットにして造られたものだと聞いております。

また、年２回、片岡城跡も草刈りに町から入ってくれています。もう本当にこういうことをしていっている中で、この片岡城跡もセブン養楽の森に加えて、発展できるように考えていただきたいと思うんです。また、片岡城址盛り上げ隊のメンバーと共に意見を上げていき

たいと、行動していきたいんですけども、この辺はいかがでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員もご指摘いただいている部分でございますが、当然、上牧町としても片岡城址盛り上げ隊の方の協力も今後はかなり必要になってくると思いますので、しっかりとその辺ところも連携させていただければなとは考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　まだこれからではあるとは思うんですけども、また本当に片岡城跡、また上牧町の片岡城址盛り上げ隊とセブン財団がやっている陽楽の森プロジェクト、これをうまくつなげていただきまして、上牧町の観光資源にしていきたいなと我々も思っていますので、また、ご協力のほう、よろしくお願いいたします。

それで最後に、片岡城址へ行くための近い駐車場が最寄りの場所に設置がないのです。私たちは片岡城を観光資源として、やっぱりいろんな人に宣伝しているんですけども、まず、サロン片岡へ行くまでにも道が細いと。ここまではいいのですけども、そこに車をとめてくださいと、そこから歩いていってくださいと。これは遠いわということになりました。

もう本当に入り口のところにいつも草刈りをしている個人の人の土地なんですけどもそういうところに駐車場をお借りできないかというように考えているんですけども、本当にコキアの植樹のときもサロン片岡に車を置いて、そこから一輪車で土や肥料を運んだり、また、草刈り機とかその他の道具に関してもサロン片岡からマンパワーのみで運搬しています。ぜひとも駐車場の検討をお願いしたいということなんですけども、いかがでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、議員のお尋ねの駐車場のことについて答弁をさせていただきます。

現状、片岡城にお越しいただける方につきましては、下牧地区にございますほほ笑みサロン片岡に数台の駐車スペースがございまして、数に限りがございますが、片岡城跡まで徒歩で５分ほどで行くことができますので、そちらをご利用いただければという感じに考えているところでございます。

また、今回ご質問の陽楽の森の入り口となります、いわゆる富士生コン跡地を土地所有者様のご理解とご協力により、徒歩圏内にございます片岡城跡への駐車場としてお借りすることができれば、町といたしましては実にありがたいことであると認識をしているところでご

ざいます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　それは本当に部長、今の富士生コン跡のところは借りることはできるんですよ。ただ、今のほほ笑みサロン片岡から入り口まで行くのに物すごく急な坂なんですよね。そこに、やっぱり土とかコキアの苗とかを運ぶのがなかなかこれは大変だということと、お年寄りが来てサロン片岡に車をとめられますと、そこからそこまで歩くのが大変ということなので、ずっとそこも草刈りをしているんですよ。そこを借りることができればそこに、作業の時だけでも結構ですし、そしてまた団体でよく片岡城跡に来られる方もおられます。そして、サロン片岡のところに車を置いてこられているんですけども、やっぱり何人か行かない人が出てきていると。何でかといったら、やっぱり坂が急で行けないということなんですよ。

そういうことからすると、本当に入り口のところで空いている土地があって、なかなかもう勝手な言い分かも分からないけど、そういうところをお借りすることはできないかなと。日数的には本当に少ないです。団体で来られる人たちも僕らが見かけても年に２回ぐらいやったと思います。そして、片岡城址の手入れですね。コキアを植えたり、草刈りをするというのは、重たい物を持っていくのは本当に二、三回です。そういうときだけでも借りられないかなということなんですけども、これも本当に要望なんです。その辺また、どうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今、議員お尋ねの片岡城跡につきましては、現在、本格的な発掘調査は実施しておりませんので、片岡城跡の規模、全容についてはまだ未知のところがございます。今後、その方向性を決めていく上におきましては地元の方々と行政、関係機関の職員に加え、専門的な知識をお持ちの学識観経験者の方にもご参画いただき、片岡城址の全貌をまずは究明をさせていただく中で、今おっしゃっていただいた周辺の土地についてもどのような活用ができるのかということの可能性も含めて検討をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そうでしょうね。やっぱり発掘が最優先ということでありますので、また、そのところもやっぱどこかの片隅に置いて考えていただきたい。本当にお金のかかった観光資源でありますので、もっとみんなでインスタでバズるように盛り上げていこうじゃあ

りませんか。この質問はこれで結構です。ありがとうございました。

次、お願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、２つ目のご質問でございます。有害鳥獣についての状況ということでございます。

今年度の被害状況はというご質問でございますが、イノシシの被害というところでお答えさせていただきたいと思います。今年度の被害状況につきましては、下牧地区においてイノシシによる農作物への被害は例年どおり発生しているという状況でございまして、これを受けて、猟友会による捕獲活動を実施していただいており、本年４月から８月現在で17頭のイノシシを捕獲しておるというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　もう本当に続いて質問に答えていただいたと思います。今年も本当にたくさん捕獲されたと思います。猿も出ているということなんですけど、その辺の状況はどうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　猿の被害につきましても、今回２件ほど発生しておるところでございます。発生を確認できておるんですけども、この部分につきましてはホームページ等で一応周知、危険を促しておる対策を取っておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　分かりました。２番目の分なんですけども、有害鳥獣被害防除事業補助金の申請状況なんですけども、これは今年度どうだったでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　有害鳥獣被害防除事業補助金の申請状況というところでございますが、今年度につきましては今、申請はゼロということでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　ゼロということは、防護ネットであるとか、その他もろもろ、そういうのはもう行き届いているということの認識でよろしいのでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　この事業につきましては令和２年度からスタートというところで、令和２年につきましては10件、そして、令和３年度は11件、令和４年度は８件という

ところで、おおむねこの事業が行き渡っておるのかなというところで、対策は取っていただいているというふうに認識しておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そうでしょうね。もう申請がないんですから。それにもかかわらず、まだ作物被害が出ているということなんですけども、この補償ということなんですけども、どうなんでしょうかね。農協の共済ということもひっくるめて、この辺はどうなのか。なかなかないとは思うんですけども、どうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員が申されましたように作物被害の補償というのは本町にはございませんで、耕作人が農業共済の保険加入をされていれば、被害状況により補償されるというふうには伺っているところでございます。そして、近隣の市町村の状況も確認させていただきました。すると、当然、そういった補償についてはどこもやっていないという状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　本当にいろんな質問に答えていただいています。そしたら、あとは人のあれですね。住宅地の一般道に出没していると聞いていますが、対応はどうしているのか。ここは私の聞いた部分であれば友が丘、下牧地区なんですけども、これはどうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、住宅地の一般道に出没しているというところのお話でございますけども、対応ということでございますが、これにつきましては、住民の方々から通報があれば随時、猟友会等に依頼させていただきまして、現地調査を行い、そしてイノシシの行動範囲を考慮した上で、一般道から少し離れた山林にわなを設置するというような対策を取っているところでございます。

そして、今、議員申されておりますように、一般道に出没してきておるという部分でございますが、これについては先ほども申しましたように、有害鳥獣の被害防除事業補助金を活用させていただきまして、防護柵の設置が進んだことによりましてイノシシがえさを求めて人里付近に出没してきているのかなという状況を認識しているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そうでしょうね。本当にこれから先、作物はある程度、補助金を頂いた方々がくいを打ったり、ネットをしたりしておられるので、次はどこかとなってくると、や

っぱりもう一般道へと出てくるという形があると思うんですけども、なかなか人を守る方法がないとは思うんですけども、これに関して、他市町村の対応は何か行っているところはあるでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　その辺のところにつきましても近隣に伺ってはおるんですけども、現実、そういった対応はなかなか難しいという話でございます。ただ、今後におきましても上牧町といたしましては、猟友会が行います捕獲活動に対する支援や、そして近隣市町、多くは王寺、香芝となるわけでございますが、ここと連携した捕獲活動を行っていくというところと、そして住民の方々に対しましては引き続き、イノシシに関する注意喚起、広報やホームページによって周知していきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　私もいろいろ調べにかかったんですけども、なかなかいい案が出てこないと。記事はほとんど、警察が出てきて捕り物をしたということ以外は、人を守るために何々をしたというようなことは一切やっぱり出てこないんですね。本当に注意喚起をするしかないとは思っております。しかしながら、やっぱり住民の方にとっては住宅に出てくるのは怖いということになっていますので、また、これからも先、注意喚起でありますとか、猟友会と共に、またよろしくお願いいたします。ありがとうございます。これで結構です。

次、お願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、次のご質問でございます。通学路のブロック塀の状況というところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員、さっきの項目の４番の「猟友会の活動は何名で、その活動頻度は」、こちらの答弁はよろしいですか。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　１つ飛ばしていました。申し訳ないです。猟友会の活動は何人で、その活動頻度はどのようになっているのか。頭数はもう聞きましたので、この部分だけで結構です。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　申し訳ございません。それではお答えさせていただきます。

本町における猟友会の人数でございますが、６名で活動していただいております。活動頻

度につきましては、見回りや捕獲活動ということでおおむね月３回程度の実施をしていただいているといった状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　議長、ありがとうございました。今、猟友会の方々、もう本当に協力しながら、やっぱり町民の安全を守っていくということで、また一緒に、共にやっていこうじゃありませんか。ありがとうございました。

それでは、次の通学路のブロック塀の状況をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、ブロック塀の改修状況につきましては、事業開始した平成30年度から令和４年度までで19か所のブロック塀が改修されておるというところでございます。

なお、令和２年度からにつきましては、通学路に限定していた対象のブロック塀を避難路に拡充しておるというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　高槻の事故があったときから、通学路からもう防災予防に変更になったのはあれは令和２年でしたか。そういうことでよかったですね。

また､そういう状況の中で町内での危険箇所の把握､それはやっておられるんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員申されましたように、平成30年６月に発生した大阪北部地震で小学校のブロック塀が倒壊し、児童が亡くなった事故を受けまして、町内の通学路上の調査を実施いたしております。調査の結果、道路の設置面からブロック塀の上部までの高さが60センチ以上あって、地震時に倒壊した場合、通行者に危害を及ぼす可能性のあるブロック塀があることは確認しておるところでございます。

これはあくまでも外観の目視というところでございますので、直ちに倒壊するおそれがあるという部分ではございません。よって、危険箇所の把握ということになりますと、敷地内への進入をしなければ､いろいろブロック塀の構造等といった調査も必要でございますので、確認をすることもできないという部分でございますので、把握という部分につきましてはできていないという状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　個人の所有物なので、家の中に入ってというのはなかなか無理やと思い

ます。本当に目視だけでもそうやってやっていただいているということで、それで安心いたします。

そして、個人の建物の補助の状況はどうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　個人宅のブロック塀の補助につきましては、１つ目の回答と重なる部分がございます。上牧町ブロック塀等撤去工事補助金交付事業の開始の平成30年度から現在に至り、19か所の申請がございました。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　令和４年度の決算書だったかに載っていた、服部２、滝川台２、松里園１、米山台２、中筋出作２か所となっていましたが、これはもう通学路から災害予防に変わった後の申請だったんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　令和４年の９か所という部分でございますが、このうち５か所は通学路、その残り４か所は避難路という状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　分かりました。把握はされているとは思うんですけども、私も見に行っている中で通学路で傾いたブロック塀があるんですが、対応はどうしたらいいのかということがなかなか難しいんですけども、今、その対応の仕方というのはどのようにされていますか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　通学路で傾いたブロック塀があるということでございますので、これにつきましては、お聞きした場合、現地調査を行いまして、所有者に対して危険であることを文書にて通知させていただきます。そして、先ほど申しましたようにブロック塀等の撤去工事補助金交付事業も併せてご案内させていただくという形になっております。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　そうでしょうね。もし、地震とかがあって、倒れてけがをされたり、命に関わることになれば、その補償というのはやっぱり持ち主になるんでしょうね。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員申されましたとおりだと思います。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　それを言うのは何か脅迫みたいになってしまうのかなと私自身思ってしもうて、やっぱりそこで二の足を踏んでしまうんですけども、家主にお金がかかるということで、お願いはするんですけども、あと一歩踏み込んでというのはなかなか難しいことや思うんですね。もう本当に危険箇所をまめに見て回るということが今はないかなと私自身も感じております。ただ、大事にはならないように、やっぱり、まめに見に行って、その状況を確認しながら、また、そこの地主さんにお願いしに行くという形も今は取っております。又、この辺も理事者の方々、また、この担当者の方々にこの辺もよろしくお願いしたいんですが、いかがでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　そのように今後、努めて取り組んでいきたいというふうに考えておるところと、併せて、今後におきましても引き続き、広報やホームページ、そしてＳＮＳ等を利用しながら、しっかりと周知をさせていただければというふうに考えておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　牧浦議員。

○８番（牧浦秀俊）　よろしくお願いいたします。本当に町民の安心、安全を守るということにつきましても、また子どもたちを守るということにつきましても、また一致団結してやっていこうじゃありませんか。

私の質問は以上です。どうもありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、８番、牧浦議員の質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は10時50分とします。

休憩　午前１０時３７分

再開　午前１０時５０分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

◇

◇竹　中　亮　造

○議長（遠山健太郎）　次に、３番、竹中亮造議員の発言を許します。

竹中議員。

（３番　竹中亮造　登壇）

○３番（竹中亮造）　皆さん、おはようございます。３番、竹中亮造です。よろしくお願いします。議長の許可を得ましたので、質問させていただきます。

上牧町町制50周年を記念しまして、さらなる上牧町の魅力アップと上牧町のにぎわいづくりについて、今回、特に町が設定するウオーキングルートである笹ゆり回廊に焦点を当て、写真資料などを使いながら、私の試みの案を含めて質問させていただきます。よろしくお願いします。

では、一般質問通告書に従い、質問いたします。一般質問通告書を読み上げます。タイトルは「笹ゆり回廊の魅力アップとにぎわい創出について」。

片岡城跡や史跡久渡古墳群など、上牧町の歴史・文化遺産は町が設定する笹ゆり回廊に集中している。その笹ゆり回廊のうち、整備済みの滝川遊歩道区間は散歩やジョギングなど人の往来も多く、住民の健康増進と交流の場として欠かせぬ社会基盤となっている。

しかし、滝川遊歩道から離れると回廊の整備はあまり進んでおらず、実際歩くと、利用しづらい。まずは回廊の未整備部分に順路板等の設置を進め、歴史周遊コースとしての魅力アップを図ってはどうか。

次いで、その方向からの提案になるが、県や隣接町と連携し、常に一定のにぎわいを見せる馬見丘陵公園と笹ゆり回廊を連結するルートを設定してはどうか。町民のアクセスはもとより、町外からのハイキング客などの誘客を期待できるのではないか。

また、民間施設ではあるが、滝川遊歩道に隣接する休業中温泉施設「虹の湯」の再開を促し、観光資源として笹ゆり回廊ルートに位置づけ、官民連携でにぎわい創出、上牧町に人の流れを図ってはどうか。

以下、試案を含め具体的に質問する。５項目を読み上げます。

１、歴史散策と、健康増進につながる回廊に案内板や順路板またはカラー舗装を設置し、利用しやすいウオーキングコースに。

２、御墳印帖の宣伝と利用促進を。

３、上牧久渡古墳群整備事業進捗状況の説明を。これは概要だけで結構です。

４、河合町、広陵町と連携し、回廊、特に滝川遊歩道と馬見丘陵公園との連結ルートの設定を。例に関しては後で申し上げます。

５、滝川遊歩道隣接の上牧温泉「虹の湯」の再開を促し、官民連携でにぎわい創出を目指してはどうか。現時点で施設の再開計画はどうなっているのか。町でつかんでいる情報を教えてほしい。

以上であります。再質問につきましては質問席でさせていただきます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　では、質問に入らせていただきます。

５つ質問させてもらっていますけれども、まず大きい１つ目、歴史散策と健康増進につながる笹ゆり回廊に案内板や順路板を設置してほしいということですね。そして、そのことによって利用しやすいウオーキングコースにしてほしい。

特にその必要性を感じるのは、滝川に沿いました滝川遊歩道は非常に整備がよく整っている。ちょっと開けてください。まず、笹ゆり回廊の全景ですけれども、緑の部分が笹ゆり回廊です。１つ写真を送ってください。うち、いわゆる滝川遊歩道の部分はこのように舗装も進み、非常に整備状況がいいと。川の右岸は歩く人を中心に、左岸は自転車の人を中心に利用できる。非常に整備状況も進んでいて、上牧町の誇れる社会資本になっているんじゃないかなというふうに思います。それから、これがまきのは郵便局のところから五軒屋のところまで続いていまして、ここは完了ということでいいかと思います。

それから、先ほど、牧浦議員の質問がありました下牧の部分ですね。下牧の町なかに入っていき、そして、片岡城跡までの間はほぼ整備も進んでいますし、ほほ笑みサロンなどもあり、もちろん課題はあるんですけれども、道に迷うということはほとんどありません。

ところが、五軒屋から南上牧に抜ける道ですね。ここは地図を片手に歩きましても道に迷う。まず、これは庚申塚があるところですね。いわゆる地蔵峠に上がっていく道なんですけれども、ここは順路がありませんので、普通に歩きますと、ここでまず迷うと思います。

写真を進めてください。この辺りは非常に田園風景でウオーキングルートとしては適切かなというふうには思うんですけれども。進めてください。例えば、この道なんかでも道が二股に分かれている。三股に分かれているところもあります。どちらへ行っていいものやら。どちらに行っても最終的には南上牧には着くのですけれども、ここも標示の欲しいところです。ちなみにこの左側が秩父池といいます。上牧町内で一番大きなため池のあるところです。

進めてください。さらに進んでいきますと、ここでも道が分かれていて標示がない。クイズみたいになってしまいますけれども、これは左に行くことになります。この辺りは墓地の多いところで、やや人影の少ない寂しい部分ですけれども、標示がなければ迷子になってし

まい、もしかしたら事故も起こってしまうということもありますので、何らかの標示が欲しいと思います。

進めてください。これは友人と行きましたとき、かんかん照りの物すごく天気のいいときで、こういうふうに雑木林が覆いかぶさっていまして、天気の悪いときだとか冬場なんかはここは通るのはかなり不安だなという感じがします。周辺の草を刈ってありますけれども、このように雑木林がかぶっているという状態ですね。

次、お願いします。同じく峠を越えて、ここは下り道になっているところです。

次、お願いします。その下に浄安寺さんがあって、歴史を感じさせるいい道だとは思いますけれども、先ほど言いましたような整備が必要なのではないかというふうに思います。

ここで質問させていただきますが、笹ゆり回廊の現状の整備状況、それから、整備の必要箇所の現地調査、これをどのようにお考えか、まず答弁をお願いします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今のご質問でございます。議員、いろいろ写真等で紹介していただきまして、ありがとうございます。

まず、上牧町笹ゆり回廊につきましては、町の中心部を南北に流れる滝川を中心に、史跡上牧久渡古墳群、そして、片岡城跡など点在する歴史遺産や豊かな自然遺産を含む地域資源を巡る周遊ルートというところでございます。地域の皆さんや訪れる皆さんが自然を満喫しながら健康増進につなげていくことを目指しておるというところでございます。

そこで議員のご質問でございますが、案内板や順路板の設置についての質問でございますが、これにつきましては現地調査を行いまして、安心して周遊することのできる魅力ある回廊を目指しまして、誰もが利用しやすいウオーキングコースの構築に努めていきたいというふうに考えているところでございます。ただ、これにつきましては予算を伴う事業でございますので、財政当局とも協議させていただきながら、今後、事業として進めていければなというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　ぜひ、その方向で頑張っていただきたいと思います。例えば高齢者の方が、あるいは女性が、あるいは夏休みの自由研究で子どもたちが回廊を通りながら久渡古墳群に行くなんてことができますように、現状ではちょっと厳しいかなという感じがしますので、安全で安心なウオーキングコース、整備のほうをどうぞよろしくお願いします。

では、ここに関しまして、もう１つ質問したいと思います。笹ゆり回廊とササユリをうた

い文句にしていますが、現状では、ササユリの自生地が衰えていると聞きます。なかなか難しい植物だそうですが、時間をかけてでもササユリの自生地の整備、これをしてはどうでしょうか。回答をお願いします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　まず、ササユリというのは日本だけに生息するユリの原種で、特性としまして、先ほど議員もおっしゃっていただきましたが、生育が遅く、そして、病気にも弱いというところで、また、種子から開花するまで７年から８年はかかると言われておりまして、山の手入れがなされないことや乱獲ということも重なりまして、自然に見ることはほとんどなくなった、少なくなったというところでございます。

そこで、自生地の整備というところでございますが、現実的には難しいと考えております。というのも、先ほど申しましたが、生育が遅く、病気にも弱い、そして種子から開花まで七、八年かかるというところで、条件次第では花も咲かさないというところでございます。また、ササユリは球根でございますので、残念ながらイノシシの大好物でもございまして、自生させるにはしっかりとした整備が必要であるというふうに認識しているところでございます。

現在ではボランティアの方々の協力を得ましてササユリを育てておるというのが現状でございまして、来訪者からの問合せ等があればご案内させていただいているのが現状であるというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　難しいのはもう百も承知で聞きました。できるだけ努力していただけたらと思いますので、この件に関してはよろしくお願いします。

では、２つ目の大きな質問に入らせていただきます。御墳印帖を町で設定されています。私は実物を持ってきましたけれども、この事業の宣伝がやや足りないのではないか、利用の状況がまだまだこれからなのではないかというふうに思いますので、宣伝及び利用促進に関しまして、答弁いただきたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、まず初めに、御墳印帖プロジェクトの概要について、改めて皆様方にご説明をさせていただきたいと思います。

御墳印帖に関する取組につきましては、令和５年４月から、北葛城郡４町の「すむ・奈良・ほっかつ」推進協議会のプロジェクトとして「史跡＆遺跡巡り『御墳印帖』事業」としてスタートしたものでございます。御墳印帖プロジェクトにつきましては、観光資源となり得る

文化財に実際に足をお運びいただき、現地にて当該対象の写真を撮っていただくことを原則として、御墳印を頒布することにより、北葛４町への来訪者の増加と、それぞれの町の認知度の向上に資することを目的とした取組でございます。

本町では、片岡城跡と史跡上牧久渡古墳群の御墳印、それぞれ２種類と、町オリジナルのデザインのゆりはちゃんを表紙に採用をした御墳印帖２種類に加え、北葛城郡共通デザインの御墳印帖１種類を販売しており、当該販売は好調であるというふうに認識をしているところでございます。

次に、議員ご指摘の宣伝ＰＲについてご説明をさせていただきます。

教育委員会事務局社会教育課が所管する様々な講座や会議にて周知を行うなど、普及に課員一丸となって取り組んでいるところでございます。また、電話等による問合せがあった場合には、同課職員が一丸となって懇切丁寧に対応していることがプラスに作用し、一定の宣伝効果につながったものではないかというふうに考えているところでございます。また、８月５日、６日、奈良県コンベンションセンターで開催をされました「奈良の鉄道で巡るお城・再発見　2023」において、片岡城の説明ブースを設置し、御墳印帖プロジェクトについても宣伝をさせていただいたところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　頑張っていただいていることは承知いたしました。

もう少し具体的に聞かせていただきます。御墳印帖の販売箇所ですね。また、１冊幾らか、これもちょっと教えてください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　当町における販売場所といたしましては、役場企画財政課及び社会教育課の窓口で、土、日、祝日を除く８時30分から17時15分までの間におきまして、また、文化センター、ペガサスホールの事務所におきましては、月曜日を除き９時から17時まで販売をさせていただいているところでございます。

なお、先ほど説明をさせていただきました。御墳印につきましては、４種類ございますが、それぞれ１部100円、御墳印帖につきましては１冊1,000円で販売等をさせていただいておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　よく分かりました。ぜひ進めていってもらいたいと思います。御墳印帖事業は、まだ始まったばかりですし、隣接する他の町との連携も必要かと思います。ぜひ成

功させていってください。よろしくお願いします。

続きまして、３つ目の質問に移ります。上牧久渡古墳群整備事業、この進捗状況ですね。先日、議員にはしてもらいましたけれども、最近大きく変わったように聞きましたので、ここで改めて説明のほう、概要で結構です、よろしくお願いします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　議員お尋ねの上牧久渡古墳群整備事業につきましては、令和８年度内に整備を完了するという計画で進んでおりましたが、当該事業を推進する上におきまして国庫補助金及び県費補助金に係る補助金の見込額といわゆる町の負担すべき一般財源充当額を再検証させていただきました結果、事業期間を令和12年度まで延長するという判断に至ったものでございます。

この事業の推進に当たりましては、文化庁と当該事業について協議を進めていく中で、全国の史跡整備の補助要望額が国の予算を大幅に上回るというような傾向が常態化をしており、本町のみならず、全国的に要望額どおりに交付ができないという状況になっている旨のお話がございました。

なお、この状況につきましては、今後とも続くことが見込まれることから、予定を下回る補助金相当分を町の一般財源をもって充て、当初の予定どおり令和８年度完工を目指すことにつきましては極めて困難であるという認識の下、今後につきましては、円滑かつ着実な進捗管理の下、令和12年度完成を目指すものとしたところでございます。

また、補助金の申請につきましては年度ごとに行うことになりますので、その際、国、県とも十分に協議を行い、情報共有を適時、適切に行いながら補助の状況を的確に見定め、当該年度における補助金を基本として、実情に即した形での計画の精査を絶えず行い、事業の着実かつ確実な推進に努めていくというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　当初の計画から遅れるということで、その件に関しましては、やや残念なんですけれども、着実に進めていっていただきまして、笹ゆり回廊の魅力を発信する上で一番大きな拠点になると思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今おっしゃっていただきました。当町においては文化資源がそんなに潤沢にある町ではございません。その限られた資源を有効に活用しながら、今後、笹ゆり回廊を核として、有機的な結合の下、上牧町の魅力向上に努めてまいりたいというふうに考

えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　期待しております。１つ提案なんですけれども、ぜひ次世代の子どもたちに地元愛を育んでもらいたいと思いますので、これは強制でも何でもないんですけれども、できましたら完成の暁には、例えば学校の遠足、小学校６年間、中学校３年間、合計９年間の中で最低１回ぐらいは笹ゆり回廊を通って久渡古墳群を訪れるだとか、あるいは児童、生徒に町が主催してイベントを組んで、そこを周遊するような催しがあればいいかなというふうに願っておりますので、またご検討ください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　整備完了後の上牧久渡古墳群につきましては、教育委員会といたしましては、学校教育のみならず、生涯学習の場であると。また、小学校等においては教育のフィールドとしての活用を模索していきたいというふうに考えているところでございます。

併せまして、本年度、教育委員会事務局社会教育課には学芸員を採用させていただいております。その学芸員につきましては、課の話をさせていただく中で、学校教育についても積極的に関わっていきたいということの意思を表明してくれておりますので、その分も含めて総合的に検討していきたいというふうに考えております。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　お聞きしておきます。期待しておりますので、どうぞよろしくお願いします。

続きまして、４つ目の質問といいますか、これはどちらかといいますと提案になるんですけれども、移りたいと思います。河合町、広陵町と連携して笹ゆり回廊、特に滝川遊歩道と馬見丘陵公園、これを結ぶウオーキングコースを設定してはどうかということで、自分としては、仮称ですけれども「古墳回廊」としての設定ですね。理由も簡単に言っておきます。御墳印帖事業を応援したいということ、それから上牧町のまちおこしによって人の流れをつくりたいということですね。

そこで、たたき台として提案なんですけれども、今、上牧町には御墳印帖の事業をやってもらっていますけれども、場所は２つしかないと。現状は久渡古墳群のほうがまだ進んでいませんので、実質１つかなというふうに。となりますと、勢い御墳印帖も古墳の多い河合町だとか広陵町のほうに行っていただくことになります。その際、分かりやすいルート案内がやっぱり欲しいという、そこでの提案になります。これは必ずこうしてくださいというわけ

ではありません。議論のたたき台として３つぐらいの道を提案させていただきますので。

ちょっと写真を撮ってきました。お願いします。地図を見ていただいたらと思うんですけれども、滝川遊歩道と馬見丘陵公園をつなぐ道です。赤のＡのルートを見てください。これが地図を見まして最短コースなんですね。ここを住民の皆さんに推奨コースとしてお示ししたら、また新たな地域の再発見になるのではないかという思いがあります。

写真を送ってください。これは起点となる場所ですね。滝川遊歩道、それからペガサスホール、後で言いますけれども、虹の湯なんかのあるところです。

進めてください。この地図は写真がちょっと分かりにくいですけども、今、上牧町で一番人出の多い、にぎわいのある約600メートルの直線の道路になります。

次、お願いします。ケーズデンキのところまで行きまして、向こうに歩道橋が見えますよね。現状ではこの歩道橋は多分、新町の地元の方以外はあまり使われていないのじゃないかというふうに思うんですけれども、ここを上がっていただきまして。次、お願いします。上がって下ると。そしたら、新町の町なかに入っていきます。

次、お願いします。伝統的な昔の旧村の中を通ります。次、お願いします。そこを進みますと、これは春日神社という神社があります。右へ曲がって、ここは念願寺というお寺さんですね。もう１つ、たしか光隆寺というお寺さんもすぐそばにありました。

進めてください。小さな峠になっていまして、新町の町なかを上がっていきます。次、お願いします。峠を過ぎまして下っていきますと、今度は河合町佐味田の村の中に入っていきます。続いてどうぞ。ここもそうですね。

続いてどうぞ。真っすぐ真っすぐ新町から佐味田の町なかを抜け、佐味田川ですね。この橋を真っすぐ越えますと、もう馬見丘陵公園になります。滝川遊歩道から馬見丘陵公園の入り口まで、道はぐねぐねしていますが、ほぼ直線で行ける最短コースで、ゆっくり歩いて約30分と。

こういう紹介があれば住民さんも、また、逆の方向の一番にぎわいを見せる馬見丘陵公園のほうから上牧町へというふうな人の流れもできるのではないかという期待から、このルートの提案をまずしたいと思います。

続きまして、次、お願いします。今度は緑のＢのルートですね。これは古墳などが多いところです。写真を送ってください。これは入り口のところです。いつも私はここで朝、子どもたちの見守りをしているところなんですけれども、葛城台の入り口のところです。

次、お願いします。葛城台の北側の里道です。

次、お願いします。真っすぐ行き着いたところが、これは河合町の公園なんですけれども、ほのぼの公園に行きます。

次、お願いします。この辺りは河合町がされたのか、僕は詳しくは知りませんけれども、遊歩道としての整備がなされているところです。

次、お願いします。少し歩みを進めていきますと、国史跡の佐味田宝塚古墳に行きます。ご存じかと思いますけれども、ここは日本で２番目か３番目に銅鏡の出土数が多かった、全国的にも有名な古墳になります。

続けて、次、お願いします。この後はもう道なりに行きましたら馬見丘陵公園のほうに行くということで、このＡとＢのルートを２つ合わせると御墳印帖事業なんかにも使ってもらえる古墳巡りとしてのルートになるのではないかという提案です。

続きまして、次、お願いしますで、その２つのコースの間をつなぐＣのコース。写真をお願いします。これは葛城台側からの道なんですけれども、本当に田舎道です。今どき珍しい地道があります。

次、お願いします。これも友人と行ったときなんですけれども、ここでは地域の人たちが畑仕事をしていたりだとか、軽四１台が通れるぐらいの道幅ですけれども、ハイキング道にしましたら非常にのどかで、里山風景なんかも楽しめていいかなと思います。

次、お願いします。ちょっと向こうに見える池はつくも池という名前の池らしいんですけれども、私が通るときはいつも何人かの釣りを楽しんでいる方がおられる、やはりのどかな風景のところです。

次、お願いします。つくも池を抜けて、道をそのまま進んでいきますと、新町のほうに行くことになります。ここもウオーキングルートとして、里山風景を楽しめるいいところではないかなというふうに思っております。

以上、何かたたき台がなければ議論も進みませんので、提案させていただきました。

私がここで求めていますのはハードの道の整備ではないんですね。土を掘り返して道幅を広げてくれだとか、田んぼを埋めて新しい道を造ってくれだとか、そういうのではなくて、今ある既存の道の再発見といいますか、持てる資源を利活用して再価値化するソフト面での整備提案です。ですから、例えば、町発行のリーフレットで紹介していただくだとか、町のホームページで紹介していただくだとか、あるいは、迷わないように案内板程度を設置していただくというふうな提案になります。いかがでしょうか、お考えをお願いします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　まず、河合町、広陵町と連携して、滝川遊歩道と馬見丘陵公園との連結ルートの設定というところでございます。

現在は、馬見丘陵公園事業における奈良県ウオーキング協会主催のウオーキングにおきまして、本町の片岡城跡、そして、ほほ笑みサロン片岡、笹ゆり回廊を巡るウオーキングを８月と12月に実施、開催されておるところでございます。今後は史跡上牧久渡古墳群の整備に伴いまして、新たなウオーキングコースの構築について、歴史遺産や豊かな自然遺産を含む地域資源を巡る周遊ルートの設定を奈良県ウオーキング協会とご相談させていただきながら、しっかり研究していきたいというふうに考えておるところでございます。

今、議員ご提案いただきましたＢルートにつきましては、ウオーキング協会が実施いたしております８月の早朝ウオーキングでこのルートを歩いております。ですので、こういったところもしっかりと周知させていただきながら、今後進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　今回の提案はもうたたき台としての提案ですので、ぜひ前向きに検討していただけたら、それで結構かと思います。どうぞよろしくお願いします。

５つ目の最後の質問に入ります。滝川遊歩道隣接の上牧温泉「虹の湯」の再開を促し、官民連携のにぎわいを創出してはどうかということで、最近新しい動きがあったというふうに先日の委員会でも聞きましたので、現時点で町がつかんでいる情報を教えていただけたらと思います。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、虹の湯西大和店さんは昨年の11月末から、施設の老朽化に伴い、機能向上を図るため、大規模な工事による長期休館を実施されておるというところでございます。

今後の再開計画につきましては、本年８月時点で開発事業者から伺った内容ではございますが、新施設建設工事の着工は本年10月初旬から、そして、新店舗でのオープンにつきましては、令和６年８月中旬頃を予定しているというふうに伺っているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　非常にうれしいニュースではないかというふうに思います。民間の施設ではありますけれども、住民さんの健康だとか、あるいは保養面で非常に大きな、プラスになると思いますし、上牧町に町外から、あるいは県外からも人の流れを生む大きなプラスの

起爆剤になるのではないかというふうに思います。住民の皆さんの人気のある施設でもありましたので、ぜひここは官民連携を推し進めていただきたい。これは上牧町の大きな観光資源の１つというふうな形で位置づけてもいいのではないかなというふうに思います。

官民連携が仮にできるとしたら、どんなことが想定できるんでしょうか。想定できることがあれば答えてください。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　まず、官民連携でのにぎわい創出というところでございますが、虹の湯さんは整備された滝川遊歩道沿いの立地であることのほか、先ほども議員申されていましたように、休館前は町外からも多くの利用者があったということで、新店舗でのオープン後も引き続き、観光に資する施設であると期待しておるところでございます。

あくまでも民間事業者主体で運営されておる施設でありますから、連携の方法につきましては慎重を期する必要があるのかなと考えているところでございます。今後どういった形で連携していけるのかという話でもございますが、これにつきましては先進地の自治体の先行事例を参考にさせてもらいながら、今後、研究していきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　竹中議員。

○３番（竹中亮造）　期待しております。どうぞその方向で頑張ってください。よろしくお願いします。

最後に一、二分だけ意見を言わせていただきたいと思います。今回、上牧町で非常に可能性を秘めた笹ゆり回廊に焦点を当てて、試案を含めて質問させていただきました。上牧町は鉄道がなかったり、歴史遺産が限られていたりと確かに不利な面もあるとは思うんですけれども、６平方キロメートルの面積で広い山間部などもなく、コンパクトシティーとして、ある意味、非常に整備はしやすいというふうに思います。

また、地理的には北葛４町の真ん中に位置するなどの利点もあると思います。特にペガサスホールやラスパのある地区､約600メートルの道の辺りは休みの日だと町の内外から非常に多くの人出があり、大変なにぎわいがあります。私はデータは持っていませんけど、ひょっとして北葛の中では一番ではないかなというふうに思っているんですけれどもね。ここに馬見丘陵公園とのつながりを意図的につくったりだとか、あるいは虹の湯の再開をうまくつなげて、元気な上牧町の持続性を図っていただけたらというふうに希望しております。

上牧町に人の流れをつくる政策が進んでいきますこと、上牧町の笹ゆり回廊の魅力アップ

を中心に質問させていただきました。理事者側にはどうぞよろしくお願いします。

これで私の質問は終了させていただきます。ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、３番、竹中議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は午後１時とします。

休憩　午前１１時３３分

再開　午後　１時００分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

◇

◇服　部　公　英

○議長（遠山健太郎）　次に、９番、服部公英議員の発言を許します。

服部議員。

（９番　服部公英　登壇）

○９番（服部公英）　９番、服部公英です。議長の許可を得ましたので、通告書に従い、質疑をしてまいります。私の質問は大きな項目で２点から成っております。

まず、１点目、都市環境について。

①奈良県知事が新しく就任され、これまでの事業計画の見直し案がありました。上牧町においても影響している西和医療センター病院の移転先の見直しをする方針を打ち出されて、広域７町の各町に新しく候補用地を出すように知事から提案が出たようで、当町の方針を聞かせてください。

私個人の考えは、これまでの広域連合での話合いで各町長がやっと協定書までまとめて決めた王寺駅近くに移転する計画がよいと思います。これからの高齢化社会を迎える点においても一番に利便性を考えて移転することがベストと考えます。当町の方針を聞かせていただきます。

②次に、知事の方針により奈良県の水道事業の県の統一事業についても見直し案を検討しているそうですが、どのように通達がされているのか、お聞かせください。

③北上牧地区の元上牧温泉の入り口付近の道路が狭く、道路に穴が空いているところを緊急に修理していただきました。早急に対応していただき、ありがとうございました。住民の声をすぐに聞いて動いていただく体制は大変評価できます。この道路は利用者が多く、整備する必要があります。この部分の道路整備を考えているのか、聞かせてください。

大きな項目の２番目、教育環境について。

①中学校の統合に向けて、事業内容の確認ですが、新しく校舎を新築するに至った理由について聞かせてください。

②新築する校舎の建築設計において一番に考えた点は何か。建築の内容とスケジュールを聞かせてください。

③校舎を新築しながら新しく１つの学校として始まりますが、学級編制と教師の配置、人権教育、知育、体育、食育等、教育方針を聞かせてください。

④第二体育館を取り壊す話が出ていますが、9,000万円をかけて耐震補強をして、まだ何年もたっていない桜ケ丘の住民の方々の避難場所にもかかわらず、住民の声も聞かずに進めることに納得できないので、内容を詳しく説明してください。

以上、私の質問項目になっております。再質問につきましては、質問者席から行いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　それではまず、①の項目から答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　都市環境についてというところの①西和医療センターの移転先の見直し案についてというところでございます。

これにつきましては、議員の通告書にもございましたように、奈良県の知事が代わられたことに伴って、西和医療センターの移転先再整備に係る県知事と西和７町の町長との意見交換会がこの７月12日に県庁で行われたというところでございます。

その中におきまして、ＪＲ王寺駅南側に加え、ほかの候補地も含めて費用対効果等を再度、比較検討し、関係者と協議の上、今後の方針を決定していくと示されたところでございます。これにより令和５年度は候補地の再検討の実施も含めた検討経費のみを執行するとされたところでございます。

それを踏まえて、上牧町といたしましては、さきの８月24日の議員懇談会におきまして町長より議員の皆様に説明されましたように、何より上牧町の住民の方々の利便性や交通のア

クセス、これを最優先に考えた結果、移転先候補地につきましてはやはりＪＲ王寺駅南側、これが上牧町民の方々にとって最適であるのではないかという考えにつきましては当初と全く変わりはなく、これからもそのように県に対して示してまいりたいと考えております。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　その後、各町から候補地が出てきているようですが、その後の状況がどのようになっているかという情報は得ておりますか。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　その後の県の動向でございますが、９月の１日の金曜日の夕方に、県医療政策局病院マネジメント課西和医療センター建設準備支援係長よりメールにて報告がございました。その内容といたしましては、７月12日の知事と町長との意見交換会の後に平群町、三郷町、斑鳩町、河合町、この４町から計８か所の移転先候補地の情報提供が県にありましたとの報告で、今後におきましては、ＪＲ王寺駅南側を加えた合計９か所についての調査、検討を重ねながら、関係者の皆様とも意見交換した上で、移転先候補地の検討を進めてまいりたいと考えていますといった旨の内容の報告があったところとなっております。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　今、答弁いただいた生駒郡４町は希望を出しておられるのは前から聞いているんですけども、北葛におきましては河合町も出しているというようなことを聞いているので、河合町が示しているところが分かっておれば答えていただけますか。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　この計８か所の候補地に関しましてはあくまでもシークレットで公表されておりませんので、私どもも知っているところではございません。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　よく分かりました。それはシークレットということで理解しました。

それから、知事に質問したいのですが、ここは県議会ではないので、候補地を示せという話をしているんですけども、実際のところ、西和医療センターは今のところをリフォームして、そのまま使うという考えを持っているのではないかというふうに私は考えているんですけども、そういうところは聞いていませんか。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　今の既存の場所で改築をしてということだと思うんですけども、その考えは私どもには報告等はございませんので、恐らく今の所在地以外のところで建設の

計画であると考えております。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　分かりました。今の場所では駐車場が狭くて、各町から行くにしてもみんなが困っているという状況で、新しいところに造ろうという計画が進んでいますので、新しいところに移転してほしいと思います。まず、利便性を考えて行ってもらいたいと思いますので、引き続き、元の王寺駅の反対側のところに建ててもらうように希望して、この質問はこれで置いておきます。

それでは、次の質問、水道事業のことについてなんですけども、分かっていることで結構ですので、この水道事業の県の統一化についても県内で各市町村が話し合ってやっとまとまった事業ですので、ここで見直されてどうのこうのというのはどの辺まで話を蒸し返しているのか、教えていただきたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、県水道一体化への参加につきましては令和５年２月に基本協定を締結し、そして一体化に向けた検討、協議を深めていくため、令和３年８月に設置した奈良県広域水道企業団設立準備協議会、これは任意の協議会ですけれども、これを本年３月議会におきまして法定協議会として設置する議決を頂いたところでございます。

議員ご質問の見直し案の検討というところでございますが、これにつきましては、本年７月21日に法定協議会として最初の第１回奈良県広域水道企業団設立準備協議会が開催されました。そこで知事から冒頭の挨拶で、水道施設の老朽化、そして人口減少、技術職員の不足を考えると水道広域化は必要だと。だが、今のスキーム、枠組みが万全だと受け止めていないと。このシミュレーションで持続的な運営ができるのか不安を抱いているということで、財政シミュレーションの考え方を標準的なもの、そして、保守的に厳しく見積もったもの、それと楽観的なものという形でシミュレーションを再度示し、変動の可能性を伝えることが住民への誠意だという問題提起をされたところでございます。

このことを受けまして、今中町長はじめ各首長はスケジュール的な問題で、広域化事業などに伴う国の交付金は令和16年度まで最大10年間受けられる制度になっておることから、交付金を最大限受けられるよう、統合時期を令和７年度と設定したというところと、これまでの合意や協議を経てきた内容を見直すのであればこの枠組みを解散すべきではないのかという意見もございましたが、最終的には、論点を整理した上で早期に再度協議会を開くことで了承されたというところでございます。現在は県域水道一体化準備室におきまして、再度シ

ミュレーションを作成しておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　当町としてはこの水道事業にどういった立場、ポジションをとって、県に対しての態度をとっていくというか、要望していくのか、その辺をお答えください。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　先ほども申しましたように、前回の会議の中で町長も言われておりました、今まで何してきたものかという部分もございますので、考え方としては上牧町は広域化に参加するというスタンスは変わらないと認識しているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　分かりました。しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

それでは、③北上牧町地区、急にローカルの話になるんですけども、担当課には場所を細かく伝えておりますので、答弁よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　ご質問の当該路線につきましては町道北上牧４号線というところで、過年度に小集落地区改良事業におきまして歩道つきの主要幹線道路として道路整備がなされましたが、当時、交渉が難航し、局部的に未整備の箇所が残っておるというところで、道路舗装に関しましても当時のコンクリート舗装の状態のまま現在に至っておるといった状況であるということでございます。

今後につきましては、当該路線の舗装修繕を行うに当たりまして、本年度、舗装の維持修繕計画策定業務を発注しておりまして、その業務の中で路面の性状調査測定、解析等を実施し、その結果を踏まえた適切なメンテナンスサイクルにより、舗装の長寿命化に向けた個別施設計画の策定を致すというところでございます。来年度以降の舗装修繕におきましては、この計画を基本として舗装整備を進めていく予定であるということでございます。

当該現場を確認させていただきましたが、当然、今、議員申されておりますとおり部分的な損傷が多く見受けられる部分もございます。何らかの修繕が必要であるというふうには考えておるところでございます。ですので、路線の全体的な修繕におきましては計画を基本として、計画的な実施を行っていきたいというふうに考えておるところと、局部的な修繕におきましては来年度以降も施工を予定していきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　ありがとうございます。修繕は部分的には早急に、絶えず何回もしてもらっているんですけども、交通量が多くてすぐ穴が空いてくるので、危険であるということを地域の住民さんからの声で上がってきた問題なので、よろしくお願いいたします。

これで都市環境に質問通告書で通告している質問は終わったんですけど、質問ではないんですけども、今回、２日ほど前の大雨のときに服部台明星線が突き当たっている交差点で膝まで水がたまるような状況が起こりました。そして、警察が来て通行止めにするような状況が生まれました。

そのときの状況を少し説明させてもらうと、水が道路から流れてきている状況もありますが、側溝から滝川に流れ出す水のパイプが小さいせいか、どれか分かりませんけれども、側溝から水があふれ出して、逆流して、その水も合流して道路が冠水しました。その点について、また今後検討して、滝川に流す土管の口径を大きくするか、何点か、ちゃんと考え直してしないと、交通の要衝のところで急に止まるようなことが起きていたので、原付で走っている方も急に止まれないで、そこへ突っ込んでしまって、「エンジンが止まったらどないしよう」とかいうて本当に心配して、そういうような状況が起こっていますので、危険な場所になってしまったということで、せっかく９月２日に開通した都計道路なんですけれども、もう一度点検して、しっかりとやってもらいたいという意見だけ、ここで申し添えておきます。

それでは、次の教育環境についての質問に移りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、まず１点目のお尋ねでございます上牧町中学校において校舎を新築するに至った理由について答弁をさせていただきます。

当初は既存校舎の全面改修、あるいは一部新築、一部改修を想定しておりましたが、コストの比較におきまして、全面改修の場合、最も小さい負担で実現することが可能ではございますが、上牧中学校の場合、統合時点で築60年に迫る棟もございまして、併せて鉄筋コンクリート造の建築物につきましては寿命が平均で68年程度とされている中で、統合して数年後には建て替えを検討せざるを得ないという状況になることから、全面改修ついては見送りをしたという経緯がございます。

また、一部新築、一部改築の場合、新築による全面建て替えとの比較におきましては顕著な差はなかったことに加え、全面改修及び一部改修の場合におきましては長寿命化施工が必要であり、それを行うためにはさらに数億円程度必要であったことから、普通教室棟の面積

拡張や子どもたちが憩う場としてのフリースペースの設置など、時代に合った効果的なレイアウトで整備することができる新築案が最も妥当であるという考えに至ったものでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　今、説明していただいた３つの案の説明はほとんど上牧町内の住民の方、町民の方は知らないと思うんですね。今度ここに来て新築が決まりました、新築をするために45億円要りますということが、ぽっという感じで町民の耳に入っているような状態になっているので、町民の方々は本当に、これは中学校２つを１つにするという話のところまで戻してもええぐらいの勢いで、45億円もかかる中学校を建てるのは本当に必要なのかというのを不思議がっておられるんですけども、その点の45億円の金額がかかるという説明は今、受けましたけども、この45億円は今後、上牧町の財政にとって大きな負担になってくると思うんですけども、その点についてはどのように考えておられますか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　この事業については国の交付金を活用させていただくと同時に、いわゆる起債を活用させていただく部分でございますので、当該年度のみならず、今年度以降についても財政的な負担が生じてまいります。そのことを十分に比較、検討させていただきながら、一定長い視点で、今後の当町の財政状況も踏まえた形で推進するということを第一義に考えさせていただいております。

その結果、今、説明させていただいたとおり、新築をするということで決定をさせていただいておりますので、そこに至るまでのプロセスにおきまして財政状況であるとかの部分については、町の内部で十分な検討をさせていただいている経緯があることはご理解を頂きたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　今の説明の中にも途中はしょっている部分がありまして、公共施設適正化事業という形での交付金という話を今、してはるんですけども、それについても桜ケ丘の体育館を潰さないと公共事業適正化事業という事業の起債を受けられない、交付金ももらえないという形が今度起こってきているんです。そのことについても桜ケ丘の町民さん、また、桜ケ丘の体育館を使っている人は本当に不思議がっているんです。本当に３年か４年か、まだ記憶に新しいときに9,000万円もかけて耐震補強をして、災害時の避難場所として、桜ケ丘の住民の方があそこがあるから安心できる、ふだんはあそこで体育しながら体を鍛えられる

という形でしているのにもかかわらず、今言っている中学校２つの統合のために起こってきた新築案という話から、９割まで保障してもらえる起債がついているから公共事業適正化事業で借金をする、交付金が半分出るからするというような話をしてはるんですけども、桜ケ丘の住民の方からすれば初耳であるし、何で桜ケ丘の体育館を犠牲にして45億円の新しい中学校を建てるんだというふうな意見が私の元に届いているので、質問しているんです。その点についての説明を……。

○議長（遠山健太郎）　服部議員、④の質問でよろしいですか。

服部議員。

○９番（服部公英）　④の質問は④の質問であるんですけども、①の中の答弁の中に公共事業適正化起債を使ってするのでという話をされたので、ここでも話をしておかないと、この１つ目の統合の３つ目を選んだ理由の話に理解がついていけないのでね。また、４番でもしますけど。

○議長（遠山健太郎）　分かりました。じゃ、答弁お願いします。

今中町長。

○町長（今中富夫）　今、服部議員から、学校に関しての質問とそれに合わせた桜ケ丘の体育館の話をしていただいているんですが、私は今、服部議員のお話を聞かせていただいて、その話がちょっと論点が違うように思うんですよ。学校を建てることが桜ケ丘の体育館を解体する云々につながっているから、学校を建てること自体がおかしいのではないんですかというようなお話ぶりにどうも聞こえますので、ちょっと誤解を招くので。

中学校の問題と確かに財源としては関わりがあるんですが、論点は、ただ我々が説明させていただいているのは、８月の24日の全員協議会の中で私は皆さん方に説明をさせていただきました。こういう考え方で進めさせていただきますよという説明をさせていただきました。そのときには、８月に入ってから基本計画がようやく固まって面積が出てきたので、その上で将来の上牧町の財政状況、今後のいろんなことを考えたときにはできるだけ有利な財源を利用すると。これは当然、我々の仕事で当たり前のことでございます。もし、これを利用しなかったら、議員の皆さん方、「町長、おまえ、こんな有利な財源あんのに、これ、よう使わんとどうしたんや」とこういう話にもなりかねないわけでございますので、我々としてはできるだけいい財源を、いろんな情報を仕入れながら説明を皆さん方にしていくと。

ただ、桜ケ丘の体育館という固定、これは最終的にはそうなんですが、公共施設を適正化にのっとって、どこかを解体をしていかなくてはならないと、こういうことでございます。

その結果、相談して、二中の中学校をあのまま残すんだから、体育館があるから機能を移転できるじゃないかということで、桜ケ丘の第二町民体育館を候補として挙げさせていただいて、皆さん方に説明をさせていただいたということでございます。

もし、機能が移転できなかったら、ほかの施設を選ばなくてはいけないということになります。そうなるとどこを選ぶんだということになるので、桜ケ丘の第二町民体育館を使っておられる方には大変迷惑をおかけしますが、決まったから来年度解体するということではございませんよ。３年後の話ですよ。そこまで使っていただけるわけですやんか。

石丸議員さんがまた質問されると思いますが、体育館の機能そのものを使っておられる方々は何も移転したって、ちょっと５分程度遠くなるだけで、二中の体育館を使っていただいたらいいわけですやんか。しかし、それ以外の機能の部分をお使いになっておられる方々については若干のいろんな問題があるのかなと。これをこれから皆さん方に、利用者の方々、住民の方々に説明をさせていただかなくてはいけないと。

ただ、今の段階では、８月24日に初めて議会の皆さん方に先に報告、説明をさせていただいて、その後に住民の方々に説明をしていくという考え方でおりましたので、こういう話で流れていくというのはちょっと予想もしていなかったわけでございますので、今おっしゃっているように、住民の方々に説明をしないでこういうことを進めるのはどうかと言われれば、それはそうでございますが、まだ説明をする時間が取れないという状況でございますので、それをおっしゃられたら、説明ができていないということについては大変ご迷惑をおかけいたしておりますというおわびは私は素直に申し上げなくてはいけないというふうには思いますが、考え方はそうやということでございますので、論点をしっかり整理しながらお話しいただければ、我々としてはありがたいなというふうに思います。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　８月24日の全員協議会で町長からこういう説明がありました。公共施設適正化の事業を利用した起債をすれば交付金が出る、起債も90％までできる起債を使えると。だから、新しく9,000万円をかけて、耐震化も図った体育館であるが、潰してもこちらのほうが有利である。将来的に町民の方には負担をかけないで済むというような話は説明を受けました。

そのときに私は、そうやねやったら、その説明を町民の方々にきちっとしていただいて、私が納得したようにみんなが納得してもらえればいいなというふうには考えました。私はその話をしてみたんですけども、なかなか理解をしていただけない。今、論点が違うとおっし

ゃいますけど、やっぱり、なぜ中学校の45億円を借りるために桜ケ丘の体育館を潰さなくてはいけないんだという話が、数多く意見が出ていますので、その点については町長はじめ、この上牧町の理事者方の皆さんが本当に町民の方が納得できるような政策を取っていってもらいたいなというふうに思うんです。

今の町民の方々の勢いでありましたら、一部の方と言われればそうかもしれませんけども、中学校２校のままでもいいんじゃないかという考え方もまだ言う方もおられます。今、２つを１つにして新しい中学校を建てようという話で進んできているのに、ずっと５年もかけてきた話をまた５年間戻すような話も、戻してでもしたらいいんじゃないかというような考え方の人もいますので、その点、しっかりと説明しながら、この事業を考えていってもらいたいと思います。

私の意見と食い違うので、次の質問に移って、スケジュールから順番に説明していただいて、その内容についても、町長が議会に説明したように町長の口から、このユーチューブを見ている人なり、ここに来ている人が分かるようにもう一度説明されたほうが、私が変に質問しながら、こういうのがおかしいんじゃないかというような話でしているんで、なかなか町長の考えが住民に伝わらない部分はあるかも分かりませんので、初めから町長の口から、今回の事業はこういうことで、こういう形で進んでいますというような、24日の全員協議会で説明されたように説明されたらどうでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　私はそれと同じように今説明させていただいているんですけど、何か、どこか違いましたか。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　町長はそういうふうに捉えておられるのでしたら、それで結構です。町長が今、僕に答弁していただいたことは町民の方も皆聞いておられるので、町民の方がどのように判断されるか分かりませんけども、それで理解されたらそれでいいと思います。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　今、服部議員のほうからおっしゃっていただいている、一番最後にもう１回質問させていただくというお話なので、そしたら、そのときに24日のときにお話しさせていただいた考え方を再度話をさせていただいて、また併せて、今後タウンミーティングも実施いたしますので、そのときに住民の方々に説明もさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　結構です。ありがとうございます。次、お願いします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、ご質問の２項目めでございます。このたびの上牧中学校の設計に際して重視した観点と今後のスケジュールについて、分けて説明をさせていただきます。

設計の段階におきまして最も重視させていただいた点につきましては、何にも増して、子どもたちの命、安全を守るということでございます。子どもたちの様子に目が届く、危ない場所をつくらないなどを念頭に置きながら、学校長とも十分に協議を重ねたという経緯がございます。

また、居住性、快適性の向上という視点も重視し、生徒たちの健やかな心身の育成のためには吹き抜けやコミュニティースペースといった、ゆとりある空間の整備を図ることとしております。加えて、現状、普通教室の面積が不十分であるという課題への対応としての同教室の面積拡張や、可変式の特別支援教室、多目的に利用できる教室等の整備を想定した設計業務を進めてまいりました。その他、特に配慮が必要な生徒等の利便性、利用頻度、生徒や教職員の動向を意識した教室配備と、限られたスペースの中で機能統合、集約化を図るなど、効果的な整備という観点を踏まえた設計を行っているものと認識をしているところでございます。

次に、スケジュールについて簡単に説明をさせていただきます。

建築スケジュールにつきましては、令和６年10月に新校舎棟の建築工事に着手をし、令和７年12月までに工事引渡しを完了した後、令和８年４月に統合中学校の開校を想定しておるところでございます。

また、既存校舎棟につきましては解体の上、グラウンド及び駐車場等の整備を予定していることから、令和７年度において既存校舎の解体工事及び外構整備の設計業務を行い、その設計の下に令和８年度において既存校舎の解体、９年度には外構整備を行うこととしているところでございます。

なお、プールにつきましては、引き続き整備方針に関する検討、協議を行うこととしておりますので、現在使用しております上牧町中学校のプールの劣化状況などを勘案した上で、適切に対応したいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　今の説明で内容についてはよく分かりました。細かな点については、今後、また引き続き、その都度聞いていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

じゃ、次、お願いします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　新たにできる中学校についての生徒数の状況に基づく教員配置と教育全般にまつわる質問について、ご回答をさせていただきます。

学級編制につきましては、生徒数の推移状況から普通学級におきましては12学級、特別支援学級におきましては６学級を想定しており、当該学級に配置をされます教員数につきましては、公立義務教育学校の学級編制及び教職員定数の基準に関する法律に基づき算定をされることとなっているところでございます。

また、同校における教育方針に関しましては、学校統合準備委員会の総務部会におきまして、統合コンセプトである「学ぶ、つながる、創造する」を定めるに当たり、学校教育目標や目指すべき生徒像についても検討協議をしております。

なお、グランドデザインや教育方針の詳細につきましては、開校後、当該学校長が決定するものであることから、詳細は統合後において十分な検討の下、定められるものと承知をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　今の答弁の中にクラスが12ということは各学年４クラスずつという理解でよろしいですか。そして、４クラスあるということは、学校の先生の人数は今、上中と二中で働いていただいている教員の人数とほとんど変わりがないというふうになるんですか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　中学校は３学年ございますので、各学年それぞれ４クラス程度を想定をしております。現に上牧町中学校、上牧第二中学校に配置をされている職員数との比較においては、その部分は子どもたちの数によってクラス数も変動してまいりますので、その部分を十分に今後把握した上での話にはなっていくかと思っておりますが、統合になりますので、人数については今よりは若干少なくなる傾向にあるのかという認識をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　学校の先生が少なくなると。ほな、学校の先生が首になる先生も出てくるという、首というか、よその学校へ行くんでしょうけれども、上牧町内では人数が少なく

なるというふうな理解でよろしいですか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今、話をさせていただきましたとおり、ご承知のとおり学級編成におきましては１クラスの人数が定まっておりますので、そのクラスにおいて人数を超えてしまうと複数配置ということになってきますので、その辺を総合的に考える必要があるかというふうには思っております。当然どこでも、子どもたちの状況については日々変動をしているというのが全ての市町村においての状況だと認識をしておりますので、その中で現に配置をしていただいている教職員が次年度において少なくなるという事態は日常的に生じるものであるというふうに認識をしておりますので、その部分については、県の人事上で十分に考慮を頂ける部分であるかという認識をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　分かりました。それでは、最後の④に移っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　先ほどの話の続きなんですが、24日の日に私は議員全員協議会を開いていただいて、皆さん方にこの件についてご説明を申し上げました。そのとき、今、我々、地方公共団体は公共施設がたくさんありまして、少子化、人口減少が続いている中で国も地方公共団体の公共施設の維持管理が大変やということで公共施設を適正化、今、当町でも適正管理についての調査計画を一生懸命に担当課でやっていただいておりますが、そういう状況になってきていると。

近隣では公共施設をできるだけみんなで共有して使おうよと。もう使用頻度も減っているような施設、こういうものを見直しながら、使えるところはみんなで使って、できるだけ建て直しをしないような形でやったらどうだというて、今、協議をしながら、そういう広域化の動きも片方でやっている状況。

そんな中で国から公共施設の適正化について、新しく公共施設を建設していく場合は、不要ということではございませんが、他のものに変えられるようなもの、こういうものを一定の面積を、例えば削減する場合は起債であったり、それから交付税の算入であったり、こういうことについて有利に国も考えますよという制度が新たにできていると。

上牧町としては中学校２校を１校にしていく、このことについてはもう議会の皆さん方に説明をして、皆さん方の了解を得ているところでございます。これについては住民の方々も

ちゃんとした、ここ最近、そういう話合いはできておりませんが、広報であったり、いろんな形の中で、中学校を統合して子どもたちの心身を育んでいこうと、健やかに育てていこうと。クラブ活動もできないような状況やと、ずっと同じ顔で、１クラスで３年間過ごすということはあってはならないということで、中学校統合していこうという中で、有利な財源を使っていこうと。これを考えるのは、我々の仕事でございます。

その中で代わりに使えるようなものがないのか、これを検討した結果、体育施設でございますし､中学校の体育館があるということで､機能を中学校に移転をさせますということで、この有利な起債を図れるので、どうぞ皆さん方、ご理解、ご協力をお願いしたいと。その代わり、小学校の問題もございますが、先に認定こども園。保育園の入園者も減ってきておりますし、幼稚園の入園者も減ってきているということで、これから将来なかなか大変やと、それと、専門職の雇用もなかなかうまくいかないと、そういうことで認定こども園をこの次に考えるべきだろうということで、校舎の建設事業、今の現幼稚園の一角、体育館の跡地、それから､その間に通っております道路､幼稚園､それと､その上にございます老人憩の家､この敷地を全体的に考えて、新しい計画で総合的に判断をさせていただこうということで皆さん方に説明をさせていただきました。

そういう中で、例えば体育館機能以外のものを総合的に判断させていただこうという説明を私はさせていただいたつもりでおります。決して、なぜそこなんだ、そんなことをするから中学校を建て替える必要ないやないかと、１校じゃなしにこのままでいけよということもあると、今、服部さんからそういう話が出ておりますが、私はそれを聞いて心外ですわ。何でそんな話になるんやと。ここまでみんな一生懸命に、皆さん方に絶えず情報も提供させていただいて､いろんな説明をさせてきていただきましたよ｡なぜそんな話になるんですかと。

だから、私は先ほど、服部議員に論点をまとめてくださいよと、論点が違いますよと。これをやるから、中学校がこんなんやから１校にする必要ないと、２校で戻すよという論点ではないということ。中学校は中学校でしっかりやらないかんと。その中に国の新しい制度としてこういうものが、有利な財源を使えるものがあるんだ。中学校を１校廃校することによって機能が移転できるんだ、その他の機能は認定こども園を一体的にやるときに考えていこうと総合的に判断をさせていただきます。私はあのときにそういう説明をさせていただいたつもりでございます。だから、住民さんに説明をさせていただいたら、私は理解していただけるもの、こういうふうに考えてあの説明をさせていただきました。それをぜひ皆さん方にご理解を頂きたいなと。

もし、そういう話が出ているとしたら、それは私の本意と違うんですよ。そら、説明をまだしていませんのでね。先ほど申し上げましたように、議会の皆さん方には説明をさせていただいたけど、住民さんにはまだ時間が取れませんので説明ができていないということについては、住民の方々におわびを申し上げますというふうに私は申し上げております。これが済んで落ち着いたら、またタウンミーティングをさせていただいて、各地域、地域で考え方を住民の方々に聞いていただきたいし、これで子どもたちもよくなるし、住民さんの生涯学習、生涯スポーツ、これもしっかりと確保できますよというお話を、そういう気持ちで24日にさせていただきました。

この後また、あした石丸さんから質問があるわけでございますが、石丸さんは石丸さんの考え方があろうかと思いますので、また、あした拝聴をさせていただきたいというふうに思います。

○議長（遠山健太郎）　服部議員。

○９番（服部公英）　丁寧な説明ありがとうございました。論点は違うというふうな話になるんですけども、私が心配しているのは、まず財政のこともありますし、認定こども園、また憩の家をひっくるめた桜ケ丘の総合的に開発するという話も24日には聞きました。でも、それをすることによって、認定保育園を建てる金額がまた発生しますし、いろんな点でまた財政が要るようになってくるという話も心の底のどこかにありますので、町長の説明があった以降に町長の立場になって住民に説明してもなかなか聞き入れてもらえないという事実だけがあったということだけは町長、理解しておいてください。

私は町長の立場、足を引っ張ろうと思って説明したんじゃなくて、町長がこういうふうに言うてはるからこういうことになっているんですよというような説明をしても、なかなか桜ケ丘の体育館を利用している方は機能移転が第二中学でできるというのは、そこが町長の判断と住民の方の判断が少しずれていますので、桜ケ丘であって、あそこが防災のときに使える、あそこで運動ができるというのと二中に行って運動するというのは町の考え方、町長の考え方と住民の方の考え方はちょっとずれているというところだけ指摘させてもらって、私もこれでこの質問を終わりたいと思います。また明日、石丸議員から質問があろうと思いますけれども、私が言いたいところはそこですので、今後の上牧町の財政もしっかりと考え、また住民の方々の気持ちもしっかりと考えていただいて、行政運営をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、９番、服部議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は２時５分とします。

休憩　午後　１時５２分

再開　午後　２時０５分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

◇

◇氏　原　賢　一

○議長（遠山健太郎）　次に、２番、氏原賢一議員の発言を許します。

氏原議員。

（２番　氏原賢一　登壇）

○２番（氏原賢一）　議席番号２番、公明党の氏原健一でございます。議長の許しを得ましたので、通告書に基づき一般質問をさせていただきます。私からの質問は大きく２点でございます。

１点目はＳＤＧｓ、持続可能な開発目標についてでございます。2015年、平成27年の国連総会において全会一致で採択されたＳＤＧｓのうち、次の３点の取組についてご検討をお願いいたします。

まず、１つ目は、廃油の回収でございます。使用済み天ぷら油をごみではなく、地域に眠る大事なエコ資源として捉え、廃油の有効利用をご検討ください。

次に、乾電池の回収でございます。建設環境課の窓口だけでなく、幅広く回収できるよう、公民館等へ新たに回収ボックスの設置をご検討ください。

ＳＤＧｓ関連の最後の質問は、上牧町の指定ごみ袋１枚単位での販売でございます。コンビニ等で商品を購入した際、レジ袋の有料化に伴い、マイバッグが活用されておりますが、マイバッグの衛生面が問われている現状打開のためにも、例えば、精算時に可燃ごみ袋10リットル１枚を10円で販売し、購入した商品を可燃ごみ袋に入れて持ち帰っていただくというのはいかがでしょうか。

２点目は、投票支援カード等の導入についてでございます。投票所で障害を持っておられる方や高齢者などを手助けする投票支援カードとコミュニケーションボードの導入をご検討ください。

具体的には、投票用紙に代わりに書いてほしい、コミュニケーションボードを使ってほしい、投票所内案内、誘導してほしい、候補者の名前を読んでほしい、候補者名を書いた紙や名刺を見て書いてほしいなどです。

また、投票所内で予想される困り事や手伝ってほしいことを絵や文字で表示したコミュニケーションボードの活用をご検討ください。

以上の再質問は質問席で行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　氏原議員。

○２番（氏原賢一）　それでは、まず１点目の廃油の有効利用について、ご回答をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　一般家庭から出る使用済み食用油は回収、再利用を行うことで廃棄物の削減となり、CO_2排出減にもつながることから前向きに検討していきたいというふうに考えているところでございます。

実施されておる先進地事例の市町村に確認したところ、専用の回収ボックスを設置し、そして、決まった曜日に業者が回収を行うといった流れになっておるというところでございますので、再利用の用途に関しましては様々で、燃料や石けんなどにリサイクルされるほか、売却して、業者で使用しとるというところもあると伺っておるところでございます。

上牧町といたしましても、温室効果ガス削減や収益にもつながるという部分で有効な対策というふうに考えておるところでございます。ただ、不法投棄やマナーの悪い事例もあるという問題点もお聞きしておりますので、回収ボックスの設置場所等をしっかりと検討した上で、実現に向けて今後進めていければなというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　氏原議員。

○２番（氏原賢一）　ありがとうございます。前向きな検討をよろしくお願いいたします。

次に、乾電池の回収について、ご回答をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　乾電池の回収拠点を増設することにつきましては、以前より業者とおぼしき方が大量に廃棄するとか、上牧町外の方が廃棄するとか、ほかの廃棄物を入

れる等の事例が多数ございましたので、職員の目の届く範囲に回収ボックスを設置しておるのが現状でございます。ただ、公民館等に設置するということは確かに便利であることは承知しております。ですが、今、申しましたようにそのようなトラブルを防ぐためにも今のところ増設は考えていないというのが現状でございます。

○議長（遠山健太郎）　氏原議員。

○２番（氏原賢一）　確かに、乾電池の回収ボックスは上牧町役場のロビーのところに以前は置いておりました。なぜ建設環境課の前に置いたかとお聞きしたところ、ごみも一緒に入れられると。確かにごみ箱があればそこに住民の方もほるとは思うんですけどもなかなか、そういった方もいらっしゃるというのは残念ではありますけども、またご検討よろしくお願い申し上げます。

続きまして、指定ごみ袋１枚単位での販売について、ご回答をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　指定ごみ袋につきましては現在10枚ワンセットで販売をさせていただいておるところで、ばら売りをするということになりますと、第一に販売店の協力が必要不可欠であるというところでございます。また、町施設や販売協力店舗ともに在庫管理が複雑になりまして、販売時に枚数の渡し間違いとか、いろんなそういったところのデメリットというのが考えられるので、今後、慎重に検討していく必要があるというふうには考えております。

現在、先進地事例といいまして、奈良県では生駒市さんが先行されてされておるのは伺っております。そういうところもまた注視しながら、今後も考えていかなければいけないのかとは考えておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　氏原議員。

○２番（氏原賢一）　上牧町民であれば必ず不燃ごみとか燃えるごみとかは自宅で使うわけですから、そのまま持って帰るよりも黄色でも緑でも袋に入れて帰ったほうが衛生的にもいいかなと思って提案させていただきました。前向きにご検討よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

次に、投票支援カード等の導入について、お聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　では、２つ目にご質問いただいております投票支援カード及びコミュニケーションボードの導入をして検討してもらえないかというご質問でございます。

現在、本町におきましては投票支援カード及びコミュニケーションボードの導入は行っておりませんで、人員の配置によりまして、特に期日前投票所におきましては必ず１名を入り口のところに配置をさせていただきまして、入場券をお持ちですかというのも併せて、また代理投票であったり、もしその他、困り事等についても意見を聞きながら現在対応させていただいているところでございます。

ただ、今、氏原議員ご意見いただいておりますように、今後におきましては、引き続き人員配置と併せて、コミュニケーションボードであったり投票支援カードを先進事例も研究をさせていただきまして、導入に向けてしっかりと取組を進めていきたいと思っているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　氏原議員。

○２番（氏原賢一）　ありがとうございます。障害をお持ちの方、高齢者についてはますます大変なことだと思いますので、また投票率アップにもぜひともご検討よろしくお願いいたします。

以上で私の質問を終了いたします。ありがとうございます。

○議長（遠山健太郎）　以上で、２番、氏原議員の質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は２時30分とします。

休憩　午後　２時１５分

再開　午後　２時３０分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

◇

◇東　　初　子

○議長（遠山健太郎）　次に、５番、東　初子議員の発言を許します。

東議員。

（５番　東　初子　登壇）

○５番（東　初子）　５番、公明党、東　初子でございます。本日最後の登壇となりました。

議長の許可を頂きましたので、通告書に基づき一般質問を行わせていただきます。

その前に、日本、世界各地におきまして気候変動や地球温暖化、温暖化ならず沸騰化によりまして様々な災害が頻発しており、本当に胸が痛んでおります。また、このたびの台風13号に伴う記録的大雨に見舞われ、国内外で犠牲になられた全ての方々へ衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被害に遭われた皆様の一日も早い復旧、復興を心よりお祈りいたします。本町におきましても一昨日の大雨の被害を受けられた方々もおられます。心よりお見舞い申し上げます。

それでは、質問事項の１番目でございます。献血教育について。

質問の要旨は、献血は命をつなぐボランティアと言われており、献血できる年齢は16歳から69歳までです。このコロナ禍で特に献血人口は減っております。少子化も影響を及ぼしています。がん、白血病、手術、出産など血液を必要としている患者さんが大勢おられる中、血液は人工的には作れないだけではなく、長期保存ができません。１人当たりの献血の回数、量には制限もあります。これらの理由から、多くの方のご協力が必要となるのです。そのためには献血できる年齢、16歳となったときには積極的に献血していただけるように、中学生のときから献血の必要性、有効性などについて教育が必要と考えます。本町の現状とお考えをお伺いします。

質問事項の２番目です。子どものＳＯＳ早期発見アプリや悩み相談システム等についてでございます。

要旨といたしまして、奈良県教育委員会は、いじめを早期発見するため独自開発したアプリを９月から県内の197校の公立小学校や義務教育学校で本格的に運用することを決めました。アプリを通じて、いじめに対する教師の気づく力を育てるとともに、とにかく早くいじめを発見し、児童に悲しい思いをさせないようにしたいとコメントしています。

また、他府県において、誰にも相談できずに悩んでいる子どもたちを救うための「ＳＯＳそうだんフォーム」というシステム導入により、子どもたちが簡易的に悩みやＳＯＳを出せるものなどもあります。本町の現状と取組についてお伺いいたします。

再質問は質問者席にて行わせていただきます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　少子化の影響は献血の現場にも及ぶということで、日本赤十字社の資料によりますと、10歳代の総献血者数は2008年度が約30万5,000人だったのに対し、22年度は約21万7,000人に減少、20歳代の総献血者数は８年度に約114万6,000人だったものが、22年度は

69万5,000人に減ったという資料がございます。

本町でも定期的に献血に取り組んでおられますが、現在行われている献血事業についての年間スケジュール及びその周知方法、献血者数などについて、現状をお聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　それでは、健康教育というところでございますが、まずは私から上牧町における献血の現状についてお答えをさせていただきます。

毎年、厚生労働省、奈良県、日本赤十字社が愛の献血助け合い運動、これを７月に実施され、町といたしましてもポスターの掲示などのご協力をさせていただいているところでございます。

献血の実施につきましては、上牧町役場におきまして年２回、８月と２月に献血を実施しており、周知などにつきましてはポスター掲示、広報、ＬＩＮＥなどで行っているところでございます。それと、役場への来庁者の方々の目にも届きますように、庁舎１階の電光掲示板でも周知、啓発をしておるところでございます。また、日本赤十字社におかれましても近隣施設等に献血実施日前に声かけなどを行われておられます。

上牧町内においての役場以外での献血場所につきましては、ラスパ西大和店におかれましては毎月実施をされており、あと、東洋シールさんにおかれましても年２回の献血をされていると伺っているところでございます。

献血者数につきましては、奈良県が毎年度自治体ごとに献血目標値というのを提示されます。上牧町では、令和３年度で400ミリの献血目標数458人、これに対しまして実績が480人おられました。令和４年度で目標数524人、これに対しまして実績数がこれも同じく480人献血されておられます。そして、令和５年度の目標数値は525人となっているところでございます。

それと献血された年代別構成というところで申しますと、こちらの数値につきましては役場のみに献血された方の集計数値となっております。令和２年度から令和４年度の３年間の合計111人中、10代の方が６人で5.4％、20代の方が19人で17.1％、30代が22人で19.8％、40代が27人で24.3％、50代が23人で20.7％、60代が14人で12.7％となっているところでございます。やはり30代、40代、50代が中心であり、全体の65％を占めているといった状況となっております。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　よく分かりました。上牧町としましては、本当に献血の人口が目標に近いというか、超えている年もありということで、皆さん、ボランティアとして協力してくだ

さっているんだなというふうに思いました。ありがとうございます。

次にですけれども、献血による血液の安定的確保に向けた若年層の献血活動の推進に関する町としての考え方をご答弁お願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、議員が壇上でご提起のとおり、少子化による献血人口が減少している中、将来にわたり安定的に血液を確保するためには若年層、とりわけ高校生への献血推進活動がこれまで以上に重要になってくるものと認識をしているところでございます。

また、献血に関しましては、一般的に「20歳の献血」という言葉があるため、献血は20歳から行えるという勘違いをしがちではございますが､200ミリリットル献血にあっては男性女性とも16歳から、400ミリリットル献血にあっては男性では17歳から、女性では18歳から、成分献血にあっては男性女性とも18歳からとされており、体重制限等はございますが、高校生から献血を行うことが可能とされているところでございます。

また、16歳から18歳のいわゆる高校生世代に初めて献血を経験された人は、その後、23歳から29歳のまでの間で初めて献血をされた人と比べる中で、生涯にわたる献血回数が７倍にも及ぶというような報告もあるように聞き及んでいるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。やはり若いときから献血をされると献血回数が７倍にもなるということで、本当に若いときに学ぶことが大切かなというふうに思いました。

それでは、献血のことについて中学校などでも知る機会を、16歳から、高校生になって始めようと思いましたら、やはり中学校のときに学んでおくことが必要かなというふうに思います。そういう機会を設けていただくために、厚生労働省が作成している中学生を対象にした献血への理解を促すポスター掲示など、献血に関する町内中学校における取組について答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今、議員から提起がございました、厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課において中学生を対象として作成、配布をされました「はじめまして、献血」というタイトルのポスターの中には、献血は自分から進んで血液を提供するボランティアであることや、献血した血液の使われ方、献血の必要性、献血できる年齢などが盛り込まれているところでございます。

当該ポスターにつきましては、本町中学校にも配布をしていただいておりまして、一定期間の校内掲示等により活用をさせていただいているというのが現状でございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。校内でポスターも張っていただいているということでございますね。理解できました。やはり、それを目にするとそういうことが意識づけになるかなというふうにも感じております。

それから、このような冊子がございまして、皆様のタブレットにも配信させていただいておりますが、そちらで見ていただけたらというふうに思います。

まず、最初に「愛のかたち献血」ということで、それが表紙と裏表紙になっておりまして、そこから、ちょっとかいつまんで申し上げますと、次に３、４ページのところには「血液って何だろう」「血液の働きと役割」というようなことが書かれております。

また、飛びまして、そちらはタブレットを見ていただいたら全部入っておりますので、今はかいつまんで伝えさせていただきます。働き、また、献血って何だろうというようなことも書かれており、詳しく、いろんなことが分かるような冊子になっております。

次のところに行きまして、７、９ページのところに行きますと、献血の目的や献血の種類というふうになっております。

次に、11、12のところになりますと、献血の仕組み。これは漫画のように書かれていますので、すごく分かりやすいですし、流れということで、ここにはもうその次のページとかに書かれていますけど、成分献血のこととかも詳しく書かれておりまして、次に、15、16ページに行きますと、「教えて　献血Ｑ＆Ａ」ということで、献血をしたらどういうふうにと、どこでできるのとかと、そういうことが書かれております。小中学生で分かるように書かれておりますけれども、本当にこれを読ませていただくと大人の私たちもちょっと知らないことがあるなというようなことが載っております。

17ページに行きますと、「ありがとうの声」ということで献血で助けられた方々のお声が載っています。

その次の、最後のほうになりますけれども、22ページ、これが一番後ろなんですけれども、献血ができる場所ですね。全国的にできる場所も書かれておりまして、漫画には「大きくなったら献血しよう」という結びになっております。

そういうものが小中学生向けに配布されておりますので、ぜひご活用いただけたらと思います。こちらは高校生用もございますので、まずは中学生にはこちらをというふうに思いま

すが、いかがでございましょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　ただいま議員からご紹介のありました、日本赤十字社により作成をされました小中学生向けの血液事業紹介パンフレット「愛のかたち献血　けんけつを知ってもらうブック」につきましては、このたび、東議員からの一般質問通告に際しまして答弁内容をまとめる段階において、その存在を確認させていただいたところでございます。

内容につきましては、先ほど議員から詳しく説明ございましたとおり、小学生にとって分かりやすく、かつ有益なものであると認識をしております。本町における活用につきましては、中学校とも協議をさせていただきながら前向きに検討していきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　申し訳ございません。先ほどの東（ひがし）議員は東（あずま）議員の間違いでございます。訂正させていただきます。申し訳ございません。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　東でございます。お願いいたします。教育現場でなかなかあれでしょうけれども、理科とか保健の授業など、体の仕組みを学ぶ機会に献血についても触れていただいて、子どもたちに献血というものを身近に感じるきっかけづくりを行っていただきたいというふうに思います。

それでは最後に、数年後には献血可能年齢の16歳に達することとなる現中学生に対する取組など、お考えをお示しください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、若年層の献血活動の推進に向けた担当部長としての考え方の一端を述べさせていただきます。

現状、小中学校における学習指導要領の中には献血に関する事項は盛り込まれてはおりませんが、議員が冒頭に壇上で述べられましたように、献血は命をつなぐボランティアとの認識の下、本町の実情に即した形での子どもたち、とりわけ中学生に対する献血の意義や重要性に関する意識の高揚及び啓発を引き続き行っていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　理解できました。私の手元に令和５年の４月11日の読売新聞の朝刊、16

歳を迎えた献血を行った高校生の文章が載っておりました。少しだけ読ませていただきます。

「私は最近献血に行きました」と。「16歳の私はまだ200ミリリットルしかできません。血管に針を刺すので、かなり痛いのかなと身構えていましたが、思っていたより痛くなく、また、献血ルームでジュースを飲んだり、お菓子を食べたりできたこともうれしかったです」というようなことで書かれておりまして、「献血は病気や輸血歴、年齢などで、したくてもできない人もいます。15歳までの私もそうでした。もし献血ができる体なら、ぜひ協力しませんか」というような記事でございました。

本当に血はつくることができません。自分たちの体でしかつくることができませんので、本当にボランティアの１つとして献血を行っていただきたい。先ほどもありましたけども、若いときにそういう献血のボランティアを行うと７倍の結果があるというようなこともありましたので、命を救う第一歩は献血から始まるということで、若いときに献血の大切さを教えることが将来的な献血推進につながるのではと考えます。しっかりとお取り組みいただきますよう期待いたしまして、この質問を終わらせていただきます。

以上でございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　それでは、私もＮＨＫで知ったんですけれども、このたび、奈良県教育委員会が独自開発され、９月から県内の公立小学校や義務教育学校で運用を開始されるいじめ発見アプリというものの概要について、答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　奈良県教育委員会が独自に開発され、このたび運用することとなりました「気付き見守りアプリ」についてその概要について説明をさせていただきます。

このアプリにつきましては、靴や持ち物がなくなる、顔や体にあざがあるなど、17の項目につきまして教職員がチェックを行って、アプリに入力することで、学校内で情報を共有しながら、いじめの早期発見、または認知と速やかな対応につなげることを目的とされているものでございます。

なお、上牧町教育委員会におきましても、そのアプリの内容を閲覧により共有することができるようになっておりますので、必要に応じて学校等にアドバイスができるという体制も整っているというところでございます。

このことによりまして、以前よりもいじめの早期発見、早期対応はもとより、教員が児童の変調に気づく力の向上、ネットワーク型によるチーム対応による児童への支援が期待され

ているところであるというふうに認識をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。このアプリは基本的にあれですね、いじめの、例えばですけれども、靴や持ち物がなくなるとかいうような幾つかの項目があるということでございましょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　その全てを今、確認はできないんですが、申し上げましたとおり、事象としては、いじめとしては、レベル感からいくとまだ深刻度はないんですけども、ちょっとした子どもたちの変調に気づくという観点から、靴、持ち物がなくなるとか体にあざがあるとかいうとこらのちょっとした子どもたちの変調に気づき、その気づきをアプリに入力をするという項目が17項目あるというふうに認識をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。基本的には学校の先生、教職員がそれをチェックして、そこに載せるというのが基本でございましょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　そのとおりでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　理解できました。こちらの先生の側から発見できていくようなアプリというふうな設定になっているようでございます。

それでは、次に本町におけるいじめの早期発見、早期対応に関する取組や今後の展望などについて、お聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　このたび新しく運用をされます「気付き見守りアプリ」は担任だけでなく、多くの教員が個々の児童に関わることができ、これまで見逃されていたいじめの発見や、発見後の指導及びいじめ解消に向けた取組を加速、充実させるという効果があるというふうに認識をしております。また、従前のアンケートなどと組み合わせることにより、より積極的に活用してしていけるものというふうに考えているところでございます。

ただ、このアプリについては、１つの手段でございまして、このアプリに落とし込むべき情報を先生方がまずは感じていただく、感じ取っていただくということが何よりも増して必要だというふうに認識をしておりますので、先生方の細やかな、日々子どもを見ていただけ

ている状況をさらに進化をさせながら、その状況をアプリに入れることによって全体で共有を図っていくということでございますので、従前の先生方による子どもたちを見守る体制と合わせて、初めて有効な運用ができるのではないかなというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。先生方の見守る体制プラスこのアプリという形になるというふうに思います。

これは先生が気づくという形になるんですけれども、私が次に、申し上げさせていただきたいのは、他府県の状況なんですけど、長野県の佐久市で行っているものなんですけれども、「子どもＳＯＳそうだんフォーム『タッチ』」という新しいシステムなんです。今、小・中学生一人一人に配付の情報端末の中にこのシステムのアイコンを作って、アイコンをタッチすると質問事項が出てくるということになっております。

質問事項の内容は相談をできる入り口になっておりまして、誰のことを相談したいですかとか、自分のこと、友達のこと、何のこととかということが挙がっているようです。誰に相談したいですかということも出てきます。

これはすぐさまこの情報端末で相談するのではなく、相談がありますというＳＯＳを出していくシステムなんですね。例えば、自分のことを担任の先生に相談したいんですというような場合に教育委員会に情報が入りますので、その情報を教育委員会が、こういうお子様がいますということを学校にお伝えをして、学校で担任の先生が声をかけてあげるというような流れになっているようです。

子どもがどんな悩みを抱えているのか、どんなことで困っているのかというのが親にしても本当に分からないということが多くあると思います。子どもとしても、今のお父さん、お母さんは忙しかったり、保護者の方は忙しいということもございまして、なかなか相談しづらいとか、学校の先生にも面と向かって相談しづらいというケースもあると思います。そういったときにこの情報端末を通して、私は今こんなことで悩んでいますとか、ほかの先生や校長先生にちょっと相談してみたいとか、そんな入り口をつくってもらうことによって、ほっとすることにつながったり、また、ＳＯＳを出す１つのトレーニングにもなるという面があります。

いじめの話とかだけではないですけども、友達のいじめのこととか、いじめだけじゃなくても、自分の部活のこととか勉強のことなど選んで相談ができ、それで、悩みを相談したい

とＳＯＳを出すことが身につくことや、あるいは実際に相談したいことが相談できて解決の方向へ向かったりというような方向のものだというふうに捉えております。

ですので、先ほどのものからしますと、先ほどは先生がそこに気づくというのが基本なんですけれども、この相談フォームというのは子どもが、何か悩んでいるとか先生に伝えたいとか、そういうものを伝えるための、電話するのはちょっと重たいけども、もう子どもたちは情報端末にすごく触り慣れていますので、ぽんとそうやって質問をするということもあるようなんですね。

担任の先生へ相談が一番多いというふうに書かれております。担任の先生に毎日会っているのになぜ相談しないのかと児童に聞きますと、担任の先生が忙しそうにしておられるので話しかけられないという、そのような課題も見えてくるというようなことが書かれておりました。このようなシステムの導入、本町としてのお考えをお聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　ただいま東議員からご紹介のありました長野県佐久市でのお取組につきましては、小中学生に一人一人配付をされております情報端末を用いることにより、子どもたちからの相談に際してのハードルが低くなったものというふうに考えておりまして、そういう観点におきましては画期的でかつ有効なものであると認識をしているところでございます。

本町におきましては、まずは奈良県教育委員会によるアプリを円滑かつ有益なものとして活用、または運用をさせていただくこととし、議員ご紹介の佐久市の実例につきましては、本町におけるいじめに関する取組の発展形、進化形という体制の整備であるというふうに位置づけをしておりまして、今後は同市の運用を注視しながら、調査、研究を継続して行っていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　東議員。

○５番（東　初子）　分かりました。理解できました。子どもたちの声なき声を様々な形で拾い上げていただき、さらに明るく楽しく、元気よく、そして仲よく学校に通える環境づくりを引き続き、前向きにお取り組みただきますよう、ご期待いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

以上でございます。ありがとうございます。

○議長（遠山健太郎）　以上で、５番、東議員の一般質問を終わります。

これで本日の一般質問を終わります。

◇

◎散会の宣告

○議長（遠山健太郎）　本日はこれで散会いたします。

どうも皆様、ご苦労さまでした。

散会　午後　３時０２分

令和５年第３回（９月）上牧町議会定例会会議録

議　事　日　程（第３号）

令和５年９月１５日（金）午前１０時開議

第　１　一般質問について

１０番　康　村　昌　史

１番　石　丸　典　子

４番　安　中　　和

１１番　木　内　利　雄

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

◇

出席議員（１２名）

１番	石丸典子	２番	氏原賢一
３番	竹中亮造	４番	安中　和
５番	東　初子	６番	上村哲也
７番	竹之内　剛	８番	牧浦秀俊
９番	服部公英	１０番	康村昌史
１１番	木内利雄	１２番	遠山健太郎

欠席議員（なし）

◇

地方自治法第１２１条により説明のため出席した者の職氏名

町長	今中富夫	副町長	阪本正人
教育長	松浦教雄	総務部長	中川恵友
都市環境部理事	吉川昭仁	住民生活部長	山下純司
健康福祉部長	青山雅則	教育部長	松井良明
総務課長	丸橋秀行	秘書人事課長	髙木真之
企画財政課長	中本義雄	建設環境課長	武安康至
住民保険課長	和田　暁	生き活き対策課長	林　栄子

◇

職務のため議場に出席した事務局員

議会事務局長	森本朋人	書記	山口里美
書記	横田大樹		

開議　午前１０時００分

◎開議の宣告

○議長（遠山健太郎）　おはようございます。ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日は朝早くより多くの方々に傍聴に来ていただいています。誠にありがとうございます。

――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――

◎議事日程の報告

○議長（遠山健太郎）　本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。それでは、日程表に従い、順次議事を進めてまいります。

――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――

◎一般質問

○議長（遠山健太郎）　日程第１、一般質問について。

昨日に引き続き、一般質問を行ってまいります。一般質問の持ち時間は、理事者側の答弁を含め１人１時間以内です。質問者はその点、十分心得て質問し、理事者側は的確かつ簡潔に答弁をお願いいたします。

――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――

◇康　村　昌　史

○議長（遠山健太郎）　それでは、10番、康村昌史議員の発言を許します。

10番、康村議員。

なお、康村議員におかれましては、質問通告並びに再質問ともに質問席での発言を許可いたします。

（１０番　康村昌史　登壇）

○１０番（康村昌史）　10番、自由民主党、自民党の康村昌史でございます。体調不良という

ことで、本来ですと登壇して一般質問を通告しなければならないのですが、議長の多大なご配慮により質問者席で行うことができ、本当にありがたく思います。

それでは、一般質問を行います。私の一般質問通告書に従って一般質問を行いますが、私の質問事項は２点から成っております。

まず１つ目は、上牧町公民館改修要綱の見直しについてです。２点目の質問事項は、自治会等の防火管理者等についてでございます。

それぞれの質問の要旨についてお話しいたします。

まず、１番目の上牧町公民館改修要綱の見直しの進捗状況について、お尋ねいたします。

２番目に、自治会等に設置される防火管理者等の責任や権限等について、２つ目、消防法との関係について、それぞれお尋ねいたします。

それでは、上牧町公民館改修要綱の見直しの進捗状況について、担当課からの答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、まず初めに公民館改修要綱の見直しの進捗状況についてのお尋ねでございます。答弁をさせていただきます。

施設の老朽化、社会情勢の変化及び物価変動等により、現行の要綱が現状にそぐわず、自治会からの要望も多様化していることから、補助対象事業の整理及び重点化や補助率、補助の上限といった見直しを視野に、近隣市町村や類似団体等の調査研究と並行をして、役場内の関係がございます総務課、企画財政課、福祉課、文化振興課の課長及び担当者による協議調整の場を３回設けさせていただいたところでございまして、私も毎回その会議に出席をさせていただいているところでございます。

今後の予定といたしましては、本年中に新たな要綱案を取りまとめ、令和６年度町予算に関する自治会要望等と新たな要綱の運用との整合性を総合的に判断をさせていただきながら、当該自治会との調整を十分行った上で、可能な限り早期の予算反映を目指していきたいということを考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　今の部長の答弁から本当にありがたいお言葉を頂いたと思っています。今の部長の答弁を要約しますと、補助対象事業の整理及び重点化や補助率、補助金の上限額の見直しを視野に、３回にわたり担当課長らと協議を行い、部長も同席したとのことです。

そこで、もう少し詳しく、何点か質問させていただきたいと思います。

まず、１点目です。補助額の上限額はどの程度を考えているのか。

２点目が補助の対象物、費用負担の在り方について、どのように考えているのかを教えていただきたいと思います。

次に、地球温暖化防止の観点から、公民館のＬＥＤ化についてはどのように考えているのかをお答えいただきたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　そしたら、再質問でお尋ねの３項目について、順次回答をさせていただきます。

現行の要綱における補助の上限額につきましては75万円としているところでございますが、改正後の要綱におきましては、冒頭、答弁をさせていただきました理由により、引上げを視野に当該補助に係る補助率と併せて総合的に検討を加えているところでございまして、近々には取りまとめをさせていただき、また、お示しをさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

２点目でございます。当該補助に係る補助対象事業の範囲につきましては、現下の状況の把握、分析のプロセスは終了をしているところでございまして、一定の方向性は定まりつつあるというふうに認識をしているところでございます。なお、この部分について、新たな要綱への落とし込み作業を現在取り組んでいるところでございます。

なお、それぞれの施設の根幹をなす部分、いわゆる躯体部分に係る改修補助につきましては、所有者たる町と指定管理をお願いしております自治会の皆様方との費用負担の在り方を考え直すという観点において、引き続き検討を行い、改正後の要綱に適切に反映をさせていきたいというふうに考えているところでございます。

最後に、公民館におけるＬＥＤ化に係る部分でございます。ＬＥＤ化につきましては、地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減を目指す町としての方針に合致をしておる取組でございまして、重点的に取り組むべき施策であると認識をしておるところでございます。このことから、町の負担において実施することを基本として、現在調整をさせていただいているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　それでは、最後にお尋ねいたします。この公民館改修要綱、いつ頃出来上がる予定でしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　当該要綱につきましては現在最終的な調整をさせていただいているところでございまして、遅くとも本年中、12月までには要綱を所要の決裁を経た後、制定をさせていただきたいという考えでおります。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　よく分かりました。すばらしい公民館改修要綱にしていただけたらありがたいと思います。それだけは要望しておきます。それでは、この質問は終わらせていただきます。

それでは、２点目です。まず初めに、町内各自治会に所在する公民館、老人憩の家等の集会施設における防火管理体制について、答弁を求めます。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今ご指摘の老人の憩の家、公民館等につきましては担当が異なりますが、その中でも、公民館を担当させていただいております私から答弁をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

町内各自治会に所在しております公民館、老人の憩の家等の集会施設における防火体制について説明をさせていただきます。

消防法第８条におきましては、多数の者を収容する建物の管理について、その権原を有する者、ここで言う権限につきましては権利の「権」に原っぱの「原」の権原でございます。すなわち、管理権原者は、一定の資格を有する者の中から防火管理者を定め、防火管理を実行するために必要な事項を消防計画として作成させ、この計画に基づいて防火管理上必要な業務を行わせなければならないと規定をされているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　よく分かりました。それでは次に、公民館等の集会施設において選任すべき防火管理者等の責任及び権限について、答弁をお願いしたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、公民館と集会施設の管理権原者により選任された防火管理者の責務や権限につきまして、回答をさせていただきます。

防火管理者は、当該施設の火災発生防止と火災が万が一起きた際の被害を最小限にとどめることを目的として、ふだん誰が何をすればよいのか、万が一、火災が発生した場合、どのように対応すればよいのかなどを消防計画に定め、日常の火気管理及び消防施設等の維持管理､火災に備えた消火訓練と防火に関わる業務を行うこととされているところでございます。

なお、本町の場合、公民館の管理運営に際しましては指定管理制度を導入しておりますことから、当該施設における管理権原者につきましては、各自治会長様にその任をお願いすることとしているところでございます。

一方、防火管理者につきましては、管理権原者が防火管理者の資格を有しておられる場合については両者を同一の方により兼任をすることも可能とされているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　よく分かりました。次に、消防法との関連なんですね。そこで、消防法との関連について、部長のお考えも含めて答弁をお願いしたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　公民館と集会施設における防火管理体制につきましては、先ほど答弁をさせていただきましたとおり、消防法第８条において明確に規定をされているところでございます。このことを受けまして、行政といたしましては法の遵守に向け、積極的かつ能動的に取り組んでいく必要があるというふうに認識をしているところでございます。

各自治会におかれましては、防火管理者資格取得講習の受講や消防計画の作成と、多大なご負担をおかけすることは重々承知はしておりますが、今後とも、私たちのところは私たちで守るというお考えの下、施設管理者の安全を守る上においての防火管理体制の重要性を再認識していただき、公民館における防火管理の徹底を各自治会のご協力、ご理解の上に、町として強力に推進をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　それでは、最後にお尋ねします。この消防法第８条により、多数の者を収容する建物には防火管理者を定め、消防計画を策定し、この計画に基づき、防火管理上必要な業務を行わなければならない。そこで、この上牧町にはこの対象となる公民館は何件あり、消防計画を作成しているところは何件あるのかをお尋ねいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、公民館に関して答弁をさせていただきます。

各自治会に設置をしております公民館は町内に12施設ございまして、その全てにおいて防火管理者の選任及び消防計画の策定が必要とされているところでございます。その中で、片岡台２丁目、葛城台、南上牧、滝川台及び米山台のそれぞれ公民館５施設につきましては既に防火管理者の選任を行っていただいているというところでございます。

また、当該５施設のうち、葛城台、南上牧、滝川台及び米山台の公民館４施設にあっては

消防計画も既に策定をされているというふうに聞き及んでおりまして、残りの片岡台２丁目については現在、当該計画の策定に向けて鋭意取り組んでいただいているというのが状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　つまり、今の部長の答弁によりますと、町内の公民館は12施設。そのうち４施設が既に消防計画を策定しており、もう１施設は現在、消防計画を策定中とのことですね。

町内にある12の公民館のうち消防計画をまだ策定していない７施設の自治会長には、自分たちの町は自分たちで守るということで、消防計画の策定について大いに啓蒙に励んでいていただきたいと思いますが、部長のお考えはいかがですか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　先ほども答弁させていただきましたとおり、当町の公民館については指定管理をお願いしております。本来でしたら、指定管理の制度を実施していない場合については町が責任を持って、その防火管理体制の確立に努めていくということにはなりますが、指定管理をしていただいて、種々ご苦労いただいております自治会長様はじめ自治会の役員さんの方々のお力をお借りする中で、各公民館における防火体制の確立を図っていき、利用していただける方が安心して、安全にご利用いただくことを念頭に、当町としても自治会の皆様方と共にその歩みを進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　康村議員。

○１０番（康村昌史）　よく分かりました。残りの７自治会が消防計画をできるだけ早く策定し、安全なまちづくりに資してほしいと、そのことを部長にお願いいたしまして、私の一般質問は終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、10番、康村議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は午前10時25分とします。

休憩　午前１０時１６分

再開　午前１０時２５分

○議長（遠山健太郎）　再開します。

◇

◇石　丸　典　子

○議長（遠山健太郎）　次に、１番、石丸典子議員の発言を許します。

石丸議員。

（１番　石丸典子　登壇）

○１番（石丸典子）　おはようございます。１番、日本共産党の石丸典子です。議長より発言の許可を頂きましたので、通告書の内容で一般質問を行わせていただきます。

今回は４点ありますが、まず１つ目は、国民健康保険の県単位化について、２つ目、小学校の統合について、３つ目は上牧第二町民体育館の使用状況についてです。４つ目が地球温暖化防止計画についてです。

まず、初めの１点目、国民健康保険の県単位化について。

来年度、令和６年度に保険料水準が統一され、およそ１割の引上げとも言われています。物価高騰時の保険税引上げはさらに家計を圧迫するものです。

そこで、まず１つ目、奈良県国保運営方針をお伺いいたします。

２つ目、上牧町としての負担軽減策をお伺いします。

大きな２点目、小学校の統合についてです。

第二小学校区では下牧３丁目、片岡台１丁目に隣接しているところで新築住宅が約70戸増えています。今年５月に示されました学校別児童数の推計、これは今年の６月議会で服部議員の一般質問での資料です。後ほど画面で提示をしていただきます。この推計では今後、第二小学校区で児童数が増え、逆に上牧小学校が減少します。どの地域にも若い人が住めるよう、小学校は３校存続を望んでいるところです。町の見解をお伺いいたします。

３つ目、第二上牧第二町民体育館の使用状況について。

第二町民体育館はスポーツだけでなく、文化活動や町民の交流の場として利用されています。また、生き活き対策課より委託をされている介護予防の事業もそれぞれの事業の中で行われています。このような中で現在の使用状況をお伺いいたします。

４つ目、地球温暖化防止計画について。

令和５年の３月、令和４年度になりますけれども、上牧町地球温暖化防止実行計画が策定されました。町の事務事業で脱炭素化を進める。つまり、二酸化炭素を減らすための計画で

すけれども、2030年、令和12年までに二酸化炭素の総排出量を31.1％削減が目標です。町内の事業者の協力、住民の参加も大切です。町の計画の広報、周知策をお伺いいたします。

以上の内容です。再質問につきましては質問者席から行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　それでは、順次答弁のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　それでは、県単位化におきます、まず１つ目の奈良県国民健康保険運営方針についてでございます。

平成30年４月から国民健康保険制度が変わり、奈良県も保険者となり、市町村とともに国保の運営を担い、財政運営の責任主体となり、国保運営の安定化を図れることとなり、第１期の奈良県国民健康保険運営方針が作成されました。この第１期運営方針は同じ所得、同じ世帯構成であれば、県内のどこに住んでいても保険料水準が同じとなることを目指し、令和６年度の県内保険料水準統一の実現に向けた、円滑な制度の移行を柱に策定されたものでございます。

上牧町におきましても、県の運営方針に基づきまして上牧町保険料方針を作成させていただき、激変緩和措置として財政調整基金を活用しながら、計画的、段階的に２年ごとに保険税の改定を行い、統一化を進めているところでございます。

また、今年度、見直しが行われます第２期国民健康保険運営方針につきましては、適用期間を令和６年度から令和11年度までの６年間とし、標準的な収納率の設定の見直しや、県内統一保険料の決定に関する事項を新たに規定するなど、統一後の国保の財政運営の安定化と事業運営の広域化、効率化を柱に作成される予定となっております。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　上牧町においても既にこの国保の上牧町の運営方針が出されていますけれども､それに伴って今回､令和６年度はさらに引上げがあると予想されていますけれども、どの程度の引上げになりますか。

○議長（遠山健太郎）　住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　統一後の保険税につきましては、担当課としては９％前後の引上げになるかと試算しているところでございます。今後、保険税の改定につきましては、令和６年の３月議会で条例改正を予定させていただいているところでございます。また、議会

の皆様には議会前のいい時期に、保険料の改定につきましてご説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　今のところ、保険料率、負担割合等は確定されていないということでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　料率等は示されております。その部分で試算させていただいたものでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　物価高騰で、様々なものが値上げする中で国民健康保険税の負担が大変重いというのは本当に以前から切実に上がっておりまして、特に今回の値上げは大変負担が重いわけですけれども、これまでからお聞きしますと、上牧町での負担軽減策は独自のことは行えないということなんですけれども、これこそ県全体で物価高騰の対策等、本来なら行われるべきだと思います。

医療費に合わせて保険税が計算されるというところですので、医療費を削減していくというところも一緒に大事だと思いますけれども、この点では、上牧町では今年９月時点の国保会計の積立金が約３億あります。これの活用については今後、どのようなものですか。

○議長（遠山健太郎）　住民生活部長。

○住民生活部長（山下純司）　今、石丸議員おっしゃいましたように、国保税に関する負担軽減はできないというのは決まっております。また、上牧町としましても保険税抑制ということはできないんですけども、令和６年度におきましても基金等を活用しまして、人間ドックの助成金、また、保健事業におきまして被保険者の健康保持・増進を図りまして、医療費の抑制に努めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　保健事業への助成、これまで行われています人間ドックへの助成等は引き続き行っていただけるということなんですね。その点は大変結構かと思いますけれども、保険税そのものを抑えるということもぜひ検討いただきますよう。国民健康保険の制度は医療を国民に保障する社会保障の１つという考えもありますので、保険税を頂いて、医療費を払うというものでもありますけれども、負担が重くなると本当にお医者さんにもかかれない状況になりますので、その辺は担当課としても十分検討いただきまして、よろしくお願いし

たいと思います。

それでは、この項目は結構です。ありがとうございました。

それでは、次の２つ目の小学校の統合についてですけれども、資料でグラフを用意をさせていただいておりますが、事務局のほうで撮影をお願いいたします。

引き続き、このグラフがちょっと分かりにくいんですけれども、これは今年の６月議会で服部議員が一般質問をされた際に町が資料として出されたもので、中学校も載っておりますけれども、今年の５月１日時点における小学校の児童数と学級数の推移ということで、上段が小学校です。

今回は小学校についてお聞きをしますけれども、このグラフによりますと、折れ線グラフは児童数です。棒グラフはクラス数です。これを見ますと、緑のが第二小学校、青が第一上牧小学校です。オレンジが第三小学校になりますけれども、令和８年度の時点で上牧第二小学校の児童数が増えてまいります。この後ずっと増えてくる傾向になって、上牧小学校が少なくなると。令和14年にはクラス数も６クラスということで、単純に言いますと１学年１クラスになるのではというふうな単純な推計ですけど、そのような動向ですけれども、この点から見ますと､やはり３校存続が必要ではないかと考えるところですが､いかがでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　小学校の統合につきましては、令和４年３月に策定をいたしました上牧町学校適正化基本計画におきまして、３校から２校にすることを基本としつつ、令和７年度において実施を予定しております人口動態等の調査の結果を基に当該方針が適切なものであるか否かを検証した上で、最終的な方向決定を行うこととしております。

計画策定時と現状の推計におきまして乖離が生じていることは認識をしているところでございまして、令和７年度の調査結果を踏まえ、その結果、３校を維持しながら、学校としての機能を当面維持し続けられるという判断に至れば、当該計画の方針を見直す用意は十分にあるというふうに町としては考えているところでございます。

また、３校を存続していただきたい意見につきましては十分認識しておりますので、状況を適切に把握するとともに、あらゆる可能性を排除せず、しっかりと検証をした上で、子どもたちのよりよい環境の提供に努めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　ご答弁ありがとうございます。今の段階では小学校をどうするかは白紙であるという理解でよろしいですね。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　白紙といいますか、以前に策定をさせていただいた計画の中では一定、方向性として示させていただいてはおりますが、今、議員ご指摘のとおり、町内でも第二小学校校区の住宅開発等が進んでいると、現下の状況を勘案させていただきますと、その部分についてはさらなる検討が必要であるという認識をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　小学校があるとその地域に、周辺に、やはり若い方が住みやすくなるということで、若い人がどの地域にも増えるようにということで、小学校があるかないかは大変大事です。また、地域の方の防災であるとか、いろいろな取組の拠点にもなりますので、地域活性化の拠点となりますので、ぜひ小学校については、しっかりその点を大事にして、存続をさせていただきますよう､これは要望いたしたいと思います｡お聞きをしておきます。ありがとうございました。

続きまして、上牧第二町民体育館の使用状況について、ご答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それでは、議員お尋ねの上牧町第二町民体育館の利用状況について説明をさせていただきます。

体育館にはアリーナ部分と多目的室、和室等が併設をされている施設であるというふうに認識をしているところでございまして、アリーナ部分におきましてはバドミントン、バレーボール、卓球、バスケットボール、健康体操、少林寺拳法、空手といったスポーツ系の種目で主にご利用いただいているところでございます。

また、多目的室及び和室におきましては本の朗読、歌唱、舞踊、ダンス、体操といった、いわゆる文化系の活動を中心にご利用いただいているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　昨日の服部議員の質疑の中で今中町長は、第二町民体育館はスポーツと生涯学習として使われているというふうなお答えがありましたけれども、今お答えがありましたように、この第二町民体育館は特に多目的室が大変人気がありまして、朗読の会であるとか、あと、町が委託をされております生き活き対策課が行っている体操であるとか、いろいろ行われているんですけれども、この生涯学習、スポーツだけではなくて、高齢者の居場所づくりといいますか、そういう観点で介護予防の事業の一翼も担っているというのが大変大きいと思います。それで地域の方が歩いてこられるということですね。

そこで、お尋ねいたしますけれども、この第二町民体育館の役割をどのように認識されていますか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今、議員おっしゃいましたとおり、スポーツ系のみならず文化系、及びご高齢者の方の部分に対するアプローチであったり、居場所づくりということで、その部分においては結構有効な活用に資する施設であるという認識をしております。

このたび、皆様方にも初めに説明をさせていただきました当該第二体育館の機能移転の話につきましては、そのことも十分に、現下の利用状況等も踏まえた上で第二体育館をスポーツの拠点、もしくは生涯学習の場として、体育館のみならず教室等もご活用いただく中で、距離については問題がございますので、その部分については最大限の配慮をさせていただく必要があると認識をしておりますが、今、申し上げましたとおり、第二体育館にございます機能について今お使いの、それぞれの目的に合った利用を頂いている方に最大限ご迷惑をかけることがないということを前提としながら、あと、また機能移転については数年時間がございますので、その部分については、地域の皆様方はじめご利用いただいている方々にきめ細やかに丁寧に説明をさせていただいて、一定ご理解を頂きたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　この体育館の役割の大事なことの１つに災害時の避難所であるというのが、まず大事な役割だと思いますが、その点はどのように認識されておりますか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今、議員ご指摘のとおり、第二体育館については避難所という機能も有しております。その部分の代替措置としましては、道を隔てて反対側にございます上牧幼稚園をその期間において避難所という位置づけにするという方向で現在調整をしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　この上牧第二町民体育館、昨日のお話ですと３年後に廃止をすると。機能を移転して上牧第二中学校の体育館を使うというふうなことでいろいろ、住民には全くこのことは知らされず、説明されず、進められようとしているんですけれども、私は上牧中学校の建て替えも大事です。上牧第二町民体育館も大事です。どちらも町民にとっては大事な施設です。今のやり方は子どものための中学校を選ぶのか、スポーツの方も使われますけれ

ども、高齢者の方も集う第二町民体育館か、二者択一にするような、また、お年寄りと子どもと二分化するようなやり方だと思います。

現在、中学校建て替えにおいて国の公共施設の適正化債ということで、有利な借金ができるというために床面積を減らさなければならないということで、このとばっちりが第二町民体育館に来たわけです。町民にとったら本当に寝耳に水です。

中学校は中学校で建て替えは一定了承できます。しかし、なぜ町内でも最も使用率の高い、先日の決算委員会でも令和４年度の決算で、町内には２つの体育館がありますけれども、件数で第一体育館は年間で287件、第二体育館は621件を使用されているということが説明がありました。金額にすると、使用料は第一体育館は69万7,000円です。第二町民体育館は143万4,000円ということで、本当に多くの方が使われていて、公共施設としては優良な施設であると言えます。

よりによって、この一番使われている優良な施設を、しかも町民に何のお知らせも説明もなく、ただ第二中学校の体育館に機能を移転する。これに対しては本当に怒りの声が広がっているところです。どうですか。順序が違うと思われませんか。町長、町民には情報を共有して、住民が参画をする、このまちづくり基本条例の原則からしても真逆ではないですか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　今、石丸議員からお話がございましたが、まず原則論の話、昨日、服部議員の質問にもお答えをさせていただきました公共施設の適正化の問題が大きく絡んでいるということでございます。

その中で、なぜ第二町民体育館を選んだのかと、二者択一的な話も今ございましたが、第二町民体育館は機能が移転できるということで選ばせていただいたということでございます。スポーツ部分は第二中学校の体育館に移転ができる。それと、生涯学習的な部分につきましても、中学校の校舎がエアコンが入っておりますし、たくさん教室が空くわけでございますので、そこで十分対応ができると。今日、たくさん傍聴にも来ていただいておりますが、元気な方たちばかりでございますので、十分対応ができるのではないのかなというふうに考えてはおります。ただ、昨日お話しさせていただいたように、スポーツの部分とコミュニティーの部分があるのは私は十分理解をしております。

そういう中で24日の全員協議会、これは本来は議員懇談会ということでお願いをしておりましたが、議長と相談の上で、情報公開ということもあるので全員協議会。急な話でしたが我々としても隠すつもりも何もございません。ただ、これは急な話でございましたので、時

間的な余裕がないということで相談をした結果、全員協議会ということで住民の方々にも見ておられる方がたくさんおられるので、そういうところでやったらいいじゃないかというアドバイスも頂いて、全員協議会でお願いをしたということでございます。何も隠しているわけでもございませんし、それからすぐに、９月１日からもう議会でございますし、時間がないということで、今年からタウンミーティング、また予定をいたしておりますので、その中で住民の方々に説明をさせていただきます。私は、住民の方々に説明をしたら十分お分かりいただけるというふうにそのときにお話をさせていただきました。

そして、中身については、私はたしか、こう説明させていただいたと思います。幼稚園、それと体育館がある。体育館の機能はある。第二中に移転をさせていただくから、あの用地、それと幼稚園と体育館に直接面している道路部分、それと、その上にある老人憩の家、それとあの用地、それと幼稚園の一番端っかわにシルバー人材センターにお貸しをしていた部分もございますし、十分全ての土地を活用されていないという土地もございますので、全体的な土地を利用しながら、幼稚園、それと老人憩の家のコミュニティー部分、それと体育館で残っているコミュニティー部分も含めて、総合的に判断をさせていただきますというふうにそのときもお答えをさせていただきましたし、昨日も服部議員の質問の中でそのようにお答えをさせていただいております。

決して、子どものことばかりに時間やお金をかけて、高齢者のコミュニティーを放っておくのかと、私はそんなことを１回も言ったことはありません。私ももう高齢者ですよ。それは分かっていますよ。それはやっぱり高齢者の方々に地域をお守りいただいている。行くところがある、することがある、これが大事だということで、いつも敬老会、高齢者の集まっておられるところで私自身もそういうお話をさせていただいております。元気な方はいろんな活動したいと、もっと活動やりたいんやとおっしゃる方、３年後から二中に教室がたくさんあるので行っていただいたらいいんじゃないですか。

そして、幼稚園、認定こども園にするために、一体的な部分を考えながら建設をしていく。その中に今現在、老人憩の家があるわけですよ。そういうものも取り込みながら、今ここで話に出ているコミュニティー部分、そういうものも取り込みながら判断をしていこう、これから考えていこうというふうに、私は２回も説明をさせていただいたつもりでございます。

今日、来ていただいている方々、「町長は我々の権利を剥奪するんだ」というふうにお考えかも分かりませんが、私はそんな考え方は一切ございません。みんなが使いやすいように考えていくということが大事でございますので、避難場所というものも当然、重要でございま

すし、きちっとした体制で総合的にこれから考えさせていただくと。その話を秋から始めるタウンミーティングの中で皆さん方にご説明を申し上げようというふうに考えておりますので、石丸議員もその辺、十分ご理解を頂いて、そういう２つを例に出して、どうだというご議論はおやめいただきたいというふうに私はお願いをしておきたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　町長、いろいろ説明いただきましたけれども、１つ混同されておられる点がありますので、議長に確認いただきたいと思いますが、24日は全員協議会が開かれまして、議案は４つか５つあったと思います。道路認定であったり、あと、中学校の設計の基礎的なところがほぼ上がりましたのでということで説明もあり、ほかの項目も幾つもあったんですけれども、中学校の基本設計のところの資料の中に第二町民体育館廃止のスケジュールが入っていましたので、これを一緒にすると議論がややこしくなって時間がかかるので、第二体育館廃止の件については別途30日にやりましょうということで、30日は議会運営委員会でしたね。その後にこの第二体育館の問題を重点的にされたので、そこははっきり違います。

昨日もしきりに24日に全部説明されましたと言われましたので、第二体育館の跡地を今後は認定こども園として使うんだというのは30日にぽろっと出たんです。憩の家まですると か、そういう話は出ていません。昨日は憩の家まで広がりましたので、余計このことで問題が広がっています。ますます避難所がなくなるのではないかというふうに思われますよ。第二体育館もない、憩の家もない、跡地利用についてということに話が広がっていますけれども、これこそ、まちづくりに関わる大きな問題ですよね。

第二中学校の跡地利用についてもいまだ何もはっきり示されていません。教室にクーラーがついているので、今後は町民の交流の場であったり、災害時に使えるようにしたいとはおっしゃいましたけれども、具体的にどのように活用するかは一切町から示されていません。その中で第二町民体育館の機能を移転するというところで、あれを使えばいい、これは使えばいい。本当にそれはそうかもしれませんけれども、実際に何ら計画が示されていません。この辺はやはり乱暴なやり方だと思います。

この第二町民体育館を廃止するというふうな決断をされたのはいつですか。８月に入ってすぐではないですか。前からありましたか。この憩の家、幼稚園、体育館の全体を今後どのように活用するかという話はまた別の話なんですね。それがあるなら、それははっきり初めにおっしゃっていただかないと分かりませんし、それこそ住民にちゃんと説明をしたり、意見を聞く、これが大事ではないですか。だんだん問題が大きくなっています。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　今、ご指摘を頂きました。ちょっと私が勘違いしていた部分がございます。誠に申し訳ございません。

この公共施設の適正化の中で面積を減らさなくては約７億近い財源が使えないということについては、８月10日前後に新しい中学校の基本計画、基本設計、これがおおむね出来上がってきたということで、担当課から面積について報告、相談がございました。そのときから、どの部分を適正化に合致させるかという相談をさせていただきまして、私は日を勘違いしていましたが、最終的に30日の日に相談をさせていただいて、説明をさせていただいたということでございます。

それと、第二中学校をどのようにしていくかはおおむね考え方を説明させていただいておりますが、まだ、現存中学校があるわけでございますので、新しい中学校に移った後、どのように使うかは、またこれはそれぞれの機関と許認可といいますのか、そういうものの相談をして、決定をしていく必要がございますので、そこまでの間にどういう形で使用するかを再度はっきりと決めると。

ただ、使い方については、いつもご説明申し上げているとおり、例えばグラウンド、体育館については生涯スポーツで使っていただこう、それと空き教室については、エアコンも設置されておりますので生涯学習、そういうところで使っていただこう、災害時には避難場所として使おうと。それと、当然いろんなところがあるわけでございますので、防災備品の備蓄倉庫、それと、上牧町の状況を総務担当がいろんな報告、相談をいたしておりますので、県からは広域的な災害時の備蓄倉庫としても上牧町の第二中学校の跡地を利用させていただけないかという相談も入ってきているというふうに報告を受けております。トータル的にはそういう形で使えたら使っていこうというふうに考えているところでございます。

それと幼稚園の部分については、これもこれからでございますが、今、私の頭の中で考えているのが体育館の跡地、それと道路部分、それから現在建っております幼稚園の建物、それと後ろにございます老人憩の家、これを一体化で整備をしないと、一部分だけ残すというわけにもまいりませんので、用地の確定とそういうものをこの際きっちりとした形で仕上げていけたらどうかという考え方で、皆さん方にお話をさせていただいているというところでございますので、今日、来られた方々、また石丸議員、それと議場の中におられる各議員の皆さん方にご理解を頂きたい。また、今後ともご協力を頂きたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　町長、こんな議場で、議員が質問したから説明しているだけであって、これは皆さんがユーチューブで見ておられるから、これを聞いてもらったら分かるんでしょうみたいな説明では駄目なんですよ。町民のところに直接出向いて、また利用者の意見をしっかり聞いて、まちづくりを進めるというのが町長のやり方じゃないんですか。ほほ笑みあふれる和のまちづくりということで進めてきておられましたよ。

この第二町民体育館は本当に宝の施設だとおっしゃっています。桜ケ丘だけの問題かのようにとられますけれども、町で、生き活き対策課で現在行われているサロン、地域の方々がボランティアで、高齢者の方が集まってやっておられる事業に対して助成をするという委託事業が介護予防の事業として介護保険の会計で行われています。この事業には町内で約49の団体が申請をされ、高齢者が集まる、そういう取組をされております。

この第二体育館でもそういう取組もあるんですけれども、１つご紹介しますと、毎月１回ペガサスホールの小ホールで童謡・唱歌を歌う会というのが行われています。これは高齢者の方が多いんですけれども、本当に月１回を楽しみにされています。参加者は南は松里園、南上牧、服部台、滝川台、友が丘の方もいらっしゃいます。桜ケ丘、片岡台からもおられます。一部、河合町などの他町からも来られています。夏の大変暑い日でも「月１回これが楽しみだから」ということで来られています。大体40人ぐらいの参加がありますけれども、そのお世話をボランティアでされている演奏のスタッフ、その打合せであるとか練習がこの第二町民体育館で行われているんです。そういう場所からしたら桜ケ丘だけの問題ではないんです。

ある人のお話を先日お聞きしました。これはまた桜ケ丘の方ですけれども、病気をされて、喉のがんで３月に手術をされたんですけれども、元気になって、「月１回の歌う会がとても楽しみで元気にさせていただいています」ということでした。その方は元気な頃は第二体育館で行われていた卓球も参加をしていましたということで、本当に高齢者が高齢者を支えているというふうな事業のいい例だと思います。伴奏で参加されている方も大変高齢の方もいらっしゃいます。それが生きがいになっている。参加される方も楽しみに来られている。これこそが町が、特に生き活き対策課が高齢者の居場所づくりと生きがいづくり、この事業の一環だと思いますね。そういう役割を果たしているのが第二町民体育館であるんです。

この第二町民体育館を見られたことはありますか。教育担当のほうで見られたことはありますか。どのように利用されて、多目的室の利用とか、どういう配置になっているか。あそ

こは６年前に耐震化工事が行われて、スロープもつけられました。車椅子でも多目的室に入れます。機能移転すると言われますけれども、今、参加されているこれらの方の全てが第二中学校の体育館に移転で参加されると思われますか。「あの坂の上にはとても行けません」という声があります。その辺はいかがですか、あちらに用意しているんだから、広いところに行っていただいたらいいというのはあまりにも乱暴だと思いますが、どうでしょうか。町民の立場に立っていません。いかがですか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　まず説明の話ですが、先ほど言いましたように、またタウンミーティングを実施いたしますので、そのときに皆さん方にご説明を申し上げたいということを先ほど申し上げました。

それと、住民の立場に立っていないと、今、石丸議員からお叱りを受けておりますが、先ほどから説明いたしておりますように、そういう部分については認定こども園を建設するときに総合的に判断をさせていただきますということをご説明を申し上げております。今、細かい話までということになりますと、いろいろ誤解を招くおそれがございますので、何回もお話をさせていただいております、総合的に判断をして、当然いろんな形があるわけでございますので、そういう考え方も受け止めさせていただきたいというふうに先ほどから申し上げておりますので、どうぞ石丸議員、その点もご理解いただきたいというふうに思います。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　町長のおっしゃるタウンミーティングというのは、上牧中学校を新築する、それに伴って、第二町民体育館は３年後に廃止するという前提での説明ですね。その方針の説明で、それに伴って、こういうふうに利用になりますということの決定の説明ではないですか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　いろんなタウンミーティングでございますので、町からの情報提供であったり、考え方をお示しさせていただくということで考えてもおりますし、また、いろんな意見も聞かせていただきたいというふうに考えております。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　町長、やり方が逆ですよ。町民に情報提供して、意見を聞いて方針を決めるということなんですけれども、中学校の建設、新しい学校が開校する予定は決められていると思います。だから中学校は中学校で進められたらいいと思います。第二体育館の問題

は切り離してくださいよ。

もし、どこか公共施設を減らさなければならないのであれば、もうちょっと利用されていないところであるとか古くなったところ、もうちょっと精査が要るべきだと思いますよ。それも含めて町民の方に、また利用者の方に説明をしないとこれは収まりません。

今回、一般会計の補正予算では上牧中学校の実施計画の委託料が約１億円ということで、補正予算が組まれています。でも、これは金額には出てきませんけれども、その財政をどのように賄うかという中に第二体育館廃止という計画が含まれてくるわけですね。だから、それは議会で通ってしまったから第二体育館廃止の方向で進めますというふうに使われては困ります。

先日の総務建設委員会では全会一致でこの補正予算は可決されています。あとは20日の本会議でということになりますけれども、仮に多数決になれば、恐らく可決、通るだろうと思います。町長も石丸１人がごちゃごちゃ言うているだけやろうみたいに思われているかもしれませんけれども、これは大きな問題をはらんでいますので、仮にこの予算が可決をされても、執行を止めることはできますか。住民の了解を得てから進めるという、このことはいかがですか。こういうことはできますか。第二体育館廃止と中学校を新築する、セットでの補正予算ですよね。どうですか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　まず、考え方としては、11月頃に中学校の建設の計画書というのか、文科省に事業費、それと適正化の部分で提出をしていかなくては財源上の問題がまず当然出てくるわけでございますので、おおむね11月頃の予定をいたしております。

それと、中学校の第二町民体育館の部分があるわけでございますが、先ほどから説明をいたしておりますように、体育館のスポーツの部分については二中に機能移転がこれはできるわけでございますので、先ほどから石丸議員がおっしゃっておられるコミュニティー部分について、やっぱり、今日来ていただいている皆さん方が今ご利用されているんだろうというふうに思うんですが、その部分については認定こども園の考え方の中で総合的に判断をさせていただいて、その部分を今の場所の中でおやりいただくように判断をしていこうというふうに先ほどからご説明を申し上げておりますので、皆さん方も説明をさせていただいたらご理解していただけるのではないのかなというふうに考えております。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　いつまでたっても平行線ですけれども、国への計画書に基づいた申請を

行うのとタウンミーティングが同じ時期。タウンミーティングで一応説明して、終わってから申請書を伴った計画書を提出するということですか。11月頃ということで、時期は分かりませんよね。住民には説明をしますということですけれども、この第二体育館廃止を含んだ計画書を国に上げていくということで、住民にはやはり事後の説明。こういう計画でよろしくお願いしますということだけになりますでしょう。住民参加にはなりませんね。

そこのやり方はやはりちょっと違うと思いますが、財政的に有利になるようにいろいろ日々ご苦労いただいていることは、大変ご苦労をおかけしていると思います。大変ご苦労さまです。この公共施設適正化債の使用の期限は令和８年度中に申請をすればいいというふうに伺っております。仮に、このことで住民にしっかり説明する期間が要るのであれば、少し中学校の開校が遅れてでも、しっかり説明していかないと、このことで今後、大変禍根を残すものと思われますよ。町長の汚点にもなるのではないですか。情報を共有して住民参加でまちづくり進めていきますという今中町政の方針とは真逆です。ほほ笑みあふれる和のまちづくりが本当にとげとげしたものになってしまっては大変です。ぜひ、それも含めてしっかり、いま一度立ち止まって考えていただけませんか。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　先ほどから説明させていただいておりますように、事柄が出るまでの時間軸があまりにもなさ過ぎているというのが一番大きな要因になっておるわけでございますが、私は誠意を持って、タウンミーティング等でも住民の方々に説明を申し上げたいというふうに考えております。

それと、公共施設の適正化の話になるんですが、当然、代わるべきものを考えておかないと、仮に違うところということにはなかなかこれはならないわけでございますので、その辺もちょっと皆さん方にぜひご理解を頂きたいというふうに思います。

それと、やっぱり地元でおやりになっている部分については、認定こども園を今度やらせていただきますので、その中で十分に考えていきたいというふうにご説明をいたしておりますので、当然その部分では時間等もあるわけでございますので、ぜひ皆さん方にご理解を頂きたいというふうに思います。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　いろいろ苦労されているというふうな説明ですけれども、住民からしたらあまりにも一方的ですね。実際に上牧第二中学校の体育館へ、移動できないということで、上まで歩いて行けないという方もありますし、今後、憩の家一帯をそういう施設にしていく

というのも定かではありません。予定が示されていませんし。ですから、やはり、しっかり住民へ説明いただく、これが最優先だと思います。

ここばかりで時間をとりますので、この点は私と町長ではちょっと平行線ということで、一応ここは止めておきますけれども、まちづくり全体に関わる大きな問題ですので、この点は本当によろしくお願いしたいと思います。

昨年、上牧町の第５次総合計画の後期計画を策定されました。これは住民参加でいろいろ時間をかけて、資料もいろいろ何回も作っていただき、論議をされ、できた内容ですけれども、これからしても本当に逸脱しています。町長は挨拶の中で「今後も本町のまちづくりにおける最高規範性を有する上牧町まちづくり基本条例の基本理念を踏まえながら、町民の皆様と議会、行政による協働のまちづくりが推進できるよう、職員一同心を１つにして取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします」というふうに書かれています。

折しも町制50周年、また、町長も在任50年ということで本当に記念すべき年でありますけれども、住民の意見を聞いて、まちづくりを進めるということが大きく変質されないように切に願うものであります。しっかり町民への説明、理解を頂きますように努力をしていただきますようにお願いして、この項目は結構でございます。ありがとうございました。

それでは、少し時間がなくなりましたけれども、最後に地球温暖化防止計画についての、私は特に町の計画の広報、周知策ということでお聞きをしたいと思います。

地球温暖化防止実行計画が上牧町でも策定をされました。一通り目を通させていただきましたけれども、なかなか難しい。今、温度が上がり、エアコンをつけると、CO_2は余計、上がってきていると。町内でも各学校にエアコンがついていますので、CO_2はますます増えていく傾向であって、町内において一番多いのが学校施設という棒グラフも出ておりました。町民の協力、住民参加が必要だと思いますけれども、この件についての広報、周知策をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今回策定いたしました上牧町地球温暖化防止実行計画については、全ての地方公共団体に策定義務のある事務事業編ということになっておりまして、町の事務事業及び公共施設で発生する温室効果ガス削減を目標に掲げた実行計画というふうになっておるところでございます。

本計画につきましては、今年度が計画初年度というところになっておりまして、計画の中で示しております具体的な取組内容等を上牧町職員に周知し、環境負荷を低減するよう努め

るとともに、公共施設を管理する各課に協力を頂き、温室効果ガス削減に向け、各施設におけるエネルギー使用状況のデータ収集を現在行っておるという状況でございます。

先ほど議員が申されておりますように、住民の皆様に対しましては、町の削減目標に対する結果をホームページ等で来年度に公表するという予定となっておるところでございます。

また、事業者や住民参加につきましては、まずは知っていただくことから始めていきたいというふうに考えておるところでございます。脱炭素や温室効果ガス削減というような昨今よく耳にするワードがございます。どのようなものであって、また、どうすればいいのかというところも含めて、広報やホームページ等で今後、発信していきたいというふうに考えておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　ありがとうございます。この地球温暖化防止には行政とか個人の努力だけでは進みません。車依存社会を変えたり、また、大量生産、大量廃棄、大量消費というような社会の構造を変えることがまず必要になってきますけれども、それぞれの各個人が関心を持ってもらって､住民自身ができることで参加をしていくということが大事だと思います。住宅の断熱効果を上げたり、また、カーテンを遮光、遮熱性にするとか、緑の物を植えるとかいろいろありますので、小さなことで関心を持っていただいて、取り組んでいけるようにお願いしたいと思います。

また、町内の公共施設では、町営住宅、改良住宅以外の施設でこの取組をしますということになっていますので、当然、公共施設を利用するのも住民の皆さんですので、その点からも広報や啓発が大変大事だと思いますので、ぜひ取組をよろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、議員ご指摘いただいておりますとおり、しっかりと、そういった部分を住民の皆さんに対し、何をすればどれだけＣＯ$_2$が削減できるかとか、具体的に分かりやすいような周知というんですか、こういうのも心がけていきたいと思っているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　時間がもうぎりぎりで、過ぎました。どうもありがとうございました。

１時間にわたりご答弁いただき、ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、１番、石丸議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は11時35分とします。

休憩　午前１１時２５分

再開　午前１１時３５分

○議長（遠山健太郎）　再開します。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◇安　中　　和

○議長（遠山健太郎）　それでは、４番、安中　和議員の発言を許します。

安中議員。

（４番　安中　和　登壇）

○４番（安中　和）　４番、安中　和です。ただいま議長よりお許しが出ましたので、一般質問をさせていただきます。

初めに、通告書に「認知症基本条例」と打ち間違え、記載いたしましたが、正しくは「認知症基本法」でございます。申し訳ございません。

一般質問通告書を読み上げさせていただきます。

１、認知症対策について。

２、ゲートキーパー及びヤングケアラーについて。

３、災害時のアレルギー対策について。

再質問については、質問者席にて質問させていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　それでは質問させていただきます。

では、認知症対策について、一般質問をさせていただきます。昨今、認知症という言葉が周知され始めています。五、六年前に他地区の役場職員から聞いたお話によりますと、「隣のおやじが認知症になったらしい。狂って、俺を包丁で刺したらどないすんねん。早く病院入れろ」という電話が結構かかってきた、困っているとのことでした。しかし、先日聞きましたら、今はそんな電話もなくなったということでした。また、上牧町内でも行方不明の方の放送がよく聞こえてきたものでしたが、最近では聞かれなくなりました。これは認知症とい

う言葉の意味と情報が町民さんたちに周知され、対応が早くなったのだと思います。

現在、上牧町内には地域包括支援センターの認知症サポーター養成講座、オレンジハートの会、認知症予防ネット上牧、これは町民さんが行っております、この３つのグループが認知症に関わった活動を行っています。それぞれに違った方面から、認知症に関する理解を深めるため情報発信をしています。

折しも2023年６月14日に認知症基本法が成立されました。認知症の人や介護をする家族について、長年研究してきた北海道医療大学の中島紀恵子名誉教授によりますと、認知症基本法は人権宣言につながるような人間の自由と平等に関することが定められ、認知症やその家族だけでなく、国民も自治体も家族も皆がそれなりの責務を持ち、共生社会を築こうという日本の高齢社会を支える大事な理念が書かれてあり、精神的な支柱ができたと評価されています。

以前に、議員の方から認知症ということに関して質問があり、上牧町としても予算も取って、研修も行っていますことは確認しております。しかしながら、上牧町全体にはまだなかなか伝わっていませんので、認知症にならないための啓発や、なったとしてもお互い優しく見守れるコミュニティーづくりを行っていかなければならないと思います。

上牧だよりである「彩愛」や2000年会館、役場にはポスター等の掲載がなされていますが、さて、「彩愛」を読む方、ポスターを見られる方以外の町民に向けての周知をお願いしたいと思います。いかに今まで以上に見ていただく方を増やしていけるかがこれからの課題だと思っています。例えばペガサスホール、町民体育館、各自治会の掲示場等への検討をお願いいたします。

また、これらのポスターについては、町民さんや子どもたちに認知症の啓発の絵を書いてもらって、募集されることも１つの提案とさせていただきます。子どもたちの絵は高齢者には大変受け入れやすく、頭と心を啓発します。

先日、シルバーの会長や民生の会長と少しお話をさせていただきました。私たちが協力して、町民の皆さんへの一人一人の声がけをやっていこうではありませんかというお話もさせていただきました。みんなで支え合う上牧町、認知症に優しい上牧町を目指して、町民は頑張っています。上牧町としてもより一層の協力、支援をお願いしたいものです。検討をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　今、安中議員よりいろいろご提案いただきました。

現状におきましても様々な認知症対策も実施しているところでございますが、今回、このように認知症に特化した法律が制定されたことにより、この法律の基本理念に即して、これまで以上により明確、具体的な認知症施策、周知、広報を分かりやすい、今、現状もいろんな形で周知しておりますが、これ以上により分かりやすく、住民の方々に認知症を認知していただくために努力を努めてまいりたいと、このように考えております。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　ありがとうございます。また、しばらくたってから、どのようにされたか、伺いに行きますので、期待しております。よろしくお願いします。

では、第２問、一般質問の次に移らせていただきます。ゲートキーパーについてです。

このゲートキーパーという言葉は私もなかなかなじまなかったのですが、ゲートキーパーとは悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことを言います。変化に気づく、じっくり耳を傾ける、支援先につなげる、温かく見守る、この４つの役割が期待されていますが、どれか１つでも悩んでいる人にとっては大きな支えになります。

昔は近所の人に対して､おせっかいなおばちゃん､おせっかいなおじちゃんがいましたが、昨今、プライベートという言葉を掲げて、強制、押しつけと言い放つ人もいます。ですが、人間は１人では生きてはいけません。おせっかいなおばちゃんやおじちゃんがほんの少しでも声をかけやすいように、この部分においてもアピールの広告、チラシをお願いします。

しかしながら、こんなことをお願いしなければならないような世の中になったと思うと心が少し折れるようになりますが、昨今、認知症という言葉と同じようにゲートキーパーという言葉も周知していかなければならないと思いますので、この部分においても検討よろしくお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　今、安中議員よりゲートキーパーということで、あえて自殺というワードを口にされなかったのかなという気がしますけども、上牧町といたしましては令和元年度に、令和２年度から令和６年度までの５年間を計画期間といたしました上牧町自殺対策計画、これを策定しております。この計画の目標値といたしまして、もうあえて申します、年間自殺者ゼロを掲げ、日々頑張っておるところでございますので、そのゲートキーパーというワードを住民の方々により浸透していただくという前に、安中議員におかれましても、先月８月に開催しましたゲートキーパー研修、これを受講していただいたと聞いております。本町におきましては令和２年より毎年、年２回実施しておりますので、１人でも多く

の住民の方にこういう研修を受講していただいて、まずは体験からというところで、ゲートキーパーとは何ぞやというところを知っていただければと考えております。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　今、上牧町で自殺者というのは何人ほどおられますか。

○議長（遠山健太郎）　健康福祉部長。

○健康福祉部長（青山雅則）　実数は把握しておるところではございますが、何分ちょっとナイーブなことでございますので、こういう場で上牧町の自殺者数は控えさせていただきたいと考えております。

その代わり奈良県の数値を申し上げますと、その前に全国から報告させていただきます。これは厚生労働省作成資料の警察庁自殺統計原票データという数字でございますが、今から遡ること20年前の平成15年度におきましては全国の自殺者数がピークに達し、３万4,000人を超えておりました。その後、徐々に減少していき、令和元年度には約２万人にまで減ってまいりましたが、再び少しずつ増加し、令和４年度で２万1,881人となっている状況でございます。そして、奈良県におきましては令和３年度で212人、令和４年度で230人ということで、奈良県は比較的自殺者が少ない県でございましたが、やはり奈良県におきましても徐々に増加傾向にあるのかなというような状況でございます。上牧町もそれと同様にというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　去年のゲートキーパー講習を受けたときに先生から上牧町の数字は聞いております。だから、今年はどうかなと思って伺ったんですが、理事者の方の配慮を優先させていただき、今回はちょっと控えさせていただきます。分かりました。

このことについてもやっぱり、ゲートキーパーという言葉、ゲートをキープするということで、次のところに行かせないようにするという意味だと思うんですけれども、本当になかなかお年寄りはなじめない。だけど、優しいおじいちゃん、おばあちゃん、おせっかいなおじいちゃん、おばあちゃんにはその気持ちがたくさんあるというところで、そこら辺のところをやってもいいんだと。若い方はプライベートということで、よくはねつけられる、見守りに関してもはねつけられる部分も聞いておりますので、そうじゃないということを、大丈夫なんだと、やってもいいよ、気遣っていいよということを、それは当たり前なんだということを町のほうからも周知していただければ、私たちも動きやすいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　次はヤングケアラーについてなんですが、ヤングケアラーとは家族のために日常的に家事や家族の世話などをしている子どものことを言います。

この件につきましても以前にも質問が出ていましたが､今回出させていただきましたのは、先日、役場にて「ゲートキーパーについて」という研修会があり、その折に先生にお話を聞かせていただいたときに、じゃ、上牧町としてこれから何をやっていったらいいんでしょうかと伺ったんです。そしたら、ヤングケアラーのことについて、もう少し推し進めてほしいというお答えを頂きましたので、今回一般質問で出させていただきました。

その中で、中高生対象にした実態調査で８割以上がヤングケアラーという言葉を知らないという答えでした。一般的には大変認知度の低いのが現状です。また、ヤングケアラーと言われる子どもたちの特徴として、自分がヤングケアラーだということに気がついていないと言われています。昨今テレビ等にても取り上げられ始めていますので、後になって、自分はそうだったんだと気づき始めているようです。この問題は周りの人の気づきもさることながら、本人の自覚が大切です。

ここで資料をお願いできますか。これは埼玉県から出している、彩の国というところのグループというか、団体はこういうものを出して、とても子どもたちにはとっつきやすいというか、手に取りやすい小冊子なんですね。高校生用、中学生用、小学生用とありまして、上牧の場合は中学、高校、小学校のは使えるかなと思いました。中身については簡単な、かわいらしい内容になって、丸、ペケつけの、自分はどうなんだという状況をそこで把握できるという内容になっています。

こういうものをたたき台にして上牧バージョンを作っていただきたいと思いますが、ご検討願えますでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　今ご紹介のありました部分につきましては、埼玉県の取組であるというふうに認識をしているところでございます。まず、それに先立ちまして、本町のヤングケアラーを取り巻く状況について、ご説明をさせていただきます。

令和４年に県の教育研究所で実施をされました県内中学生を対象とする調査におきましては、一定のヤングケアラーの基準とされております週に３日以上かつ平日３時間以上と回答した生徒が中学校で４人確認をされているところでございます。当該生徒につきましては、中学校での家庭訪問など家庭の状況等の確認と複数教員による観察等により、現時点におき

ましては、当該生徒たち全てにおいて学習に支障が出ているということは確認をされておりません。

今、ご紹介ございました埼玉県の取組につきましては、先ほど議員がご提起をなさいましたとおり、周りの気づきよりもむしろ、当事者本人がヤングケアラーとは何かということも含めて認知をすることが必要であり、ヤングケアラーの中にはかなり深刻な状況に至っていても、なお気づかないというのも現状としてあるやに聞き及んでいるところでございます。

そういう子どもたちの、いわゆるヤングケアラーの入り口付近と申しますが、初めはご家族に対するよかれと思う行為が、それが度重なることによって子どもたちの心の負担になったり、身体的な負担になるということも十分に考えられますので、今ご紹介を頂きました子ども達に対するアプローチとしての、ヤングケアラーとは何かということも含めて、こども園にそういう事態に至った場合については周りで、みんな、当事者たる子どもたちを守る仕組みがあるということも十分に子どもたちに知らせた上で、当然、周りと子どもたち双方でヤングケアラーの理解を深めながら、当町においては、深刻化するまでの間において手だてを講じることによって、子どもたちの将来がかかる問題でもあるという認識の下、重点的に進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　上牧バージョンヤングケアラーハンドブックを作っていただけますか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　ヤングケアラーについては、市町村教育委員会のみならず、県教育委員会も重点的にその方針を進めていくという方向を示してはいただいておりますので、また県とも相談をさせていただきながら、上牧町のみならず、奈良県内におけるこのような有益なパンフレットの配布についてもお願いをしていきたいというふうには考えております。

また、それが実現に至らない場合にあっても、町においてできる範囲で、現場の先生方の意見も聴取をさせていただきながら、引き続き検討していきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　一般質問３番目です。これは避難所におけるアレルギー対策についてということなんですが、７月２日日曜日に上牧第二中学校に防災訓練が行われました。その中のエピソードとして、受付に男性が来られ、「私はサバアレルギーです。私のようにアレルギーを持った人に対しての対応はどうするのか」という質問に担当者たちは答えられず、近く

にいた参加者が「養生テープに書いた名前の横に『サバ』と書いたらどうでしょうか」という提案をされたそうです。そのときにその男性は「そういう答えが欲しかったんだ」と言って、その件は一旦落着したのですが、あまりにも企画者の勉強不足に周りで聞いていた方々が本当に心配になったという意見を複数頂きました。

アレルギー対策は命に関わりますので、一応はレトルトでカレーがあるとかは聞いておりますけども、その後、今後どういうふうに充実させていかれるか、お聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　今、安中議員にご質問いただいた件でございます。７月２日に確かに上牧第二中学校におきまして訓練を実施させていただいております。この訓練内容といたしましては、災害直後は公助の支援が速やかに対応するまでの間に住民による共助で連携して、住民による避難所の開設運営ができるように、避難所の設営者と避難者の両方の立場に立った訓練を指定避難所であります第二中学校で実施をさせていただいたということでございます。

今、頂いたご質問の中に少しアレルギーに対するご指摘等、ご意見を頂いたんですが、これはあくまでも自治会が共同でしていただくということで、初めてこういう訓練をさせていただきました。今頂いた、こういったご意見を各自治会等で情報共有をしていただきまして、災害が起きたときにお互いにどういう対応をすればいいのかということを体験していただくために実施させていただいたということでございますので、今の頂いた意見につきましては、町といたしましても町の中の訓練等にも今後生かしていきたいと思っておりますが、最終的には今回の訓練をさせていただいた趣旨といたしましては、先ほど説明させていただいたとおりでございますので、各自治会の中で避難所を開設するときにどういったことをすればいいんやということで、自治会の中で少し協議をしていただいて、こういう対応を取ると、うちの自治会でももしそういうことがあれば、今おっしゃっていただいたとおり、「サバ」というふうにアレルギーの物質を名札の横に書くのかどうかはご協議いただいて、決めていただいたらいいのかと思っているところでございます。

ただ、アレルギーは多種多様、いろいろございますし、それを表に公表することはどうなんやという方も中にはいらっしゃると思いますので、そういった部分につきましては各自治会の中で検討していただいて、どういう対応をするかというのも考えていただく１つの訓練ということで実施をさせていただいたというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　私も会長として一言言わせていただきたいんですけども、あのときの資料の中に今回は自治会対応のそうですということは書いてありましたか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　各自治会長さんにお配りをさせていた文書は今、手元にないので申し訳ないんですけど、ただ、私が持っています今回の実施訓練につきましては、その中に「住民による共助で連携して避難所の開設ができるように」ということでお示しをさせていただいておりますので、多分そういった形で周知はさせていただいておるんですけども、参加していただいた方々までにそういった認識が伝わっていたかというと、なかなかちょっと分からないですね。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　全く伝わっていなかったと思います。今まで３回やられていて、今度は上中でということで、中に行きましたときにたくさんの方がおられてということで、受付からされているので、会長レベルの方からもお電話も頂いたり、ご意見頂けたけども、自治会主体で自治会が今言われたようなところでというお話は皆さん、こちらサイドも受け取りにくかったのかもしれませんが、ちょっと不足だったと思います。その部分で苦情のお電話とかご意見を頂いたと思いますので、これからされるときは、せっかくですので、そこのところをしっかりと検討いただければ、こちらもその旨を検討して臨んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　当日、ご協力いただきましたＮＰＯ法人奈良県防災士会の方から、その日の訓練内容を少しご説明をしていただけたと思いまして、２つの班に分かれて、お互いに被災者と受付というような形で、両方体験していただいたと思いますので、だから、その中で少し説明はしていただいてもおったかと思うんですが、その辺がなかなかうまく伝わっていなかったのかなと思います。

今後、いろいろ訓練等も考えておりますので、もう少し分かりやすいような形で、その辺の説明もさせていただきながら訓練を実施していきたいと思っておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　安中議員。

○４番（安中　和）　今、言おうかどうしようか迷っていたんですが、言われたので言わせていただきますが、防災のときの声、どれだけ使っても聞こえなくて、ほとんど聞こえなかったんですよ。だから、私たちはもう高齢になっていますので、なかなか聞こえない。マスク

もしても聞こえない。だから、もう後ろのほうからいっぱい「聞こえないぞ」というのがあったので、言われていることはきっと立派なことだったと思うんですけれども、聞こえていないというのが最大の欠点だったと思います。本当に聞こえなかったんですよ。そのことは後からも反省文として反省してくださいということをお伝えしました。

だから、マイクもあまり使ってくれないし、マイクも遠かったし、もうとてもじゃないけど、説明されたと言われますけど、その部分において言わせてもらうなら、聞こえていません。そういう方が多かったと思います。

○議長（遠山健太郎）　安中議員、７月２日の防災訓練のお話とアレルギー対策を関連づけての質問でお願いしたいと思います。

○４番（安中　和）　分かりました。理解できましたので、これで終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　以上で、４番、安中議員の一般質問を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は13時とします。

休憩　午後　０時０１分

再開　午後　１時００分

○議長（遠山健太郎）　再開します。

◇

◇木　内　利　雄

○議長（遠山健太郎）　次に、11番、木内利雄議員の発言を許します。

木内議員。

（１１番　木内利雄　登壇）

○１１番（木内利雄）　11番、木内利雄でございます。議長より指名、許可を頂きましたので、通告書に従い順次質問をさせていただきます。

質問事項の１点目は県道上中下田線の交通安全対策について、２点目は公用車の事故発生状況とその安全対策について、そして３点目は全国学力テストの結果についてであり、それ

ぞれについて、お伺いをいたします。

それでは早速ですが、１点目の県道上中下田線の交通安全対策についてお伺いをいたします。

このことについては、理事者、議員の皆さんのタブレットへ資料提供をさせていただいております。この資料の内容は2013年７月１日から2023年６月30日までの10年間の人身事故発生状況についてであります。この県道はご案内のとおり、松里園と南上牧地域に接するところであります。また、ラーメン店の来来亭やパチンコがちゃぽん上牧店とマルハン上牧店が道路沿いにあるところでございます。

同県道では、10年で２件の死亡事故を含め、22件の人身事故が発生しております。なお、物損事故を含めますと数倍の件数となりますが、今回は人身事故のみを取り上げさせていただきました。その22件の事故発生状況詳細書には事故内容、また発生時刻、事故類型、これは人対車両とか車両対車両とかいったことですね、そして加害者の当事者種別、被害者の当事者種別、そして、それぞれの年齢区分等が記載されています。

なお、この事故発生状況詳細書は個人情報の保護の観点から、資料提供していただいた警察の方より留意くださいとのことでしたから、皆さん方のタブレットへの資料提供はしておりませんので、ご了解をお願いしたいと思います。

なお、今申し上げた資料を作成、提供していただいたのは西和警察署交通課長の吉村敏一警部と香芝警察署交通課長の細田武男警部です。この場をお借りして、衷心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

そこで、当該道路の交通事故発生状況を見て、上牧町の認識について、まず、お伺いをいたします。

次に、２点目の公用車の事故発生状況についてお伺いをいたします。この件については、まずは2020年度から2023年８月までの事故発生状況について、答弁を求めます。そして、次に公用車の管理体制についてもお伺いをするところでございます。

次に、文部科学省が本年４月に実施した2023年度の全国学力・学習状況調査、いわゆる全国学力テストの結果が７月31日に公表されました。以下では新聞報道をご紹介をさせていただきます。これは奈良県とか上牧町の新聞報道ではございません。全国の結果、その傾向の記事でございます。

新聞報道では、小学６年と中学３年にふだんの生活や学習状況についてアンケートで尋ねたところ、読書が好きだったり、新聞をほぼ毎日読んだりする児童、生徒ほど成績がよい傾

向が示された。活字に親しむ機会が多い小中学生は国語だけではなく、算数、数学や英語でも平均正答率が高かった。

アンケート結果によると、読書が好きかとの質問に対して「当てはまる」と答えた小学生の国語の平均正答率は72.9%、算数は68.4%。一方、「当てはまらない」、つまり、読書は好きではないと答えた児童は国語が57.4%、算数が52.9%と、それぞれ15.5ポイント低かったとされています。

また、「新聞をほぼ毎日読んでいる」と答えた小学生の算数の平均正答率は74.3%、国語は75.9%だった。「新聞をほとんど、または全く読まない」と答えた児童は算数が60.7%で、国語は65.8%と、それぞれ10ポイント以上の開きがあった。中学校の国語、算数、そして、英語の全教科でも7.3ポイントから13.4ポイントの差がついたと報道されています。

また、県内の小学６年、中学３年の児童、生徒の平均正答率は国語、算数、数学、英語の全教科で全国平均を下回った。特に国語は小学生、中学生とも全国平均との差が大きく、課題となっているとの報道がありました。よって、そこで、上牧町立小中学校の結果について、まず、お伺いをいたします。

質問事項の内容は以上でございます。再質問に関しましては質問者席で行わせていただきます。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、議員ご質問の県道上中下田線における安全対策についてお答えさせていただきますが、これにつきましては、過年度より道路管理者である奈良県高田土木事務所と現状における問題点や課題について協議を行い、改善に向けて動いていただいておるというところでございます。

町といたしましても、令和４年５月２日に発生した県道での死亡事故を受けまして、県警本部、西和警察、そして高田土木、上牧町の４者で現地立会いを実施させていただきまして、緊急的な対策について協議いたしました。その結果、高田土木事務所により、視認しにくくなっておる区画線の書き直しが実施されたというところでございます。

その後、今後の対応、対策について協議を行い、協議内容といたしましては、現状、歩道整備された区間は県道西側のみであることから、通行車両の多い県道を横断する歩行者の危険性や安全対策の必要性について意見を申し伝え、また、東側につきましては路側帯のみで歩道整備がされておらず、事故現場となった箇所については歩行者が通行する路側帯のスペースが非常に狭く、危険であるため、隣接する側溝の蓋かけによる路肩の確保が有効な対策

と考えられましたので、高田土木事務所に対しまして要望書を提出させていただき、協議の結果、本年度におきまして路肩拡幅の詳細設計が実施されておるという現状でございます。

現在の進捗状況というところでございますが、この工事発注に向け、隣接土地所有者及び関係機関との調整を行っているところということでございます。

以上です。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　１枚目を出していただけますか。議長、許可を頂きたいのですが。写真がモニターに出ておるところを説明させていただきたいので、これをもって、あそこまで席を離れますけど、よろしいでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　許可します。お話しするときは極力マイクに近づけてお願いします。

○１１番（木内利雄）　皆さんのところではタブレットで分かるかと思うんですが、少し説明をさせていただきたいと思います。

紺色でバツをつくったところが人身事故が起こったところです。これはこの間で22か所。ここがご案内のとおり、書いてあるとおり、新橋東詰交差点、ここはこっち側へ橋を渡っていったら、焼肉屋の鶴兆か、あっち側へ行ったりするんですね。これが中和幹線です。ですから、上牧と香芝の境界はここら辺になります。ここがパチンコのがちゃぽん、ここがパチンコ店のマルハン、ここら辺があれですね、ラーメン店、来来亭。ここに赤いマーキングが２つあります。ここが死亡事故が起こったところです。

これで大体位置関係を分かっていただいたと思うんですが､次のあれを出してくれますか。これはただいま理事から説明があったところでございます。これがマルハン、こちらが松里園ですね。これがマルハンのパチンコ屋。ほんで、今ここで２件死亡事故があったというのは、多分ここが横断をしてきたときにはねられた。もう１件、つい最近あったのは、ここを歩いとって後ろからはねられた。ただいま理事からもあったように、この路肩がほとんど歩行スペースがないと。ほんで、今、理事が言ったようにこの水路を埋めるように高田土木と交渉していただいているということです。

取りあえず、ここまであれです。ありがとうございます。また、もう一遍上げさせていただきます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　そこで今､高田土木と交渉していただいているということなんですが、県の高田土木の取組というか、本気度はどんなものでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　今、我々、要望等を申し上げさせていただきまして、そしてまた、死亡事故というところの部分で、やっぱり大きく問題は考えていただいておるというところで、本年度、実施設計という段階になっておるというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　実施設計をしているということは予算を組んで実施設計でやっているということですから､そんなに遠くなく暗渠化ができるかなというふうに思っとるんですが、そういう理解でよろしいでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　言葉足らずで申し訳なかったですけど、実施設計につきましては昨年度、４年度に実施設計がされておりまして、本年度に工事に着工するというふうに伺っているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ありがとうございます。ほな、令和５年、今年度にはあそこを暗渠化できるということの理解でよろしゅうございますか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　そのとおりでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　そうですか。それは大変お手数かけ、ありがとうございました。

先ほどあそこでモニターで説明させていただいたように、ほとんど歩くスペースがないという形なんで。ちなみに、ちょっと前後して申し訳ないんですが、先ほど、壇上で言うたように、この資料を作っていただいた香芝市の交通課長でございまして、ホソダさんやったかな、私が香芝警察署に行きまして、ほんなら課長が本部と連絡を取って、この詳細な資料を作っていただきました。先ほど壇上で申し上げたとおり、22件の人身事故の詳細も、どういう事故やったか、何時頃に事故が起こったのか、何歳の人がというのがあるんですけど、これはちょっと出してもうたら困るということでしたから。

この中の死亡事故で昨年５月の２日の20時57分に亡くなった人は歩いとったんですね。これは75歳以上の人です。75歳とか76歳とかいうのはちょっとまずいので、75歳以上の人で。先ほどのところを歩いてはったところ、背面、後ろから車にはねられたという状況でございまして、これはそやから、被害者は歩行、当事者、ひいたほうは軽自動車の乗用車、いわゆ

る軽四で背面からはねたということで、死亡事故に至っているということなんですね。

ですから、今、理事から答弁あったように、あそこを暗渠化していただければ歩行も随分安全に行けるかなと思っておるので、しっかりしたお取組を頂きましたことに感謝申し上げるところでございます。

ほいじゃ、次でございますが、ここ直近10年間の上牧町で起こりました人身事故、10年間の合計で結構ですので、軽傷何件、重傷何件、死亡何件というふうな答弁を頂けますか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　それでは、ここ10年間の上牧町内での交通の人身事故の発生件数というところで、軽傷につきましては504件、そして重傷につきましては84件、そして死亡については６件でございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　次のあれを出していただけますか。これも席を離れて説明したいので、よろしゅうございますか。

○議長（遠山健太郎）　許可します。

○１１番（木内利雄）　ここのこれが上牧町の全体図なんですけども、これが西名阪道ですね。これが桜ケ丘１丁目、これが桜ケ丘３丁目、これが片岡台のＵＲの団地ですね。こっち側が松里園。先ほど申し上げた死亡事故がこの２つですね。この２つが先ほど申し上げた死亡事故です。ここにもう１個、死亡事故があるんですが、これは第一保育所からちょっと行ったところです。一番高台になっているところですね。これがつくも橋のところで、ここが２件死亡事故があっています。死亡事故２件、つくも橋というところですね。今申し上げたように、町営墓地からちょっと上がったところの一番高いところで１件あります。もう１件は、新橋のところの、ここら辺は南上牧なんですけども、ここで１件、先ほど申し上げたここで２件になって合計６件なんです。10年間のうちに死亡事故が６件。これは間違ないな。

見ていただいたら分かるように、６件のうちの３件がほぼここであるんですね。だから、平成19年にはここでもう１件事故が起こっているんです。私は自宅が松里園なんですが、近所の奥さんが平成19年にここで亡くなっておられます。これは平成19年というと、10年では中に入ってないのでここにはカウントされてないんですけど。こういう感じでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ありがとうございます。だから、こういった状況でございますので、ただいま高田土木と交渉していただいて、しっかりした取組をしていただいたということで

感謝申し上げます。

交通事故はつくも橋のところはもう対策は終わっているんですね。これはどうでしたか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　その事故につきましては、ＮＥＸＣＯ西日本にお話をさせていただきまして、交差点の付近もクリアパネル化しておるという対策になっております。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　こういった事故が多いか少ないかは別にして、ございます。こういったことを見ながら全体的な交通安全対策をしっかりとお願いしたいと思うのと、もう１点、上牧町の行政区から離れるので、いささか申し上げにくいんですが、この写真の左側に電柱がありますね。これは完全に道路面に入っているんですよね。道路面から引かれているんじゃない。溝よりこっち、道路面にあるんですよね。ですから、ここは車が行ったら、ここを膨れやんと向こうへ走れないという。これは香芝の行政区域なので、また町長でも、課長、部長でも機会がありましたら関電と香芝市の行政等に「この電柱、どないかならんか」というふうにお伝えいただきたいが、理事、よろしゅうございますか。

○議長（遠山健太郎）　都市環境部理事。

○都市環境部理事（吉川昭仁）　上牧町、本町の議会の中でもそういう指摘があったというところで、香芝市に対して、またお伝えさせていただきたいと思っております。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　それじゃ、結構です。ありがとう。次。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　では、２つ目の公用車の事故についての①の公用車の事故発生状況についてということで、最初にお答えをさせていただきます。

まず、本町の職員等が運転しております公用車はパッカー等の特殊車両も含むということで、件数の報告をさせていただきます。令和２年度におきましては３件、令和３年度４件、令和４年度は３件、令和５年の８月までが３件の合計13件でございます。もう１つ、コミュニティーバスを運行させていただいておりまして、令和２年度が１件、令和３年度が２件、令和４年度が５件の合計８件でございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　資料を頂いとんですが、そのうち人身事故が３件で、コミュニティーバスで１件、合計人身事故は４件となっておりますが、これはこういうことでよろしゅうご

ざいますか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　そのとおりで結構です。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　物損事故は取りあえず横に置いておきまして、人身事故についてお伺いをいたしたいと思いますが、令和３年の６月の18日、相手側の追突ということで、建設環境課が対人事故に遭ったのかというふうな記載でございます。それから、令和５年、本年６月９日も対人事故、上下水道課の職員、それから、この令和５年８月の24日、これは人事課が対人事故ということになっておりますが、私はこの質問をするに至ったのは、この令和５年６月９日の事故を私の友人が見ておりまして、「そやそや、僕30年以上になるけど、こんな質問、公用車の事故状況について尋ねたことないわ」と思って質問をするに至りました。

そこで、今、申し上げたそれぞれの事故についてはどのような状況であったのか、３つについてお答えを頂きたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　１つ目の令和３年６月18日の分でございますが、これは相手方からによる追突により対人、人身事故ということでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　申し訳ない、対人の部分に関しましては、医者に行っただけで別に入院しなかったとか、けがの具合がどうだったというふうにお答えいただきたいと思います。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　失礼いたしました。３件とも人身事故につきましては病院には行かせていただきましたが、大きなけがはございませんでした。

２つ目の６月９日の下水道課の分でございます。これにおきましては議員ご指摘いただきましたように、下水道課の職員が公務で本庁に来る間に一般車両と米山台の１丁目の16、17の交差点のところで事故が起きたという分でございます。

３つ目の８月24日による部分につきましては、うちの職員がブレーキが少し緩んでしまったということで、交差点でとまっている前の車に追突をしたということで、この分につきましても大きなけがには至っていない状況でございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　その３件以外ですれば物損なんですが、急ブレーキとか後方確認不足

やったとか、確認不足とか操作ミスとか、操作ミスが多いですよね。13件のうち操作ミスが４件あるんですね。例えば、令和３年12月３日、操作ミス、接触、建設環境課となっとんですが、例えば、この操作ミスというのはどういうミスなんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　この分につきましては、交差点におきまして方向転換をする際に後方確認を少し誤ってしまいまして、民家の塀に接触してしまったということでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　全くの操作ミスというか注意不足というかですね。

ちょっと先に進ませていただきますが､コミュニティーバスのこれが令和３年４月の２日、15時04分、急ブレーキ、顔をぶつける、人身事故ということで、シルバー人材センターということになっとるんですが、これをもう少し具体的に事故の内容をお示しいただけますか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　シルバー人材センターの人身事故についてでございます。友が丘の東公園から西公園へ走行中、４つの辻の交差点の右側から単車が出てきたということで、それに慌てて急ブレーキをかけたと。そのときに乗っておられた方が前の座席に顔をぶつけられたというような事象でございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　要はコミュニティーバスの乗客が急ブレーキをかけられたから前のめりになって。これはけがの具合はいかがだったんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　少しの間は通院されていたというふうにお聞きしております。現状におきましては示談が成立しておるところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　先に進みますが、今申し上げているのはコミュニティーバスですよ。この８件の事故のうち車両間隔不足というのが４件あるんですね。昨年、令和４年の４月の12日、それから令和４年７月31日、令和４年12月10日、今年度、令和５年２月２日、これは車両間隔不足で接触ということになっとるんですが、これは車両間隔不足というのはどういう事故だったのでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　そしたら、１つ例を挙げさせていただきますと、令和４年４月12日

による事故の内容でございますが、これにつきましては、道路幅が狭い状況におきまして、前に工事区間等の工事車両が駐車してあったと。それを少し避けようとした際に大きく切り過ぎて、それが一部、個人さんの家の花壇に車が接触したというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　本町の公用車は59台。この事故の件数が多いか少ないかがちょっと判断がつかないので、類団の資料を求めとったんですが、これはいかがだったんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　木内議員からご質問いただいておりまして、他町村等にも少し確認をさせていただいたんですけど、件数の公表については控えてほしいというご回答を頂いております。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　要は、近隣もしくは類団の資料を出していただいたら、本町が事故件数が少ないのか、多いのかが判断できるんですが、今、部長から答弁あったように他の市町村が出してくれなかった。これは出してくれない意味も分かるんですけど、そやから比較のしようがないんですね。ですから、私もこれはこれ以上申し上げませんが、部長のほうで、また課長のほうで本町がこの件数が少ないのか多いかぐらいは検討して、精査して、取るべき管理状態をしっかりとやっておかんといかんかな。ええねんわじゃなしにね。１件でも少ないほどいいわけですから。ひょっとしたら類団で、例えば、隣の町が、隣の市が公用車数が同じでも倍ほど事故件数があるかも分からんし、うちよりも２分の１のとこもあるかも分からんし。だから、そこら辺はしっかり比較検討してやるほうがよろしいかなと思うので、申し上げておきたいなと思います。

そこで、これらに対する安全対策、安全教育。これでまずお聞きするのは、私の記憶では車両が５台以上あるところは車両管理者、安全管理者みたいなのを置いて、一定の教育をしなければならないというふうに思っとんですが、本町はどのようになってるのでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　木内議員ご指摘のとおり、通常、乗車定員が11人以上の自動車が１台以上ある場合、もしくはその他の自動車５台以上ある場合につきましては、安全運転管理者を選任するというふうになっておりまして、現在、本町におきましては４人の安全運転管理上と１名の副管理者を選定させていただいております。

１つにおきましては総務課長がしております。次、福祉センター等におきまして、ここに

も５台以上の公用車があるということで福祉課長が、それと上下水道課で１人、建設環境課の中継基地等のごみの収集パッカーの通行等もございまして、５台以上所有しているということでそこに１名の、合計４名の安全運転管理者を選任させていただいているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　選任の状況は分かりましたが、運転をする人たちへの安全教育みたいなのは頻度はどの程度でやられているのか、また、どういうような内容でやられておるのか、お伺いをいたします。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　安全教育という部分でございますが、今まで研修的なことは行っておりませんで、ただ、公用車を乗るまでもなく、運転免許を持っている者につきましては、ふだんからやっぱり交通マナー徹底であったり、交通ルールの遵守等をするのが普通であるというふうに認識しておるところでございますので、あくまでも研修というのはさせてはいただいておりませんが、ただ、そういうルール、マナーを守るという交通事故防止の徹底という部分は今までからお願いしているところでございます。今後におきましては、今までそういった研修等も行っておりませんでしたので、少し実施していきたいかなと思っておるところでございます。

ただ、それはといいますと、先ほど木内議員からも件数については少しどうなのかと、類団と見てどうかをまた検討するようにというご意見も頂いたところでございまして、本年、令和５年度におきましても８月までにもう３件ということで、去年１年間の数と同じぐらいの事故が起きているということもございますので、少しこういった部分、今ご指摘いただいたとおり、研修会等を実施するなど、今後こういう交通安全の対策の研修等も実施していきたいと考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　この先ほどお示しさせていただいた、資料を出していただいた事故が起こった、例えば水道課のＡ君が事故を起こしたと、環境衛生課のＢ君が事故を起こした、このときはこのＡ君、Ｂ君には指導したり、後はどのような対処をなさっているのか、お聞かせください。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　事故の内容等にもよるんですが、先ほどから少しご指摘いただいて

おりますように、うちは大概の原因等については操作ミスということがかなり増えている部分でございますので、そういうこともございまして、操作については万全を期すように、安全対策を取るようにということで、起きたときに個別に直接お話をさせていただいているというところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　事故報告書は本人には書かせていないんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　事故報告は頂いております。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　そこら辺のところが大事なところなんでね。やっぱり本人が何年何月何日何時にどういう事故を起こしたんやということをきちっとそういう書面で出すことによって、以後気つけなあかんなということも本人も出てくると思うので、そこら辺はしっかりとお取り組みいただくように申し上げておきたいと思います。

そこで次に、公用車の管理及び運用についてお伺いをしたいんですが、これはどのようになさっているんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　公用車の管理という部分でございますが、管理でもいろいろございまして、公用車の車検等の法定点検等におきましては総務課で管理を一部させていただいているのと、直接管理していただいているのは建設環境課のパッカー車と、上下水道課は公営企業ということで別になりますので、そこでそういった部分の管理はお願いをしているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　議員の皆さんもそうですが、皆さんも新聞を読んでおりますと、ここ３か月、半年の間に車検切れの車で走っているのが新聞等で報道されている。怒られるかも分からんけど、ひどいのが川西町。これは読みますよ、３年半にわたってごみ収集車が車検なしで走っとった。ちょっと読んでみましょうか。これは８月26日土曜日の読売新聞なんですが、「ごみ収集車２台車検切れで使用」。川西ですよ。「発表によると２台はパッカー車とダンプ車。パッカー車は車検の有効期限が2020年２月13日に満了していた」。今2023年なんですよ。このひどい、３年間にわたってごみ収集車が無車検で走っとると。これは普通は考えられないですよね。

こういうのは、車検切れがこんだけ長いことはないですよ、１か月切れとった、３か月切れとった、県でもあったし、あっちこっちの市町村、田原本でもありましたから。本町は今のところないようでございますので、そこで、今、議会からは東議員が監査委員になってもうていますが、行政監査で車両に関してはどの程度監査されるんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　総務部長。

○総務部長（中川恵友）　行政監査につきまして、令和３年の４月に地方自治法が改正されまして､監査委員さんのほうで行政監査が必要に応じてできるとなったところでございまして、本町におきます公用車の管理等につきましての行政監査はまだ受けていないのが現状でございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ぜひともやるべきやと思いますよ。これはどこのとは申し上げませんが、車両に関して行政監査をなさっているんですね。どういう項目でなさっているかというと、公用車の管理等に関する規定の準備状況について、車両の保有状況、それと利用状況。これは､ですから､上牧町が例えば59台あるんですけども､この車両の保有状況と利用状況。上牧町で本当にこの59台が正しいのか。もう１台でも削れるんちゃうかと、58台でも57台でもいけるんちゃうかと。要は利用頻度を見て、59台でなかったらあかんねやというのか、もう５台減ったっていけるでというのか。そこら辺のところはやっぱり監査できちっと私はするべきやと思います。

だから、もう一度申し上げますよ、保有状況と利用状況。その保有台数が正しいのかどうかね。車両にかかる経費、それから先ほどから申し上げているような安全対策及び事故発生状況。ここら辺は監査がきちっと把握しておくべき。それで公表すべき。だから予算のときなのか、決算のときなのか分かりませんが、そういったときに私どもが先ほど頂いているような事故発生状況、何件あったんやみたいなものもやっぱり監査に付すべきやと思いますよね。それから、車両の管理に関する規定及び整備状況、それらの効率性、これは先ほど申し上げたようなことやと思うんですが、ここら辺のことはやっぱり監査の中にきちっと含めるべきだと思いますが、これは副町長、あなたが答えていただけますか。

○議長（遠山健太郎）　阪本副町長。

○副町長（阪本正人）　今言っていただきましたように、利用状況とその部分につきましては今後必要になってくるのかなというふうに思っております。

それと公用車につきましては、今言っていただきましたようにやはり車両の部分はどれぐ

らい必要なのかという部分も再度、精査していかなければならないのかなと。反対に増える可能性もまたあるのかというふうにも考えております。

公用車の修繕等につきましても、やはり車検代、あと修理代と、もろもろの経費がかかってきます。そういうふうな台帳管理も今後、整理をしながら取り組んでいかなければいけないのかなというふうには考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ありがとうございます。今回、この時を機に事故数を減らす、そして申し上げたような車検、これは３年半にわたっていたらオイル交換はどないしとったのかなと思うんですけど、それは余談として、そういったことも含めて事故数を減らす、重大事故なんか起こしたら大変ですから、絶対事故数を減らす、そして、車両の管理は車検切れなんか起こさないようにきちっと行うということで、今、副町長がお答えいただいたとおりで、しっかりとお取り組みいただくように申し上げておきたいと思います。

それじゃ、次、お願いします。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　それではまず、全国学力・学習状況調査におけます本町の結果につき、校種ごと、教科ごとに回答をさせていただきます。

小学校３校における平均正答率につきましては、国語では本町が57、全国平均は67.2、奈良県平均は65となっております。算数では本町が58で、全国平均は62.5、奈良県平均は62となっております。

中学校２校における平均正答率につきましては、国語では本町が68で、全国平均は69.8、奈良県平均は67となっております。数学では本町は49で、全国平均は51.0、奈良県平均は50となっております。英語では本町は47で、全国平均は45.6、奈良県平均は45でございました。また、本年度初めて実施をされました英語科の「話すこと」調査は非常に難問であったようでございまして、本町が９、全国平均は12.4でございました。

小学校では国語と算数におきまして、中学校では数学は県平均を、英語の話すこと調査では全国平均をそれぞれ下回り、課題の多い結果となっております。一方で、中学校の国語におきましては県平均を、英語では全国平均をも上回るよい結果となっているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ありがとうございます。大きくくくって、小学校は褒められたもので

ないなというんですけども、中学校は割と頑張ったなというふうな思いを持っとんですが、そこのところをお聞きするのと、それと、もう１点、英語は全国平均も奈良県平均も上回っていると。そやから、この点はどういうふうに評価を、何が原因やったとかお考えになっているのか。中学校のよかったのはどうなんだと、そこら辺のところはいかがですか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　通常でしたら小学校の成績も上がり、続いて中学校の成績が上がっていくのが一般的な話ではあるのかなというふうに認識をしているところでございます。ただ、本校中学校におきましては中学校３年生ということで、進学を意識して学力に身が入ったということも１つ要因として挙げられるのではないかなというふうにも考えております。

また、ご指摘の英語につきましては、本町におきましては台湾とのリモート交流を行っております。その部分で昨年度も12月に２回リモート交流をさせていただいた中には当時の中学２年生、３年生の生徒が20名含まれておりまして、それらの英語による交流活動が学校全体へのよい波及効果で、英語についての成績が上昇したものであるとも考えるというふうに思っているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　そうであるのかなというふうに思います。この成績は突出していますからね。誠に喜ばしいことであるので、できるのであれば、もうちょっと予算を確保して、しっかりと特徴のある学校にしていただきたいというふうに思います。町長、答えていただかなくて結構ですが、今申し上げたように、しっかり今、国際交流の部分で成績にきちっと数字として表れているので、予算でしっかりとつけていただけたら結構かと思います。

そこで、これは読売新聞の読者からの投稿なんです。この投稿した人は大阪府の箕面市に住んどって、中学校の英語の教師なんですね。こう書いてあります。「全国学力テストの結果が文部科学省から公表された。中学３年が対象の英語で話す技量の平均正答率が12.4％にとどまった。現場の英語科教員としては予想どおりの結果となってしまった」。中略します。中をちょっと省きますよ。「生徒が積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとするには、教員が研修などを通じて授業を工夫し、実践する力を高めていく必要がある」と、教員の、つまり教える側の指導内容、また、授業を工夫するということが必要であると、この箕面にお住まいの学校の英語の教師は読売新聞に投稿されているんですね。

私は気になったもんですから切り抜きをしておいたんですが、しっかりこうやったことで英語の部分で、話す部分はしっかり伸びているので、上牧町の特色ある教育として、教育長

はもう入れていませんが、しっかりここを伸ばしてあげてほしいなと思います。よろしくお願いを申し上げておきます。町長はしっかり予算はつけるとおっしゃっているのでね。

次に、この全国学力テストの結果を踏まえて、中学校２校、小学校３校の校長のコメントを私は求めとったんですが、このコメントを紹介ください。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　本年度、全国学力・学習状況調査の結果に係るコメントが町内小中学校の校長先生方から寄せられておりますので、紹介をさせていただきたいと思っております。

まず、１校目でございます。「学力調査の国語と算数で無回答率の高さと、出題の意図、内容の読み取りが困難な読解力不足の児童がいるであろうことが気にかかった。算数では加えて、自分の考えや判断を記述する問題に対して理解、表現が困難な児童がいるであろうと予想される。児童質問紙の結果からは、ふだん指導者の学習指導や生活指導に対する真摯な姿勢がうかがえるし、児童もそれを感じて評価している。また、本校で継続的に取り組んでいる学び合いの成果が表れている結果となっている。人権教育や外国語活動に関しての取組も功を奏している。その反面、国語科、算数科、総合的な学習の時間の指導に課題が残る結果となった。また、家庭学習への課題や意欲の持たせ方、読書好きな児童の育成にも取り組む必要がある」。

続きまして、２校目でございます。「児童質問紙から見つかった課題は読書活動に関する項目である。図書館に行く回数や、家にある本の冊数、新聞を読んでいるかなどの項目については、全国的にもそうだが、本校も低かった。読書活動と学力の関係は大変深いと考えられるので、これから学校図書館の活性化に力を入れていきたい。子どもたちは『読書は好きですか』という問いに75％の子どもが肯定的な回答をしている。このことは今後の取組の糸口としたい。

国語では書くことに関する力が低かった。このことは算数や国語の記述式の問題に弱いことにもつながっている。正答率の低かった問題に着目すると、無回答もあるが、書いてはいるが、求められている条件に沿って読んだり書いたりすることができていないという課題が見いだせる。今後の授業改善の方向性としては、語句や表現の工夫に着目しながら文章を丁寧に読むことから、内容を正しく読むという力をつけていきたいと考えている。また、条件を踏まえて書き方を考えたり､条件に照らして見直したりすることもできるようになるため、しっかり考えて書く、きちんと見直す、指導を重ねていきたいと考えている。

算数では、図形の問題について理由を言葉や数を用いて記述できるかという項目が低かった。子どもたちに欠けている力は説明力であり、上記でも述べたように、内容を正しく読み取り、論理的に考える力をつけていくことがこれからの学習向上につながるものと考えている。

今回の調査で見つかった課題を職員全体で共有し、分かる楽しい授業の創造に向けて、今年度の重点課題である対話を通して、思考力、判断力、表現力を育てる取組を進めていきたい。

３校目でございます。「学力調査の結果を受けて、国語の改善については、文章で表現する活動を増やすこと、読書活動の推奨に一層力を入れていきたい。ＩＣＴは積極的に取り組んできたことから、情報の使い方に関する事項は成果が出ている。算数の改善点としては、記述式解答の正答率の低さを考えると、言語力の育成に努めるために、国語同様、文書で説明したり、記述したりする学習を多く取り入れていきたい。図形の学習では、学習内容が難解なだけに特に丁寧に分かりやすく、毎日振り返りを取り入れながら進めていきたい。

質問紙の結果からは自尊感情を高める取組、子どもたちに寄り添い、学習意欲を高めるような取組に一層努めていきたい。県や全国の結果と比較して、計画性ある家庭学習が十分でない子どもの割合が高かったことから､家庭とも連携して家庭学習の強化に努めていきたい。

４校目でございます。「学力調査の結果からは、国語における書くこと、読むことの力が弱いことが本校の一番の課題であると考えている。学力調査とともに行われた質問紙の回答からは読書活動に親しみを感じる子どもが多く、国語の調査では最後まで精いっぱい回答しようとすると努力し､『回答時間が十分であった』と回答した割合が比較的高かったにもかかわらず、調査問題の正答率はあまり高くはなかった。これらのことから考察すると、精いっぱい問題に向き合いながらも、題意の文章を正しく読み取ることができていないために問われていることに適切に答えることができなかったからではないかと考える。

この結果から、思考力、想像力をつかさどる脳の前頭前野を活発に働かせる活動により、一層多く取り入れる必要があると感じている。学校においてはこのことを主眼に置いた授業改善の研究をし、実践していくことがあると考えている。

他にも気になる点としては､『家庭の蔵書数が少ない』と回答した子どもが多い点である。このことから幼少期の家庭での本の読み聞かせなどがどうであったかということが気にかかる。これらのことを捉えても中学校の学力向上は学校のみで解決を図るところは部分的に過ぎず、少なくとも幼少期から義務教育修了まで共通して取り組むことも併せて必要であると

考えられる」。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　部長、ありがとうございます。

最後に１点お答えいただきたいんですが、壇上でも申し上げたように、活字に親しんでいる子ほどやっぱり正答率が高い、学力が高いということになった。昨年６月の定例議会でＲＳＴ、リーディングスキルテスト、いわゆる読解力を高める、このことについては、いかがなさっているんでしょうか。

○議長（遠山健太郎）　教育部長。

○教育部長（松井良明）　リーディングスキルテスト等につきましては、教育委員会といたしましては小学校６年間における教育の効果測定と位置づけ、小学校６年生を対象に３学期の実施に向けて、現在学校と調整をしているところでございます。

また、このテストの結果から見えてきた課題につきましては、今後、小学校６年生が進学をします中学校での教育指導の充実に資するため、中学校と連携、共有をしていきたいと考えているところでございます。

○議長（遠山健太郎）　木内議員。

○１１番（木内利雄）　ちょっとオーバーしましたが、大変ありがとうございました。しっかりとお取り組みいただきますようにお願い申し上げておきます。

○議長（遠山健太郎）　以上で、11番、木内議員の一般質問を終わります。

これで本日の一般質問を終わります。

◇

◎散会の宣告

○議長（遠山健太郎）　本日はこれで散会いたします。どうも皆様、お疲れさまでした。

散会　午後　２時００分

令和５年第３回（９月）上牧町議会定例会会議録

議　事　日　程（第４号）

令和５年９月２０日（水）午前１０時開議

第　１		決算特別委員長報告について
第　２	認第　１号	令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について
第　３	認第　２号	令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
第　４	認第　３号	令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
第　５	認第　４号	令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
第　６	認第　５号	令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
第　７	認第　６号	令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
第　８	認第　７号	令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について
第　９		総務建設委員長報告について
第１０	議第　４号	令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について
第１１	議第　８号	令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について
第１２	議第１０号	上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について
第１３		文教厚生委員長報告について
第１４	議第　２号	上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第１５	議第　３号	上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第１６	議第　５号	令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について
第１７	議第　６号	令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について
第１８	議第　７号	令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について
第１９	議第　９号	令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について

本日の会議に付した事件

第１から第１９まで議事日程に同じ

◇

出席議員（１２名）

１番	石　丸　典　子	２番	氏　原　賢　一
３番	竹　中　亮　造	４番	安　中　　和
５番	東　　初　子	６番	上　村　哲　也
７番	竹之内　　剛	８番	牧　浦　秀　俊
９番	服　部　公　英	１０番	康　村　昌　史
１１番	木　内　利　雄	１２番	遠　山　健太郎

欠席議員（なし）

◇

地方自治法第１２１条により説明のため出席した者の職氏名

町　　長	今　中　富　夫	副　町　長	阪　本　正　人
教　育　長	松　浦　教　雄	総　務　部　長	中　川　恵　友
都市環境部理事	吉　川　昭　仁	住民生活部長	山　下　純　司
健康福祉部長	青　山　雅　則	教　育　部　長	松　井　良　明
総　務　課　長	丸　橋　秀　行	秘書人事課長	髙　木　真　之

◇

職務のため議場に出席した事務局員

議会事務局長	森　本　朋　人	書　　記	山　口　里　美
書　　記	横　田　大　樹		

開議　午前１０時００分

◎開議の宣告

○議長（遠山健太郎）　おはようございます。ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議事日程の報告

○議長（遠山健太郎）　本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。それでは、日程表に従い、順次議事を進めてまいります。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎決算特別委員長報告について

○議長（遠山健太郎）　日程第１、決算特別委員長報告について。

服部委員長、報告願います。

服部委員長。

（決算特別委員長　服部公英　登壇）

○決算特別委員長（服部公英）　おはようございます。９番、服部公英です。決算特別委員会の報告を行います。

９月１日の本会議で設置された決算特別委員会は、９月８日、11日の２日間開催し、認第１号から認第７号まで７議案を慎重審議いたしました。それぞれの決算認定について、主な審議内容及び審議結果について報告いたします。

認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について、認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について。

認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について。令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算において、当初86億993万1,000円で補正予算が10回編成され、歳入総額99億9,156万4,000円、歳出総額96億5,249万6,000円、歳入差引残額３億3,906万8,000円となって、翌年度に繰り越すべき財源が5,511万4,000円のため、実質収支額は２億8,395万4,000円の黒字となり、また、単年度収支額は6,884万4,000円の赤字となった。経常収支比率は94.9％、前年度91.7％と比較して3.2％の悪化となった。増額の要因は、経常的収支である普通交付税と臨時財政対策債が大幅に減少したこと、また、経常的収支では、光熱費の増加や高齢者の人口の増加に伴う後期高齢者医療費、介護保険特別会計への繰出金が増加したことが挙げられる。主な特徴としては、自主財源については、町税4,660万2,000円の増加となった。また、寄附金については、ふるさと納税の返戻金を開始したことにより507万2,000円の増加となった。自主財源総額は５億6,104万7,000円の増加となったが、これは繰越金が前年度と比較して３億6,096万9,000円の増加となったことが主な要因として挙げられる。また、構成比では、自主財源は34.04％、依存財源は65.96％となり、前年度と比較すると自主財源比率は5.2％の増加となった。依然として依存財源に頼った財政運営となっていることから、今後も歳入における自主財源や財源を増やすため日々努力することが大切である。

以上の決算状況に基づき、各委員からの質疑が行われました。

次に、各委員からの質疑応答について、まず総括から。問い。令和４年度は町制施行50周年を迎えた節目の年であったが、当初消極的であったふるさと納税の導入や町制施行50周年イベント官民連携事業の。フリースクールＳｍｉｌｅ　Ｆａｒｍ　かんまきの開校など、様々な事業展開がされました。町制施行された年、昭和47年より上牧町役場に奉職された今中町長に町制施行後の50年間、そして令和４年度の事業に対する率直な評価、感想を伺いたいと思います。答え。上牧町に奉職し50年、いろいろなことがあったが、今は様々な方々に理解をしていただき、落ち着いた町政運営をすることができるようになり、一歩ずつ前へ進められるようになったというのが50年の歩みである。今、多くの自治体から視察に来ていただき、上牧町が認知されていることは、住民の皆様や議会の理解、職員の努力によるものだと嬉しく感じている。ふるさと納税については、特産でもないものを特産と称しメニューばかりをつくるという自治体がある中、上牧町には独自な特産がないという中で、ふるさと納税はやるべきではないという方針であったが、商工会の特に若い会員の方々が町内の事業所と協力し、特産品をつくるという状況をつくっていただいたので、ふるさと納税を取り組むことにした。令和４年度の事業では、メタセコイヤのライトアップなど50周年イベントも節目節目

でしっかりできたのかなと思う。そして、上牧町のよいところでもある、令和４年度に開校したフリースクールのような民間との連携ができた令和４年度でもあったかなと感じている。これからも、派手な花火を上げるよりも、しっかりと先を見据え、地に足をつけた取組をしていく考えでまちづくりを進めていきたい。問い。経常収支比率について。経常収支比率が高止まりしているが、大丈夫か。県内平均や類似団体平均より数値がよくない。義務的経費や固定的支出が増え、財政の硬直化が進んでいるように思われるが、どう考えているのか。答え。経常収支比率が高止まりして県内平均や類似団体平均より数値が悪い主な原因は、固定資産税の大型滞納がずっと続いているからである。その他、法人や個人からの町税の徴収率は非常に高い。

次に、歳入について。問い。町民税個人分は前年に比べ約1,000万円の増加だが、要因は。答え。現年度課税分の所得割で増加になった。問い。町税の徴収率。町税の徴収率の低さが気になる。監査委員の決算意見書では、その原因は固定資産税の大型滞納にあると指摘している。徴収率の推移を見ると、ここ10年この状況が続いている。具体的には、どこのどの法人が滞納しているのか。意見書は、滞納者の現状を把握し適切に処理することが必要であると考えると課題を投げかけている。町としてもこの問題にどう対処するつもりか。答え。固定資産税の大型滞納(レインボー西大和)をしている法人はジョイハウスという会社である。令和２年に破産しており、現在は管財人が資産を管理している。昨年、他物件を任意売却により、本税及び延滞金900万円が上牧町に配当されている。今後とも破産会社の動向を注視しつつ、引き続き管財人と協議を進め、徴税に努めていきます。問い。歳入決算の寄附金について。ふるさと納税の返戻金開始により507万2,000円の増加を見た。約500万円の額は自治体としては大きくないが、返礼品を提供すると確実に寄附金が増える。ふるさと納税の在り方にはいろいろな意見があることは承知しているが、確実に自主財源を増やせることを示している。今後、新しい返礼品の開発を促進し、積極的に寄附額を増やす努力をしてはどうか。答え。令和４年度より上牧町魅力発掘推進事業として予算を組み377万7,687円、協力事業者の募集及び返礼品開発の支援に努めている。令和５年度はさらに寄附額を増加するものと考えている。問い。歳入決算の構成比は。歳入構成比は自主財源34.1%、依存財源65.6%と、前年度に比べると改善の傾向が見られるが、これで十分か。約１対２のこの比率をどう見ているのか。答え。コロナ対策の国の予算の縮小の影響を受け、補助金等が減額され、結果として自主財源比率が上がっている。今後とも税金の徴収等に努めて自主財源比率を上げ、歳入決算の構成比の改善を進めていきたい。問い。町営住宅、改良住宅に空き家が多いが、現

状と対応は。答え。町営住宅28戸、改良住宅では34戸の空きがある。町営住宅においては第１・第２住宅を取り壊す予定であり、政策空き家としている。改良住宅は売却も考えられるが、改修費用がかかる。令和５年６月より町営住宅等運営方針策定委員会で協議をしていただいている。問い。体育館使用料は。第一体育館が約70万円、第二体育館が約143万円となっている。第二体育館は大変利用されているのではないか。答え。第一体育館は年間287件、第二体育館は621件である。

次に、歳出について。問い。小中学校ＩＣＴ事業について。家庭学習でタブレットが使えるようにモバイルＷｉ－Ｆｉルーターの購入があったが、活用は。答え。事前に各家庭へアンケートを取り、貸出用のルーター25台を購入。利用者は９名である。ほかの人はスマートフォンを使っている。問い。32年前の町民へのメッセージを入れたタイムカプセルが開けられたが、取りにこられた件数は。答え。507件中150件に返却し、返却率は29.6％である。今後ホームページに再掲載し、お返しできるように努める。問い。令和２年度から始めた滝川水辺周辺地区整備事業は、全体計画が完了したこの事業の中で下牧地区の公園が整備されたが、進入路が分かりにくい。答え。民有地があるため簡単に通路をつくれないが、工夫したい。ジュニアリーダー研修事業費。問い。不用額が６万円出ている。研修は開催されているのか。答え。コロナ前まで宿泊研修であったが、まだコロナが完全に明けてないために、宿泊を伴わない１日研修とした。学校地域パートナーシップ事業費。問い。学校支援ボランティアの活動の中に約128万円が必要か。答え。コーディネーターの費用、本などの修正材料の購入、学校整備に使う道具、草刈り機の燃料代もここから支払われている。問い。地方債残高を見ると、順調に減少していることは喜ばしい。長期的に見ても、上牧町の財政健全化が進んでいると判断できる。特に負の遺産とも言える第三セク債の残債については、本決算年度の繰上償還などでほぼ半減し、10年来の財政再建の成果が実を結んできたと思う。残債は現在約25億円あるが、あと何年ぐらいで償還を完了する見通しか。答え。第三セク債は25年で償還することになっている。したがって、９年償還を進めてきたので、あと16年かけて完済の予定である。問い。基金の状況。財政調整基金の残高が8,595万8,000円、9.3％増加し、10億円の大台に乗った。財政健全化の道筋に１つの成果が表れたと思われる。緊急事態や年度間の財政調整への対応力は相当上がったと考えるが、上牧町の財政規模からすると、今後どの程度の額が適正と考えるか。答え。財政調整基金については、財政規模の15％から20％が適当と考えられる。したがって、上牧町は適正範囲内に届くようになった。今後とも安定した町財政の維持のため、適正な額の財政調整基金を堅持、維持に努めたい。

認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について。問い。医療費は令和３年度比97％だが、傾向は。答え。令和４年度12月の時点では増額を見込んだが、決算額は令和３年度並みの約１億5,000万円である。問い。コロナ対応の傷病手当金の交付状況はどうか。13件に交付。保険給付医療費交付金、保険者の努力支援制度交付金。問い。今年度の交付金が下がっているが、内容は。答え。支援制度で指標により決定しているが、何ら指摘されるところはなく、国全体で下がっている。保健事業費、特定検診事業費。問い。需用費、委託料、役務費から人間ドック事業費に流用しているが、その内容を。答え。人間ドックの検診数が増えたので流用した。問い。受診率が38.8％増えているが、その内容を。答え。個人で受けたもの、会社で受けたもの、それらをみなし診療としてカウントした。包む括的支援事業費。問い。どのような内容であったか。答え。３町合同でケアマネジャーの介護ケアマネジメントについて研修している。任意事業費、家族介護支援事業費。問い。紙おむつの支給件数は。答え。56名分。問い。徘回感知器通信料が１万2,760円と少ないが、使用人数は。答え。予算時はニーズがあるとしていましたが、今年度２名だけとなった。問い。出産育児一時金、出産一時金が当初より546万円に比べ支出済額166万4,000円が大幅に少なく、不用額が379万6,000円と大きくなっている。少子化が進み、新生児が減少したからと思われるが、当初の予算と乖離が大き過ぎるのではないか。説明してほしい。答え。確かに新生児の減少を反映しており、令和４年度の国保加入者による出産育児金の申請者数は４人と少なかった。ただし、自営業者などの国保加入者による申請数であり、会社勤め等一般の健康保険加入者の申請はこの中に含まれていない。問い。令和元年度から人間ドック等助成金を２万円から４万円に拡充して受診者数が増加したとの説明がありましたが、令和年度の受診者は何でしょうか。令和元年度の受診者は415名となっております。問い。けんしんＧＯ！ポイント事業費の虹の湯について、再開の時期が分かれば教えてください。答え。虹の湯のリニューアルオープンは令和６年８月以降と聞いております。

認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について。問い。人間ドック、脳ドックの助成状況はどうか。答え。２万円を限度に費用の２分の１を助成するもので、人間ドック55名、脳ドック28名であった。

認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定については、質疑なし。

認第５号　上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について。問い。訪問調査費の委託料単価について教えてください。答え。訪問調査の委託料１件の単価は3,300円で、施設につ

いては１件2,000円です。問い。訪問調査の委託先の箇所を教えてください。答え。町内の居宅介護支援事業所全てで、10か所程度ございます。問い。国からは、申請から決定まで30日以内に通知を行うこととしているが、上牧町は期限を守られているのでしょうか。答え。厚生労働省から言われているとおり、30日を守るように決定通知を出しております。問い。一般介護予防事業評価事業として、要支援１・２の人を対象にニーズ調査が行われたが、活用はどうか。答え。介護保険事業の第９期計画に反映させる。

認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について。問い。下水道会計は令和５年度に公営企業会計に移行したため、特別会計として最後の決算である。収入未済額約4,900万円の説明を。答え。下水道使用料について、10月分の決算額である２か月の下水道使用料を含む未収金がこの金額である。令和５年度の企業会計においては、貸借対照表の中の流動資産、未収金に計上している。問い。葛城台と松里園地区において下水管の調査診断が行われたが、今後の計画はどうか。答え。令和５年度は片岡台１丁目の整備を行っているが、他の地区の工事は未定である。問い。来年10月からインボイス制度が始まりますが、一般会計及び特別会計ごとに税務署へ申告は済まされておられますか。答え。インボイス制度につきましては、上水道事業、下水道事業ともに税務署に申請し、登録番号を取得しております。

認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について。問い。水道料金の収益が当初予算に対して4,000万円の減額となった要因は。答え。コロナ対応の支援として、９月から12月分の４か月分について基本料金を免除したためである。

以上７議案を慎重審議し、認第１号から認第２号、認第３号、認第４号、認第５号、認第６号、認第７号の７議案について、採決の結果、全員異議なく認定すべきものと決定いたしました。

以上、決算特別委員会の報告を終わります。

○議長（遠山健太郎）　委員長の報告が終わりましたので、ただいまより議案の審議に入ります。

◇

◎認第１号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第２、認第１号　令和４年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定に

ついて、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することと決定されました。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎認第２号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第３、認第２号　令和４年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

◇

◎認第３号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第４、認第３号　令和４年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

◇

◎認第４号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第５、認第４号　令和４年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

――――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――――

◎認第５号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第６、認第５号　令和４年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

◇

◎認第６号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第７、認第６号　令和４年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

◇

◎認第７号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第８、認第７号　令和４年度上牧町水道事業会計決算認定について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

この決算を委員長の報告どおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、この決算は認定することに決定されました。

◇

◎総務建設委員長報告について

○議長（遠山健太郎）　日程第９、総務建設委員長報告について。

上村委員長、報告願います。

上村委員長。

（総務建設委員長　上村哲也　登壇）

○総務建設委員長（上村哲也）　改めまして、皆様、おはようございます。６番、上村哲也です。総務建設委員会の報告を行わせていただきます。

去る９月１日の本会議において総務建設委員会に付託されました町長提出議案は３議案で、次のとおりであります。議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、以上の３議案につきましては、９月４日、全委員出席の下、総務建設委員会を開催し、慎重に審議をいたしました。

結果、さきの３議案は全委員異議なく可決すべきものと決しましたことをご報告いたします。

次に、各委員からの議案に関する主たる質疑は以下のとおりです。

議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について。まず歳入からです。奈良県がんとの共生に向けたアピアランスケア支援事業補助金について。問い。今回、医療用ウイッグ４件、乳房補整具が１件の５件の申請があったが、申請された方の声は届いてい

るか。答え。医療用ウイッグが高額なので気持ち的に助かり、ほっとした気持ちになったという声が届いている。問い。県の補助金内容について説明を。県の説明では、自治体が補助した分に対し、要綱に該当した部分の２分の１を県が補助するという説明を受けている。この補助金が出ることで、新たに隣接の自治体でこの事業をするところが増えてくることを心配している。問い。将来補助金がなくなったとしても、上牧町としてこの事業を継続する考えはあるか。答え。担当課としては、これだけ喜んでいただいている事業であるし、６月の補正予算計上から短期間で５件も申請があったのは近隣でもまれなので、担当課としては続けていきたいと考えている。

次に、損害賠償保険金について。問い。損害賠償保険金1,491万円について説明を。答え。服部台１丁目に埋設されている配水管が破損し、現在復旧済みの隣接家屋に被害が生じたことによる損害賠償補償金である。

次に、職員の駐車場代について。問い。契約条項等で恒常的、恒久的に使用できるような規定を設けているか。答え。更新、明渡しの条項の中で、貸主の明渡しの意思表示は事前に連絡を頂けるように話をしていきたいと考えている。問い。将来的な職員駐車場の確保については、恒久的な確保という観点から考えていただきたいが、どうか。答え。そのように考えていきたい。

次に、歳出です。職員駐車場土地賃借料について。問い。公共施設整備基金費積立金37万2,000円は公共施設の維持管理費のため積み立てるとあるが、具体的にどのように使用されるのか。答え。全ての公共施設の維持管理のために使用される。

次に、公共施設無線ＬＡＮ整備工事について。問い。当初予算ではなく補正予算で計上された理由は。答え。整備費用を少しでも抑えるため、現在進めている学校体育館の無線ＬＡＮ整備工事のシステムの一部を利用して整備するために、今回補正予算で計上した。問い。公共施設無線ＬＡＮ整備には県や国から補助金が交付されると思うが。答え。総務省の補助金は令和４年度に終了していたので、一般財源とした。問い。今回は本庁舎１階のみの整備だが、今後の本庁舎２階、３階、2000年会館等、公共施設への整備計画は。答え。本庁舎については、まず、整備したＬＧＷＡＮ回線の活用で進めていきたい。全体では状況を確認し、財源を注視しながら検討、研究していきたい。

次に、コミュニティバス運行費委託料について。問い。本事業内容の説明を。答え。以前までは昼間、運行しておらず、他の公共施設や文化教室を利用するのに不便だという意見があり、今回昼間の運行も開始した。また、明星線や第一体育館、第二体育館等に新しくバス

停を設置し、利用される方については利便性が向上していると思う。

次に、クーポン券発行事業について。問い。この事業の詳しい説明を。答え。クーポン発送を６月から８月に簡易書留で住民の方に発送済みで、利用については９月７日から利用可能である。簡易書留郵便のため印鑑が必要となり、留守の場合は、役場に取りに来ていただくか再度発送することになる。現在400件程度が戻っており、戻ってきたクーポンを整理中である。

次に、健康増進事業費について。問い。栄養士報酬が追加となったが、事業内容に変更があるのか。答え。11月に実施予定の骨密度検診の中で、栄養面からの保健指導をしたいと考え予算計上した。

続きまして、住宅管理費の償還金利子及び割引料について。問い。町営住宅使用料還付金で１万3,000円、改良住宅使用料還付金で１万円、そして町営住宅駐車場使用料還付金で2,000円がそれぞれ計上されているが、なぜ還付金が発生したのか伺う。答え。還付先は３人で、それぞれは金融機関での口座振替であったが、残高不足等で引き落としていたが、されていないと思い込み、役場窓口で各自が使用料を納付したが、後日、正常に口座振替がされていたことが判明したので、このたびの還付金発生となった。今後、窓口で厳重に確認し、再発防止に努める。

次に、学校適正化事業について。問い。財源の説明を。答え。公共施設等適正管理推進事業債の活用を予定している。問い。公共施設等管理計画や個別施設計画の見直しについては、早急に住民の意見を聞くためにパブリックコメントに付すべきと思うが、どう考えているか。答え。見直しについては、適宜必要と考えている。パブリックコメントに付す件については、町長がタウンミーティングを再開するので、その中で十分説明していきたいと考えている。問い。今回の計画見直しについては、パブリックコメントに付さない理由が見当たらないことから、住民の意見を聞く場として大変有意義なタウンミーティングと併せて実施する必要があると考える。いま一度、住民の方の意見を聞く場を設けるという観点から、しっかり考えていきたいと思うが、どうか。答え。第二町民体育館を除却するというような大きく変わる部分については、今後検討していきたいと考えている。問い。実施設計するに当たり、上牧町まちづくり基本条例第６条に規定する未成年のまちづくりに参画する権利として、現役中学生たちの意見を積極的に聞く場を設けていきたいが、どうか。答え。主人公である子どもたちの意見を聞くことは大事であるし、町政に参画するという意識を持ってもらえることを第一に考え、今の中学生にも意見を聞きたいと思う。

次に、上牧町スポーツフェスティバルについて。問い。今回、補正予算で追加の予算が計上されていないが、費用はどのように捻出するのか。答え。今回はスポーツ協会の主催なので、当初予算に計上したスポーツ協会への補助金の範囲内で執行可能と考えている。問い。特に自治会への周知はどのように考えているか。答え。周知の方法を考えており、自治連合会への周知も含め、敏速に対応したいと考えている。

最後に、議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結についてです。問い。本工事の当初予算額より落札額は74.45％と低いものであるが、これは予算編成時における計画、積算等に問題があったのではと考えるが。答え。落札率が低かったのは業者の企業努力と考えている。問い。工期について。当初予算の説明では、７月から９か月間の工期となっていたが、今回の請負契約内容では、工期６か月で２月末に完了となっている。６か月の工期で施工が完了し、３月より新しいコートが使用できるのか。答え。そのとおりの予定である。

以上が総務建設委員会に付託された３議案についての審議経過要旨であります。

以上をもちまして、総務建設委員会委員長報告とさせていただきます。

○議長（遠山健太郎）　委員長の報告が終わりましたので、ただいまより議案の審議に入ります。

◇

◎議第４号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第10、議第４号　令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

石丸議員。

○１番（石丸典子）　１番、石丸典子です。

令和５年度一般会計補正予算（第４回）について質疑を行います。補正予算書の23ページに挙げられております学校適正化事業についてです。上牧中学校建設のための実施設計業務など、委託料で今回の補正額は約１億1,500万円です。有利な起債を活用するためとして、第二町民体育館廃止が前提となっています。利用者や地元住民への説明と合意がまず必要では

ないですか。この件について、ご答弁をお願いいたします。

○議長（遠山健太郎）　上村委員長。

○総務建設委員長（上村哲也）　ただいま、石丸議員の質疑に対しましては、理事者側の答弁を求めます。

○議長（遠山健太郎）　今中町長。

○町長（今中富夫）　今、石丸議員の質問の件でございますが、まず冒頭で、この件について住民の方々に説明ができなかったということについて、まずおわびを申し上げたいというふうに思います。それと、昨日、反対署名をお持ちいただいて、私、受け取らせていただきました。今日、傍聴のところにもそのメンバーの方々が来ておられるんですが、昨日いろいろ質問が出まして、私、回答させていただきました。一定やっぱり誤解があったのかなというふうに昨日、説明をしながら感じております。説明をさせていただいたので、一定皆さん方、誤解が解けているのかなというふうに思います。一番大きな誤解は、売却をするというようなことをお考えになっておられた方もおられたように思います。売却をするのではなしに、体育館を撤去して跡地を有効利用しようと、こういう考え方でございます。

それと、今まで自分たちがやっていたことができなくなるのではないのかと、こういう質問もございましたが、スポーツの部門と、それと生涯学習の部分、これを別々にお考えいただきたい。スポーツの部分は中学校の体育館が空くので、そちらのほうに機能移転をさせていただきます。これはやっぱり合理的な考え方ではないのかなと。生涯学習部分、これは当然、地元の方々が歩いてこられるわけでございますので、老人憩の家と合わせた建設、考え方、これをこれから２年かけてしっかりと組み上げていきたいというふうに考えております。

それと、避難場所、なくなるのではないのかという質問も昨日ございました。なくなるのではなしに、逆に認定こども園と複合的な施設をつくらせていただきますので、今現在の面積よりもまだ大きな面積で避難場所として利用ができると、こういうことでございます。

説明をできなかったわけでございますので、そのお叱りは私、十分責任を感じておりますので、これからタウンミーティングの中でも、皆さん方にご理解が頂けるように説明をしてまいりたいというふうに考えております。

○議長（遠山健太郎）　石丸議員。

○１番（石丸典子）　町長、一般質問の続きのような形にはしたくありません。説明がされなかったということで、順序が逆だということを私は申し上げているわけです。昨日も、私も参加いたしまして、町長と、それと第二体育館利用者の会、地元の会の方、参加いただいて、

１時間にわたって懇談をしていただきました。この中には、地元の会の署名、第二体育館の廃止反対というのではなくて、ちゃんと住民に説明をしてくださいということも含んでおりますので、それと、今まで使っていた方がちゃんと使えるようになりますかということと、あと避難所はどうなりますかということが大きなポイントです。利用者の方の署名が304人分、地元の会の署名が447人分で合計753名分ということで、本当に短期間に地域の方が大変だということで我が町のこととして取り組んだことでは非常に私、大きなことだと思います。その声に基づいて私はここで申し上げているわけです。

町長は、その場で説明をした、誤解があったのではないかと言いますけれども、町長の側から一度も説明がありませんね。議会の一般質問での回答が説明にされたり、こちらがお願いをした町民の方、また利用者の会の方との懇談を希望して、その中で説明されただけであって、町長自らの説明責任は果たしていません。

そして、昨日の感想を少し伺いますと、説明を聞けば聞くほど話がだんだん広がって混乱すると。また新しい建物も借金で建てられるのかということで、本当に余計混乱されています。中学校の建て替えの問題がほかのところに大きく広がって、これは中学校を１校にして十分子どもたちが学べる設備をつくりましょうということになっているんですけれども、広がってきています。ぜひ分けて考えていただきたいと思います。財政計画などもどうなるかということでは大変疑問を持っておりますし、議会としても、そこまでは説明できません。

それと、公共施設の総合管理計画においては、６年前に町民アンケートを実施されて、初版版がつくられました。そのときのアンケートでは、統合するのはあまり利用されていない施設である。これがトップです。２つ目は、老朽化が著しい施設である。これが２番目です。回答数は延べで823件中、統合するのはあまり利用されていない施設というのが648回答でした。老朽化が著しいというのが429で、常に町民の皆さんの意見を聞いているわけですから、これに基づいて公共施設の適正化も行っていくべきだと思います。

質疑、以上で終わります。

○議長（遠山健太郎）　答弁はよろしいですか。

○１番（石丸典子）　はい。

○議長（遠山健太郎）　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　これで質疑を終わります。

ここで暫時休憩とし、再開は11時５分とします。

休憩　午前１０時５３分

再開　午前１１時０５分

○議長（遠山健太郎）　それでは再開します。

令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、これから討論を行います。

討論はございませんか。

石丸議員。

○１番（石丸典子）　１番、石丸典子です。

令和５年度上牧町一般会計補正予算（第４回）について、反対の討論を行います。

令和５年度一般会計補正予算（第４回）では、総額約４億円の補正となっています。事業の中には、来庁者のスペースが不足する、このことに対しての職員用駐車場の対策費用、また公衆無線ＬＡＮの整備、アピアランスケア支援、第二小学校南館の外壁改修工事など重要な施策も含まれています。しかし、学校適正化事業においては、住民の知らないうちに進められる。しかも、一番よく利用されている第二町民体育館の廃止が前提となっています。

まちづくり基本条例の第２条は、基本原則として、まず１つ、情報を共有する。２つ目、町民が参画をする。３つ目、議会と執行機関は説明責任を果たす。この３つを基本原則としています。また、第４条では、この条例をまちづくりの最高規範と定めています。まさに、住民の知らないうちに進めるのは、このまちづくり基本条例に違反するものであると考えます。住民の皆さんにまず説明をし、納得と合意を得て進めるべきだと思います。

有利な公共施設の適正化債の申請期限は令和８年度中です。期間はまだ十分あるはずです。中学校の新築そして第二体育館の存続含めて、改めて考えていただきたいと思います。

以上をもって反対の討論といたします。

○議長（遠山健太郎）　ほかにございませんか。

安中議員。

○４番（安中　和）　安中です。お願いします。総合的に判断しまして、今回の上牧町の第二体育館に関することに対しては、私は賛成を述べさせていただきます。

公共適正管理推進をしていくうちで、今までずっとまちの中の様子を見ていましても、若い方々が、このまちの若い人たちをどう呼び込むのか、それを考えてほしいという意見がた

くさん頂きました。高齢の方に関しての施策というのはとても大変手厚くやっておられるんですが、そこから一歩、若い方が、認定こども園ですか、ああいう大きなものを今回出されたことに対してはとても評価が上がっています。やはり上牧町第二体育館を使う方々にとっては、これはとても痛手だと思いますし、心情は分かりますけれども、これからやっていく、大きな上牧町を変えていくというところの観点から見ましたら、そこをしっかりと共に考えて、町長のほうも何度も何度も、後ればせながら、そこは本当にもう少し早くということ、期間の関係もあったり計画の関係もあったりして理解できることはありますが、そこは反省点として捉えていただいて、だけど、今後の上牧町の未来像を考えたときには必要なことだと私は思いますので、この案には賛成を述べさせていただきます。

以上です。

○議長（遠山健太郎）　ほかにございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　これで討論を終わります。

これから採決いたします。

採決は起立により行います。本案に対する委員長の報告は可決です。

委員長の報告どおり可決することに賛成の方、起立願います。

（起立多数）

○議長（遠山健太郎）　起立多数です。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第８号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第11、議第８号　令和５年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎議第１０号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第12、議第10号　上牧第一町民テニスコート改修工事請負契約の締結について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎文教厚生委員長報告について

○議長（遠山健太郎）　日程第13、文教厚生委員長報告について。

牧浦委員長、報告願います。

牧浦委員長。

（文教厚生委員長　牧浦秀俊　登壇）

○文教厚生委員長（牧浦秀俊）　文教厚生委員会の委員長の牧浦秀俊です。文教厚生委員会の報告をいたします。

去る９月１日の本会議において、文教厚生委員会に次の町長提出の６議案が付託されました。議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、以上の６議案について、９月５日、全員の出席により文教厚生委員会を開催し、慎重に審議いたしました。

その結果、上牧町長提出の６議案については、全委員異議なく可決すべきものと決したことを報告いたします。

また、議案に関する主な質疑は以下のとおりです。

議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について。１番目、問い。放課後児童支援員の研修とはどのようなものか。答え。研修内容は次の６つです。１つ目、放課後児童支援事業の理解、２つ目、子ども理解の基礎、３つ目、子ども育成支援の方法、４つ目、保育者や学校との連携協力、５つ目、安全安心への対応、６つ目、支援員に求められる役割。研修期間は４時間です。また、研修費用は町予算に計上されており、支援員本人の負担はありません。問い。上牧町の学童の人数は。答え。上牧小学校37名、第二小学校41名、第三小学校79名の合計157名です。問い。何時から何時まで学童はあるのか。平日は授業終了時から７時まで、土曜日は朝の７時半から夜７時まであります。冬季など暗くなるが、迎えに来れない場合の対応はどうするのか。基本、迎えは決まりであるので、必ず引き渡します。

続きまして、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）につ

いて。職員人件費が減額補正37.3万円されているのはなぜか。年度中の職員異動や年齢構成の変化によるものです。

議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について。成年後見人制度利用支援事業費の増額について説明を。答え。本人に代わって財産の管理などを行うことができる制度の利用支援であります。利用者が増え、審判の申立てが続いているため、収入印紙などの経費が増額しております。

続きまして、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について。問い。収益的収入における下水道使用料の延滞繰越分161万8,000円の減額要因は。答え。令和５年度から公営企業会計になり、貸借対照表の未収金で計上していたためである。問い。企業会計に移行するための業務委託をしたが、役場の中での点検が不十分であったのではないか。答え。今後このようなことがないように注意したい。

以上、文教厚生委員会の報告といたします。

○議長（遠山健太郎）　委員長の報告が終わりましたので、ただいまより議案の審議に入ります。

◇

◎議第２号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第14、議第２号　上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第３号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第15、議第３号　上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

―――――――――――――――――――― ◇ ――――――――――――――――――――

◎議第５号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第16、議第５号　令和５年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎議第６号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第17、議第６号　令和５年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎議第７号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第18、議第７号　令和５年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎議第９号の質疑、討論、採決

○議長（遠山健太郎）　日程第19、議第９号　令和５年度上牧町下水道事業会計補正予算（第１回）について、これを議題といたします。

提案理由の説明は終わっておりますので、これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「質疑なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はございませんか。

（「討論なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　討論なしと認めます。

これから採決いたします。

本案を委員長の報告どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本案は委員長の報告どおり可決されました。

◇

◎閉会の宣告

○議長（遠山健太郎）　お諮りします。

本定例会の会議に付された事件は全て終了いたしました。

したがって、会議規則第７条の規定により閉会したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（遠山健太郎）　ご異議なしと認めます。

したがって、本定例会は閉会することに決定いたしました。

◇

◎町長の挨拶

○議長（遠山健太郎）　閉会に当たり、招集者の挨拶をお願いいたします。

今中町長。

（町長　今中富夫　登壇）

○町長（今中富夫）　全議案、認定、議決を頂きましてありがとうございます。特に今議会では、いろんな問題で皆さん方からいろんなお叱りを受けております。特に石丸議員、今、賛成討論を頂きました安中議員からも反省をしろという厳しいお言葉を頂きました。我々、できるだけ議会の皆さん方には事前事前にいろんなご相談、報告をさせていただいております

が、これからも報告、連絡、相談につきましてはタイミングをしっかり計りながら、これからご相談をなお一層させていただきたいというふうに考えております。

また、この秋からタウンミーティングも実施させていただきますので、また各地域地域で町の考え方、住民さんの考え方を聞かせていただきながら、まちづくりに生かしていきたいというふうに考えておりますので、引き続き皆さん方のご理解、ご協力をお願い申し上げまして、お礼のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（遠山健太郎）　これをもちまして、令和５年第３回上牧町議会定例会を閉会いたします。どうも皆様、お疲れさまでした。

閉会　午前１１時２４分

地方自治法第１２３条第２項の規定により署名する。

議　　長　　遠　山　健太郎

署　名　議　員　　東　　初　子

署　名　議　員　　上　村　哲　也